

625
236

625-236



1200501539009

農業改善研究會報告

財團法人富民協會編

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



433

農業改善研究會報告

財團法人
富
民
協
會

農業改善研究會報告

財團法人 富民協會

わが財團法人富民協會は安田修徳會より多大の援助を得て、昭和五年以降三年に亘つて農業改善研究會を愛知縣安城町に開催した。

本研究會の使命とするところは我國農業の改善にあるため、特に講習生の選擇については慎重の考慮を拂ひ、府縣知事にその推薦の勞を請ふことにした。また研究會の日程についても一般の講習會の弊とする諸達主義を排し、午前中講義、午後實習とし、自學自修の機會を與へ、而も批判的研究的態度をもつて會期一週間を終始せしめたのである。また會期中の統制は總て自治によらしめ、一切の干渉を排し、何等の制限を加へず、良心に隨つて行動すべきことを從憑したのである。これらのことが講習者に人格陶冶の機會を與へ、團體的訓練を與へたとすれば、想はざる副産の所産であつた。三回に亘る研究會の日程、講習生名簿並び

にその感想録及び講習後に於ける講習生の經營改善に關する各府縣の調査報告を蒐めて、茲に報告書を作成し、識者の批判を請ふこととした。今第一回より第三回迄に至る開設の趣旨、規程、日程、講習生住所氏名、注意要項を述べると左の如くである。

第一回

▽開設の趣旨

近時農村疲弊の聲高しと雖も耕作技術の改良に併せてその經營方法を改善せんか農村振興の必ずしも至難ならざるは幾多の精農と進歩せる組合事業の實績に徴して明白なるところである。本協會茲に鑑み設立以來夙に多收穫を奨勵して農家收益の増進に努め、精農並に農事實行組合を顯彰しその實績を社會に推奨し來つたのであるが今回本協會の趣旨に共鳴せる某篤志家の從憑により其資を受けて左記の如く第一回農業改善研究會を開設することとなつた。全國府縣より選拔されたる府縣下三名の青年精農に對し一週間現代農業經營に必要な知識と體験を與へ以つて全国的に農業改善の氣運を醸成し聊か那家農村の隆興に寄與せんことを期する次第である。

▽規程

會期 昭和五年八月十七日より一週間

會場 愛知縣碧海郡安城町安城農林學校

資格 研究會に出席すべき講習生は左記の條件を具備し府縣知事の推薦を得たる一府縣三名を限り定員百三十八名とす

イ、現在農業に従事し將來引續き農業に従事する意思鞏固にして一般農家の範たるに足るものたること

ロ、年齢滿貳拾歳以上參拾歳以下の身體壯健なるものたること

ハ、講習後地方の農業改善を指導し且つその成績を報告し得るものたること

特 典 講習生の汽車汽船の乗車船地より安城驛に至る往復船車賃及講習中の滞在費一切を本協會に於て支辨す
但し旅程の迂回をなしたるもの並に電車、自動車賃等はこれを支給せず

到着 講習生たることの承認を得たるものは八月十七日午前八時まで
に左記の物品を携帯の上到着すること
但し正當の理由なく遅刻したるものに對しては講習生たる特典を取消すことあるべし
作業服、毛布、浴衣、各一筆記用手帖、鉛筆其他

▽日 程

▽第一日 (八月十七日)

開 會 式 午前八、〇〇—九、〇〇
精農並に優良農事組合表彰式 同 九、〇〇—一〇、三〇
講義 現代日本と農業 同 一〇、三〇—一二、三〇

講義 現代日本と農業(第二講) (午前十一時半休憩)

講義 富民協會の目的と使命

▽第二日 (八月十八日)

講義 農業經營の合理化 午前八、〇〇—一二、三〇

▽第五日 (八月廿一日)

講義 農事實行組合の經營 午前八、〇〇—一二、三〇
見學 碧海郡野卵組合、滿鐵飼料研究所、鶏肉加工場 折目 六右衛門氏

實習 養鶏の經營と管理(今養鶏組合にて)

農 談 會 組合長 高見林 藏氏
同 七、三〇—九、三〇
同 九、三〇—一〇、三〇

▽第六日 (八月廿二日)

實習 有畜農業の經營(縣立種畜場にて)

懇 親 會 午前八、三〇—午後五、〇〇
午後七、三〇—一〇、〇〇

▽第七日 (八月廿三日)

見學 午前八、〇〇—一二、三〇
【甲班】 駒場農事改良組合、双葉土地利用組合、共同經營農場
【乙班】 明治村和泉信購利用組合、東端宅土地利用
修了證書授與式 午後一、〇〇—二、〇〇
隨 意 解 散

▽講習生氏名

座席番號	住 所	氏 名	年 齡
一	東京府北豐島郡大泉村大字小樽	田中 集作	二七
二	同 南多摩郡鶴川村小野路	小宮 重一	二六

實習 青果の共同出荷(明治用水樓上)

實習 産業組合の經營(産業組合にて)

農 談 會 (午後五時より西瓜出荷状況見學)

講義 農 業 と 經 濟

▽第三日 (八月十九日)

講義 農業と經濟 午前八、〇〇—一二、三〇
大阪毎日新聞經濟部長 下田 將 美氏
實習 稲作の實際(農事試驗場にて) 午後一、〇〇—三、三〇
試驗場技師 岩 槻 信 治氏

實習 農場經營(板倉農場にて)

農業活動寫眞上映 同 三、四〇—六、〇〇
同 七、三〇—九、三〇

▽第四日 (八月二十日)

講義 農 民 ・ 道 午前八、〇〇—一二、三〇
山崎 延 吉氏
實習 町村農會の經營(町農會にて) 午後一、〇〇—三、〇〇
町農會幹事 岡田 庄 太郎氏

實習 農産物の加工(三河食品にて)

同 四、〇〇—六、〇〇
三河食品會社 尾崎 五平 治氏

三	東京府北多摩郡狛江村大字和泉	谷田部 良三	二五
四	京都府相樂郡木津町大字鹿背山	福岡 初男	二六
五	同 何鹿郡中上林村字陸合	四方 健一	二四
六	同 加佐郡河守上村字天田内	荒賀 福太郎	二八
七	大阪府三島郡三宅村大字丑寅	川西 長一郎	二六
八	同 泉北郡東百古鳥村大字土師	佐治 常治	三〇
九	同 北河内郡樟葉村大字楠葉	林 愛三郎	二九
一〇	神奈川縣橘樹郡生田村字金程	白井 卯三郎	二八
一一	同 高座郡澁谷村字福田	富田 勳	二六
一二	同 足柄上郡櫻井村字會比	米山 喜一郎	三〇
一三	兵庫縣加西郡多加野村河内	廣田 賢一	二九
一四	同 出石郡神美村香任	田中 信夫	二四
一五	同 多紀郡今田村休場	前川 正造	三〇
一六	長崎縣西彼杵郡瀬川村大字横瀬水之浦郷	田中 辰治	二五
一七	同 東彼杵郡波佐見村長野郷	山村 秀治	二五
一八	同 北松浦郡御厨村大字御厨	杉山 清三	三〇
一九	新潟縣北蒲原郡松浦村大字八幡	渡邊 勇雄	二九
二〇	同 北魚沼郡川井村	川上 安次郎	一九
二一	同 中頸城郡金谷村大字飯	齋藤 保	二〇
二二	同 埼玉縣北埼玉郡大越村大字外野	齋藤 忠治	二三
二三	同 入間郡南古谷村大字雨田島	中野 吾郎	二四
二四	同 北足立郡芝村大字小谷場	今泉 榮政	二七
二五	群馬縣北甘樂郡馬山村大字馬山	今井 邦重	二八
二六	同 邑梁郡長柄村大字狸塚	猪越 榮一	二八
二七	同 群馬郡古卷村大字八木原	儘田 榮屋	二八

六 千葉縣山武郡陸岡村下戸田 長谷川 一一九
 元 同 東葛飾郡船橋町五日市 武藤 勇 二六
 三 同 安房郡主基村北小町 小原 耕太 二六
 三 茨城縣久慈郡小里村小中 佐藤 信紀 二六
 三 同 新治郡真鍋町 鳥羽 英三郎 二一
 三 同 猿島郡森戸村伏木 田村 市郎 二三
 三 同 栃木縣那須郡野崎村大字豊田 塚原 正雄 二四
 三 同 足利郡北郷村大字權崎 板橋 儀市郎 二八
 三 同 下都賀郡大谷村大字東野田 山中 徹雄 二六
 三 奈良縣添上郡平和村大字若槻 喜多 芳之 二九
 三 同 宇陀郡三本松村大字西谷 小谷 周太郎 二九
 三 同 磯城郡多村大字新木 松井利右衛門 二三
 三 三重縣阿山郡友生村 池澤 嘉彦 二七
 三 同 飯南郡松尾村 三綠 繁雄 二五
 三 同 鈴鹿郡石藥師村 石黒 重吉 二八
 三 愛知縣西春日井郡北里村藤島 熊澤 披 二八
 三 同 中島郡大和村大字戸塚 野田 勇 二三
 三 同 西加茂郡譽母町大字譽母 鈴木 大輔 二六
 三 同 靜岡縣富士郡白糸原 渡邊 定男 二七
 三 同 庵原郡麻原村吉原 國持 史郎 二七
 三 同 小笠原郡山村河東 松下 圓次 二七
 三 山梨縣中巨摩郡南湖村大字西南湖 入倉 恒善 二八
 三 同 東八代郡石和町大字市郡 久保田 義男 二七
 三 同 北巨摩郡篠尾村大字下笹尾 小林 茂良 二二
 三 滋賀縣高島郡青柳村大字上小川 淵田 雄吉 二六
 三 滋賀縣神崎郡建部村大字南 三
 三 同 野洲郡篠原村大字小南 三
 三 岐阜縣稻葉郡黑野村 三
 三 同 惠那郡遠山村 三
 三 同 益田郡小坂町 三
 三 長野縣東筑摩郡新村 三
 三 同 小縣郡浦里村 三
 三 同 上伊那郡西春近村 三
 三 宮城縣登米郡北方村日向字山ノ上 三
 三 同 宮城郡岩切村燕澤字案内澤 三
 三 同 栗原郡尾松村八幡鬚ヶ坂 三
 三 福島縣西白河郡關平村大字關和久字上町 三
 三 同 大沼郡赤澤村大字寺崎字下村 三
 三 同 石城郡高久村大字下高久字前之内 三
 三 岩手縣紫波郡不動村大字白澤 三
 三 同 江刺郡岩谷堂町字小境 三
 三 同 西磐井郡萩莊村大字下黒澤 三
 三 青森縣北津輕郡三好村大字鶴ヶ岡 三
 三 同 中津輕郡大浦村大字高屋 三
 三 同 上北郡法興澤村大字澤田 三
 三 山形縣南村山郡堀田村大字下櫻田 三
 三 同 東置賜郡梨郷村大字砂塚 三
 三 同 東田川郡狩川村大字西興野 三
 三 秋田縣山本郡藤琴村大字 三
 三 同 平鹿郡三重村上鍋倉字富澤 三
 富田 常次郎 二九
 北川 仲治 二二
 佐藤 治徳 二二
 原田 芳男 二三
 奥田 一美 二九
 百瀬 貫一 三〇
 宮下 彌 二七
 酒井 岩夫 二二
 遊佐 初郎 二七
 庄司 善治 二二
 白鳥 重孝 二三
 穂積 博 三〇
 五十嵐 勇雄 二八
 藥谷 久太郎 二六
 藤原 善一 三〇
 和賀 武則 三〇
 熊谷 泰雄 二九
 開米 芳雄 二二
 笹 傳次郎 三一
 古館 松五郎 三〇
 佐藤 喜作 三〇
 島崎 大賀治 二五
 本間 四郎 二九
 淡路 久一郎 二七
 藤原 潤二郎 二五

六 秋田縣雄勝郡幡野村八幡字古館 佐藤 謙太郎 二二
 六 福井縣足羽郡酒生村荒木新保 吉岡 佐太里 三一
 六 同 大野郡上庄村森政領家第七號 乾 慎二 二九
 六 同 遠敷郡松永村平野第二十九號 岡本 與四雄 二六
 六 石川縣能美郡白江村字白江 宮本 克己 二九
 六 同 河北郡笠谷村字倉見 小田 喜久治 二六
 六 同 鹿島郡等師保村字筆染口部 筆安 次六 二三
 六 富山縣中新川郡舟橋村 野村 長多 三〇
 六 同 婦賀郡朝日村下條 舟場 義松 二七
 六 同 東礪波郡山野村飛騨屋 中島 清文 二四
 六 鳥取縣岩美郡米里村 下田 一清 二七
 六 同 東伯郡社村 長田 義人 二三
 六 同 西伯郡渡村大字森岡 木下 周治 二四
 六 島根縣簸川郡莊原村 和田 守眞 二五
 六 同 那賀郡石見村 笠柄 徳市 二八
 六 同 周吉郡中條村 佐々木 正雄 二五
 六 岡山縣上道郡角山村 平松 定和 二四
 六 同 吉備郡生石村 笹井 一二 二六
 六 同 眞庭郡落合町 尾崎 貞二 二三
 六 廣島縣豊田郡上北方村 安川 實 二八
 六 同 芦品郡藤尾村 延岡 博男 二六
 六 同 山縣郡八重町 三宅 忠之 二二
 六 山口縣熊手郡麻郷村 森重 稔 二七
 六 同 山口市大字中尾 光成 俊治 二六
 六 同 厚狹郡萬倉村 河村 周一 二三
 三 和歌山縣和歌山市納定 三
 三 同 海草郡西山東村大字吉禮 三
 三 同 西牟婁郡稻成村 三
 三 德島縣名東郡加茂名町庄字加茂 三
 三 同 板野郡松茂村長岸 三
 三 同 那賀郡立江町大村立江 三
 三 香川縣香川郡香西町 三
 三 同 綾歌郡長炭村 三
 三 仲多度郡善通寺町大字下吉田 三
 三 愛媛縣北字和郡愛治村 三
 三 同 温泉郡垣生村西垣生 三
 三 同 新居郡垣生村 三
 三 高知縣長岡郡高須村 三
 三 同 土佐郡秦村秦泉寺 三
 三 同 幡多郡入野村 三
 三 福岡縣鞍手郡古月村上木司 三
 三 同 三井郡善導寺村大字與田 三
 三 同 田川郡伊田町大字伊田 三
 三 大分縣下毛郡鶴居村 三
 三 同 大分郡東庄内村 三
 三 同 直入郡明治村 三
 三 佐賀縣佐賀郡金立村大字千之賀 三
 三 同 東松浦郡鬼塚村大字千之賀 三
 三 同 三養基郡北茂安村大字江口 三
 三 熊本縣八代郡鏡町字芝口 三
 野村 俊一 二六
 菊川 通彦 三一
 杉野 久八 三一
 石山 多喜治 二六
 古川 義雄 二二
 井上 康雄 二六
 久保 茂 二八
 眞鍋 俊一 二六
 遠山 雍治 二九
 谷口 義久 二九
 三原 禎一郎 二五
 三浦 眞一 二二
 田中 重勝 二九
 島崎 直喜 二五
 宮川 廉 二三
 白石 寛索 三〇
 阪井 由雄 二七
 古木 募 三〇
 湯屋 勘司 二七
 那須 直 二五
 片岡 精 二四
 眞島 善次 三〇
 岩本 徳次郎 三〇
 末永 誠 二三
 島田 繁俊 二六

- 一六 熊本縣菊池郡菊池村大字西寺
- 一七 同 飽託郡小山戸島村大字小山
- 一八 宮崎縣兒湯郡都村大字荒武
- 一九 同 宮崎市下北方町
- 二〇 同 東臼杵郡延岡町大字恒富
- 二一 鹿兒島縣薩摩郡鶴田村柴尾
- 二二 同 肝屬郡大根占村神川
- 二三 同 贈紫郡大崎村横瀬
- 二四 沖繩縣國頭郡國頭村字邊土名
- 二五 同 同名護町東江
- 二六 同 島尻郡具志頭村仲座
- 二七 朝鮮慶尙南道公立農業學校
- 二八 同 慶尙南道産業部農務課
- 二九 同 全羅南道長興公立實修學校
- 三〇 京都帝國大學農學部
- 三一 大阪府泉州富民研究會
- 三二 愛知縣碧海富民研究會
- 三三 德島縣立江富民研究會
- 三四 山口縣華城富民研究會

- 池部 泰雄 二六
- 野田 賢 二九
- 横山 光春 二五
- 土屋 武男 二九
- 日吉 正明 二二
- 田島 清武 二三
- 永田 清彦 二三
- 濱脇 盛藏 二二
- 大城 秀雄 二〇
- 前原 信盛 一九
- 屋宜 盛徳 二五
- 杉原 富次郎
- 伊藤 稔
- 金 鐘 二五
- 喜多 正治 二二
- 奥野 廣治 二六
- 野村 惣松
- 泉 忠實 二三
- 西川 清市 三八

▽注意 要 項

一、講習生は其府縣を代表するものにつき常にその名譽を重んじ、言動を慎み禮節を守るべし
 一、講習、實習、見學以外には何等の制限を設けざるを以つて、期間中は總て自治の本義に則るべし

規 程

會期 昭和六年八月十日より同月十六日まで一週間
 會場 愛知縣碧海郡安城町安城農林學校
 資格 研究會に出席すべき講習生は左記の條件を具備し府縣知事の推薦を得たる一府縣二乃至三名に限る

定員三名(農家人口五十萬以上)の縣 岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、新潟、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、兵庫、岡山、廣島、愛媛、福岡、長崎、熊本、大分、鹿児島
 定員一名(農家人口五十萬以下)の府縣 青森、東京、神奈川、富山、石川、福井、山梨、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、鳥取、島根、山口、徳島、香川、高知、佐賀、宮崎、沖縄
 イ、現在農業に従事し將來引續き農業に従事する意志鞏固にして一般農家の範たるに足るものたること
 ロ、年齢満二十歳以上三十歳以下の身體壯健なるものたること
 ハ、講習終了後地方の農業改善を指導し且つその成績を報告し得るものたること

特典 講習生の汽車汽船の乗車船地より安城驛に至る往復船車賃及講習期間中の滞在費一切を本協會に於て支辨す
 但し旅程の迂回をなしたるもの並に電車自動車賃等はこれを支給せず
 到着 講習生たることの承認を得たるものは八月十日午前八時までに左記の物品を携帯の上到着すること
 但し正當の理由なくして遅刻したるものに対しては講習生たる特典を取消すことあるべし

一、時間は總て正確に勵行すべし
 一、到着と同時にその旨を係員に届出て記章を受領すべし
 但し記章は講習期間中佩用するものとす
 一、舎室は係員の指示に従ひ濫りに變更すべからず
 一、本協會より支給すべき乗車船賃は本人の申出により到着後に計算交附すべし

第二回

▽開設の趣旨

近時農村の疲弊は經濟界の恐慌と相俟つて益々深刻を加へんとする傾向を示してゐる、しかしながら農村の中堅たる青年精農が進んで耕作技術の改善と農業經營方法の合理的革新に努むるものあらば農村の振興は敢て至難でないことは、年來本協會が獎勵し來つた多收穫の成績と顯彰した精農並に農事組合の實績とによつて明白であつて何等疑ふべき餘地はない。

本協會はこの見地により昨夏第一回農業改善研究會を愛知縣安城町に開催し全國の優秀なる農村青年百四十名に一切の費用を給して一週間の講習と、同地獨得の農業組織の完備と卓越せる方法を實習體驗せしむるところがあつた。これ等講習生は今や郷黨に於て農業改善の急先鋒となり又核心となり農業の改善に精進を續けて居るのであるが、本協會は更にその好果に鑑み第二回の農業改善研究會を左記要領によつて再び同地に開催し以つて全國的に農業經營改善の氣運を助長し那家農村の隆興に寄與せんことを期する次第である。

講習生たる證明書、作業服、毛布、浴衣各一、鉛筆其他

▽日 程

▽第一日 (八月十日) 會場 安城農林學校
 講義 富民協會の目的と使命 午前八、三〇—九、三〇
 主 事 西村 健 吉氏
 講義 昭和青年の使命 午前九、三〇—三、〇〇
 法學博士 岡 實氏
 農 談 會 午後七、三〇—九、三〇

▽第二日 (八月十一日) 會場 安城町農會館
 開 會 式 午前八、三〇—九、〇〇
 精農家、優良農事組合表彰式 午前九、〇〇—一〇、三〇
 講義 新時代の農業經營(第一講) 午前一〇、三〇—一二、三〇
 農學博士 橋本 傳左衛門氏
 講義 新時代の農業經營(第二講) 午後一、〇〇—三、三〇
 農學博士 橋本 傳左衛門氏
 實習 青果共同出荷(安城町農會) 午後三、〇〇—四、〇〇
 愛知縣農會技手 寺 田 專 治氏
 産業組合の經營(碧海郡産業組合會館) 午後四、〇〇—五、〇〇
 碧海産業組合聯合會長 岩 瀬 和 市氏

▽第三日 (八月十二日)
 講義 農 業 と 經 濟 午前八、〇〇—一二、三〇
 大阪毎日新聞經濟部長 下 田 將 美氏
 實習 稻作の實際(縣立農事試驗場) 午後〇、三〇—三、〇〇
 愛知縣立農事試驗場技師 岩 槻 信 治氏

農場の經營(板倉農場)

午後三、三〇—六、〇〇
板倉源太郎氏

▽第四日 (八月十三日)

實習 有畜農業の經營(縣立種畜場)

午前八、三〇—午後五、〇〇
縣立種畜場長 參木晋七郎氏
午後七、三〇—九、〇〇
同 七、三〇—八、三〇

講演 水稻の多收穫

富民協會技師 手島新十郎氏

▽第五日 (八月十四日)

講義 農 村 自 治

午前八、〇〇—二、三〇
山崎延吉氏

見學 碧海郡卵卵組合、滿鐵飼料研究所、鶏肉加工場等

實習 養鶏の經營と管理(今養鶏組合)

午後二、〇〇—二、三〇
午後四、〇〇—五、三〇
組合長 高見林 藏氏

▽第六日 (八月十五日)

講義 農事實行組合の經營

午前八、〇〇—二、三〇
香月秀雄氏

實習 町村農會の經營(安城町農會)

午後一、〇〇—二、三〇
岡田庄太郎氏

見學 三河食品會社、横山梨園、赤松産業組合、其他

▽第七日 (八月十六日)

安城出發 午前七、二、名古屋着 午前八、〇〇、名古屋發 午前八、

五、宇治山田着 午前二、三〇

伊勢神宮參拜、徵古館及附設農業館拜觀、講演、神宮御親謁活

動寫真映寫

修了證書授與式(徵古館)

隨意 解散

▽講習生 氏名

座席番號 住 所 氏 名 年齡

- 一 東京府北豐島郡石神井村關 櫻井源一 二七
- 二 同 南葛飾郡瑞江村二之江 宇田川嘉一郎 二九
- 三 京都府久世郡御牧村東一口 中井四郎平 二七
- 四 同 竹野郡深田村黒部 梅原一夫 二五
- 五 大阪府豐能郡箕面村新稻 平井利作 二九
- 六 同 三島郡三箇牧村西面 松本治作 二四
- 七 神奈川縣鎌倉郡村岡村彌勤寺 加藤庄太郎 二五
- 八 同 愛甲郡愛川村半原 佐々木正次 二六
- 九 兵庫縣水上郡國領村國領 細見倫一郎 二六
- 〇 同 美濃郡奥吉川村 衣笠慶治 二四
- 一 同 養父郡建屋村三谷 村上治一郎 二六
- 二 長崎縣西彼杵郡雪ノ浦村下鎌 麻生伸夫 二五
- 三 同 北高來郡長田村西長田 古川勝秋 二二
- 四 同 壹岐郡田河村深江 柳田 闇 二三
- 五 新潟縣中蒲原郡小合村大鹿 石月謙造 二七
- 六 同 刈羽郡南鑄石村石曾根 砂塚 實 二三
- 七 同 南魚沼郡浦佐村五箇 小島 熊雄 二五

- 一 埼玉縣北足立郡箕田村箕田 金井 武夫 二六
- 二 同 比企郡菅谷村志賀元 島崎 莊平 二五
- 三 同 北埼玉郡三俣村多門寺 吉野 幸 二六
- 四 群馬縣勢多郡木瀬村野中 深谷 進次 二三
- 五 同 新田郡寶泉村藤阿久 野村 勇 二三
- 六 同 吾妻郡名久田村横尾 劍持 克己 二七
- 七 千葉縣君津郡中郷村有吉 栗原 清文 二七
- 八 同 香取郡萬歳村溝原 渡邊 新一 二九
- 九 同 印旛郡富里村日吉倉 石原 武夫 二三
- 一〇 茨城縣東茨城郡下中妻村杉崎 谷津 一男 二七
- 一一 同 稻敷郡長戸村半田 本橋 達夫 三〇
- 一二 同 筑波郡板橋村大和田 片岡 忠三 二五
- 一三 栃木縣上都賀郡日光町北和泉 手塚 忠四郎 二七
- 一四 同 芳賀郡益子町塙 吉田 友市 二二
- 一五 同 下都賀郡國分村小金井 稻葉 敏 二五
- 一六 奈良縣添上郡治道村新庄 森田 茂 二二
- 一七 同 磯城郡多村秦庄 秦 英雄 二五
- 一八 三重縣三重郡縣村赤水 羽木 秀生 二九
- 一九 同 名賀郡阿保村阿保 柴田 正次 二四
- 二〇 同 一志郡豐地村島田 多賀 義作 二二
- 二一 愛知縣南設楽郡東郷村矢部 鹽瀨 稻造 二三
- 二二 同 碧海郡安城町赤松 林 政一 二八
- 二三 同 海部郡立田村立田 伊藤 信一 三〇
- 二四 靜岡縣駿東郡清水村米田 山本 勝男 二八
- 二五 同 阿部郡長田村間敷地 鈴木 利作 二八

- 一 同 榛原郡初倉村大柳 河村七太郎 二四
- 二 同 山梨縣中巨摩郡玉幡村西八幡 清水 内明 三〇
- 三 同 東山梨郡岡部村 島田 清 二七
- 四 滋賀縣野洲郡中洲村小濱 西村 早信 三〇
- 五 同 甲賀郡大原村櫛野 奥村 丑太郎 三〇
- 六 岐阜縣羽島郡下中島村石田 松永 忠雄 二五
- 七 同 揖斐郡宮地村舟子 野原 秀夫 二三
- 八 同 加茂郡飯地村 平井 士太一 二六
- 九 長野縣西筑摩郡木祖村小木曾 川上 清 二七
- 一〇 同 上高井郡小布施村 小林 武雄 二五
- 一一 同 南佐久郡野澤町高柳 平林 近登 二七
- 一二 宮城縣遠田郡富永村馬放 本田 忠志 二六
- 一三 同 名取郡館腰村本郷 大友 安治 二〇
- 一四 同 桃生郡鷹來村小松 菅原 勇喜 二八
- 一五 福島縣北會津郡指村北四合 渡邊 武雄 二七
- 一六 同 安達郡澁川村米澤 渡邊 金吉 二四
- 一七 同 相馬郡八幡村成田 藤卷 幸一 二二
- 一八 岩手縣岩手郡本宮村向中野 佐藤 勝郎 二四
- 一九 同 膽澤郡佐倉河村宇佐 及川 金二郎 二三
- 二〇 同 東盤井郡摺澤村金山澤 菊池 穰 二九
- 二一 青森縣南津輕郡町居村山元 今井 權四郎 三〇
- 二二 同 三戸郡向村大向 工藤 助六 二八
- 二三 山形縣飽海郡藤岡村小松 土門 治郎吉 二八
- 二四 同 東村山郡金井村吉野宿 會田 俊雄 二四
- 二五 同 最上郡舟形村舟形 沼澤 秀雄 二三

六	秋田縣仙北郡西明寺村西明寺	梁田 一夫 二二一
七	北秋田郡米内澤町本城館之下	佐藤 與之助 二二五
八	南秋田郡上新城村五十丁	佐藤 誠悦 二二二
九	福井縣丹生郡豐村島井	淺野 孝信 二二二
一〇	三方郡八村南前川	藤本 宇一 二一九
一一	石川縣羽咋郡下甘田村福井口	石間 正良 二二五
一二	石川縣富奥村粟田新保己	西野 興作 二二七
一三	富山縣下新川郡大布施村柵澤	開澤 信義 二二九
一四	東礪波郡北盤若村吉住	出村 政一 二二八
一五	鳥取縣米子市西大谷	吉井 泰治 三〇〇
一六	東伯郡伊勢崎村中尾	古谷 信夫 二二三
一七	島根縣能義郡赤江村下坂田	野田 耕作 二一九
一八	美濃郡豐田村安富	椋 芳夫 二二三
一九	岡山縣吉備郡生石村三手	笹井 一二 二二七
二〇	兒島郡灘崎村彦崎	河田 末光 二二五
二一	呂久郡朝日村東片岡	山本 陽一 二二一
二二	廣島縣山縣郡加計町加計	佐々木 壽人 二二六
二三	比婆郡比和村三河内	鞍掛 昇 三〇〇
二四	神石郡仙養村	川上 正明 二二三
二五	山口縣都濃郡須々萬村本郷	杉村 壽 二二五
二六	阿武郡奈古村木與	水津 幹男 二二八
二七	和歌山縣日高郡印南町印南	鹽田 光實 二二七
二八	那賀郡西貴志村西山	西川 一男 二二九
二九	德島縣阿波郡大俣村日開谷	川井 辰二 二二一
三〇	名西郡高原村	重本 三彌 二一九

三一	香川縣三豐郡比地二村比地中	藤田 茂 二二五
三二	木田郡十河村東十河	久保 實次 二二八
三三	愛媛縣喜多郡南久米村久保	清水 憲義 二二九
三四	周桑郡吉井村石田	眞鍋 眞次郎 二二九
三五	西宇和郡吉田村吉間	毛利 道明 二二七
三六	高知縣幡多郡三崎村三崎	矢野川 靜雄 二二五
三七	土佐郡森村和田	和田 義秋 三〇〇
三八	福岡縣宗像郡田島村田島	吉田 昌夫 二二五
三九	浮羽郡竹野村三明寺	右田 軍三 二二七
四〇	京都郡豐津村彦徳	進 眞 三〇〇
四一	大分縣東國東郡上國崎村下成佛	溝部 義勇 二二七
四二	玖珠郡森町岩室	梶原 景喜 三〇〇
四三	宇佐郡四日市町吉松	廣島 文生 二二三
四四	佐賀縣佐賀郡高木瀬村長瀬	野口 藤太郎 二二七
四五	小城郡多久村	陣内 繁 二二八
四六	熊本縣天草郡下津浦村	佐々木 榮 二二四
四七	鹿本郡嶽間村權持	浦田 實 二二九
四八	下益城郡豐野村山崎	丸田 眞實 二二五
四九	宮崎縣南那珂郡南郷村谷	小坂 武次 二二三
五〇	北諸縣郡中郷村安久	永山 利夫 二二九
五一	鹿兒島縣始良郡横川村	上野 光 二二八
五二	伊佐郡大口町目丸	永吉 作内 二二八
五三	川邊郡勝田村内山田	中國 國哉 二二四

一六	大阪府泉南郡北中通村上瓦屋	泉州富民 松浪 増太郎 二二三
一七	福島縣相馬郡福浦村耳谷	相馬同 菅原 亨 二一九
一八	埼玉縣北埼玉郡中條村今井	北埼玉同 曾根 藤七 二二二
一九	岡山縣兒島郡藤田村	備南同 可兒 助一 二二四
二〇	島根縣海士郡海士村海士	隱岐島同 多久和憲 三二八
二一	宮城縣刈田郡園田村曲竹	園田同 松崎 寛治 二二三
二二	和歌山縣伊都郡笠田町萩原	笠田同 大崎 清一 二二五
二三	島根縣大原郡神原村宇治	西部同 多々納 忠一 二二三
二四	兵庫縣出石郡高橋村栗尾	高橋同 田中 幸一 二二四
二五	廣島縣深安郡大津野村大門	大津野同 神原 操 二二四
二六	新潟縣中蒲原郡五泉町能代	五泉郷同 關塚 衛吉 二二九
二七	大分縣直入郡宮砥村	宮砥同 甲斐 清士 二二九
二八	京都府熊野郡川上村	川上同 橋本 松治 二二九
二九	石川縣鹿兒郡越路村徳前	越路同 笠間 禎治 二二六
三〇	福井縣三方郡耳村中寺	三方同 杉木 榮太郎 二二九
三一	中華民國湖南省長沙縣	黃 明 二二八
三二	宮崎縣北諸縣郡山出口村富吉	松元 義實 二二三

第三回

▽開設の趣旨

農村の不況愈々深刻を加ふる那家の現況を深憂し昭和五年本協會は敢

▽注 惠 要 項 (第一回と同じ)

然起つて農業改善研究會を日本丁抹の稱ある愛知縣碧海郡安城町に開催し、全日本農村の中堅をなす青年精農百四十名の推薦を全國府縣知事に委嘱し、これに旅費滞在費の一切を支給して一週間の講習と、同地方獨特の農業經營を實習體驗せしむるところがあつた。本協會のこの壯舉は著々効を奏し今日までに前後二回全國二百六十名の修了者を出し、これ等の同志によつて日本農業改善聯盟を組織し、全國的に農業改善の氣運を醸成しつゝある。こゝにおいて本協會は、三度農業改善研究會を開設し全日本の山野に農村不況一掃を目的とする農業經營改善の炬火をあげ以つて那家農村の隆興に寄與せんことを期するものである。

▽規 程

會期 昭和七年八月十七日より一週間
會場 愛知縣碧海郡安城町安城農林學校
資格 研究會に出席すべき講習生は左記の條件を具備し府縣知事の推薦を得たる一府縣二名乃至三名に限る
定員三名(農家人口五十萬以上)の縣 岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、新潟、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、兵庫、岡山、廣島、愛媛、福岡、長崎、熊本、大分、鹿兒島
定員一名(農家人口五十萬以下)の府縣 青森、東京、神奈川、富山、石川、福井、山梨、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、鳥取、島根、山口、徳島、香川、高知、佐賀、宮崎、沖縄

イ、現在農業に従事し將來引續き農業に従事する意志鞏固にして一般農家の範たること
ロ、年齢滿二十歳以上三十歳以下の身體強壯なるものたること

ハ、講習終了後地方の農業改善を指導し且つその成績を報告し得るものたること

特典 講習生の汽車汽船の乗車船地より大阪を経て安城驛に至る往復船車賃及講習期間中の滞在費一切を本協會に於て支辨す
但し旅程の迂回をなしたるもの、鐵道割引券を使用せざるもの、並に電車自動車賃等はこれを支給せず
到着 講習生たることの承認を得たるものは八月十七日午前八時半までに集合所に到着すべし
但し到着後と雖も左記の事項に該當する時は講習生たる特典を取消し、又は往復旅費其他一切の費用を支辨せざることをあるべし
イ、正當の事由なくして第一日の集合所に遅参したる時
ロ、到着後においてその資格を欠くところあることを發見したるとき
講習生は講習生たる證明書、作業服、毛布、浴衣、各一、鉛筆其他を携帶すべし

▽第一日 (八月十七日)
開會式 (農業博物館樓上) 午前九、〇〇—十、〇〇
大阪驛發 午後〇、三〇—三、〇〇 安城着 午後六、三〇—六、四〇
▽第二日 (八月十八日) 會場 安城農林學校
講義 新時代の農業經營 午前八、〇〇—十、〇〇
農學博士 橋本傳左衛門氏
休 憩 (十五分間) 午前〇、五—二、〇〇
講義 富民協會の目的と使命

安城農林學校長 富田文雄氏
實習 産業組合の經營 (碧海郡産業組合聯合會) 午後二、〇〇—三、〇〇
碧海郡産業組合聯合會長 岩瀬和 氏
見學 横山梨園その他 午後三、〇〇—五、〇〇
集 會 午後七、〇〇—九、〇〇
▽第六日 (八月廿二日) 於愛知縣立種畜場
講義 有畜農業の經營 午前八、〇〇—十、〇〇
實習 同 午前〇、三〇—午後五、〇〇
懇 親 會 午後七、〇〇—十、〇〇
▽第七日 (八月廿三日)
講義 農業と經濟 午前八、〇〇—二、〇〇
經濟學博士 阿部賢一氏
修了證書授與式 午後一、〇〇—二、〇〇
隨 意 解 散

▽講習生氏名

座席番號	住 所	氏 名	年 齡
一	青森縣西津輕郡森田村山田雲崎	七戸 純造	二二
二	東津輕郡蓬田村長科	張間 龜男	二六
三	岩手縣上閉伊郡綾織村綾織	瀨川 義美	二〇
四	和賀郡江釣子村江釣子	菊池 金次郎	三〇
五	裨貫郡八幡村西中島	晴山 亮一	二五
六	宮城縣志田郡高倉村中澤	柏倉 軍吉	二八
七	栗原郡若柳町川北中谷地	佐藤 軍太郎	二七
八	亘理郡坂元村眞庭上臺	横尾 誠一	二四

主 事 西村健吉氏
午後一、〇〇—三、〇〇

實習 鶏卵共同出荷荷造り (赤松信用販賣購買利用組合)
見學 三河食品株式會社、溝鐵飼料研究所等 午後三、三〇—六、〇〇
集 會 午後六、〇〇—七、三〇
京都府、上羽竹藏氏養蠶經營講話 午後七、三〇—九、三〇
▽第三日 (八月十九日)
講義 農事實行組合の經營 午前八、〇〇—二、〇〇
折目 六右衛門氏
午後〇、三〇—二、〇〇
見學 愛知縣立農事試驗場 午後二、三〇—五、〇〇
實習 農場の經營 (板倉農場) 午後七、三〇—九、〇〇
茶 話 會 午後七、三〇—九、〇〇
板倉源太郎氏

▽第四日 (八月二十日)
講義 農村自治 午前八、〇〇—二、〇〇
山崎延吉氏
見學 碧海郡鷺野組合、鶏肉加工場等 午後二、〇〇—三、〇〇
實習 養鶏の經營と管理 (今養鶏組合) 午後三、〇〇—五、〇〇
集 會 午後七、〇〇—九、〇〇
講演 水稻多收穫 午後七、〇〇—八、〇〇
富民協會技師 手島新十郎氏

▽第五日 (八月廿一日)
講義 農民の生くる道 午前八、三〇—二、〇〇
松本喜作氏
午後〇、三〇—二、〇〇
講演 碧海郡の農業經營

九	秋田縣鹿角郡柴平村平元	兔澤 俊男	二四
〇	同 由利郡平澤町三森	鉛屋 利一	二八
一	同 平鹿郡吉田村上吉田間内	公地 親種	二七
二	山形縣西村山郡谷地町六七	矢作 兼吉	二八
三	同 北村山郡楯岡町湯澤	佐藤 俊雄	二七
四	同 東置賜郡上郷村川井	安部 忠内	二七
五	福島縣雙葉郡大野村野上	杉内 進	二九
六	同 河沼郡金上村福原	齋藤 實	二六
七	同 安積郡富田村池向	横山 清	二一
八	茨城縣那珂郡勝田村勝倉	武石 熊男	二八
九	同 行方郡延方村	小松崎 茂	二〇
〇	同 眞壁郡下館町乙二八二	杉山 剛	二七
一	栃木縣河内郡平石村下平出	野口 俊	二二
二	同 鹽谷郡氏家町馬場	小堀 市郎	三〇
三	同 安蘇郡三好村戸室	龜田 半	二九
四	群馬縣碓氷郡原市町梁瀬	小森谷 武雄	二八
五	同 佐波郡上陽村飯塚	宇津本 利平	二四
六	同 利根郡薄根村善桂寺	松井 彦一	二三
七	同 埼玉縣北足立郡石戸村下石戸下	鈴木 敬	二七
八	同 入間郡高麗村楡木	石井 紋彌	二五
九	同 北葛飾郡靜村高柳	渡邊 啓市郎	二八
〇	千葉縣山武郡鳴濱村白幡	岩澤 元久	二二
一	同 長生郡豐榮村本台	宮崎 茂一	二六
二	同 市原郡高瀧村高瀧	前田 連太郎	二八
三	東京府南多摩郡七生村落川	朝倉 昭郎	二九

一〇 東京府北豊島郡志村志
 一〇 神奈川縣高座郡有馬村杉久保
 一〇 足柄下郡足柄村久野
 一〇 新潟縣西蒲原郡小池村小關
 一〇 古志郡土組村宮内
 一〇 岩船郡山邊里村西興屋
 一〇 富山縣中新川郡釜ヶ淵村末三賀
 一〇 西礪波郡西五位村土屋
 一〇 石川縣江沼郡東谷口村塔尾
 一〇 鳳至郡鶴川村本木
 一〇 福井縣大飯郡高濱町立石
 一〇 南條郡南日野村脇本
 一〇 山梨縣北巨摩郡甲村
 一〇 西山梨郡玉諸村
 一〇 長野縣更科郡中津村今井
 一〇 上水内郡水内村水内
 一〇 諏訪郡北山村
 一〇 岐阜縣安八郡仁木村
 一〇 本巢郡船木村
 一〇 益田郡下呂町
 一〇 靜岡縣田方郡錦田村川原ヶ谷
 一〇 濱名郡芳川村
 一〇 志太郡西益津村郡
 一〇 愛知縣幡豆郡幡豆町西幡豆
 一〇 海部郡永和村大井

大野順四郎 二四
 木島久登 二二
 奥津治良右衛門 二六
 高山泰輔 二六
 五十嵐英一 二六
 青山彌十郎 二二
 種田美則 二九
 山岸俊正 二四
 東出清英 二一
 竹内久雄 二三
 一瀬直一 三〇
 今村英夫 二六
 櫻木壽秋 二四
 中澤孝鷹 二八
 島田忠司 二七
 關崎房太郎 二五
 萩原三吉 二五
 森島多藏 二二
 加藤泰造 二四
 二村勘一郎 二五
 加藤喜作 三〇
 小島啓次 二二
 渡邊正男 二四
 牧野健吉 二八
 加賀惇 二九

一〇 愛知縣額田郡幸田村菅谷
 一〇 三重縣桑名郡野花村下野花
 一〇 多氣郡津田村牧
 一〇 南牟婁郡神志山村久生屋
 一〇 滋賀縣蒲生郡金田村上田
 一〇 阪田郡南郷里村南田附
 一〇 京都府天田郡上夜久野村直見
 一〇 與謝郡朝妻村峠
 一〇 大阪府北河内郡四條畷村清瀧
 一〇 泉北郡深井村深井
 一〇 兵庫縣宍粟郡神戶村西安積
 一〇 川邊郡園田村森
 一〇 加西郡賀茂村山下
 一〇 奈良縣山邊村豊原村三ヶ谷
 一〇 宇陀郡内牧村高井
 一〇 和歌山縣有田郡保田村下中島
 一〇 那賀郡田中村西大井
 一〇 鳥取縣八頭郡國英村徳吉
 一〇 日野郡一部村福居
 一〇 島根縣邑智郡市木村
 一〇 仁田多郡島上村大呂
 一〇 岡山縣赤盤郡濁瀬村江尻
 一〇 上房郡巨瀬村
 一〇 勝田郡豊田村廣岡
 一〇 廣島縣高田郡丹比村

山田俊彦 二六
 鳥居辰美 二八
 西村清一 二五
 前田良夫 二五
 小西善雄 二五
 泉惣之吉 三〇
 安達千尋 二五
 谷川俊一 二七
 中尾重一 二四
 田端國太郎 二八
 中村善太郎 三〇
 松本俊一 三〇
 中川勝美 二三
 高森益雄 二七
 津田重三 二七
 川島功 二五
 大井徳成 二五
 東田一雄 二五
 石江一廣 二二
 岡野正旗 二八
 小林虎之助 三〇
 鹽見貞男 二七
 難波泰一 二六
 鈴木重之 二四
 木村逸吾 二五

一〇 廣島縣御調郡栗原町
 一〇 甲奴郡矢野村
 一〇 山口縣玖珂郡通津村
 一〇 美禰郡大田町
 一〇 徳島縣勝浦郡小松島町中田
 一〇 板野郡大津村大幸
 一〇 香川縣綾歌郡坂本村坂元
 一〇 愛媛縣宇摩郡上分町一〇四
 一〇 越智郡菊間町濱
 一〇 南宇和郡一本松村増田
 一〇 高知縣高岡郡松葉川村七里
 一〇 吾川郡諸木村西諸木
 一〇 福崎縣筑紫郡三宅村清水
 一〇 企救郡東谷村木下
 一〇 八女郡川崎村山内
 一〇 佐賀縣杵島郡北有明村遠江
 一〇 三養基郡南茂安村天建寺
 一〇 長崎縣長崎市大浦元町二二六
 一〇 南高來郡神代村
 一〇 南高來郡山田村已
 一〇 熊本縣玉名郡大濱町三五七六
 一〇 下益城郡豊野村山崎
 一〇 球磨郡多良木町中原
 一〇 大分縣速見郡上村
 一〇 大野郡今市村

細谷義光 二五
 川上利久太 二四
 村重學而 二七
 倉重榮一 三〇
 澤村鯉一郎 三〇
 龜川正晴 二八
 小林正一 三〇
 長野保之 二五
 岡田薫 二二
 稻田卓一 二七
 黒田豊運 二二
 山下重喜 二七
 明永久三郎 二六
 溝口連 三〇
 櫻木次雄 二五
 關忠次 二二
 副島彌作 二二
 松尾正二 二〇
 成瀬里一 三〇
 今林秀男 二〇
 本田友一 三〇
 丸田眞實 二六
 吉岡登 二六
 渡邊悟 二六
 甲斐榮馬 二九

一〇 大分縣北海郡大在村
 一〇 宮崎縣東諸縣郡倉岡村系原
 一〇 西諸岡郡高原村浦牟田
 一〇 鹿兒島縣出水郡米之津町下知識
 一〇 川邊郡萬世町小湊
 一〇 薩摩郡高江村高江
 一〇 沖繩縣國頭郡名護町名護
 一〇 島尻郡重東平村東風

湯田富民研究會
 愛治同
 木津同
 方城同
 筆岡同
 多氣同
 北茂安同
 山東同
 摺澤同
 大澤同
 多村同
 清水同
 川東同

加藤誓 二二
 西川忠男 二二
 島中仁 二六
 本藤岩夫 二四
 須藤秀雄 二三
 瀧本恒一 二八
 檜枝市松 二三
 高岡藤之助 二〇
 松川正 三〇
 下西嘉夫 二五
 宮西好章 二五
 渡邊勳 二四
 北野隆治 二五

▽注意 要項 (第一回に同じ)

講習生の報告

◎注意(氏名下の数字は各終了回数を示す)

感激を新たに

青森縣

青森縣北津輕郡 三好村鶴ヶ岡 開米芳雄 一

昭和五年第一回農業改善講習會に縣の選抜を経て出席し、實際格別の御懇篤な御指導を賜り、衷心より深甚なる感謝を申述べます、小生その後、幾多の農事指導並に研究を重ねた結果、今日においては相當の進歩發達を認め自分ながら心から喜んでゐる次第でございます、これも講習會講師方々の御指導の賜と心から感謝の念が湧き出るのであります。研究會へ到着當事われ／＼の耳目を驚かしたのは女子供に至る迄自轉車で走つて業務に忙しい様子を見た事です。

次には安城における稲作であります。あの瘠薄な土地の割合には東北地方に比すると天恵の豊かな關係もあるが又労働に精進する結果に外ならないのであります。殊に板倉源太郎氏の農場とその施設の如きはわれ／＼の驚かざるを得ないものがあります。日夜間断なく骨身を惜まらず農業經營を計画的に實行してゐることは感激致しました。

第一私の村は今後の農業經營に一大改善をなし多角形農業の普及に力を入れ、奨励をしなければならんことを今更ながら痛感せざるを得ません。今後は一般農民も相當に考へるだらうと觀察されます。

般の状態を見學の機會を興へられ、幾多の特色に富める鶏卵の組織的共同出荷、荷造法それに伴ふて總ての點において多角形經營並に協同精神の完全を期し居ること、なほ日本一の精農家板倉源太郎氏の農場の經營はその努力の分配は勿論自然を最も合理的に利用したものであつて、同氏より無言の儘に偉大なる感化を受けた等々挙げられないほどであります。

また愛知縣立種畜場の典型的ともいふべき有畜農業、同場長が先頭に立つて理論と實際に亘つて場員と寢食を共にして働いてをられることは感服しました。

現下の深刻なる不況時に處しては個々養蠶家の經營統制に依る改善施設に俟つべき事項が頗る多いので私は本村を主體として少數の栽培家と協議し(研究會出席を動機として)養蠶實行組合の設立に奔走中です。また本村青年分團に農事部を新設し、毎月一回夜集合し農業經營改善の實行を期すべく活動中です。

私の感激した點

青森縣東津輕郡 蓬田村長科 張問龜 男

講習見學中感激したことは研究會の係員の熱心で親切であつたことであります。

また講習中に感激したことは愛知縣立種畜場の堆肥製造講習と場長が先頭になつて働いてをられたことであり、またわれ／＼の學ぶべきところであると共に感激に堪へないところでもあります。

次に研究會出席において、當地の農家で第二に改善を加へる必要を感じたのは副業の奨励であります。殊に稲作專業なるため稲作收穫後においての収入は皆無で副業として薬加工品及び養鶏、養豚等、飼育の奨励をなした結果、今日においては相當の成績を見るに至りました。薬加工品としては主に筵、叭等の如きものであります。第三には自給肥料の施用、これには堆肥の製造法の講習會及び實地指導をなし毎月ごとに指導した結果今日においては金肥の購入は僅少にて間に合ふこととなりまして、本年も天災さへ免れ得たならば反當普通四石位は出來るといふ確信がありました。他には遺憾ながら水害のため收穫皆無となり、血涙を吞む感があります。他に副業として養鶏は最初の間は殆んど欠損で利益はとても見事が出来なかつたが、色々と飼養法に改善を加へた結果、飼料を多く求めずに自給飼料で飼育する方針にかへました。殊にくず米また綠草等を以つて飼養する現在では相當の成績を見るに至りました。一家二、三十羽位は殆んど飼養してをりますが、今後においては尙一層の發展を期する事を期待致してをります。安城より歸つてからは農産物品評會を年一回催し栽培技術の向上を期しました。ゆゑ、實に驚く程のもの計り生産し得るやうになりました。そのため野菜の収入は一反歩で多きは百圓内外に達したのもあります。

未だ耳にして目に見ぬ農業博物館を見學して驚いたことは經濟を度外視して莫大な費用を投じ、各部門に亘つてその完備を期してをることです。講習會で感じたことは愛知縣安城では經營の模範たる碧海郡農業各

養蠶組合の建設に

青森縣西津輕郡 森田村山田雲崎 七戸純造 三

岩手縣

報恩の念に向つて

岩手縣紫波郡 不動村白澤 藤原善一 一

第一回の農業改善講習會に出席してはや三回目秋の稔りを取り入れるに際して何等富民協會の御期待にそふべき事績も挙げ得ないことを遺憾に思ふのであるが、今猶安城における印象は憧憬の的となつて折もあらば今一度精細な視察がしたいと常に考へてをります。單に米を作るだけの農會、米を販賣し肥料を買入れ資金を融通するのみの産業組合なら取て安城を學ばずとも吾村においても相當好成績を以つて活動はしてゐるが、彼の多角的農業經營による各種農産物の生産から販賣加工にいたるまで、整然と有利に統制づけられてゐるところは全く驚かざるを得なかつたのです。しかもかく學郡一致活氣ある模範村を築き得た源は何であらう。私は思ふ、明治維新の大業は大抵吉田松隆先生の門下によつて成遂げられた如く、碧海郡のデンマークは山崎先生の薫陶によつて築きあげられたのではないでせうか。

農村の興隆は地味風土より先づ人間の自覺にあり、すなはち教育の力を相俟たねばならぬと熟考へさせられたのであります。自分は光榮にも東北の一寒村から遠く農業組織經營の最も進歩せる安城の地に、本山先生の御好意によつて、一週間の講習見學を受けたことは、思ひ返せば意義深きことであります。しかし微力の悲しさに、われは一農村夫に過ぎず、また一農夫を以つて將來とも立たんと欲するもので、農村教育、農村計畫云々といふことはたゞ一つの主張として談するだけで、自

ら陣頭にたつてその任に當る譯にゆかず、自分の天職に立脚して山崎先生の農民道を辨へ、橋本先生のお説にしたがつて一意農業經營の改善に努力し、せめてわが油田農事組合だけは、折目式を以つて指導して行かう、これが歸途につく私の決心でありました。幸ひ自分の經營状態は板倉さんに似通つた點もあるので、極力板倉さんを範として三年の精進を續けて來ました。本年東北地方における富民協會の米多收穫競争にも參加の榮を擔ひ、農事組合にしても共同苗代、共同農具施設等々實績を擧げてはゐます。この夏十名の日本農業改善聯盟岩手支部員が去九月一日一堂に合して農業改善の大旗を掲げたことは、如何に縣下農民に反響を與へたことであらうか。思へばわれ／＼の責任愈々重大なるを感ずるがしかし急ぐこと、功にはしることは自分の好むところではない、飽迄百姓の本領を發揮して着實穩健に、富民協會及び本山先生に對し萬分の一の報恩に志す次第であります。

多角形農業の一路へ

岩手縣江刺郡 和賀 武 則 一
岩谷堂町字小境

山崎先生の御講演に農民は全國民の過半数を有しながら政策に恵まれぬとは農村が政黨に操縦され自己農民の生くべき道の自覺の不足から團結が薄弱であり、従つて農村の不況は農民自ら打開すべきものであると御教示されたことを深く感じ今日まで實現に努力してをります。

顧みれば愛知縣種畜場において場長を始め各職員早朝の出勤時刻より歸宅時限まで講習生と同様に汗して各職務に御熱心なる状況に感激しました。農村の各種中等學校、各試験場がかくの如き努力を見るならば講習生のみならず、農家よりも如何に敬慕され、各方面の宣傳も農民の信

黎明に輝く村へ

岩手縣東磐井郡 菊池 穰 二
指澤村字金山澤一九

講習中或は講習見學中に受けた感激は數知れぬ程ありますが、何といつても愛知縣種畜場の講習生養成には感心させられました。農村不況農家窮乏のどん底に深く沈み行く時この更生對策は多種多様あらうが農村振興の根本問題は直接農事に従事する農村青年の徹底的實際教育の外にないと信じてゐました。その時この徹底的勤勞振りと指導振りは實に私として感激の極みでありました。あらゆる事業の革新發展はその中心となる人物に左右され、その振興は斷じて金力ではなくて、人間の力によるのです。彼の瘠せ切つた赤松の生へた平原地の中に天が百姓に與へた試練を完全に果して廣漠たる立派な耕地と作物を出現せしめ、しかも勤勞努力を生命とし、農民精神の擴充せる全職員に依つて講習生も信念と確信とを把持した堅實なる人物となり、かくして修養を積み農村に歸つて中堅になつて活躍するのだといふ事はつきり自覺されました。實にかくあつてこそ有畜農業の經營の模範場であり幾億圓の救済金に勝る農村振興の根本策の實現であると感激するものです。

▽ 私はその後勤勞主義に立脚し家族全員勞働に従事し勞力の調節を計り生産の増加と支出の節減を計りました。

從來老人や子弟は養蠶期や忙がしい時僅に働く位でありましたが、この欠點を除くために小家畜として兎三十四、鶏五十羽を飼養し、更に蔬菜栽培を擔當せしめました。これにより從來の兒童の學費もことごとく農業収入金より出費してゐたが、學資金の外一ヶ年間に約百五十圓位農

用する處となりませう。

▽ 私の宅では馬を飼育してゐますが、安城附近の牛の使役状況を見て感ずるところあり、馬を廢し、同年秋より二歳雌雄牛二頭を飼育し、今年七月仔牛を分娩し牛乳を自家用としてゐます。飼育簡單にして利用多く廢牛處分の時價格を失はぬ等にて非常に好人氣を得てをります。

多角形農業の端緒として養蠶二十五羽、結球白菜栽培面積一反八畝歩豫想收量二千五百貫、一貫當價格四錢とし壹百圓の粗収入を擧げんとしてゐます。苹果と洋梨四反歩を植付、來年より多少結果を見るべく、決然としてこの不況を打開せんと努力してをります。

また昭和二年春當郡に農家組合を組織し、産業組合の設立なき部落のため活動せんと計畫し組合員十七人、出資金千五百圓の一部を以て木造倉庫と事務所を兼ねた建物を建て、生産米は悉く郡農會の斡旋に應ぜられるやうに俵装し、年々五百俵を味のよい江刺米として中央へ直移出し、また肥料は共同購入する等、着々自分の信念を實地に實現して來ましたが研究會出席後は多角形農業に改善せんと方向を轉換し、苹果、洋梨の組合員植付面積四町歩、結球白菜栽培面積一町五反歩、玉葱植付面積一町歩、秋早生甘藍栽培面積七反歩で昨年は白菜の値段良好なため中央市場に出荷した成績は一貫當五錢、出荷量六千五百貫、此代金三百二十五圓、地元市場へも同價格以上で販賣することを得ました。玉葱は一貫當二十錢内外にて地元で消化され、殆んど移入品を防止せんとしてゐます。秋早生甘藍は春甘藍と秋甘藍の中間に市場へ供給するので一貫當八錢にて各品種共成績よく組合員益々奮闘し、農村不況切抜けも容易ならんとするの状況であります。

業収入の増加を見、飲食費の出費は約四割減の見込となりました。なほ自給肥料の増産によつて、金肥購入金も本年は三十八圓減少し、農産品は約一割五分増産の見込であります。

當地方は山間の僻地で水田が少く畑地より生産される主食物として大麥、小麥を栽培せられてゐたが、連年寒害により食料の自給を圖り得ないものが多いのと現金収入の少ないため生活の極度に窮したものの多き實況にかんがみ有利な代用食による外に道がないと信じ馬鈴薯栽培を試み、これより薯米製造をしてこれを食し、現在非常な良成績を示してゐます。

私は只今農家組合の組合長として部落共同團結心の養成に努め農業經營の綜合的改善に努めてゐますが、その改善事項は米、麥、大豆の多收穫をなし昨年村農會團體競進會に於て優勝の成績を擧げました。又養蠶飼育經營の改善にも範を示し安全育の試験を行ひ、その確實なことを認め本年より實施し良好な成績を示してゐます。家畜特に小家畜の飼養に依る収入増加と勞力の消化自給肥料増産も又一段の力をつくし當組合婦人部員に毎日に養兔する協定案を設けてをります。

生活改善、食糧の自給自足にも又良成績を見てゐますが、特に農業經營改善上の共同作業の成績は顯著であります。

新時代の農民として

岩手縣岩手郡 佐藤 勝 郎 二
本宮村向中野

生きてゐる安城、生かしてゐる農民、私はから感じました。波うつ碧田、黒烟をふき出す三河食品の煙突、商業工業を農業化して行くところに安城の強さと未來があります。農民は最も合理的な經營法を以て自己

を活かし更に農村を活かして行く、これは感激の一つであります。板倉農場に對しては最近その經營に關しての是非が論ぜられて來ましたが、よし多少の非難すべき點があつたにしても、あの勤勞の精神には何人も感激したでせう。如何に農業が進歩しようともわれわれが最後迄忘れてはならぬものは唯勤勞の一事です。

板倉農場の存在は勞働忌避の農民にとり一大警鐘でなければなりません。また岡崎の縣立種畜場は風變りなところでした、事務的な御申譯的な存在は何處にも認められず、といふ種畜場とも農場ともいひにくいもので、偉大な人格者木場長、種畜場はさながら一家族だ。農民道にいそむ一つの道場だと思ひました。

私は歸郷後つぎのやうにつとめてみます。

(一) 果樹苗植込み、從來の蔬菜園藝を果樹園藝に轉向せしむべく、本春苹果梨等五〇本栽植、今秋はまた苹果三〇本植ゑる豫定。
(二) 農業設計、從來の無計畫經營を廢し水田畑地共に、面積の測定を行ひ肥料設計、支出の調査を行ひより以上の實績を擧ぐること努力しつゝあり。

(三) その他、金肥節減のため堆肥製造を行ひ、能率増進のため水力螺旋を設置する等の作業改善。

(四) 記帳の奨励、附近の農家廿數戸に對し新農家日記を購入記帳せしめつゝあるが、各人何れも始めて勞力の徒費、支出入の不經濟を知り今後の農業改善の計畫を樹てる上に絶大の好果を得。

(五) 果樹栽植奨励、果樹振興會幹部の一人として極力果樹園藝を力説奨励しつゝあり。

(六) その他、富民協會報、農村婦人の購讀を勧誘し、本宮青年農事研

奨励したいと思ひます。副業として廢地利用の飼育は眞に自給自足の經營が出来るのです、又西瓜栽培の有利にして容易なるに感じ夏期農閑期に出荷すべく早熟栽培を致したく床土及び温床の準備をしてゐます。

今後の農村振興には農村子弟の教育が重大なる關係あるに拘らず、農業補習教育が不振であるのを遺憾に思つてゐたのであります。碧海地方の農業補習教育の完備せるに感激し、補習教育改善を絶叫し當局に力説進言してゐます、實際教育に不備なるを看過し得ませんので、實習地として水田二反歩、畑一反歩を農業補習學校に提供して、さか補習教育振興に援助の意を表した次第であります。

宮城縣

この腕に黎明を求めて

宮城縣刈田村 松崎寛治

板倉精農の多角形的有畜農業と合理的經營の複式化等は他の追従を許さない點であつて、同地獨特の農業經營法を見習得したのはこれ偏へに協會の賜ものと深く感謝致すところでありませう。

正に農村は刻々として不況に沈みつゝありますが、私は農村隆興の鉄腕を、腕も砕けよと大地に打込み、收益増進に努め農業經營の設計書を作製し、その結果昨年農作物の如き半年作よりも約二割三分の増收を得ました。現在は地方の中堅青年篤農その他私の經營改善を見學に來るやうになり、それに力を得て、更に自給肥料の奨励に着手し、ザートウキツケン、レンゲ草を増殖すべく計畫してゐます。尙ほ一面には地方青年の指導の任に當り、産業精神の作興に努力してゐます。

本年五月若葉蕪るとき本縣研究會の修了者を以つて日本農業改善聯盟

究會農事實行組合を通じて、農事の研究多收穫の奨励に努力しつゝあり。

副業奨励と農村教育に

岩手縣和賀郡 菊池金次郎

目下の農村は實に不況の極に達してゐます。われ等農村青年はこの不況打開のため大いに奮闘しなければなりません。農村が今日の苦境に陥つたのは社會組織の不備にもよるでせうが、農民の自覺の足らなかつたことも一の原因であつたと信じます、われ等はこゝに大いに覺醒し信念を強くし不況打開のため農村振興のために猛進しなければなりません。それにはどうしても自己の農業經營の基礎を確立しなければなりません。農業經營の基礎を確立するには記帳を勵行し、經營計畫を樹て、進まねばなりません、とも角農民はこの觀念に乏しかつたのであります。不況時に際し農民の生きる道としては、先づ勤勞精神を尊重することです。而して經營に當つては經費の節減、自給自足收益の増進を圖るの外はありません。かく生産費を節減し收益を増進せしめるにはどうしても一部落乃至一村の團結による農事組合の活動によらねばならず、愛知縣碧海郡が日本デンマークである所以も、この團結により共存共榮の美風を如實に示したこと信じます。われ等は板倉氏の精神にならひ農業經營に當り改善に努力するならば決してこの不況にも苦しむことはなくなるの信念を獲得しました。

碧海地方の養鶏業の盛んなるに感じ經營の一角に養鶏を取入れること有利なるを知り秋季育雛を試みました。明春は大いに奮闘して養鶏を進行を期さんと致した次第であります。

一路組合隆昌のために

宮城縣栗原郡 佐藤軍太郎

安城の改善研究會に出席して感じたことは次のやうであります。
一、瘠地に拘はらず割合に作物の成育良好であるのは農民自身の努力が地力を増進せしめたものと認めました。

二、作物の生育に氣候風土の關係が多いを知る、水田の裏作に成功し畑地においては輪作を實行し反當收入の増加を圖りつゝあること
三、多角形の農業經營にて廢物の利用を適當に應用して收入を増加し支出を減少し經營費をして少なからしめて居ること。

四、農事改良實行組合が數において多く且つ全部が成功し實績を擧げて居る、これは農民の心が一致協力よく共同精神を尊重してゐること。

五、信用販賣購買利用組合の必要なることを察知し農民が全組合員となつて利用をなし各自の利益を納めてゐること。

六、組合は眞實に組合員全般のため組合のため事務を掌りること、販賣部の方においては大都市に斡旋所を設け販路の擴張をしてゐること
七、副業が發達し主業に遂従し農家の餘剩勞分を按配し且つ收入を増加し經濟を豊かにしなせること。

八、建物の不用、宅地の空地を適切に利用してゐること。
九、地方農民と學校、農會、寺院、これ等の機關とをとり農業發展の道を行つてゐること。

十、官吏及び幹部の人々はその實狀に通じ統制が行届いてゐること。

これ等の點に深く感激した私は次のやうな考へをもち且つ實行してゐます。

- 一、宅地の利用、周圍雜木を利用し自家用果樹園を設置する計畫
- 二、水田裏作の實行、紫雲英大麥播反別約五反歩を輪栽
- 三、副業養豚の擴張、仔豚の繁殖、養鶏の改善産卵数の試験、耕牛の普及種牡牛の交付申請
- 四、農家組合の充實を圖り共同作業に因る利益金の預金組合基本金増加
- 五、講習地の状況を川北四區聯合農家組合懇談會の席上二回に亘り、又十一月十五日母校栗原農學校内に開催の當區農家組合座談會の場合講演の豫定

碧海式農業を模範として

宮城縣志田郡 高倉村中澤 柏倉軍吾

講習中並に實習見學に當り感激した事項としては過去四五十年前の舊碧海郡と日本の丁抹と稱されし今日の碧海郡を比較し如何に時代の趨勢とは云へその進歩發達の急進したることである。その原因は明治用水の完成と共に住民は理想の信念に向つて努力、忍耐の氣風厚く尙逸早く農業組織の改良したるためせう。また農業經營に對してはさすが日本の丁抹と稱されし如く農業經營上において凡てが複式である。即ち住民は勤勞主義に徹底し餘剩努力を得て多角形の農業經營をしてゐる點、現今日本否世界的の不況にも拘らず、同地方が經濟上豊なるは各種團體の十分なる聯絡機能の進歩してゐるものと多角形農業經營により絶わぬ収入

農業是を樹立して

秋田縣

秋田縣雄勝郡 幡野村八幡 佐藤謙太郎

講習動機として八幡富民研究會を組織し農事改良について毎月一回の例會を開いて研究してをります。以前より農事の改良は行なはれて來ましたが、その後は一層改良され、良品種の普及、薄播の實行、深耕と排水堆肥の増殖、金肥節減等主として改善の目標を置いて、そして十年計畫で農業是を樹立し自から實行委員として現在反當平均二石二斗の處を三石迄實收させるやう努力して居ります。

わが村は昔から養蠶を副業として來ましたが、今回、養鶏、養鯉、養豚を加へました、その結果は頗る良好で、養鶏の如きは鶏卵、生鶏まで販賣されるやうになりました。冬期の農閑期には肥料の製造を行つてをります。金肥、農用藥劑の購入は以前より行はれてゐましたがその後全村民は共同購入を行ふやうになりました、われわれ協同精神で自給自足、多角形に農業經營し産業の發展に努力してをります。

稻は全村にわたり苗腐敗病が発生したので、共同防除を行つた結果大なる被害はなく終息した。又蔬菜の病虫害甚しきに鑑み、補習學校と協力し病虫害防除週間を實施し藥劑の調査及び撒布を指導した結果、防除に關する觀念を起せました。綠肥として紫雲英を栽培し今春發育良好のためその効果良好で本年の栽培者激増しました。

共同戦線を張つて

秋田縣平鹿郡 藤原潤二郎

三 重 村

のためせう。尙この多角形農業には必ず家畜を織り込み肥料及び勞力の自給を圖り所謂多收經濟より少費經濟に傾いてゐる點、殊に板倉農場においては細々しい點まで經濟的方面に念入りな點は全く驚かされました、板倉氏有りて安城有りと聞く板倉氏の經營實に感激に堪へないのであります。

また碧海郡の發達を來した因は關係組合の團體的活動による事最も大であると思ひます。販賣購買は勿論金錢の取立に致る迄銀行を利用せず組合直接集金迄行ふ點はこれ亦實に感激に堪へないので。

本研究會出席を動機として經營の上に改善を加へた事實は次のやうであります。

- 一、自力更生の第一歩として家庭經濟の自給を圖らうと目下準備考中
- 二、勤勞主義をとり餘剩努力により多角形農業經營をなさんとす。

以上は受講後日尙淺きため實績に付ては後日御報告申し上げます。

- 三、居宅附近の一般農業改善について
受講歸郷後、速かに部落農家組合並に村農會において「碧海地方の農業經營」と題し報告會をなし今後の村農業經營に關し改善を要する事項を當局と目下考中にして速からず實施せんとしてをります。
- 四、自給自足主義、所謂少費經濟主義。

- 一、副業を奨励し生産組合として多角形農業經營をなさしめんと計畫中
- 二、販賣並に購買機關として協同一致益々組合第一主義をとらしむ。
- 三、農會事業の指導改善。
- 四、自給自足主義、所謂少費經濟主義。

研究會に出席しましたときは全國の同志と共に農村の現状を談じ將來を論じ、相共に發奮激勵し合ふ實に貴い機會を與へられ、權威ある農村問題の講演を拜聴して頭腦の糧とし、開催地碧海郡の各種機關施設の整備せる産業組織とその潑刺たる活動状態を見、また個人經營の最高の規範たるべき板倉氏の經營形態を實地に學ぶに於て農業經營の改善に就ては愈々大なる自信をもつに至りました。

歸郷後は、先づ稻作の單一經營を有畜農業化し、肥料の自給と共に家畜飼料の自給を得ようと畑地の擴張などし奮闘して居りますが、その成績はいまだ見るべきものなく、從來狹少であつた耕作地を漸く水田數反歩に擴張したるに過ぎないのであります。また一般に對しては直接農業上は勿論經濟方面の啓蒙に微力をいたして居ります。

また毎月青年の集會を催し協會報告しくはその他のパンフレットを配布いたして論議してをりますが、頗る興味を以て集會するやうになりました。且つ部落の各戸に出納簿を配布し記帳の勵行をしましたが、第一年には完全に勵行したものがその六割八分で豫想外の不成績でありましたが、生計に對する反省を大いに促したやうに見受けられます。當部落には既に實行組合を組織してをりますので、その幹部を動かして部落内生産の米の共同販賣をしたところ、これ又直接利害明瞭であるため頗る好成績を得ました。また從來農業倉庫の設備があつたがこれを利用して者は頗る僅少で出入米商人の甘言につられて低廉に販賣してゐたが、共同販賣を始めて農業倉庫と連絡を保ち相場場の速報をしたところ出入米商との取引は皆無で近く米商人の相場より常に十五錢―二十四錢の高値を示し、地場（近所の町の相場）よりも四錢―八錢の高値に賣却出來、取扱高約三十俵に達し、從來販賣の七割五分に當つてをります。これに鑑み

他部落に於ても共同販賣の機熟し村の産業組合に於ても施設を整へて共同販賣をする勢であります。その他農會産業組合の内部から種々改良計畫をして居りますが未だ見るべきものがございません。

今なほ鞭撻の拍車

秋田縣山本郡 淡路久一郎

農民が自覺して自己の職業を最上の職業であるといふ觀念をもつて労働を樂しみつゝ精進してゐること、これが農業王國を形成してゐるのであるといふことが頷づかれた。善良な指導者の熱意と、職業を理解し精進する農民の意氣の投合するところに不況なものぞ、必ず克服し得るといふ信念を得たのであります。一昨年の先進地視察に今なほ鞭撻の拍車を加へられつゝあります。

稲作単一の農業は行き詰り、ことに現下の不況時代では生活を不安にするのであります。出來得るだけの副業を加へ餘剩勞力の生産化を圖りたいと考へてゐます。農閑の冬期をどうかして有利に使用したい。故飼ひにしてゐた鶏を舍飼ひとして、鶏糞の利用と産卵能力の増進をはかつてゐます。その他養蠶と養蜂を加へ比較的、粗放的に使ふてきた畑地を合理的に集約的に利用するために努力してゐます。金肥を節約し自給肥料特に堆肥の製造に盡力してゐます。

生産並に販賣を個々になすことの不利を感じ、有志十七名を以つて養鶏組合を組織し、養鶏の研究發達をはかるは勿論、温床設置をなし種苗を育成し、これを分譲し、かつ自家栽培用としてゐます。名稱は養鶏組合であります。養鶏業のみでなく温床組合、販賣組合、利用組合等の混合であります。日用品の共同購入、病害虫驅除豫防用の噴霧器、撒粉器等を購入して組合員に利用せしめてゐます。

まよづ經營の多角化

秋田縣南秋田郡 佐藤誠悦

第二回農業改善研究會で感激の多かつたことは講習生の北は青森縣、南は沖繩縣までいへば全日本の青年を網羅した講習會であつた事です。安城でまよづ第一に感激したことはその良くとに親み良くと働くこと、協同一致を旨として事業に熱心なることでした。

私は講習終了後直ちに家業に従事すると共に先づ稲作単一組織を如何にして多角形農業に改善せんと思ひ研究しました。そして従来一毛作の畑作をして合理的に改良をなし大豆畑に今春馬鈴薯を播種し、その畦間に大豆を播種し六月馬鈴薯を收穫した後大豆に中耕を行ひその後又蕎麥及び秋蒔蔬菜の間作を行つて大に村民を指導してをります。又稲作多収穫、耕馬の育成、副業養鶏の第一歩として愛知縣より多數の初雛を購入して一般に配付しました。次に苗代跡地利用の養雞や優良農具の奨励、農村電化による勞力節約を圖りました。

その他一般指導として採種圃を設置して優良品種を普及すること（水稲、大豆、馬鈴薯）病蟲害の驅除薬剤を調製し各戸へ分配の上驅除を勵行せしめたこと。肥料の共同購入を行つて合理的配合施肥法を奨励したこと、稚芽の栽培を奨励したこと、青年農業研究會を組織して農業經營改善の策を講じたこと、共同作業を勵行して一般經濟を圖つたこと等が重要なものであります。

まよづ經營を完全にして

秋田縣平鹿郡 吉田村上吉田 公地親種

目下村民一般の有志者を集めて富民研究會を設け村民全體の知識向上栽培技術の改善發達をはかり度いと考へつゝ計畫を進めつゝあります。

五ヶ年計畫を樹て

秋田縣仙北郡 西明島村西明寺 梁田一夫

元來農業は單式なるを不可とするのはもとよりであります。講習を終へて歸郷した私は歸途においてわが農業經營の上に加ふべき改善の種なる計畫を樹立しました。しかして滿一ヶ年を経たる今日において何等の改善の進歩を見ないのは小生甚だ遺憾とするところであり、大なる事業は長く短日月の間には成功せぬのですから今後着々成績を擧げて行くつもりであります。

從來の水田二町六反歩、畑五畝歩のほかに果樹七畝歩、山林二町歩、椎茸（楢木）一千本、馬一頭、兎二十頭、鶏二十四、を加へて複雑な經營方法に改めました。水田は二毛作としてザートウキツケン、れんげ、大麥等を栽培致しました。

また水稲多収の根源は田土の排水の良否にありとし五ヶ年計畫を樹て水田の排水工事に努力しつゝあります。

また私は農業を以て世の凡百の職に勝れりとなし、農民こそ人間の最も幸福なりとする條件即ち健康、富裕、徳望等の俱有する可能性あるを認識し、以て敢然として鋏を握つてゐます。しかるに現状はこれに反し、世相の最下位にあるは農民にしてその組織經營の如きも不合理の點が多いのを痛感し、憂憤やむ能はず、自から進んで農業の改善方法を研究し、その耕種法と、經營組織をより合理的かつ文化的ならしめ、以て農民の實生活を向上せしめんことを念願として常に自から工夫と研鑽を怠らずに奮闘してゐるのであります。

碧海郡安城を視察して感じたことは種々ありますが、その主なるものは次の如くであります。

(イ) 完備せる産業機關の統制ある活動、(ロ) 信仰的に労働精神の充満せること。(ハ) 共同自治精神の盛んなること、(ニ) 時間觀念の徹底してゐること、(ホ) 自給自足的な多角形農業の經營。研究會出席後日向淺く事實成績等未だ顯著ではないが、左記の如き經營改善準備をしてゐます。即ち當地方は積雪のため半年、雪中に埋れなければなりません。故に夏季短かい間に種々の農作業を了へなければならぬ關係上勞力に寸時の餘裕も見出せず、これに反し冬期は適當の副業もなく勞力過剩の有様です。こゝで冬期間の勞力利用により經營を一層多角形化して始めて利潤を上げ得ると考へ、自家生産の大豆を利用し豆腐製造をなし、これを市場に出し豆腐粕を利用して山羊を飼養し乳の販賣をしようとしてゐます。

豆腐類は馬、鶏、鯉の飼料の一部にも利用しようとしてゐます。山羊飼育よりとれた堆肥は田畑に利用するとは勿論であります。私はその後段々自から完成し、しかる後範を近隣に示したい積りであり、

わが意を得た種畜場

秋田縣由利郡 平澤町三森 鮎屋利一

農業博物館、待ちに待つたものだ、そこで發會式といふ、なんたる幸福ぞ。おゝまたその外觀の雄大さよ、緑松と白聖の對照、またその内部の整頓、精密な蒐集配置、右も左も見もの、これ皆われ等農民の必要かくべからざる活きた參考資料のみ、眞に活きたる農業教育の殿堂だ。講習、實習、見學の總ては種畜場であつた。これまで多角形農業とか有

畜農業とか自給自足経営とかの講演など聞いたことは再三あつたが、どうも満足出来なかつたのに、種畜場こそ眞の多角形であり、眞の有畜農業であり、また自給自足経営の活模範なのでした。その経営の合理さよ、場内の如何なる一片もその経営内に消化されてゐます。生産物低下には残物の利用、飼料の自給等消費物の消費行程においての最大能力の發揮、生産品の最高商品化への廻轉等、有畜に能力一〇〇%を出させ人間も又努力一〇〇%を出す経営の細密さ、これならば農業も行詰らぬと深く感激致したる次第です。

わが家の農業経営は有畜農業にして稲作主體自給自足主義ですが、養鶏飼料の大部分、役馬、養豚、養兎の飼料は買つてゐました。されど富民協會報や講習會を動機とし昨年度より飼料の自給化を計畫しました。一般農家には左の事項につき獎勵指導してゐます。

主なる獎勵事項 品種の改良、排水、深耕、堆肥の増産、稲の乾燥、苗代の共同、調製の共同、稚蠶の共同飼育

爲に品種は土壤に適し米質よく多收のものを栽培し、苗は強健に排水は良く耕土の深さは馬耕六寸、手打四寸堆肥は一町二段歩に對し馬一頭から五坪を用意し、三度切返し、黒砂糖のやうに作るため町内平均今年は反當三石二斗の收穫を得てゐます。

苗代は三森支會共同一町八段歩在來の通苗代を乾田苗代に改めそれによる收量は一段歩二石五斗、この收穫期には村の祭典よりもぎやかな面白味です、稲の乾燥は改良掛にて一杭四束掛ために稲の乾燥よく米の等級も良好です。調製は三森支會の三馬力半のクボタ石油發動機、杉山式摺摺機を使用、本町は十二月に收穫の多忙時期なれば十一月中に共同にて調製を終り、收穫に部落總出一戸平均百圓位をふところに入れたのしく御止月を迎へる。

- 一、都市に離れた僕等にとり販路の心配の無いもの
- 一、いざと云ふ場合は自給自足でやつて行けるもの
- 從來の經營組織 田二町六段、畑一反、山林一町五反、馬一頭
- その後の經營組織 田二町六段、改良桑園三段五畝、畑一反、山林一町五段、馬一頭、雞二羽、豚(成豚二頭、子豚七八頭)
- 外に社會事業として
- 一、狩川信用販賣購買組合設立委員
- 一、財團法人自強會評議員(區有財産五百萬圓の資産を法人化し目下育英、農業經營改善、農業土木事業等施行)
- 一、農業改良實行組幹事
- 一、養蠶實行組副組長

以上の公務に對し及ぶ限りの努力を盡してゐます。以上大體に亘り御報告申し上げますが、尙ほ經營の合理化、近隣の美化等一朝一夕の問題にあらざることを附記し、直ちに講習の効果を數字的に表す迄に立ち到つて居ないことを遺憾に存じます。

まづ肥料の自給から

山形縣海部郡 土門治郎 吉

雪の國、東北の地は長い間雪の中で仕事らしき仕事も出來ず、四月初旬雪溶けと共に俄に忙しく短時日に作付の準備をなすのであります。私の地は殆んど稲作專業にて、一家の収入は米以外に少しもなく、しかも小作者が多いので米價下落の昨今は不況もまた深刻であります。こゝにおいて私はかく考へてゐるものであります、今後の農家は凡て自給肥料を主體とする耕種方法を以て金肥を節減するにあらざれば、不況深刻の度を増し如何なる救済の手段も及ばないやうになるのではないかと思ふの

稚蠶共同飼育により努力その他を節約多忙な農繁期に最高價値ある勞力に轉廻せしめてゐます。外に馬、養鶏、養豚の飼料の自産自給、年三千時間勞働の獎勵指導産卵能率調査等すべく計畫中です。

山形縣

近隣の美化を目標に

山形縣東田川郡 本間 四郎

僕等第一回講習生の開會式と同時に富民協會では愛知縣外九縣下の精農表彰式が擧げられその精農家總代として農業經營の權威者板倉源太郎氏が答辭を述べられました。その様子が式に對する餘りに物馴れしない態度でした。而しこの有様を見た僕は生涯忘れ得ない強い感激に打たれ今でも尙ほ深い印象を忘れ得ないのです。僕等は、餘りに形式と世評に拘泥し過ぎて居る。

あゝ、こゝなのだ、世評より超越して自己の大なる信念の下に自己の本分に對し精進して他を顧みるとまなく働いて、働き抜くこと、これが農業經營合理化の根本をなすものと僕はこの時の感激の消ぬざる限り僕の農業者としての生命は續くものと信じてゐます。

百姓と云へば米を作る外に仕事は無いものと信じてゐました、然しながら今徹底的に單式農業の危険性と不利なことが注ぎ込まれ、これを動機に經營の複雑化に精進してゐます。しかしてその複雑化の方式を左のやうに決めました。

- 一、家族が(母一人、五十一歳、妻二十八歳、下女一人、下男一人、僕三十二歳)皆んな喜んで働き得るもの

であります。

私は研究會參加記念として鶏舎を建て採糞を主とし、舎内の敷糞を利用する等、肥効大なる自給肥料を生産し、金肥を幾分なりとも節減しようと思ひまして、これが實行に着手し初歩者として先づ成績良好と思はれるやうな結果を見ました。

しかるに養鶏に對し飼料の問題がまだ重大なるものであります。この飼料を大部分購入するものとすれば私の目的を達成するに意義をなさないのであります。よつて數年前から二毛作を試作して大麥栽培の要領を承知しましたので本年は二反歩餘の栽培を實施し將來は自給飼料の大半を以て養鶏を成立せしめ、なほ養鶏によつて金肥節減の一部分となし、米價安と雖もなほ餘地あるやうな經營を樹立する使命あるものと深く期しをるものであります。

農業改善研究會に出席して一週年「百姓は自分自身の働きより」を「モットー」として希望に立ち感謝に充つる住み良き農村を授け給へと働き續くる心、こゝに益々強くするのであります。

隣保團體の精神で

山形縣東田川郡 會田 俊雄

振興日本の名に集へる眞剣な同志百三十名、痛快至極でありました。安城の産業組合の統制、農會の活動は實に素晴らしい、伸展せむとする農民に對して總ての必要な機構を興へてゐるやうです。

研究會終了歸途精農家橋本氏並に松本翁の兩家を訪問しました。これで向安城における板倉源太郎氏と合せて各三大農人の農家經營を客觀的立場から考察したわけでありました。

板倉氏の豚、橋本氏の肉用鶏、松本翁の茶、氏達は他人の模倣をも許

さぬ農家經營をなされて居るのを直感したのであります。

又この秋には産業組合主義に生きる群馬縣の清水及衛氏の農村指導を見ました。これこそ農村の最大の誇り、隣保團結の精華ではありませぬか、私の村は七字に分ち六つの信用組合があります、今回解散し打つて一丸とした一村統一の産業組合が創成される事となりました。ために各字とも非常な緊張と動搖の渦巻を描いてをります、新生する者への武者振ひでせう。

農業經營と消費生活方面の合理化は勿論家庭人情の悩みをも相語らひ解決してゆく、農業經營上に於ても理論は良く知りつゝも、教へつ教はる處數多い事に應じては共同作業となり（現に行はれて居る）進んでは共同經營まで進めてゆく、一家經濟の確立より家庭人情の機微まで突入してゆく、そこで平和は大きな幸をうみ、この隣保團結の精神により生産的に、消費的に、躍進的な百姓線の向上を劃したいとの強い信念の下に働いて居ります。

眞の土地改良は有畜から

山形縣最上郡 沼澤秀雄
舟形村舟形

講習第三日目農場の經營で板倉源太郎氏の農場を見學致しまして一、多角形の經營法。二、労働の合理化。三、勤勞主義の徹底。四、廢物の利用（實習にて）

右の四點が殊に學ぶべき事なりと深く感じ入りました。板倉さんの御家内一同が眞剣に働くことを無上の喜びとして精勤したればこそ今日の成功を得たと思ひました。

三、共同購入斡旋（實行組合員を中心に）四、本田施肥改善指導。五、貯畜組合設置獎勵。六、農産加工指導獎勵（自家用醬油澱粉製造等）、七、畑作物改善指導（自家用醬油獎勵と共に小麥の栽培を指導す）、八、有畜農業獎勵。

何れも一々村民自覺して善き農業をなさんとして居ります。

意氣と信念に燃えて

山形縣西村山郡 矢作兼吉
谷地町甲六七

本山理事長閣下は御老體にもかかわらず、疲弊困憊せる農村の振興と農民の生活安定のため國家産業の大本たる農業を益々發展せしめんとの御心より、年々農業改善研究會の如き有益なる施設を行はるゝのみならず、今回はまたわが國唯一の農業博物館を建設せられ、農村輿論の喚起と農事の各般に亘り指導鞭撻せられたることは感謝に堪へません。

碧海郡の農村民は總て共同精神の發達によつて統一せられ、研究心によつて農業經營の改善を圖り、將來に一道の光明を認めつゝ營々として労働精進してゐることに力強く感じました。

近來私の地方でも縣郡當局や先輩によつて有畜農業といふことが、いへるやうになつて來ましたが實際私としては卵價の下落、羊毛、豚價の暴落によつて有畜農業は將來確かに有望なるやに疑問を持つてゐましたしかし縣立種畜場に行き參木場長より有畜農業に關する講演とその實際を見學させられて、飼料と肥料の自給によつて現在行詰れる農業を有畜化し、農業經營を有利に轉換し得る自信を得て非常に心強く感じましたことに私は種畜場といへば種畜の飼養管理とか種付あるひは飼料作物の耕作位と思つて行きましたところ、案に相違して一大農場經營の觀を致

有畜農業の經營で縣立種畜場を見學致した時、參木場長の講話後、見學と實習がりましたが、實習の時、場長さん自ら實習服を着て指導せらるゝ有様、誠に感激の外ありませんでした。

殊に私共一同が實習を終へて歸る時、何班だつたか未だ集合しない。廣い農場故何班が何處に居るのかわれ／＼は少しもわからない。その時場長さん自ら自轉車で探して下された、お蔭で皆な一語に歸れましたがあの様な偉い場長さんが居らるゝから、もと瘠薄土壤であつた同農場も今日の好結果を得られたことと思ひます、それと共に眞の農業、眞の土地改良は有畜農業にありと痛切に感じ入りました。

本研究會出席を動機としてその經營の上に加へたる改善の事實並にその成績としては

(イ) 有畜農業の有利なることを知り、もとは牛、馬一頭づゝであつたが、本年度からそれに鶏二十羽、兎十四、山羊一頭を飼育して居ります、今度は緬羊も豚も飼育致したいと思つて居ります。

(ロ) 稲作改善事項

一、良苗の育成（薄蒔實行）二、適品種の選定（品種試驗田設置）三、本田區劃整理。四、自給肥料の改良増産。五、施肥改善（土性調査）六、作業速進（稲の早作り早蒔早植）

右の成績一般いづれも良好であります。

居宅附近の一般、農業改善を指導した事實並にその成績農業改善の事項。

一、堆肥製造改良（農事改良實行組合員と共に行ふ、村一般も漸く自給肥料堆肥）の如何に大事なるかを知る。二、苗代改良指導（村民も良く改良をなすやうになりました）

しました、しかし飼料作物の栽培は勿論蔬菜果樹の栽培農産加工販賣迄も兼ね經營せられてゐることは實に有畜農業の好模範を示して地方農家の實地指導にあつてゐられることは敬服の外ありません。

ことに參木場長殿は確固たる信念と潑刺たる元氣とを持つて自ら陣頭に立つて指導せられてゐることは眞に痛快に感じました、この意氣と信念とを持つて働かばいかに困憊せる農村も自力更生し得ることも夢ならざることを信じ深く心に期して歸郷致しました。

なほ橋本、阿部兩博士、山崎先生初め諸大家の講演は深く心に喰入つて、われ等の將來に何事か成す可き覺悟と決心を與へられたるを謹んで感謝致します。

有畜農業の眞髓を得て

山形縣北村山郡 佐藤俊雄
橋岡町大字湯澤

安城町を中心とする各信用組合は實に驚くべきであり、現今の社會の人心の模範であり、且つは地方實行組合の最も手本とすべきであると思ひました。

われ／＼は當地方農村の指導の立場に立つて振興に努力し以て貴協會の事業を廣く徹底せしめ以てその責任の重大なる事を感じ遂行することによりてその受講の恩浴に酬ひんことを期してゐます。

今回の講習中に有畜農業經營に對し自給肥料としての堆肥の觀念が深く感ぜられたので役畜として朝鮮牛を一頭代價九十圓にて買入れ、堆肥の堆積場をコンクリートにて造り炊事場の下水を利用して堆肥の製造に努めた。

牛の飼料には糞糞約二十貫匁を乾燥し、その成績を期待してゐます。堆肥の成績は牛肥の間に普通の糞を混入し、且つ糞渣肥を醱酵材料として炊事下水を用ひ實によく腐しその他各残物を堆肥に入れてゐますが成績は誠に良好です。

糞渣残桑を牛の飼料にすると、養蠶期多忙中努力の消耗を防ぎ誠に良好なるものであります。

當橋岡町の内の大字湯澤は戸數百二十戸よりなり郡でも水田及び桑園の改良を加へた點で注目されてゐます。しかしてその機關に名稱を湯澤同志會と號して年齡二十五歳より三十四歳迄の農業研究を志す青年で組織し優秀なる成績を擧げんことに努力してゐます。歸郷後は直ちにこの會員一同並に村の有志に對し今回の研究會の見學並に受講の概略を報告致し聴者約二百名の盛會を呈しました。

回顧する講習の日

山形縣東置賜郡 安部 忠内
上郷村川井

八月十七日開會式に八十歳の本山先生が壇上に朗々たる音聲を以て長時間に亘り訓辭せられたことに第一の感激を覺へました。處も床しき農博樓上全國より我々を集め長き講習を授けらるゝ大先生の厚恩に酬ゆる道はわれ等が農村を疲弊困憊より理想の樂園にするの外なしと固く決心しました。

第三日折目先生の講義中に名譽利慾を中心とすればそれ以上の名利が現はれるとがらり覆へる確乎不拔の信念を養成するには神佛中心でなければならぬとあり。第五日富田先生の講演中には若海郡の共同し得る理想は宗教心の篤い事である、と喝破せられしことは強く心を打たれました。

きの外なかつた。

その經營上においては、よく地方色に合致したる點は想像だにも及ばない。その點はいはゆる多角形農業の典型でもありまた本邦農業、引いては集約農業の立派なモデルでもあつた。

歸郷後は出席を動機として米麥作の増収栽培地の共同施設、水田二毛作の指導地等を設け並に組合員の年生産物を基準としたる生産貯金を勵行し貯金の割合は玄米一俵五錢麥類一俵に付三錢、豆粕一俵二錢、生繭一〇貫一〇錢の割にて實行してゐる。組合員はよく熱誠なる態度により成績を向上してゐる。

また縣指定紫雲英採種組合を併置し、組合の事業として専ら採種普及に全力を注ぎ、初年度として豫期以上の結果を見たのである。設置は本年五月二〇日であるが採種量は一石四斗にして、亦種子の優秀なる點は他を壓したのである。

又農談會座談會を開催し、副業の奨励については當村唯一の副業たる柿の植樹は現下の農業情況より見極めて適當なるものであるとの見地からこれが普及徹底については各縣農會の後援の下に出荷組合設立の機運に到達しをり、これが品種改良と相待つて荒廢桑園の利用、宅地の利用のため目下精進してゐる。尙富民協會の御期待に副ふべく邁進しつゝある。

たゞ感激あるのみ

福島縣相馬郡 菅原 亨
福浦村大字耳谷

講習見學中一番感激したることは、若海郡安城町附近一般の全農民が共同の精神に燃え協力一致團結して農事を経営すること、販賣法の統制

た。又前から承知はしてゐたものゝ都築彌厚翁の事蹟若海の平野を縦横に灌溉する明治用水の本流支流恩澤千載萬民に及ぶ大偉業、心なき小川の流れにも翁の佛徳ばれ感涙に咽ぶ實に偉大なる理想の實現であります。第五日山崎先生の御話中、自治の社會事業の一として建設の公會堂の具體案として述べられたうち、堂内を小室に仕切られる様になし各種調度品を備へて結婚法要その他に使用云々をき、未だ時勢に目覺めず結婚仕度の多い事を誇り葬式法要に多額の失費を意に介せないわが村の現状を思ひ浮べ轉た感慨に堪へない物があります。

縣立種畜場にて參木場長が、一年中少くとも三千時間働き板倉翁並に令息夫妻、三百六十日勤勞主義を承はりまだ「吾々の勞働時日の及ばぬ事を思ひ歸宅したら是非腕限り精一ぱいの働きをせんと感憤しました。本研究會出席を動機としてその經營の上に加へたる改善の事實としては歸宅後滿一ヶ月も経たないので別して記す程のこともないですが販賣米穀を可及的餘分にする必要上大小麥一反許り作付しました。當地はとて時勢に疎り幾ら聲をからし大聲疾呼しても馬耳東風の態あり村の指導員を招き聴講する時すら集會するもの半數にも満たざる状態に暫らく説くを止め「言ふより始めよ」自ら實行して以て形の上より指導してはとも考へて居ります。

福島縣

福島縣安達郡 渡邊 金吉
澁川村米澤

多角形農業の典型

安城の農業生産並に販賣はその統制が組合組織の内に規則的に運轉しあること殊に農産物の合理的販賣と、加工しての市場出荷の統制とは驚

のとれてゐること、産業組合、信用組合、農事實行組合その他組合が名實共に發展し、活動してゐること。一般農家の經營が、合理的なること自家努力を合理的に分配して家畜、家畜を繰込んだいはゆる有畜農業經營であつた事です。

目下私の家庭では

イ、二十羽養鶏を、五十羽養鶏に擴張し、これを母が擔當する。

ロ、桑畑には鶏糞堆肥にて一切金肥を施用せず生産費を節減した、この主任は妻が擔當する。

ハ、水田一町六反歩中より五畝歩を試験田とし、肥料品種植方及び増収の試験をなした。一年一反歩を目標に、深耕客土にて土壤を改良して經濟的な増収を、はかることに着手した。今春一反歩實行する。

ニ、富民協會發行の新農家日記を購入して一年中の収入支出を、記入し農作物の生産費を調査す。

ホ、自家努力、牛馬の努力を、記入して勤勞主義として（モット働けムダなしに）をモットと定め家内中を督勵す。

ヘ、總べてを數字に表し年々、統計をとることになす。

附近の農家に對しては

イ、自分が唱導して部落の農事實行を組織した。

ロ、部落の中央に大半自費で農事揭示板を建立する。自分は揭示係となり、農事に關する有益なる事項及び各自の研究経験を發表なし、着々日本デンマークを範とした模範村實現に着手した。

ハ、實行組合にて第一回の事業として日用品農具の共同購入をなす。

ニ、舊正月に座談會を開催す。

ホ、養鶏組合を組織して鶏卵を東京の帝國農會幹庭所に共同出荷を初めた。

を越えざる状態であります。

私は今次の如き諸點に改良を加へてゐます。

(イ) 柿園の造成經營の立體化と養鶏の放飼とを目的として七畝歩植付けた、品種富有種昭和五年栽培。(ロ) 桑園間作、綠肥栽培による金肥の節約。(ハ) 蔬菜栽培による土地の利用法。(ニ) 金肥の飼料化を目的とする養豚の經營。(ホ) 促成栽培による冬期農閑努力の消化。

安城！それは救農の神

安城縣那珂郡勝田村 武石熊男

青年は種々のことに感激し易く少しのことに悲憤慷慨すると云ふことを壯年者達より聞かされて居りますが、やはり私も御多聞にもれざる一青年であります。故に講習會そのみにても協會が多大の費用を要して農村改善のために盡さるゝを思ふとき私の目にはいつしか感激の涙がにじむのであります。自分が安城の地をふみ緑色濃き青田と其間を縫ふ用水の清き流れに昔日故人が勞苦を初めて見る吾等に物語る感がありました。

講習中におきましては規律正しき日々の生活が吾々農家があまりに時間無自覺であるといふことをはつきりと感ぜられました。時間を有意義に使ふといふことが産業開發の基礎ともなり生活改善の第一歩にもなると思へました。また講習中にては種畜場における場長始め場員並に練習生の奮闘、個人經營の板倉氏の勤勞振りであり、一ヶ年労働時間の目標三千時間、これこそ勤勞精神發揚を教へたものと思ひました。われ等と共に堆肥の積込をされた場長の態度こそ實に農業の救神の如く只只頭の下の感を抱きました。

一線に立つて農業經營の衝に當り、先生獨得の經營振りにより赤字も出さず、有畜農業の利を實地に示現し農業經營に一新生面を開かんと生命を賭して努力せられつゝあります。

僕はこゝにわれ等農村青年の眞の指導者は、手白、足白の紳士でもなく、眞に農業労働を愛し汗を愛する人に依ると痛切に感じたのである。參木先生のわれ等一行に對する感化に對して今更ながら驚かされ且つ感謝しつゝあります。

僕の今後の經營の努力の自給は出来る限り大面積の耕作をし、有畜農業により肥料の自給を圖り、また副業により努力の分配を適切ならしめ自給自主主義でやりたいと思ひます。この自給自足の經營は農産物の價格の變動や作物減収等で支配さるべき性質のものでないと深く信じてゐます。

記帳を礎として

茨城縣眞壁郡 杉山 剛

第一に富民協會本山理事長閣下の獻身的御努力によりわが農業界に初めて建設せられた農業博物館を參觀し、その外觀の質素なるに比較し内容充實は農業萬般に涉り極めて品目多く有益なる題材、新奇なる出陳物あり殊に植民地滿蒙に到る迄の農業經營状態を目的の邊りに展開し、これが産物及び參考品の陳列等は眞に農界の權威たると共にわれ等を裨益致すこと洵に甚大と思ひました。愚生は富民協會の講習に選ばれたることを謝すと共に茲に重ねて本山理事長閣下の御努力に接して深く感激の意を表します。

講習終了後日淺く何等確固たる改善を加へられざるも従来より來つた記帳を基本として努力の分配のために花卉園藝方面に進み生活方面においては豫算生計をしようと思つてゐます。

この頃においても前二項と同様であります。講習會より郷里に歸りまして以來日中は働き夜は各部落の青年達の集合を願ひ、自分の協會に對する責任を果さんために協會の使命を傳へ講習の實況を話して居ります。遠からず何物かを見出すことを得ると信じて居ります。

鐵の如き經營に立ちて

茨城縣行方郡 小松崎 茂

僕は講習中最も興味を感じ、最も重大視したのは、如何にして「日本デンマーク」は出現したのかといふ點でありました。僕は農林學校の富田先生のお話を中心に少し考へて見たい、嘗つて悲惨な状態にあつた碧海農民が一躍本邦農村の範として活動しつゝあるその原因は安城町民の熱誠と組織的農業經營の賜であるといふれ共それは極く近因であると思ふ、その根本的原因こそ山崎先生の風化と、都築彌厚翁の明治用水開墾であると信じます。實に先生の心と農民の心の一致を見、先生の心を心として自奮自勵以て現在の「日本デンマーク」の出現を見たのであると深く考へさせられたのです。

愛知縣立種畜場においては參木場長の勤勞主義と實實剛健の氣風が僕の心をしつかりと囚へた、講堂に入りししばらくして參木場長の實實剛健な姿が現れる、カーキ色の労働服にぼろ／＼の巻脚絆、眞黒な顔と手、農業労働者として何所へ出ても勝るとも劣らぬ姿であります。先生は第一に山崎延吉先生及び參木晋七郎先生等がわれ等農業者を教導せられたために進進せられつゝあるはこれ亦わが農業界のため多幸と感謝しました。また板倉源太郎氏始め安城町附近の農家の生活程度の向上とそれに伴つての支出の増大は盡くこれを労働即ち努力により生み出しまつさへ収入の餘剰を出し得る彼らの勤勞心の發達はわれ等の身分に比して餘りの相違あるに只發奮する一方尊き致へに感激致しました。

既に計畫實行に移つてゐることは農家簿記の實行による經營改善であります。只今私等の附近で先づ第一に着手すべきはこれを措いて他になく有畜農業、多角形化は幾分宛もこれに向ひつゝあります。故に勤勞心の發揚と記帳を自ら實行致すと共に他に對しては普及獎勵を致さうと考へてゐます。成績の判明せる程の未だ無いけれども當地の悪習である晝寝を先づ廢して労働時間を二時間づゝ延長することが出来ました。

多角形農業の經營

栃木縣那須郡 塚原 正雄

日本のデンマークの稱あるわが國の農業中心地安城において貴協會御指導のもとに講習を受け、諸先生の農業の眞髓を説かれたる點、また見學中における農冒の發達と産業組合の發展、農民各位の努力等見るも聞くも感服の種ならざるはありませぬ。更にまた板倉農場の經營振りの如き多角形農業經營の模範的な個人經營を拜見し、あの塵一つ無駄のないやり方と、換算三百六十日の労働日数には、小生實に敬服致しました。

農産物價の下落と社會一般の不況のため農産物の需用率は激減し、わ

れ等農家の収入は益々減少し農家の経営も困難となつてゐる時に當り幸ひに貴協會主催の研究會に列席するの光榮を荷ひ諸講師の指導により農業經營の改善に努力し従來の單一農業を多角形農業に改善し左のやうな成績を得たのであります。

昭和六年度經營狀態

イ、經營面積 田一毛作田七反、二毛作田二町七反計三町四反歩畑一町園地八反(未受入)一町八反、計耕地面積、五町二反歩、外に林地三町三反歩

ロ、從業者(家族) 男四、女一〇、計一四、臨時雇五〇日五十人

ハ、家畜、馬二頭、一頭使用日數八〇日、鶏八〇羽、雌豚二頭

副業 養蠶一〇枚(框製)、養鶏八〇羽(成鶏雌)、養豚二頭(雄雌)、藥加工品俵

農業總收入 耕種收入二〇二四圓三五、養蠶二二〇圓、山林三五圓、養畜五二〇圓、農産加工 三〇圓、其他二〇〇圓、計一、九二九圓三九

支出、農業經營費七四五圓一五、差引二、一八四圓二〇

なほ自給肥料第一主義をとり右の成績を収めました、本年は更に養豚を増加し、また一町歩の果樹園を計畫し、あくまで自力更生の信念により、奮闘する考へであります。

蔬菜組合を組織して

栃木縣下都賀郡 山中徹雄

昭和五年八月一日第一回の講習生として安城町を中心に折からの灼熱

オブ・アレキサンドリヤの露地栽培等を試みたが、昨年は初めて数房の結果を見、本年は相當の收穫を得た。また乳牛の飼育、七面鳥、養蜂等を研究中である。

當地においては今迄殆んど米麥作を主とし、例年一定せる三角形的農業經營の方法が行はれて居たが、これを多角形化し、年中幾分の収入を得べく、昨年より蔬菜組合を組織し、約五十名の同志を得て各種蔬菜を栽培し、昨年は栗、南瓜、牛蒡、白菜等約四千圓の縣外移出を見、今年は更に多額の見込である。將來も出來得る限り組合組織とし、一般農家の親睦を計り、弊風を洗つて新らしき村落建設のため努力しつゝある。

記帳は農家の鏡

栃木縣足利郡 板橋儀市郎

各先生の講義、それは何れも感激せざるものなく特に實際に即した血と汗の體驗談、折目先生の「農事實行組合の經營」を拜聴したる時に於いてはじめて渴したる時水を得たる感あり現下の窮狀を救ふ法他なし、農民の結束協同による組合の設立にある事を痛感しました。

實習といへども實は殆んど見學にて各種機關農場を見學し且つ説明を聽き感じて居るものを總括して述べれば第一に指導、購買、販賣その他の各機關が實によく完備し然もこれ等の機關が一體の如く統制されその間に何等の障壁もなく協調が保たれ農民の福利増進といふ一路に向つて他念なく活動してゐること、第二は農民自體が經營上に徹底した見解を有してゐること等。

私は成る可く多角形的經營を計畫し、同計畫中の蔬菜の早期栽培と、

と闘ひ、講習に實習に見學に、多忙なる一週間を過したことは今尙記憶に新しいものがある。誰しも日本デンマルクと云へば板倉農場の存在を認むるであらう、われ／＼は決して規模の大なる或は新式な大農場を賞讃するものでない。板倉農場といへば大規模なる一大農場であるやうに聯想されるであらう、しかしその農場は規模外観の大にはあらずしてその名の天下に聞ゆる農場であることは一たびこの地に足を運んだ者の看取するところであらう、場主板倉源太郎氏の略歴を聞き且つ氏の奮闘振りを見聞して全く感激と感謝の念に堪へなかつた。これこそ實に「精神一統何事かならざらん」を如實に物語るものである、また家族の人々の作業振りといひ、經營の方針といひ整然としてゐるばかりでなく見逃すことの出來ぬものばかりである。

つぎに感じたことは岡崎の縣種畜場である。參木場長の説明により經營方針の一般を知ることが出來たが種畜場ではなくて一大農場の感がある。流石自給自足で經營せられるだけに場員のきび／＼しい活動振りなどは到底他に見ることは出來ない情景である。牛豚の糞尿を利用し家畜家禽の飼料作物以外に西瓜も作れば桑園もある、竹林もあれば果樹園もあり加工場もある。まるで園藝試験場のやうだ。就中葡萄のブラックハンブルグ種の露地栽培試験中とは種畜場に似合はぬ研究振りを感じた。最後には農事試験場、農會、組合と農民との連絡統制である。安城町を中心とする碧海郡下の各種組合の大發達も農民自身の覺醒と相俟つて偉大なる碧海郡を築いたことは見逃す事が出來ぬ、これは感激の二三である

本研究會に出席を動機として今日迄また現在において改善しつゝあるのは、經營法の多角形的合理化である。宅地の利用としては果樹を植付從來から栽培せられた柿の改良や牆壁を利用した温室葡萄マスカット。

養鶏を實施しました。これに從來實施し來たる藥加工を行ふ時は殆んど努力に餘剰を來さざる計畫です。

研究會出席後農業簿記を始めました、一年の結果により教へらるゝ點多々ありました、特に勤怠表を見る時如何にわれ等農民に空費の日時多きかに驚き、爾來この點に大いに留意して改善を圖つてゐます。

目下自家經營に鋭意盡力中なるため、他の指導の點には及ばないが、藥加工事業には折角盡力中です。それと同時に藥品質向上と共に米質改良のため、架干を奨めてゐます。更に當地は用水不足勝て毎年旱害を蒙つてゐるので、これがため苗代の改良を研究し水陸折衷式を試みたところ、比較的良好の成績が出たので、一般に奨め、先年は大分本方法によるものが出來ました。

勤勞主義をモットーに

栃木縣安濃郡 龜田半三

講習中或は實習見學中に受けたる感激としては一、碧海郡農民が一致團結して勤勞主義に依つて猛進して居ること一、また如何に研究心が旺盛であるかといふこと一、總て統制が好く取れて居ること一、各種團體の幹部が實際家なるが故にその指導に當り學理と實際とに依り總てが進歩的なること一、農業經營改善には理想と信念と努力の確立の如何に依つて實現せられることを力強く感じました。

研究會に出席を動機とし、左の方法に依り私の經營を改良しようと思つてゐます。私の家族は九人であり勞働能力は三人三分で耕地は二町一

反五畝であります、副業として養蠶、養畜として馬一頭使役、豚一頭養殖用、肉豚一頭とし鶏二五羽を飼育し常に勞力の分配に最善の努力を致し一面自給肥料の増殖に務め飼料は穀物の屑並に甘藷三反歩の莖をエンシレージとなし、また肥料の飼料化を圖り飼料の自給自足に努力してゐます。農産加工も俵、籐、製茶等をなして自給に勉め以の製織をな農業組合で出荷して居ります。

居宅附近の一般農業改善を指導されたる事實並にその成績研究會より歸郷後數回座談會を開き左記の如き方法によりその實行を決議してゐます。

- 一、堅き決心を以て農事に従事すること、わが疲弊せる農村を吾々農民の手に依て更生すること。一、勤勞主義に依て働くこと、一、合理的經營をなすこと、一、組織的經營をなすこと、一、一致團結すること、一、生産費軽減に勉むること、一、勞力の節約に勉むること、一、生活改善をなすこと、一、自給自足主義によること

收益増進に邁進せん

栃木縣河内郡 野口 俊³
平石村下平出

想ふに當地方の農業は至つて貧弱な經營法でありまして、眞に理解ある者の外は米麥作といふ單純な經營法なのであります、しかして農家の運用機關である團體事業、即ち組合なるものがほんの僅かしか出来てゐないのであります。日に／＼農村は不況に陥るばかりで、懐しの故郷を後に都會に進出する青年子女が年と共に加はり、残る者は老人、幼兒等

堆肥の増製を目標に

栃木縣鹽谷郡 小堀市 郎³
氏家町馬場

講習中にて深く感じたとは彼の安城の農業經營の多角形なる方法でありました。小生もその半分なりと思ひまして實行致しまして居村の農民に共同出荷組合を立て組合員六十五名の賛成を得來春早々都市に出荷致すやうに唯今より種子の購入を致しました。また地力増進としましては居村に堆肥の増製を圖り五割方を増製を目標に富民協會の講習中の實地の話や講義の事を申しまして實行すべく盡力してゐます。

富民研究會を設立して

埼玉縣北足立郡 箕田村箕田 金井 武夫²

廣く全國各府縣より青年精農を莫大の經費と多大の犠牲を拂ひ一堂に會せしめ、講師には斯界の最高權威者を網羅し、實地指導方面には多年練達の大家を戴き、しかも會場には日本デンマークとして世界に冠たる碧海郡安城町の農林學校を選び、いまだかつてわれ／＼の知らざる學說或は實地指導を受け平素鈍感なる小生等も非常に益する處がありまして感謝の二字あるのみです。この恩に報ゆるため最近の科學を運用し、經營を多角的にし、勤勞第一主義にて農村の自力更生に勉めてゐます。

歸郷後は各町村よりの懇請に依り不肖の身を省りみず御報告致しました。その結果本村青年を主體とせる富民研究會を設立し、唯今會員五〇

のみであります。随つて村は寂れ、若々しい朗らかな元氣はその影だに見せません。誠に寂れ行く悲惨な状態にあります。目醒めざる農村、進展開きなき農村であります。

さる者はされ……残りしものこそ眞の時代の先覺者、眞に故郷を、己が墳墓の地とする者、困憊せる農村を救済せんとする青年、これ等の諸君と協力一致、歩調をそろへて現在の難局を打開し、光明の彼岸に到達する決心であります。

いふまでもなく一村の經濟は各農家にあり、従つて各農家の經濟宜しきを得ば一村の經濟は自由に運轉し、納税の義務、教育問題、公共事業等立ちどころに解決され、こゝに始めて光明を見出すのであります。すなはち自治體を根本的に維持するには各農家の生活改善と安定とを圖らなければなりません、支出を防ぎ収入を多からしめ以つて交換經濟の實を揚ぐるにありと信じます。

研究會において収入を多からしむるには多角形的に農業を經營し定期的に、連續的に収入を有らしむべく、しかして生産費の低減を圖り、副業を奨励し、金肥購入を出來得るだけ節減し自給肥料にて間に合はしむるやう研究するにとつとめるが肝要であると致へられた、私どもは篤農家板倉源太郎氏の經營法を模範として今後、われ等の大いに努力したいと考へてゐます。

村役場より富民協會主催農業改善研究會の様子を村内各所を巡回して講演すよと依頼があつたので不肖私が講習中に受けたる感激、講習中會得せし點、碧海郡農業經營法一般、有畜農業の經營法、産業組合法等詳しく説明し多少なりとも村民の参考に資し大いに現在の農村の發展開進に努力せんとしてゐます。

名に間近くなり、益々増加致します。現在の研究會の事業は左記の通り勵行致してをります。

イ、稻、大麥、小麥、大豆の採種圃を村農會より一手に引受け、採種し種子を良く利用してをります。ロ、各種の種子を共同購入し。ハ、蠶豆、馬鈴薯の共同出荷をなす。ニ、製繩、製俵をなし販賣す。ホ、生産物の品評會を村農會と共同にて開催す。ヘ、毎月十日を期し自發的に事務所に参集し、協會報を配本しその月の農會の萬般の打合せ勵行す。

歸郷後の事業として小生は北足立郡農會の委託種豚所經營者であるがさらに、一大豚舎を増築し堆肥場を増築なし、優良豚を縣より購入配布を受け蕃殖を圖り他面自給肥料の製造を勵行、金肥を半減し成績良好のため昨今の不況と相俟つて養豚熱増加し、各戸毎に豚舎と堆肥舎が造られるやうになりました。

また當地方は大麥が畑作の主要作であつたのを、昨年から富民協會の多收穫の奨励に共鳴し、小麥を大部分耕作、段宮九俵餘を收穫した結果本年は小麥が非常に播下される状態です。小生も縣の小麥増殖實行委員に推選されました。

多角形農業をめざして

埼玉縣北埼玉郡 中條村今井 會 根 藤 七²

第二回農業改善研究會に出席し得られ、われ等のユートピアとして憧憬措く能はざりし日本デンマーク碧海郡安城町を視察し、幾多先輩博學の士の御教導を辱ふし、更に農業國の神に詣り得たるは不肖の最も光榮に存する所で多事多端を稱へらるゝ農界前途のため、誠に感激に堪へざ

る所であります。

▽

不肖農業改善研究會より歸郷して先づ己を完うして他を追隨せしむるの方策を樹て昨秋以來着々實行に着手してゐます。

裏作反別を増加し、從來小麦一町歩、紫雲英一反歩、紫雲英一反歩、馬鈴薯一反歩であつたのを小麦二町歩、紫雲英一反五畝歩、馬鈴薯三反歩に増加し、從來の休耕地より收益を擧ぐる一方、土地の理學的性質の改善に努力しつゝある。更に本年度においては廣くこれを一般農家に奨勵し昨年度得たる種子を希望者に分讓してゐます。

水稻栽培に於ける經濟的多收穫の實行者板倉農場の試驗地を見學し、その有意義なるを痛感し五反歩を右試驗地に宛て、厩堆肥、鶏糞、草木灰等を主體肥料とせる經濟的多收穫を實行し、目下の成績良好です。しかしてかくの如き有機質自給肥料の多施は往々にして生育晩生を認むるを以て本縣獎勵品種中の早生種に屬する愛國崎一號、八關等をこれに充て晩化に依る萬一の損害を豫防してゐます。

桑園改植と間作の勵行、數年以來の繭價暴落は荒廢桑園改植の絶好機なるを認め、天神農事組合においては古村式桑根拔根機を購入し、極力荒廢桑園の改植を奨勵し、また栽植に際しては從來畦間三尺五寸—四尺、株間二尺五寸—三尺であつたものを畦間五尺—五尺五寸、株間二尺の栽植法を奨勵し、間作栽培に便ならしめる一方、葉質の改良に資してゐます。

間作物としてはザイトウキツケン、紫雲英等の牧草を栽培するは勿論食用作物としては根部を目的とする馬鈴薯、生薑、蕪等を栽培し、桑の比較的幼年のものにありては蠶豆土用小豆等を栽培しました。

肥料の自給方策、從來わが家においては金肥平均年二百五十圓—三

を賞美し、その改善のいかに有利なることであるかを感じてゐる。また一つには記帳の實行を指導し經營の一助たらしめてゐる。

幾多の暗示を得て

埼玉縣入間郡 高麗村橋木八四 石 井 紋 彌

農民板倉と生活人としての彼、勞働による彼等家族の土人の如き健康美、全く徹底的な農業經營者であることは驚嘆に値する。しかし板倉氏はこれだけで満足してゐるかも知れないが、われ／＼は決してこれだけで満足し得るものではない。全國から集つた百三十名の人間を前にして彼氏父子はシャツと股引としかも素足であり得る。われ／＼の訪問は恐らく正確な豫定時間を期して行はれた事であらうと思はれるのに。われ／＼の知らんと欲するところは彼の内面生活である。幸にしてその片鱗を私は知ることが出来た。そこに氏の人間としての眞實が無ければなるまい。

阿部先生の御講義の一部に現下の農業進路に二つの方面があるといふお言葉がある。これは今回の研究會中特に目立つてわれ／＼の脳裡に響いた言葉である。現下の農業乃至農村問題が如何に矛盾し、その結果如何に悩んでゐるかといふ事を露骨に見せつけられたといふことは、われ／＼研究生にとつて最も大なる收穫であつた。現在乃至近い過去の農村が如何なるところにその欠陥を持ち、そのために苦しみ、やがてそれが農村の大部分を困苦のどん底に迄導いて行かうとする現下のやうな慘狀となつて現はれて來た事を如實に示して呉れた。そして今回の最も重大な問題であつた未來の農業に對して當事者が如何に苦しみ如何に悩み續

百圓を購入してをつたが、その額は農業經營費の大半を占め、しかも年々發賣される新化學肥料の出現は、金額の膨脹を必然たらしめ、土性の惡變を誘起しつゝあるを見、これを防止するため、堆肥の増殖方策を立て、反當最少限度三百貫施用を目標に目下一萬貫堆積に邁進中です。水田裏作たる小麦の肥料においては從來の土肥法を改善し、藥、厩肥、土のみを以つて堆積せしを本年度においては堆肥の増用は勿論、これに大豆粕、魚メ粕、骨粉等の有機質運動肥料を加用し肥料成分を一層有効ならしむると共に、肥料の理學的性質を改善せしめ、その醗酵を避け麥發芽當時における損傷をなからしむることに努力しつゝあります。

宅地利用に着目して

埼玉縣北埼玉郡 三俣村多門寺 吉 野 芋

炎天下の午後一、二時頃に(わが地方では暑中には晝寝を二時間やる時間)田の草取りをしてゐる碧海郡安城町地方の人々の勤勞ぶりが如何に眞剣であるかを見ただけで、精進の度がうかゞはれる。あの活動、あの努力は個人より團體へすなはち組合として聯合組合として各々實績を發揮してゐるのである。實に感激せざるを得ない。

かゝる先進地において斯界の經驗者と博學なる諸先生の熱心なる講演または實習を見聞して私は郷里にかへり第一に農業經營の改善として宅地利用にまづ着手し、今迄廣い宅地は庭木で無益に土地を遊ばせてゐたのを梅、葡萄、寒土當歸等を栽培しその收益は年と共に増加しつゝあるこれ實に講習の賜と感謝してをる。

この宅地利用は附近農家の模範としてその實行をすゝめつゝあり、可成費成する者年々に加はり今迄かへりみざりし宅地も、四季折々の果實

けてゐるかを、そしてその問題が如何に困難な事であるかを餘りにも良く示してくれた事である。

感謝と感激のみ

埼玉縣北葛飾郡 靜村高柳 渡 邊 啓 市 郎

平素の生活が比較的ルーズになり勝なわれ／＼の一週間の安城生活。精神的に随分忙がしかつた。この氣持ちを持つて歸つたものは自分一人ではないかとおもふ。多數のこの種の講習生に、あの程度の團體的行動を取らせたといふこと、更に、あれだけの名士を全國的に招き、かつ送迎したことを考へて、自分の身、經驗に徴し、協會の方々の心勞の並大低でないことをおもつた。外の感激もさることながら、文句なしに頭が下つた、第一に上げねばならないのはこの感謝、この感激である。たゞ徒らに農民の甦生を叫ぶいはゆる指導者はある。こんな人等では如何に名論、卓説だとして、聴くわれ／＼の齒が浮くだけで、結局、消化不良腸胃疾患の自覺症だけなのをこす。全日本の農民指導者に、教育者に、協會のこの努力、この意氣を注入すべしと大聲を大きく叫びたい。

それから縣立種畜場の參木氏の講演である。體験と、實際と、努力からこそ、あの力強い言葉が出る。あの魅力が湧く。語らず、説かざるその前に、一種の抑へんとして抑へ能はざる昂奮と、畏敬したい心で一杯になつた。自給自足。自給自足の脈搏によつてのみ生きる有畜農業これ等は私のものとなつたやうな氣がした。

更に正午の鐘が鳴り、井戸端で、流れる汗をふきもせず、びつしより濡れた場長殿と顔を合せた時、崇敬の念の起るを禁じ得た者があるだらうか。失禮を顧みなければ、農民を代表して、「有難う御座います。申譯

けありません」と衷心から感謝したかった。嗚呼！この師が欲しい。前日見學した板倉氏の存在の偶然でないこと、林氏の出生の胚胎は種畜場にありと、明白に認識されたのは自分一人でないとおもふ。勿論絶對的に農民指導者のみに、社會相から遠く離れた生活様式と態度を強ひるのではない。しかし指導者たり、教育者たる以上、農民生活の様式と、態度の中から逃れて、都會の生活様式の中に入つて行く必要は全くないしその心を持つだけでも農民は吐き氣を催す。生活と教育、生活と指導、生活と運動の宿命的に一致せねばならぬことをおもふとき、しみじみ木場長殿をもつ、愛知碧海郡農民の幸福さをおもふ、獨り農民の間のみか瀕死より甦生する力は勿論農民の自力であるが、しかし、より早くその自力を呼び覺し、より強く、養つて呉れるものは指導者である。

私は徹底的自給自足すなはち交換經濟によるものは鹽と砂糖のみにしたいと決心した。第一として努力の自給を圖るために、當地方一般の風習上、相當な家庭になると、婦人と五十歳以上の男子は、農繁期以外は生産労働に加はらなかつたことを改善して、それ／＼が身體に適應する業に従事することにした。第一として養鶏飼料の自給を計るために三井の配合飼料を廢して、主眼を肥料生産におき、可及的産卵増進法を研究することにした。そして十年間計畫で一年に必ず増肥一萬貫（春秋合して）年收五千圓を目標に全家族が動き出した。養鶏の産卵歩合は三割に下つた。しかし、鶏舎のくもの巢も取り拂はれた、厩舎も清潔になつて、愛馬も心持よげに晝寝する。この努力と熱を何處までも永續させて協會一の感謝の表示とするやうに、毎朝神前に誓ふことにした。

自給自足精神を徹底させるために、日用品で買ひたいとおもつて買はずに済した物品と、その豫想金額を明記の上、月末に十錢以上組合長の下に呈出して共同貯金をすることに決定した。組合員全體で「物を買ふ

次に産業組合の經營についての岩瀬先生の御話、實に碧海郡の農業の中心をなすものは産業組合の活動で安城はこれによつて更生して居るのである、産業組合の發達、吾人はこの點感激に堪へなかつたのです。

次に松本先生の「農民の生きる道」で先生が今日日本一の百姓となつた経路を拜聴しわれ等に實に感奮興起せざるを得なかつたのであります。次に岡崎種畜場參木先生の有畜農業に就ての講演自給自足による經營法われ等は眞に感服いたしました。吾人はまだ／＼自給自足といふことが徹底して居ない先生の御話の様に眞に自給自足が徹底されるならば不況何物ぞ憂ふるに足らず自力更生難事に非らずと色々奮起すべきことを痛感致しました。

碧海郡の農業が偶然に今日あるに到らずして、そこには幾多の苦闘の歴史があり組合組織の完成あることを見逃すことは出来ない、その點感激に堪へません。

歸郷後の計畫として申し上げるならば有畜農業を採入れ自給經濟の確立を圖ること。

居宅附近の一般農業改善を指導されたる事實としては受講歸村早々九月一日小学校講堂に農會、青年團、青訓生、公民生の參集を願ひ報告演説會を開き講習會の状況、安城の農業に就て御話申上げ少からず感銘を與へ聽て村民諸君も自己の經營改善に留意せられ着々その成績を挙げらるゝことと思ひます。

千葉縣

農業經營の多角化

千葉縣安房郡 小原 耕 太一
主基村北小町

前に「十」を數へる。」の標語のやうなものを考へ出して各家庭に貼つておくことに決定した。

自給經濟の確立を圖れ

埼玉縣北足郡立 鈴木 敏
石戸村下名敷

全國を一丸とした農業改善研究會の壯舉に不肖末に列するの光榮を擔ひ只々感激の至りであります。先づ開會式に當つてわれ等の畏敬する本山理事長には八十歳の老軀を提げて尙鏗鏘たる意氣を以つてわが農村を思ひわれ／＼青年に與へられた式辭、われ等は只感激の涙あるのみでありました。次に橋本博士の新時代の農業經營に就ての講義中農業經營の合理化とは農業經營を最も手際よくやつて行ふことであつて先づ目標を立て自給自足の經濟を確立することが肝要であつて現金支出を少くすることに留意し所謂交換經濟を縮小すると云ふことを話されたのであつたが、われ等は全く反省すべき點が多かつたのであります。

次に西村主事の富民協會の目的と使命と題しての熱辯われ等は富民協會の設立された動機經過事業等を悉く諒解出來只々感激の念湧然として湧かざるを得なかつたのでした。

次に折目先生の農事實行組合經營の苦心、忍苦奮闘遂に理想郷を完成された事は學ぶべき多くの點があつたのである。

次に講習見學として板倉農場に就て、既に板倉氏は日本一の百姓として畏くも高松宮殿下の御視察を忝ふし富民協會よりも全國的精農家として表彰を受けて居るが今日の榮譽決して偶然に非らずと、氏の聲咳に接すると共に農業經營の實際を見學して只々感激に堪へなかつたのであります。

講習中或は講習、見學中に授けられたる感激は、まづ本山理事長殿の炎暑も物ともせずわれ／＼講習生のため熱心なる指導薫育賜りたること又板倉農場における講習において板倉氏一家の尊農振り、種畜場における地力増進振り、今更自給肥料の必要効果を痛切に感せしめられたことであります。

講習會出席を機として從來の有畜農業經營を多角化し努力の配給を宜しく經營の合理化を圖るため如上の經營改善に専念し乳牛二頭、役牛一頭の飼養の外に養鶏に着手種鶏場より種鶏用雛の拂下を受け種禽の養成をなし、本年度で一〇〇羽となり、第一期の計畫通りとし、専ら自給肥料の増成に努め一人當り耕作反別も増加し金肥の節約に依る經濟的多收の實をあげつゝある。水田裏作に紫雲英の外甘藍、葱頭、一寸蠶豆大麥、粟の栽培をなし、畜牛養鶏の飼料の自給並に綠肥の大増産をしてゐる。

附近の農業改善の事實及び成績は同一の耕種組織、同一の農業經營團體ではこれが生産物の共同運搬並に生産物の共同販賣をなし従前の販賣法と比較し三割乃至五割の利益販賣をやつてゐる。經營地域内における品種改良上、水稻採種圃の經營をなし、産米の改良をなすと共に蔬菜優良種子斡旋並に試験をなし、現在農家の經營上能率増進上においても必要な臺所の改善及び宅地樹木の改良及び宅地利用の實を學ぶべく、目下調査研究を終り正に實施せんとしてゐます。

種畜場長を私淑して

千葉縣香取郡 香取 毅
本大須賀村前林

講習中に受けた感激！それは何んといつてもあの劣悪なる土地にこの不況時にも拘はらず歩一歩と成果を収めつゝある種畜場の有畜農業経営法でありました。

私は場長さんといつて案内された人を見た瞬間「この人が！」と思つた。それは何んと飾氣のない率直な一見農夫のやうに見えたからであります。そして次の瞬間この人こそわれ等の味方だと思ふと何んだか自分の父でもあるかのやうな感じがしました。

一度御講演を拜聴しましたその経営の實際を見た時私は前途に一大光明を見出し、ひ切れぬ愉快さをおぼえたのであります。そして歸宅早々場長さんに實習生希望を申し出たのであります。他縣人の入場は許可されてないといふのであつて實に残念でした。

しかしこの時に受けた感激は今尙腦裡に深く沁込み私の永久忘るゝ事の出来ないもの一つとなつたのであります。そして終に私の農業経営方針を確立せしめ、着々と向上への途を歩ませるものであります。

私は現在までの金肥第一主義経営を断然排して牛一頭、豚三頭、鶏二百羽を畜し有畜農業組織に改めました。

畑は自家用蔬菜畑を除く外、全部麥、玉蜀黍、甘藷等を栽培しこれ等を家畜の自給飼料とし、また一方「多收は地力、地力は努力」の標語にならつて年に水田は全般にわたつて少しづつ、深耕し客土をなし、畑においても早々一反五畝歩、二反五寸の深さに掘り返しその中に反當千五百貫位の粗製堆肥を施し着々土地改良をはかりつゝあります。その他各種作物の反當收量を年々記録する事にしました。

以上改善し來つた今日において、早生産費において約三割の節約をなし尙その收量は却つて増してゐるやうな状態です。なほ年中努力が均等

はかかなりな多角経営ではあります。だが私は安城で全国の同志の話、またその後フル・スピードで讀み初めた農業書によつて、地方的に異つた様々な経営法を知つて、私も、少なくとも、現代の経営法の最高レベル迄私の経営法をこぎつけて見せる心算で、今やうやく眞黒な汗を流して、働のスタートを切つた所です。

先づ堆肥から

千葉縣長生郡 宮崎 茂 一三

安城に到着し第一に感じたのは明治用水で天保年間早くも計畫され明治十三年に完成し不毛の荒野を努力と勤勉によつて現在の成果を擧げた事に驚きました。つぎは産業組合、養鶏組合等の發達です。組合員が鶏卵の荷造その他組合事業に喜んで出て來る様子及び多大の費用を掛けて農業會館、種鶏場等が出來上つてゐることも輕視することが出來ません。これらは安城農民の共同一致の精神の表現でせう、つぎが板倉農場です。まづ門前に立てられた「肥料の自給で不況の打開」には深く心をうたれました。私は今迄に篤農家を視察して栽培面積や作物の生育状態で板倉氏以上の人も見ましたが、経営においては彼に勝るものはありません、その注意深さ、努力の配分、方法等大に参考になり感激を大にしました。

研究会終了後着手せる物は堆肥の増産であります。従來は麥作に約七百貫位稲作に千貫位を作つてをりました。本年は麥作用に二千三百貫位作りました。少し注意すれば材料はたくさんあります。

畑作物に對しては目下研究中で柿を一反歩程植込むこと、苗木は本年春販賣の目的で接木した富有を以てこれに當てます。

され農閑期といふべき時も無くなつてしまひ、そして朗かな希望の下に働くので非常に愉快家中誰一人不平をいふものなくみな協力一致して労働を樂しむ様になつて來ました。

居宅附近一般農業改善指導は農事實行組合を組織してこれにより農業の全般的改善研究をなしてゐます。今春以來家畜の数が非常に増加した麥作は懸賞を附して多收に努めたので約二倍の増收を得ました、明年よりは總體的な多收に努力致す考へです。また他方青年の農業補習教育に關しては農業科を擔任し來るべきわれの時代を樂しみに指導研究を續けてをります。

經營の最善をめざして

千葉縣印旛郡 富里村中弘 石原 武夫 二

昨夏の農業改善研究会に出席の光榮に浴して私が感激した事が一つあります。

それは愛知縣立種畜場長參木氏の人格です。

農人としての參木氏は、私達青年にとつて良き父であります。氏は言葉のみの農業ではなく、眞の農業、氏自身が農場の經營者であり、農夫でもありました。そこに氏の全人格が見出せるのです。

氏は、實際經營に縣から金を借りて養蠶室を新築して養蠶を初めたこと、それを何年間の後全部返金する豫定とか？、その事實が私達青年には無上の良き教示であると思ひます。

やうやく百姓といふものはこんなものか？と、ほんくらな頭に色々考へねばならなくなりました。親達のやつて來た經營、それも地方的に

水田裏作は紫雲英を増加して三反歩（前年一反歩）油菜は一反歩（前年一反五畝歩）その他玉菜、大麥、玉葱の類は本年は中止。

鶏、豚等については目下飼料販賣の方法等につき研究中。稲作については今後地力の増進により反當收量の増加四石を目標に進み現在反當平均三石二斗位です。

歸宅後區長、協行組合長に會ひ、區民一般に安城農業の狀況を報告をし、村農會方面に對しても同様報告をしました。

また部落に堆肥の増産を奨めました。六尺平方に高さ二尺を一個十點とし毎戸必ず二個以上を八月三十一日迄に作る事及び最高の者はその成績を後場に保存することを約しその結果、全戸數二十二戸のうち、七十點二戸、六十五點一戸、六十點六戸、五十五點二戸、四十點一戸三十五點一戸、二十五點以下九戸です。養鶏については目下研究中です。

農民道を理解して

千葉縣市原郡 高瀨村高浦三三二 前田 連太郎 三

近來自力更生の聲朝野に高唱せらるゝとき意義ある農業改善研究会を日本丁抹に開催され我々は心よりわれ等の前途の光明を期待した。

目的の安城の地に一步踏入れた時婦女の自轉車に乗り東奔西走の狀況を目撃し、また路上に自轉車を横たへ一心不亂農事に精勵する所は他に見られざるものでこれこそ「時は金なり」の金言を忠實に遵守する農民である。これ等の人々の力によつて日本丁抹が組織立てられて居ることを痛感した。赤松販賣購買利用組合の如きは組合長を核心とし堅固な結合をなし各種の機關と連絡協調し共存共榮の實を擧げて居ることは一般

の學ぶ可き所であつた、日本丁抹の代表たる板倉農場の合理的經營には特に目を大にして何はざるを得なかつた。大面積を經營し水田の大半を裏作に、勞力の分配、肥料の自給、地力の増進、家庭經濟、廢物利用に至るまで自給自足本位で時代に合致した經營法ともいふ可きであると思つた、また安城では指導すべき地位の青年男女は皆農業教育を受け郷里に居残つて農民の指導に立ち逐歩向上をはかつてゐる、實にこれ等は山崎先生の自治教育と農民道の徹底した力と思はれる。

われ等はこゝに目醒めて今後益々自己の存在を明かにし農民の踐む可き道を歩み高き理想と強固な信念とを以て邁進せずんば不況の一番は出來得ないことを痛切に感じた。

研究会出席を動機として經營上に左の如き改善を加へた

- 一、肥料は自給肥料を主とすること、二、耕作として菜種小麦を栽培すること

九月一日當地方の風祭りを利用し今回の研究会出席により得たる狀況を報告しました丁抹農民の長所たる自治の精神と農民道を理解し共存共榮の實を擧げ居ることを説明しその上當地方は二耕作に缺けて居るためこれを實施せざれば不況打開は出來ざることを指導し、これがため五十戸の農民は大麥小麦五畝歩以上作ることを協議した。

- 農業改善事項としては、一、經營は一家總動員式たること、二、經營は多角形なること、三、肥料は自給肥料を主とすること、四、裏所及び各經濟は自給自足を主眼とすること、五、生産物は共同により販賣し購入は共同でなすこと。

都築彌厚翁の身命を投げうつての大事業であることを聞くにおよんで全身の血が湧き立つやうな感激を覺たのであつた。

今日碧海の地がわが國農業の先進地として目覺しい歩みを續けてゐるそのスタートにおいて、都築翁が確固たる信念のもとに用水開鑿の大目的を樹て、あらゆる困苦と戦ひながら、ひたすらに農業開發のために努力奮闘せられたる大精神に對して誰か感激せぬものがあり得やうぞ、

一萬町歩の水田を潤すに足る明治用水の流れには、いままは彌厚翁の尊き血があたかも人體の動脈を流るゝその如くに流れて止まぬのである。この流れをくむが故に碧海の農家は奮起し、努力し、その結果が經營の上に、販賣の上に、生産の上に現はれていはゆる日本デンマークをなすものであるとおもつた。それと同時に私は碧海農業の現在を學ぶに當つては何よりもまづ彌厚翁のこの大精神に觸れなければならぬと確信したのである。

講習中私の感激したことはこれが第一である。

神奈川縣

蔬菜組合を設立して

神奈川縣足柄上郡 櫻井村會比 米山喜一郎

- 一、養豚組合を設立し一ヶ年餘りにして三十頭より現在百八十五頭となり相當の成績を上げてゐる。
- 二、本年五月蔬菜組合を設立し目下模範的組合たらしむべく努力中です
- 三、わが家の農業改善經營については、馬一頭、豚三十四頭、鶏十二羽を飼育し、肥料の自給自足を圖り勞力分配を合理的ならしめ從來の使

東京府

經濟に立脚した農業

東京府北豐島郡志村 大字志二二三番地 大野順四郎

かの開會式に際し理事長閣下のありがたき式辭を賜はりたるのみにても今後は益々努力すべき感に打たれました。

講義に就いては新時代の農業經營は須らく經濟に立脚して基礎的知識の涵養と實行及び成果に滿全を期すること、農事實行組合の經營法で自己の經驗により發して實際的であるべきことを自覺しました。農村の自治問題に就いては農事行政が根本義なることを痛切に悟り、農民の生きる道においては、第一に勤勉の貴重なることを覺えました。

一週間の講習に於て、昭和の時代における農業經營者としては經濟に立脚して農業經營の圓滑を謀ること天の利と地の利と人の和によつて勇往邁進不撓不屈の精神はやがて世界の霸王となるを一層力強く感じたこれ私の大なる收穫でありました。

地下に眠る都築彌厚翁よ

東京府南多摩郡 七生村落川 朝倉昭郎

講習第二日の午後農事試験場の水稻各種の試験田を見學してから、板倉農場に向ふ途中、こん／＼と流るゝ用水を見て、自然の河川を利用したにしては整然し過ぎてゐるし、人工的に開鑿したものにしては實に大規模なものであるとおもひながら通つたのであるが、後に安城農林學校長富田文雄氏の碧海郡の農業經營といふ講話を聞いて始めてこの用水が

用人夫を無くした、しかして極力生産費の低下を圖ることに留意してゐる。

販賣統制を使命として

神奈川縣高座郡 澁谷村福田 富田勲

富民協會の多大なる犠牲と費用とを投じられてこの研究会を開催せられ以てわれ／＼青年の前途に一大光明を與へ下さりました事を深く感謝致します。殊に安城の板倉か、日本の板倉かといはれる質朴にして着實なるその風貌に接し、その指導を受けたことは感激の至りでした。この安城が板倉氏の如き人々の不斷の努力によつて日本のデンマークともいはれる程發達してゐることは全く驚かざるを得ません、各組合に参りましても堂々たる公會堂として設備の完全なる事實に驚きました。

研究会に出席してから農業經營に一大改善をなし、これまでは單なる直線百姓に過ぎませんでした、多角形經營にと改良し、現在では畑九反歩のうち五反歩を果樹園とし、水田は四反歩である。そして勞力の分配と自給肥料の増産を圖り生産費の減少により相當の成績を見ること、確信してゐる次第であります。

本研究會に出席したる記念としてわが農家の生活上に大改善をなし、無駄を省き、宅地の空地利用につとめ、果樹を植付けること等が重要なものです。當地においては畑における主なる農産物は相州甘藷ですが、今迄はほとんど仲買人の手により販賣されてをりましたが、それでは仲買人に多分の利益を得られてをりますので販賣に一大改善をなし市場に直

賣することとし、昭和五年の秋から始め、只今では全部市場に出荷する事となり、その統制も良く取られ京濱間の市場には本組合からの自動車毎日数臺は動いてゐるやうな状態なので日を逐ふて聲價は高まるばかりであります。

集約経営に生きる

神奈川県鎌倉郡 加藤 庄太郎²
村岡村彌勤寺

講習中の所感は已に當時農業改善研究所として提出致しましたので重複しますから省きますが、今尙感激深く脳裡に映じてゐるのは、毎の講師の熱心なる講義と見學の個所々々についての講義指導が熱心であつたことあります。かゝる熱心の人によつてこそかゝる安城が碧海が形成されるのだといふ感念を深く刻まれ、なほ獨得の農業組織を實習し體驗し得たことは技術上において特に精神上において多大の收穫を得ました。

從來當地方は水田の稲作、畑は麥作といふ單純農業であるため勞力が片寄り農業經營上經濟的に無理を生ずる傾があります。ために、又資力が乏しく經營を大にして収入の増大するとも出来ない小農の部落であり従つて多角形の農業經營法により偏重せる農法の改善の急務を覺り只管その改善に努力を致しつゝありました。

隣接に江ノ島、鎌倉を控へ東京、横濱の大都市に近接せる當地として蔬菜果樹の栽培により新鮮なる生品の生産は最も妥當なるものと考察し勞力の均衡と集約栽培による經營に没頭したのです。

比較的農閑の冬期に手入れが出来收穫も八、九月になし得る果樹葡萄

私は常に本山先生を始め諸先生の最も強調せられてゐる經營改善と最小面積より最大收益の實を擧げんとする點に着眼しつぎの如く着手した

- 一、計畫的事業に果樹ありと信じ、宅地利用として無花果ドーフィン種を宅地内に三十本栽植した。

- 二、荒蕪地の開墾、關東大震災により原野となつた地約八段歩を三年間の農閑期に毎年三段歩の畝入をし本年三段歩の開墾により桑樹三百本を栽植した。

- 三、枇杷園の間作として山百合根栽培。

- 四、桑園上の間作としてコンニャク薯栽培、コンニャク薯種子代二十圓成熟薯三十五圓、收支差引十五圓の殘、肥料は堆肥ならば一段歩植込は今後優に五六十圓の收入ある見込である。

なほ明年度よりは有畜經營方面の改善を加へる計畫で、現在は豚二頭鶏二十羽である。

居宅附近一般の農業改善については着々と同志と相はかり、近き將來において必ず成功することを期してゐる。まづ自己より範を示し後村民を指導せねばならぬ。これこそわれ等の使命ではあるまいか。

感激をそのまゝに

神奈川県高座郡 木 島 久 登³
有馬村杉久保

彼の明治用水の開墾を第一歩とし狐や蛇の巢で有つたといふ安城ヶ原を開墾、その硬赤土の惡質の土地を堆肥と客土の力に依つて今日の如き立派な耕地とし更に産業組合等の設置に依り農産物の共同販賣、共同購入等に依り收支決算を安定ならしめたことは實に感心しました。

板倉農場の模範經營は自給自足を第一主眼とし多角形的に、勞力の分

約三反歩の定植は已に終り本年最初の收穫を見つゝあり、なほ朝夕の少しの時間と女子供の片手間仕事として豚十頭の飼育を自家殘菜及び鎌倉江ノ島よりの殘飯により飼育を初め、田八段畑九段五畝歩を家族八人の自家労働により經濟的農家の經營自力更生の意味においての經營をモットーとして改善の一步を開きつゝあります。

經營上の改善の第一歩を進めつゝある折、本年四月本村農會よりの進めにより農會技手として村農會のため改善、指導の任に當ることになり園藝作物の栽培奨励と經營法の改善を第一として、本年八月に園藝組合の設立となり、郡農會指導の本に目下甘藷の検査をなし共同出荷をし從來にない好結果を示し昨年比し數倍の利益を擧げつゝあります。

まづ範を示して

神奈川県愛甲郡 佐々木 正次²
愛川村牛原六五二

農業改善研究會出席中最も感激し、感謝に堪へざるはわれ等の父と仰ぐべき本山理事長閣下の御熱心さであつた。閣下は八十歳の老齡にも拘らずわれ等一同と共に食膳に向はれ夜晩く迄御講演に或は農談會に親しく御指導下されたことである。

つぎは日本デンマークの稱に反せざる安城町の耕地の整然さだ。滔々と流るゝ明治用水の偉大さ、これぞ安城町民が現在の日本デンマークを作り上げた原因であることゝ、おもはず叫んだ。

また多角形農業經營の成功者板倉源太郎氏の經營振りだ、宅地の利用と自給肥料の製造等枚舉に暇がない、この町にしてこの人ありとは誰もおもつたことであらう。

配を圖り、一家總稼ぎの實を上げたこと又種畜場長の農業精神、先生の一言一句皆示す處は「働く」といふ二字である、機械農業の不振、有畜農業の隆盛、眞の農業精神はこゝにあらはれてゐる。

自給經濟の建設

神奈川県足柄下郡 奥津治良右衛門³
足柄村杉久野

泉州濱寺公園の一角に誇る美と内容の充實を以つた農業博物館に開會式舉行の日、八月十七日こそ私達の海に有意義にして永久に忘るゝ事の出来ない感謝と感激の一日であつた。富民協會が農村疲弊開發のため、行詰れる農業經營改善農村振興のために三度農業改善研究會を開設しその開會式に當り本山理事長閣下より本會開設の目的、那家農村振興のため誠心努力あらんとする訓辭を賜りたる時、與へられた名譽と共に責任の重大さを感じたとは終生忘るゝ事の出来ない銘ある印象である。

わが國農業教育の殿堂であり、その寶庫たる農業博物館にて、新時代の農民の活教育として農業知識を十二分に味はつて安城に向ひ、そこで橋本農學博士の新時代の農業經營、阿部經濟學博士の農業と經濟、愛知縣立種畜場長參木先生の有畜農業の經營、多角形農業經營の板倉源太郎氏獨特の經營方法の講演指導を受けて如何に今後の農民が、如何なる方向に如何に進むべきかを、諸大家の講演と實習とで暗示され産業組合經營、農事實行組合の經營等、岩瀬和市民、折目六右衛門氏に教へられ富民協會主事西村先生の「富民協會の目的と使命」で本山理事長が富民協會設立の動機と現在の事業狀態をき、飽くまでも農民の自力更生を主眼として現在農業恐慌に直面せねばならぬ青年の政治的經濟的自覺を教へられた。

従来の農業經營に改善を加へた事項は、徹底的の自給自足を目標とする肥料、家畜飼料、作物を巡る經營の合理化栽培。營養の吸収は無機體なるには養豚二頭を増飼育する。生産經濟よりも消費經濟に力をつくし記帳の勵行食料の目給等將來を考へ確固たる計畫の下に理想、信念に生きようと努力してゐる。

居宅附近の農業改善を指導の事項としては自給自足經濟思想の普及の徹底を身を以て範を示し人間味のある農村社會を建設しようとしてゐる。

新潟縣

販賣組織の合理化

新潟縣中蒲原郡五泉町熊代 關塚衛吉

一、第一回を農業改善の講習會受講のため、日頃待望の碧海郡に参りましてよもや日本のデนมートとは心に北歐ノ味の農業をかきつゝありましたが、さて見學實習によりて日本にもかくの如き新進な樂園があつたのかと思はず快哉を呼びました、今にして想へば時勢の進歩を知らざる單一農業は行詰りが當然すぎる程當然なものでした、有畜農業により地力増進により始めて多角形經營、統制のとれた農業組織には全く驚くの外ありませんでした。

就中岡崎の種畜場の經營は種畜場として使命の外に農民訓育の重任を果し更に立派なる野菜果樹等を作り進んで加工、養蠶等と利すところなく利用されたその經營振りは感激の外ありませんでした。

二、講習終了歸郷後詳細な調査研究の上「先づも手近」な拙宅の經營

の一は經營組織に對する苦惱である。

これが對策としての生活改善經營組織の合理化等々の源泉は結局心の問題である。不遇なる農村に任し矛盾撞着甚だしく、無自覺な連鎖に喘ぎ居る現在の農村にある地の利と人の和の結晶が即ち安城であると思つた。こんな眞實の農村文化を各郷土に打ちたてたいと思ふ。

歸郷後は學理と勤勞による體驗を基とし郷土の自然的經濟的事情の調査研究を配し創造討究し經營内部の統制を合理化せしめんとして左の通り試みた。

一、肥料の自給、生後三ヶ月の豚二頭飼育
一、水稻自由研究田の實施、研究要項イ、經濟的、ロ、肥料配合、ハ、植栽法

一、蔬菜、花卉、現在自家消費を主體とし、商品化を從的にせる結果は數品種、小面積、混植のため、管理、肥培、勞働能率上より畑地整理經營の改善合理化を圖らんとす。

一、宅地利用、三段歩に及ぶ空虛樹陰地を整理利用に務め、家庭必需品の供給用地たらんとす。
一、家族員の經營努力分擔活用する方法については目下計畫中
一、諸帳簿の明記、經濟知識の一般化

未だ日淺きと經營は主として家長悉く司る故、深い内容を知るを得ず圓滿なる家庭生活と遅れざる進歩的農業經營のため啓蒙こそ第一階なりと思つてゐる。

現在の農村は誠に矛盾無自覺の連鎖生活である、との見解より純眞なる青年と共に與へられたる運命の開拓に努めて居る。
一、社會經濟機構より見たる農業者の地位の自覺

に一馬力の農村動力を引入れて（聯盟事報第三號にも書かれましたが）産米の調製に能率を上げその餘暇を利用して玄米を加工して精米を販賣することに致しました。玄米を加工すれば一俵に對して約八升位の家畜の主要飼料である米糠を得ることが出来るばかりでなく（八升は一貫四百匁位あります）更に白米の直接販賣によつて少く共一俵に付三四十錢の高値で直賣りすることが出来ます（これには弊害のない現金主義で）かうして自ら作つた米を自分が加工をして自分が販賣するのですから町の人々からは非常に信用されます、本年はくつとこれの成績を上げたいと存じます、また精米は近隣のものも實費でやらしてゐますので村の人達も大喜であります。

三、第二回の農業改善講習會から非常な期待を以て歸りましたが、さて歸郷して見るとあまりに舊形にとらわれた時世に即しなかつた現在の私共の農業經營には全く手がつけられませんでしたが、恒久的施設による農業は一朝一夕には更めることは到底出来ませんので、昨秋より今春までに耕地整理の完成した立派な圃場にいままでほとんどなかつた裏作を栽培することになりました。紫雲英は先月の中旬播種されましたもの約五町歩餘、また從來一坪もなかつた菜種が四、五町歩、播種されることになりました（菜種は油の自給自足は勿論、油粕を目的として）若干町歩の馬鈴薯も作られることになりました。以上の成績は來春の結果に非常の興味を持つて居ります。（細い數字は來春に御報告致します）

教育と體驗を根底に

新潟縣古志郡上組村宮内 五十嵐英一

自然的經濟的配下に直接影響を受くる農村生活において必然的な結果

一、農業者、公民、青年としての常識普及化
一、青年教育の郷土教育
一、青年地位の獨立自重確信職業信念の把握これがため冬季閑暇を青年教育に充て青年の眞實を通じて農村の蒙を啓き農村文化への精進に努めて居る。
一、全國農業改善研究會に出席しその見聞記を機關新聞を通じて掲載し碧海農業經營精神を紹介す。

多角形農業に立脚して

新潟縣西蒲原郡小池村小關 高山泰輔

受講中最も感激したのは安城農民の非常に働くこと、よく共同團結の出來て居ることであつた。例へば板倉源太郎氏の勞働日數三百四〇日と云ひまたあの炎天にも拘はらず午睡なしに沸き立つ水田除草して居られた人々の勤勞振りを見、わが郷里の如く雪が多いとはいへ殆んど無爲徒食して半年暮すに比較して轉た感慨に堪へたかつた。これ素より同地は氣候に恵まれて居る關係もあるがそも／＼また明治用水路が開鑿せられ碧海郡民塗炭の苦しみより救はれ更生の氣運勃々たる時恰も、山崎延吉先生の如き大教育家出でられ生きた農業教育を施されたに依るものであると信するものである。我郷と雖も二十年前の思想の極めて純朴の時代に於てかゝる教育者が居つたならば今頃こんな不況のどん底に呻吟せず共よいであらうにとつく／＼羨ましく感じたのであつた。

受講後日尚淺く具體的計畫は未だ出來ず、従つてその成績も申し上げられぬが受講後郡内二ヶ所に亘つて講演會を開催して碧海郡の農業經營

を紹介し大いにその發奮を促し多大の効果を収めた。

又理想信を確立せしむる手段として昭和二年以來、部落農家を誘ひ合せ稲作競作會を興し、懸賞を以つて獎勵してゐる。尙當地は積雪深く水田裏作は不可能視されて居たが佐渡試験場の成績にヒントを得て水田の利用と餘剩勞力の消化を圖るべく昨秋大麥(細川錦)馬鈴薯(北海道早生)を試作せしに見事成功した。殊に馬鈴薯の如きは六月一日既に市場に出し一升十四錢の高價に販賣したことは自分乍ら驚き入つた。

また副業としては五〇羽養鶏は以前より獎勵し創業時代は掘立小屋に戸羽ぶきの極めて原始的な鶏舎であつたが、養鶏の日本誌を唯一の頼りとして且つ安城における講習會の經驗を参照、養鶏技術の練磨に努めた甲斐があつて相當自信を得、収入も逐年増加現在にては五〇〇圓の鶏卵貯金を得、鹽、油、電氣料等を引受けてゐる、これがため創業當時養鶏を投機事業の如く危険視した村民も余の經營振りを認め、一昨年頃より二〇羽養鶏を試みるもの續出し私はその指導者として及ばずながら機會ある毎に飼料の配合、病虫害の豫防法等、知れる範圍内に教へて居る。將來これ等最寄と共に養鶏組合を組織し、卵價の協定、飼料の共同購入を行ひ、以つて農家の福利増進を圖る覺悟である。

幾多感激の想ひ出

新潟縣岩船郡 青山彌十郎
山邊里村西興屋

安城町の組合組織のよく行き届いてゐる點は協同といふ一つの大きなものにより行動を共にして居るからであると思ひました。かうしたことは至るところで見受けられました。特に赤松信用組合と今養鶏場等で強く印象づけられました。講義中は折目六右衛門氏の農事實行組合の組織

現在に到るまでの先覺者の巧勞不斷の努力の偉大なものに今更ながら讀嘆感激した。

講習によつて農業經營改善の最新知識を滿喫したが要するに農村は自力更正で進めざるべからずと考へ、先ず手近き吾が部落の實行組合の不況打開の事業として次のやうな事業を行つてゐる。

- 一、稲作多收穫競技會の開催
- 一、優良大小麥の増殖、在來耕作反別の一割は麥作として二毛作をなし來りしが五ヶ年計畫にて二割に増殖せんと計畫してゐる。
- 一、小麥增收競技會の開催
- 一、稻架木の共同購入、收穫の秋、九月に入つてから天候に恵まれざる北陸とはいひながら霖雨降り續き梅雨のやうな濕つばい空模様にて明るい晴れ／＼とした日は一日もなく刈取つた稻が乾かず芽が出て米質も著しく損せられるので稻架木材料を大量共同購入し乾燥に努力しつゝある。
- 一、有畜農業經營の獎勵、當地方において農地耕起には他地方より借金をなし、春季三ヶ月に玄米三百二十斗宛賃賃料を支拂つてゐたが、經營改善上農家各戸に耕馬の飼育を獎勵し資金のなき者には無利子貸付をなしつゝある。
- 一、厩肥の増産、農家支出の最大をなす肥料の自給自足をはかり地力増進、麥作増殖等のため毎戸五千貫造成を理想とし、促成堆肥の増産獎勵をなした。
- 一、自家用醬油の獎勵、小麥の増殖に伴ひこれが加工利用をはかるため自家用醬油の製造講習を開催し、自給自足を理想として實行獎勵した
- 一、小麥優良品種比較試験地當、産業五ヶ年計畫に基き優良小麥選出の

せらるゝ時の苦心實行談で非常に感動を受けました。

また板倉氏の農業經營法もあれだけの人数であれ程の農業をよくやつてゆくのは勞力の分配のよくできてゐるためと教へられました。次に愛知縣種畜場の場長と場員の献身的な活動ぶりでした。何人でも口でいふことは容易であります。が自から先頭に立つてやると言ふことは中々容易な業ではないのであります。この點非常に感激を受けました。

先づ今後は裏作に力を注ぐ決心です、前年は全耕地の四割強に行ひましたが、本年は勞力をうまく分配して五割以上やることにしました。どうしてもこれからは勞力の分配に重點を置いた農業經營法でなければ駄目だと思ひます。裏作の主なるものは紫雲英、菜種、莖菜類等です。

富山縣

たゞ自力あるのみ

富山縣中新川郡 野村長多
舟橋村佛生寺

第三回の農業改善研究會に支部の一員として再び同講習會に出席の光榮を得、大衆農業教育の最新知識を集めた農業博物館において本山理事長閣下の温情溢るゝ御聲咳に接し更に二度目の講習、見學をさせて戴き感激に堪へないところで厚く御禮を申上ります。博物館は内容の充實といひかつ秩序的に簡易に農業上の最新の科學知識を動的に誰にでも判るやうに出來た、その設備は博物館として最も進歩した理想的なものでこれが考想と建設に御盡力下された富民協會の御努力の程察せられ農界のため感謝に堪へない。

平和の樂園、日本デンマーク安城の地の農業經營組織の統制振り並に

ため農事試験場より品種比較試験を命ぜられこれを擊當した。

一、共同作業場の設置、實行組合において精米、製粉、糞打作業のため水車による原動力の作業場を建設した。

右は指導實行したる大要であるが、今後協會の御主旨「富民強身」に向つて同志と共に共存共榮の實を擧げ、理想の樂園建設のため精進努力を續けたき覺悟である。

農業經營の秘訣を知る

富山縣婦員郡朝日村 舟場義松
下條四八三九

農業上以前不安に思つてをりましたことが現地で色々と教訓を聞かされてこれ等の謎がとけ心が非常に明るく感ぜられました。

また實習及び見學中には今まで私等の地方で見ることの出來ない農場加工場、色々の組合等の見學をさせられ、それ／＼仕事のコツを教へられこれ等のことを吾地方の農事に利用せんと思ひ痛快に感じられました

農業經營の改善としては
イ、水田五段歩餘を他の人と作替し住宅より二百間以内に二町歩の水田を集めました。

ロ、養豚(昭和六年三月)養豚場十五坪を建て母豚一頭買入れ仔豚を取り今日大豚六頭仔豚十八頭を飼養致しこれより出る糞尿を堆肥として水田、畑等に用ひ金肥の今まで用ひた八割を減じました、しかし肉豚は安價で利少く自給肥料の増産が經營を有利ならしめました。

ハ、果樹(昭和六年十一月)梨(菊水)苗六十本、無花果(ドゥフィン)

苗二十本、目下苗木養生中です。

ニ、宅地の利用（昭和七年一月）家の南方の方面の杉の木を根こぎにして一畝歩畑にし胡瓜、トマト等を植えました（収入二〇圓）宅地内の家の北方に豚舎十五坪を建て三十坪の運動場を作りました。

ホ、養鯉（昭和五年十一月）養鯉池三十坪を掘り幼鯉五百尾を飼養中でありませす。

ハ、水田前作（昭和七年春作）で左の収益をあげました。玉葱三畝、甘藍（早生）三畝、小麥一段、一寸さら豆三畝。

ト、水田後作（昭和七年九月）大根一反、結球白菜五畝（練床摘種苗移植法）聖護院蕪一反豚飼料用玉葱五畝、早生甘藍五畝、菜種子五畝、一寸さら豆五畝

チ、温床（昭和七年三月）温床瓜四尺間作胡瓜、西瓜、茄等の苗を養成し半促成栽培を行ひつゝあります。

居宅附近の一般農業改善成績としては次の如くであります。地力増進、及び金肥の節減、多角形農業法等を指導致しました。

養豚者七名村内に出来て飼養豚数四十九頭

養蠶者も多数に出し春蠶だけでも繭千三百貫賣上であります、蔬菜の促成栽培者も多数出し今年七月より村農會にて蔬菜の賣場を作つたため富山市内より商人が入るやうになつた。

水稻の研究に没頭して

富山縣東礪波郡 山野村飛騨屋 中 島 清 文

農業改善研究會に出席して早くも三星霜の間農村の不況は益々その度を高め前途は寒心に堪へない、近時に至つて漸く自力更生の叫びの

經營の改善に簿記は最も必要なので、毎年記入してゐるが、本年は更に富民協會發行の新農家日記により、勤務時間を調査してゐる。また從來郷土は金肥多用のきらひがあるので、これに代ふるに自給肥料として紫雲英の増殖をなし、水田に施用したが稲の發育には影響なく生産費の低減をはかることを得た。また水稲裏作として（西瓜跡以外）白菜、大根、蕪菁七畝歩を栽培した。宅地利用の目的で宅地五畝歩を開墾し、果樹苗（柿）を植ゑるため目下着手してゐる。

本村實行組合長會の席上で安城町農會の今日の如く隆盛となつた原因として農會や實行組合指導状態を報告し、本村農會技手と共に安城農會に倣ふべきことを力説した。そしてわが實行組合に更に計畫係、青年部係を設け、組合、組織の充實をはかつた。

組合の事業としては稲作競技會を開催し青年部員には肥料試験を擔當せしめ、生産費の低減をはかるべく努力し、蔬菜の共同販賣ことに西瓜は組合において採種圃を經營し品種の統一をはかり、出荷に際して検査し、幸ひ富山市場において好評を受けてゐる。

更に五月、七月、九月、組合員の作物栽培状況を青年部員に視察せしめ意見の發表をさせた。また今冬繭の櫻干を研究的に製造せし處成績甚だよかつたので、繭の頭、内臓を肥料とする目的で農閑期に獎勵する計畫である。また、自給肥料製造の目的で肥料タンクを設置獎勵し、紫雲英を刈出し腐敗せしめ蔬菜の肥料として施した處成績が良い。

奈良の講習生に教へられて

富山縣東礪波郡 北磐若村吉住 出 村 政 一

擽頭しつゝあるはその時期すでに失するの憾なきにしもあらずである。物價の暴落はいまは引返す處もなくわれ等農民の苦しみの一大原因であり仇敵である、この未曾有の經濟國難を打開せしむることがわれ等農村青年の義務である、私は内にあつては左の研究をなしつゝある。

第一、同量肥料施肥日の比較（五日毎に第六區分）

第二、挿苗日の時期の比較（三日毎に第七區分）
外に對しては産業組合に關係し現在の農村負債整理法につき種々研究しこれを善處して明るき樂土たらしめんとすることに専ら盡しつゝある、すなはち去る八月の肥料低利資金の融通に對し組合として一萬五千圓借入、これを組合員に割當分配融通をした。

自から率先して指導

富山縣下新川郡 大布施村析澤 開 澤 信 義

百三十餘名の全國の精銳青年が會場に集合した時、それは言語に絶する想ひ、緊張したものがあつた。その瞬間われは農業によつてわが國を興さねばならぬ責任の大なるを痛感した。各講師の熱心なる御指導及び實地見學により、私の前途に一つの有力なる羅針盤を與へられた感がある。安城地方の農業經營、産業機關の活躍はわれの最もよい目標である、殊に種畜場、板倉農場等の有畜農業經營には水田の耕起以外に畜力を利用することは最も學ぶべきことであつた。

ことに理事長閣下よりわれに「青年は正直、勤勉で敬神愛國の精神を以つて邁進せよ」との神佛信仰の偉大なる訓話は、若輩の私に取つて一生忘るゝことの出来ない金言である。

八月中旬炎熱焼くが如き酷暑の下で午後一時、二時附近の農家等は一家舉つて圃場の除草に餘念なく精を出して働いてゐられるのを目撃し、われ等の地方では盛夏のなかば晝休といつて中食後二時間は午睡をする一般の習慣と對照して感慨無量でありました、よつて講習終了後は一般人に先んじて午睡を排し日蔭の仕事（薬工）に精を出してゐます。

講習中は講演、實見學、いづれも大いに得るところありましたが、その中でも私の經營上特に改善を加へた事項は、講習中同班に西瓜の本場である奈良縣の農事研究生がりました。この人は郷にあつては西瓜栽培に特種の技術を得てゐる人でありました。品種の選擇、施肥の改善、熟度鑑定、販賣方法等に關し懇々と新栽培法を教へてくれました、本春以來舊來の西瓜栽培に一段の改良を加へ、これを適用した結果本年度より初めて實施されたる西瓜検査に本縣最初の出初検査を受けました。反當収益高二百四十五圓六十錢也を收得して本年度地方最高の記録を作成いたしました。

昨年講習を修了し歸郷後九月一日わが北磐若村農會主催の夏季農事講演會が開催され（聴講者四百一名）その節研究會の概要左の三項に基き約二時間の講演をいたしました。一、講義二、實習三、見學、なほまた小生十年前より温床施設に心をいにし、本春において七十坪の温床育苗栽培をなし廣く斯業者に委託育苗を營んでゐます、その上栽培上に關し附近斯業者に實地指導並に講演等をなし、一般改善に貢献いたしつゝあります。本年は農林課の胡瓜の採種圃を委託されてゐます。本夏において西瓜検査の助手を命ぜられました。

少費多益の經營

富山縣西礪波郡 山岸俊正
西五位村土屋

松の緑の色も濃き、濱寺公園の銀砂に映けて聳ゆる白壁の高樓、農業博物館を參觀して、今更ながら農業教育の殿堂として農國日本の誇り得べき偉觀と本山閣下の尊き御事業に滿腔の感謝を覺えました。

閣下が富民協會を設立せられて、いかに農民を希望に勇躍せしめられたこととせう。

開會式に際し閣下の一言一句は深く肝に銘じ、わが責の愈々重きを覺え、この上は微力ながらも農事改良に全身全霊を捧げ、以つて御期待の萬分の一たりとも盡さんと固く心に決しました。碧海郡の視察において板倉農場の自給自足、經濟の徹底した合理的經營は、われ等が第一に學ぶべく、またかくてこそ農家經濟の安全を期し得られると知りました。板倉老が絶大な努力と不斷の研究によつて今日の盛名を得られたに敬服すると共に、最善の努力が經營に成功する最大要素なるを悟つたのであります。要するに今後の農業經營は自給自足經濟の確立によつて、少費多益の實を擧げ共同の力によつて販賣を統制し、以つて收益の増加をはかり、生活を改善して支出を減じてこそ農家經濟の安定を得べく、また農民の政治的進出によつて農業政策の確立を期さねば、到底生活の幸福を望めないことを感じました。

今回の講習により得たる知識を活用し經營改善の實績を擧げたいと思ひます。

一、水田裏作、従來當地方は紫雲英のみを裏作する有様である。先づ改

收穫でありました。

出席後家内中仕事が多くなつて町行の用事や、遊び友達が少くなり、冗費も減じ、収入が増し、農村疲弊とは申しながら、働く日の多くなつたこと、収入の多くなつたことは富民協會の研究會に出席させてもらつたよめと喜びながら農業に眞剣に働いてをります。

改善を指導し農村疲弊を打開する一策としてわが河北郡にては一村各二名の篤農家の懇談會がありますので、これに出席いたしまして研究會に學んだこと、わが河北郡になさねばならないこと、經營改善の方策等熱心に講話致しました。また郡内各所の農事講習會ごとに出席いたしまして講話指導いたしてをります。

販賣方針の確定

石川縣能美郡 宮本克巳
白江村白江

歡喜と希望のうちに修了した研究會も早や三年の過去となりましたが最も忘れがたい諸先生の熱誠なる御講演のすべては經營は合理化ならせよといふ點に一致してゐると痛感してをります。

板倉農場の實習で農場主についてその經營方法を見聞する時その努力の分配と自給肥料の多用とはわれ／＼農業者にとつて最大の急務の一つであることを確信したのであります。尙又一般講習員の意見の交換は眞にその効果ありと深く／＼感じてをります。

歸郷後は、自給肥料地方増進をはかるため翌春子豚三頭を買入れこれを育成繁殖せしめ今日では成豚十頭を飼養してをります。その踏襲等は全

善の第一歩として一部を他の有利作物に變へんとす。本年は小麦、明春馬鈴薯栽培の豫定である。

二、肥料の自給、紫雲英の生育悪しき地は根瘤菌を接種し堆肥の増殖と鶏糞の施用を合理化し更に燐炭の製造に努め窒素質肥料の自給をはからうと思ふ。

三、養鶏經營の合理化、今回の視察によつて幾多改善すべき點あるを知つたので次第に改善し堅實なる副業養鶏を営みたいと思ふ。

四、生活上の自給自足、小麦の自給により自家用醬油の醸造。宅地の利用により蔬菜果實の自給。

以上の諸點より實行する積りであります。なほ本部愛農會支部を同志と共に設立し相互に經營改善に努め、青年團においては從來のスポーツ第一主義を産業第一主義となし、青年に農業に對する自覺を起さしめ以つて農村更生をはからんとするものであります。

石川縣

經營は多角形的に

石川縣河北郡 笠谷村倉見 小田喜久治

碧海郡の農業を見て、大家の熱心なる講話を聞いて痛感したことは、經營をこれまでのやうな直線的でなく多角形に進め仕事に暇なく働くこと、共同一致して諸種の組合を組織し、經營方法を合理化してわが農業に對して熱心に、眞剣に働かねばならないことでありました。また學理と理論を應用して經營を着力化、機械化し能率の増進、収入の増加をなすこと等を學びましたのは自分にとつてこの上もなき大きな

部屋内堆肥として毎年、水田に施用し金肥の節約は勿論、地力増進において逐時その効果ありとみとめられます。

農業經營の復式法の第一歩として毎年水田一反歩を變換して蔬菜地に利用し、茄子、胡瓜、西瓜等を促成栽培し、甘藍、玉葱等は裏作物として極めて集約的に實行してをります。

努力の分布を平均ならしめるため蘭草は二年三作法によつて實施し動力を利用して疊表を製造し一路大量生産に進んでをります。

毎年蔬菜栽培は擴張せらるゝに鑑み、その生産物の處理に關し實行組合の事業として蔬菜生産品處理組合を組織し生産物の統一をはかり共同集荷し消費者直接の需要に應ずるため共同販賣市場を設け、組合員一般の出荷物はこゝにおいて處理し有利に販賣することが出来るため逐年その發展を見つゝあります。

實行組合を組織して

石川縣鹿島郡 笠師保村 筆安次 六一

放任主義になりつゝある果樹(主に梨)に對し極力集約的栽培に傾けしかして最後の販賣に力を注ぎ、地力増進に對し自給肥料製造は勿論綠肥栽培に努力し、且つ從來の稻作のみの單一農業に對し果樹(梨、葡萄、柿)養鶏、蔬菜薬工品等逐次各種の農業を組織的に多く取り入れるやう努力してをります。

經營改善の要點としては養鶏の擴張、蔬菜の集約栽培、豚二頭、耕牛一頭を購入し、鶏糞、自給肥料と共に金肥を施用せず、また水稻採種圃を設け、なるべく純系の優良種子を栽培、農家の一家經濟を知るため家族の労働表收支計算簿等記帳をしてをります。

當地方は先にも記した如く米麥作の單一農業であつて僅かの葉加工品を加味する農業組織でありました。こゝにおいて區民の共同互助の精神を養成し部落農業經營をして同心の結合により改善實行するため、これが組合を設置してつぎの如き事項に對して努めて實行するやう申し合せてみます。

水稻共同採種圃設置。自給肥料増製をはかり、また蔬菜、果樹栽培の奨励をして従來、越中その他都會地附近より移入して來てみた果物野菜を幾分なり妨ぐ有様で、農家も自然金融も良くなり大喜びであります。農具の共同使用としては極く簡單ではあるが共同作業場として部落の中央に建て石油發動機、精米機、刈摺機等の設備をなして部落民が共同で使用し努力の不足を補つてをります。

他面共同購入並に販賣方面にも従來仲間商人に暴利を取られ、僅かの手取金並に多くの購入費を支出する甚だ不合理極まる事實を覺つて、西瓜、柿、梨、瓜類の如き多量生産のものは共同販賣をなし、また肥料、日用品等の如きものは共同購入等をなして幾分なりとも安價なるものを得、高價に賣却する等努めて勵行してをります。その他、養鶏、養豚の共同飼育、病虫害の共同驅除、改良苗代の設置等尙また社會的、教育的方面より、時間勵行、婦人の覺醒、貯金勵行、講習、講話、先進地視察等諸種に對し熱心に研究を重ね經營改善を圖つてをります。

冬期初春の候に温床等の設置を奨励幾分の餘剩努力を利用し、早熟栽培用の育苗し、簡易火力乾燥場を各級農會の指導によりその設置をなし産米の改良等を圖つてをります。

これ等の實行により従來何につけても爭論の劇しかった部落民間においては人心の融和が行はれ協力一致の觀念を自覺せしめるやうになり、必ず將來農業經營改善、合理化等着々實現され共存共榮、文化的發展が

改善の一步として水田二町二反五畝の中、二反五畝を蔬菜園となし、自給肥料として金澤市に接近してゐる關係上無償の人糞尿を運搬して生産費の低減をはかつてゐます。尙蔬菜園中約一反歩はトマトにして、しかしてこのトマトの價格の暴落期に備へるため、トマトソース、トマトケチャップ、トマト羊羹を製造する組合組織に努力して遂にその設立を見て現に好成績を擧げてゐるのである。

一反五畝の蔬菜園より今月十日迄の收入の概算は胡瓜百五十圓、トマト二百二十圓、茄子四十圓、西瓜二十圓位の収益を擧げ、今後尙胡瓜の後に稻作と、大根、白菜によつて五、六十圓の收入を得ることが出来ると思つてゐる。これに要する支出約百五十圓位を差し引いても尙三百五十圓の農業所得が僅かに二反五畝の地よりあがるのであつて、不況の折柄誠に結構といはねばならぬ。

私は農業經營改善の指導はその指導するものが眞に指導し、その範たり得るもの即ち人格指導とでも申さうかとに角この種の指導でなければ本當の指導でもなく、また効果も擧がらないと確信するものであつて、吾々農業經營改善研究會修了者がその指導に努めなければならぬとするならば先づ以つて自から經營改善によつて人格指導といふことを目標としてこの方面に努力しなければならぬと思ひ奮闘してゐる。

暗渠排水を施工して

石川縣羽咋郡 石田 正 良²
下甘田村福井

昨年小生等講習終了後農村開發の重大使命を受け、居村の開發はまづ自家開發からと信じ、經營方面に細心の注意をはらつてをりますが未だ見るべき事績も擧がらず實に赤面の次第である。

望まれるものと思つてをります。

まづ人をつくれ

石川縣石川郡 西野 與 作²
富奥村字栗田新保

私は農業改善研究會に出席中痛感致しましたことは、わが國農業經營法の改善、わが郷土の人達の農業經營法の一大改善が特に必要であると共にその必要が極めて急速を要すると考へたのである。

しかし乍ら如何に急速を必要としてもそれは斷じて模倣的であつてはならない。どこまでも獨創的であらねばならぬ、それは何故かといへば自家の努力は各自相異りまた趣味も相違し、或はまた氣候風土も考へねばならず、地理的にも自から差異が生ずるからである。

かくの如く實際においてその家々において經營の方針が多少に拘らず違はなければならぬので、第一番に自家の努力の緊閉を知らねばならぬ故に勤勞状態の記帳といふことが是非共先き立たねばならぬのである。

また自家の經濟状態に、農業の收支の状態を明かにして始めて經營改善の方針が樹つのである。記帳をなさず隨つて自家の現在の状態も知らず過去における經營の短所も知り得ないものが、高飛車に經營改善に飛びかゝつても、それは果して改善であるや否やは大いに疑問とするところであつて多くの場合自家に適せざる模倣、若しくは改悪となるのである。だから私は既に勤勞状態と收支の計算を明かにしなければ眞の改善は出來得ないものと思考し、機會ある毎に記帳の必要を高唱したので昨秋多くの青年が記帳するやうになつた。

私は研究會出席は従來收支計算だけ行つて勤勞の状態を記帳なさなかつたのであつたが歸郷後直ちにこれが記帳を行ひ、今年度においては

農村に識見人格高潔なる眞に農村民のため中心となつて各方面に活動し農家を指導鞭撻し農民の進路を照し向上せしむるやうな世にいふ中心人物を求めたいと、經營主の確固なる計畫の下に一家の努力をうまく利用し一家總動員で働らくならば、如何なるものも心掛次第で有効に利用することが出来る。

爾來一家の努力を考慮し仕事に迫はるゝ程度にまで組織を複式化した稲の火力乾燥設備、農業は自然に支配されることが多いから、自然をよく利用し、晴天なる日は野外作業に全勢力を注ぎ、雨天の時は室内作業を準備し置き、労働日数を増加しその報酬の最大を期するやう工夫してゐる。何分當地は秋收穫時に雨天多き故堆肥舎を改造し露架式に煉炭を使用し僅か五六十錢の費用で概六石位一晝夜にて手数を要せず乾燥することが出来る。火入れは雨天を利用して行ふ。また水田の暗渠排水工事最小の費用を以て最大の收穫を擧げるにはまづ土地の状態を良好にしなければならぬと信じ當地は濕田多くそれに降雨量多き故土地の利用價值少くまた作業能率の上がらない、故に村農會等の指導を受けて簡易なる暗渠排水を施行し、前年までの濕田は乾田と化し、利用價值は倍加し肥効率良くなり、收量も二、三割増加した。毎年一區劃宛施行の計畫である。

希望は板倉農場に

石川縣鹿島郡 笠間 禎 治²
越路村徳前

講習中數ある見學實習等の中で最も私の感激と奮發心を呼び起して呉れたものは、板倉源太郎氏の農場見學でありました。滿一ヶ年を経過した今日、彼の講習の事を想起する際に私の脳裡にくつきりと浮んで

くるものは只氏の農場あるのみです、氏の農場見學は私にとつては講習の全部でありました。一年、二年と時を経るに従つて、講習中の講義、博士や名士の講演、その他の見學せるものは忘れて行くであらうが、氏の農場のことだけは容易に忘れ得ぬことせう。それはわが生活にそのまゝ印してゐたからでした、私は度々こんな處を飯倉氏はこんな風にやつてゐた、あんな風にやつてゐたとなつて仕事に對照して反省して見るのです。氏の農場見學後、他の講習生の多くは氏が餘りにその生活の粗野なることを嫌うの評を下しました。もつとも氏は教育に恵まれなかつた故に現代のわれ／＼新農人を以て任ずるものにとり一種の物足らなさを感ぜさせることは私も同感であるが、氏が物と生活を活かし切つてゐる點を實に私は現今農業を破ない仕事として厭ふ輩の多い時に特に範とすべく見學して來たのであります。

氏の農場見學に感激を得た私は歸郷後私の農事改良の上に氏の經營を倣ひつゝあります。自給自足の精神、殊に氏が塵穢一つをも無駄にせぬ否それを變じて人生必須の物質に活り出すところに非常な満足を感得してゐるが如き點は、大いに眞似たいものと勉めてゐます。私は住宅附近にある一反歩の荒蕪地を開拓して蔬菜園とし、樹下の陰地に手造りを以て馬小舎と豚舎を作りこれ等の厩肥を以てこの瘦地一反歩を肥し施肥全部を補ふてゐます。この經營に割のよいことは耕作地が住宅附近に集團してゐることです。しかるに八ヶ所、九ヶ所と散在してゐる私の水田一町歩をなるべく集團させたく思ひ交換購買等によつて今年は七反歩迄を住宅附近に集團させました。

金肥を昨年より半減し、綠肥栽培、手間肥、厩肥等によつて今秋は昨年と變らぬ收穫を見たのもこの自給自足の精神に感しての賜でした。講習後近隣に及ぼせる農事改良事項としては見る程の事もありません

これが解決者たらねばならぬ。

すなはち現代語を以つて換言すれば所謂自力更生だ自給自足だ!!

そは若き熱血溢れる俺達青年百姓によりなさねばならぬと思ふ。憧れの地!!若海郡安城町に來て!!先づ土質の粗悪なのに驚いた、しかるにかゝる土質に栽培せられてゐる處の稲作、梨、西瓜等の極めて豊作なにはまた一層驚かされた。如何にしたならばかゝる美事な成績を得られるかと聞いて見ればこゝの百姓は

一、研究心に燃えてゐる二、勤勞心に富み土地愛護の念に深く三、一致共同心の強きこと

等からだに聞かされ、成程!!と感心した。

飯倉農場を見學して益々その感を深くした。働くを以て最大の樂みとなし働くを以て本分となす若海郡農民こそ最大の幸といはねばなるまい全力を擧げて働く!!そは美である。花も咲けるだけ咲いた野菊の美しさの様だ、力一ぱいの働は何でも人を引きつけるものである。安城が今日の榮を見るも一に彼等農民の力一ぱいの現れだ。おゝ!!俺等も負けずに働かう。

私の家の農業經營上加へたる改善事項としては

一、堆肥製造場設置。二、牛一頭を買ひ求めた。(役畜經營法)三、副業として柿栽培、栗栽培をなすべく地拵をした。四、養鶏、養兔をなす。五、苗圃の擴張をなした。六、家族の勞力分配を實行す。七、農業日誌を記載す。

居宅附近の農業改善事項としては

一、肥料の自給を實行。金肥買入の不可を説き堆肥製造を奨励して有畜農業經營の有利なるを奨めた。二、栗の栽培及椎茸の栽培をすゝめた。三、農事實行組合として今秋農産物品評會を催すべく決議した農

が、香月氏の講義「農事實行組合の經營」によつて協同を痛感し、早速受講後近隣十五戸と語り合ひ實行組合を組織し今春の田植は組合協同で實行しました。

不況打開の鍵を握る

石川縣鳳至郡 竹内久雄

愛知縣若海郡安城町にて開催せられた農業改善研究會は全國農村の青年百姓一二九名を集め、これ等の青年に農村救済の大經論を説かれ農村不況打開の方策をば、講義に、見學に、或は實習に、親しく教示し、若き熱血に燃ゆる俺達青年の胸裡に胸中に深く／＼奮闘の念を燃へさしめた。おゝ既に私達青年百姓の手には農村の不況打開の鍵は握られてゐるのだ。

現下の疲弊せる農村を救ひ、不況困憊の扉を八文字に押開いて中から農村振興!!活氣ある農村を現出さす者は果して誰か?

そは農業改善研究會講習を終へて不況打開の鍵を握れる俺達青年百姓なのだ。

農村を改善し農村を救済して一意清新の振興策を講ずる者は矢張り自ら耕し、自ら培ふ處の農村の若きわれ／＼百姓の手によつて企てられねばならぬと信ずる。

農村の事柄をよりよく解するものは名利のためにする政黨者でもなければ、また徒らに机上の空論に没頭する學者達でもない。

それはたゞ／＼われ／＼農民俺達百姓それ自身である。農村をよく解する者のみが農村の最も熱心な味方である。故に農村の問題は農民自ら

産物の改良品質の向上をはかるがため私が提唱せしものである。

先づ自らを耕して

福井縣

福井縣三方郡 耳村中寺 杉本榮太郎

伊勢の皇太神宮の御前で必ず日本農村はわれ／＼の力で彌榮せしめ神意を安らかしめると盟ふてからちようど一ヶ年、目に見えた改善の實こそあがらねど神かけし堅き信念に不斷の努力を續けつゝあることはこれを報告し得る信念がある。

思ふに今回の研究會の場所が適切な申分ない上に講師に斯界の權威を集められたことにまづ感謝の意を表する。安城地方があれだけに發達したる原因を考へてみると次の事項を見逃すことが出来なかつた。

農民が進取的であること、勤勞を尊ぶこと、中心となる人物を得たこと、農業組織の合理化、獎勵機關の發達と販賣購買組織の整備

以上の各項につき實地の見學と體驗、それはどれほど大きな收穫であつたらう。

これらの長所を探りわが地方の短所を補ふことは受講者に與へられたる大きな任務である。私の地方と安城地方とは氣候や交通においては比較にならない。農業の組織も外觀的にみればわが村も縣下の農村の中に相當の地位にあるが一々内容を見ると實に恥しい有様である。

農政方面から觀ても農民が餘りにも姑息的であるため種々の機關は完備してゐながら効果は擧つてゐない。かく一々比べて見るとわれ／＼青年の仕事が余りにも重大なることが知れる。

私は先づ自分の經營改善から手をつけた。勤勞を前提にして、總ての

計畫を樹てた、その要項を略記すると、

米作においては、品種の選擇、自給肥料の多施、耐病性品種特に稻熱病に強き品種の選擇、家畜糞を漸増して肥料と畜力の利用、裏作の紫雲英を減少して麥類、蕁苔、馬鈴薯、その他裏作蔬菜の反別増加等がそれであつた。

早生稻の跡地は九月上旬に利用し得られるため大根の栽培を増加し、將來加工を目的とする薬工品については統一したる製品を作るために村那の適當の指導と設備は必要である。更に大根の加工と早熟蔬菜に勞力を使用するため着々實行してゐる。

以上の事項は別に従前に比して大變化でもなく突飛な經營でない。ただ土地に適合した經營を基礎として研究會で得た新知識をとり入れて行く考へである。

今にも滅亡するかの様に傳へらるゝ農村の中にあつて私だけは希望と感謝に生き經營上或は生活の改善に必死の努力を續けてゐる。これが最も大きい收穫であらう、近隣への生きた指導として適切であらうと信じてゐる。何となれば今日の農民は以前のありふれた技術員等の指導に飽ききつてゐるからである。實際的な相談相手を切に求めてゐるのである。改善の記録を示すも方法であらう——薯屑や厩大根で肥えた豚、麥や飼茶で良く生む鶏等を見せるのも一つの方法であらう。端境期において農家の懐に入る金が如何に農民の心理をつかむことか！私は斯様な方面から自己の任務を果そうとして居る。

體驗より更生へ

福井縣大飯郡 高濱町立石 一瀬直一

日疲弊を深からしめたものと思はれるとは精農を見れば自ら明かで組織の改善經營の合理化が絶對的必要のものと思はれます。百姓は百姓としてどこまでも自力體驗により更生をするの確固不拔の信念が必要だと存じます。

經營の有畜化

福井縣南條町 今村英夫

この講習會が全国的の集ひである關係上、講習期間中絶えず各縣の農業經營の様子、農村の状況が細かに聞けて非常に有意義であつたこと殊に山梨、長野縣の方から蠶業専門的の農業にて疲弊を來し今や農業經營を自給自足に改善して更生しつゝある實狀を聞き福井縣に思ひ比べて是非ともわれわれの稻作農業を多角化して農業經營を自給自足主義に改善して行かなければならぬ事を痛感しました。加ふるに板倉農場を見、愛知縣種畜場長の話を聞くに及んで、農村問題について迷つてをつた心を眞に心強くしました。

私は今まで稻作のみといつてよい農業經營だつたのを稻作中心として有畜化し、農業經營を自給自足に近くする方針です。今迄は水田一町四反(内七反五畝歩は紫雲英裏作)畑一反(内水田裏返しによるもの三畝歩)であつたのを水田一町四反内七反五畝歩、紫雲英裏作、七畝歩蠶業裏作、七畝歩麥裏作、畑一反歩家畜飼料栽培、鮮牛(また軍馬拂下げあれば馬)役畜用、飼料は自給自足、鶏五十羽の如く改良を加へ尙宅地を利用して屋上に葡萄を作り庭木を梅、梨、桃となさんとして漸次改良しつゝあります。

わが胸を力強く打つ感激！それは第一農民教育の徹底、第二明治用水

開鑿、第三上下共同一致、第四勤勞と時間の尊重、第五有畜農業による肥料の飼料化、第六多角經營による勞力の分配、餘剩勞力の生産化、自給經濟の確立、第七産業組合組織の完備により購買販賣の統制、第八金融の圓滑等これ等總てが合理化してゐることです。私は常に村の實行組合の會合において村をよくする基は家族主義的精神だ、一大家族中に幾世帯かが住んでゐると想へば皆親子兄弟だ、お互に仲よく面白く眞剣にといふ事を主張してゐますが、なか／＼思ふ様には参りません。さすがは日本丁抹だと感じたのであります。私は先日當組合の集會において當組合の向上發達をはかるには共同一致の精神と勤勞が二大要素で碧海の實狀について自力更生の眞の力はこれではなければならぬと申し組合員また絶對要素と確信したのであります。自分は數年來苗代の改善に着眼し揚床苗床を實施してをりますが、從來のものに比し遙に成績が上りますから昨年来組合員に極力勧誘し昨年は組合員を苗代に集め町農會技手にも來て貰ひ、苗代の作り方から一切仔細に實習せしめ各自にやらせた處豫想外の成績を納め本年は組合員外の人々も大分やる様になり來年は更に普及徹底する事でせう。稻作も生物的見地から健苗第一主義でなければならぬ事の自覺が一般に出來たものと喜んでをります。

また増収は地力の増進から、地力の増進は自給肥料の増進によるの外なきを説き金肥は補助肥料として用ふ觀念を持つ事を主張してゐる次第です。農業に對する理想信念の確立は言ふよりも實行が大事で碧海の今日あるは郡民の一致した熱心だと思ひ熱心といふ事を力強く叫ぶものであります。次には農業の進展は實行組合の活動に待つもの最も大なりとされる。今日われ等は大地に熱を以て時代の進運する經營方針を確立せねばならぬと思ひます。農業が世の中の進化から獨り取残されたため今

居宅附近の一般農業改善としては、農業經營を有畜化せしめ肥料、飼料を自給自足せしめため水田の裏作を奨励せんとして、講習會修了歸宅後各地にて集合あれば必ず出席して座談的に奨励しつゝあります。

多角にたつ自個

山梨縣北己摩郡 篠尾村下笹尾 小林茂良

- 一、講習中に感激せしこと
- イ、諸農業機關の連絡統一の取れてゐること
- ロ、三十餘年前の赤松林が今日の豊饒な耕士になるまでの努力には驚きました。
- ハ、農業の複式化であります、吾等の地方も複式ではあるがその機構が實に少さい、これは農事機關の發展利用の不十分なることによると思ひます。
- ニ、板倉さんの勞働日數の多きこと。
- ホ、消費節約の方法の細心にして周到なこと。

二、農業經營を多角形になすために次のやうなとに就て研究をしました
イ西瓜、トマトの栽培 以前は栽培出來なかつたとありますが昨年と今年の成績から見ると早生種ならば良結果を得ることが出来ることを立證しました。よつて明年よりは大面積に栽培して販賣したいと計畫してゐます。
ロ、柿の植附 柿は種無し甲洲丸として七年程前より生柿として東京横濱地方に出荷して成績良好であります爲に一反歩程に植付ました

ハ、櫻桃の試験 春の販賣物がないからこれを栽培して利益を擧げた
いと試験に着手しました。

ニ、養鴨 自給飼料で飼育することの出来る範圍内於にて二十羽購入
ホ、養鰻 水田利用として三坪程の池を作り昨年より初めました、成
績はまだ不明です。

また講習を了へてから間もなく入營、本年五月三十一日除隊となつて
農村に歸りこれからいろいろの計畫を實行しようとする準備中でありませ

農事研究會を設立して

山梨縣中巨摩郡 清水 内 明

本山理事長は當時七十九歳の老齡、社務御多忙の折柄にも拘らず炎暑
の中を意見發表會にまたは講演中に、熱心にわれわれのために御臨席下
されたることは實に感激の外ない。

歸郷後は從來の經營に養鶏を加味しなほ果樹(柿)一反三畝の増殖を
なして、米麥、養蠶、果樹、養畜、蔬菜及びその他小なりと雖も花卉栽
培、果樹苗、植木類の栽培を果樹園作として行ひつゝある。

また下田將美先生の經濟論により棉、砂糖の日用品等も八月中旬に本
年分用費を納入し多大の利益を納めた。

農業簿記は元來極めて簡單であつたが昭和七年度から、勤勞表、收入
、支出その他詳細に記入して豫算生活を第一歩から始めてゐる。事業に
よる詳細なる成績はなほ未定であるが後日更に機會を見て報告する。

昭和七年一月附近青年九名の同志を糾合し玉簾第三區農事研究會を設
立し毎月一回例會を會員宅を巡迴的に集合開催し、各自の收入合計(養

をどうしても多角形にせねばならぬと同時に、多角形となればなる程眞
の共同心、勤勞の必要なることを感じた。

研究會出席の結果、僕は經營上において從來の米麥養蠶の直線農業に
以前より少々行ひつゝある養鶏を、眞に副業養鶏となすべく計畫し、現
に成鶏三十五羽とし、雛五十羽を注文した。因て多角形農業となす考へ
である。なほ寒ウドも栽培なすべく板倉源太郎氏に苗を注文した。

農業改善の指導として僕は先づわが部落(甲村の下黒澤部落)の内の
志あるものを集めて以前よりの農進會なるものを再興し、會員十二名を
得た。先づ本年は各會員の田の坪刈りをなし、その成績を見て反當實收
斗を目標に進むこととした。また本年直ちに多收種田として一反三畝四
四石八歩の水田を借り、肥料試験より多收種の研究をなすこととした
その他本年より水田(乾田)には必ず裏作を作り、養鶏飼料をとること
とした。

別に養鶏は養鶏組合を設け、集卵を毎月三日、八日、十三日、十八日、
二十三日、二十八日、の六回に行ひ場所は組合長宅とし荷造りなし、共
同出荷をなすつゝある。その成績は極めて良好にして組合員二十三名、
九月現在にても毎回十二、三貫の卵が集まつてゐる。その他堆肥の増産
をはかり米麥の多收を期する豫定である。

日本の百姓として

山梨縣西山梨郡 中 澤 孝 磨

國のため身のほどくにつくふなむ
心のすゝむ道をまなびて

鶏、勤勞節約等により生じたる金)より金五十錢の強制貯金を十年計畫
で積立をなすと共に各々自己農業經營の研究、農業社會的時事問題の研
究發表等をなし、肥料、種子その他共同購入等をなしつゝある。設立以
來回を重ねる毎に緊張味を加へ、一方桑樹介殼虫驅除劑として、比較的
安價且つ有効にして噴霧器の保存力を増すマシン油乳劑の調製配付をな
し、今春ビール系種卵五〇〇個の共同購入をなし委託孵化をなしてこれ
が育成をなし、二十羽養鶏の實現をなせると共に昨秋の麥肥料より全部
肥料の共同購入、農具、養畜飼料の共同購入をなしつゝある。

自給肥料の増殖をなして金肥の節約をはからんがため優良なる仔豚の
購入をなし、會員の大部分は養鶏と併せて養豚もなしつゝある。

副業養鶏を充實して

山梨縣北巨摩郡 櫻 井 壽 秋

我等の農業博物館は全國無類なものはもとより東洋一ともいはれ、その
内容の充實さは眞にわれわれ農民をして我國の農業の概要から、外國の
農業現狀にいたるまで理解せしめる一大殿堂、これ理事長本山彦一先生
の御蔭と深く感謝するものである。

つぎに現在農村を眞に改善せしめんとするには、われわれ農民が單に
仕事に精勵し、むやみに稼ぎ、經營の一部分を改善する位のみには十
分でない。働くことの必要はもとより、これと同時に大いに政治的に目
醒め、政治に理解をもつやうになり始めて農村が更生されるものと痛切
に感じた。

見學中に、何處の組合に行つて見ても、碧海郡の農民は非常に共同心
に富んでゐること、勤勞であることに驚いた。將來の農業はその經營

明治天皇御製を奉じてわれ等農民のために御盡力下される本山彦一翁
の偉大なる人格と業績に最大の感激を感じるのであります。

つぎに學科に、實習に、見學に、また寮生活に、この綜合的指導方法
に感激せざるを得なかつた。

眞の人間生活としての精神生活と、經濟生活とを如何にして向上せし
めるか、いかにせば日本の百姓として安定せる朗かなる生活を續けるこ
とが出来るか、かういふ點を考へながら一意經營の改善に進んでゐるが
そのために左の點を實施研究中である。

イ、日常生活の改善 皇國精神を生活にとり入れての生活の合理化を圖
り家族全員年中八時間労働の確定

ロ、農業經營上の改善 自給自足經濟の確立、適地適作主義の徹底、協
同的組織化への進出

獨り一家にのみとまらず部落も小組合を中心として活動しつゝある
一、組合一區四十戸を更に八組に分ち、二、三十歳の青年を中心として
根本的改革をなさんと本年六月より實行してをる。實行事項左の如し
一、吾等の理想

イ、われ等は日本國體に基き、自治的農村政治の確立を期す

ロ、われ等は自治的經濟組織の擴張により、國家社會の安定を期す

ハ、われ等は精神農村文化の建設により全人類の健全なる發達を期す

一、共同耕作、共同試作、耕地交換、公平耕作化

二、共用販賣、共同購入

一、共同金融共同利用設備、共同保險

富民實行會の組織

長野縣東筑摩郡 新 村 百 瀬 貴 一

私は講習中において日本デンマルクの稱ある碧海郡安城町を實地見學して、初めて現今農村の疲弊困憊せるは、その經營と組織において大きな欠陥のあることを痛切に感じた。

たとへばわが長野縣農民の如く養蠶業を主とする交換經濟によつて、生計を樹てることは最も生活上危険性があり行詰るべき時節の到來するは明白であることを更に痛感した。こゝにおいて各農家はゆるゆる多角形的農業經營法によらねばならない。しかし一言にして多角形的經營といつても無謀な組織は禁物であつて、良く各地農家の農業狀態と環境によつて差別すべきであるから、その地方の氣候、風土及び種々の事情を調査し、その地に適當せるものを選択しなければならぬ。すなはち穀作養蠶、蔬菜、果樹、家畜等適宜、組入れねばならぬことを心から感じたのであつた。

また、農家經營を完全に發達せしむるには、指導獎勵の機關である各系統農會の活動は勿論必要であるが、特に産業組合の活動によらなければならぬ。碧海郡の如きは主としてこの組合發達によつて天下の模範的農村が建設されたものである。そして組合の發達は組合精神の涵養によつて圓滑進捗してゐる。またその反面には宗教と密接なる關係を有する事實も見逃してはならぬ。

要するに内面的の精密な研究調査は、講習見學の期間短かきため十分行ふを得なかつたが、今日の碧海郡安城町における農業の發達は、農業

も後援したので本年度はその成績一般の向上を見るに至つた。

從來、當地方は、稻作と養蠶を主體としてゐたのであつたが、小都市たる松本市を控へてゐる關係上蔬菜の栽培に有利なるを認め昨年度から五畝歩蔬菜栽培に充て好成绩を修め、一般農家にもその有利なることが認められ本年度は村内六十數名の栽培者が増加した。よつて出荷組合を組織し、種子の共同購入、肥料共同配合栽培法の改善等に努め、また生産物の共同出荷をなし好成绩を収めつゝある。

ユートピアの建設に

長野縣上伊那郡 西 春 近 村 酒 井 岩 夫 一

私は第一回研究會に出席した一人ですが、三年後の今日なほ印象深く腦中に感銘してゐることは、北は青森、南は琉球と、氣候、風土、日常の生活、言葉に至るまで、相違する百三十有餘の若人が、朝な夕な、講義に、見學に、さながら一身同體の如く、非常なる眞剣さを以つて研究に精進をしたことです。……これ無くて何んで農村が救はれよう……この團結、この眞剣。やがて全國の津々浦々に、明るい楽しい大ユートピアが建設されるだらうといひ知れぬ感激の念にうたれたのです。

わが信州特に南信地方は、大正中世の大好況がもたらした資本主義の弊害により、企業化してどの農家も養蠶主體の單一組織を取つてをりました。故に今回の如き急激な暴落によつて受けたる打撃は非常なものです。私は修了後歸郷するや養蠶、養鶏を始め、主として自給肥料の増收と金肥の節約を圖りました。一昨年の秋より豚二頭鶏三十羽の飼育を初め、昨年度は二匹の豚は肉用として販賣し、四匹を購入し、雛百羽を飼

經營組織において、産業組合に、農會に、その他關係各種團體において教育に、宗教に、修養に、娯樂に總べての合理的發達は私の感激に堪へなかつたところである。

從來私の經營は、米作、養蠶、養鶏、果樹(宅地利用)等であつたが、冬季間において努力に餘裕ありたるにより、また土地を高速度に利用するため、蔬菜畑一反歩を加へ、更に冬期間温床及び冷床により、苗の養成をなし自家用の苗の外は一般に販賣した。蔬菜畑には間作としての小麥西瓜、トマト、茄子、甘藍、ホーレンソウ、白菜、里芋等が主なるものであつた。

つぎに從來は自給肥料としては堆肥五千貫、綠肥七千貫、その他六百貫であつたが、なほ五ヶ年計畫にて將來堆肥の増製五千貫を加へて一萬貫製造の計畫を樹て、本年は差し當り一千貫を増製した。そして金肥節約に努めた。

更に養蠶業の合理的經營にいたつては、昨年十月二十一坪の二階建養蠶室を新築し、合理的飼育法により約二十貫の増收を得たのみでなく繭質においても優等品として市場において高價に販賣することができた桑園もまた改植し間作として小麥、綠肥を栽培し、小麥の増收及び綠肥により金肥の節約をはかり収葉量も増加した。

今後の農業改善はもとより青年の活動によらなければ十分に目的を達し得ないのであるから村内同志の模範青年二十一名を糾合し富民實行會を組織し毎月一回以上例會を開き、農事の研究發表をなしてゐる、なほ本年度は會員が各々分擔して農業經營の基本調査をなした水稻試驗地一反二畝歩を設置し、各種の試験を行ひ實地農家の参考に供した。本事業は主として富民實行會において經營してゐるが村農會において

育し、それに兎七匹を飼育しました。今年は豚四匹、鶏百羽、兎十匹、山羊一頭(乳用)蜜蜂一巢以上を擴張し從來の單一組織中に畜産をとり入れたのであります。その結果として年々二百五六十圓内外を必要とした金肥が今年はその一割の二十五圓で間に合ひそれで十分に作物が生長して相當の收穫を見るやうになりました。これも全く研究會中に感じ歸郷後に加へた改善の事項中大きなものであります。

つぎに蔬菜を副業として經營中に入りました。専用の蔬菜地としては持合せがなく、困難なので主としてまづ桑園の間作で始めました。主として馬鈴薯、白菜、大根、菜豆等で、三段歩位を本年は栽培致しました。基肥を十分に施用すれば桑の伸長などにも申分なく收穫も相當にあり多角形經營とその特長を發揮することにしました。

また農會、農事小組合、養鶏組合、養豚組合等としては協力して改善に努めてゐます。また副業としてトマト、茄子の栽培をすゝめ(主として小範圍の居宅附近)自家にて多數の苗を養成して附近の農家に配布しましたので、今では自家用にすら不足を感じた近所の農家が村農會の共同出荷には他の部落よりの農家よりも皆な大量出荷を出して相當な利益を擧げたやうな次第です。

出荷統制と自給自足

長野縣南佐久郡 野 澤 町 高 柳 平 林 近 登 二

經濟界の不況は全國的とは申しながら長野縣の如きは養蠶を主體として農業經營に於ては農家の收益の上に甚しき打撃を蒙りつたやうな次第で、この重大なる非常時に際して一大決心と努力を以つて農村振興に勵進する覺悟で第二回の農業改善研究會出席の光榮に浴すると同時に責任

の重大を感じこの不況の農村を興すは意氣激たる青年の活動にありと深く考へ重大使命を帯びて農業先進地安城に行き一言、一句、一日、一週すらも見逃さじと一生懸命に勉強した。

各先生の有意義なる講義はわれわれが郷里に歸つて活動する上においてまた絶大なる教訓と力となり、われわれが終生忘れることの出来ぬ程身にしみんと感じた。

板倉農場の多角形農業、種畜場の有畜農業は、自給自足の見地から碧海郡切つての代表的のもので、われわれは二日間の短い期間とはいへどもこの尊い體驗は百萬の味方を得たと同じく、村に歸つて事業經營の上に非常に参考になつた。見學中第一に目に附いたのは各種組合組織の非常なる發達である、農會、産業組合の活動は特に目覺しい、この間にあつて農家實行組合の活動があり、共存共榮の實が現實にあがつてこの不況の今日なほ隆々朝日の昇るが如き勢ひは碧海郡農村を蔽ふてゐる。この最大原因は信仰心の強いことを見逃せないことである、朝夕神社に參拜する人を見、または道路傍の無名地蔵尊に四季の花がそなへてあるとは如何に碧海郡民は信仰心が強いかを示すもので、到底他府縣には見られない。この信仰心があるため共同一致の精神となり各組合の發達となつたと私は確信したのであつた。

われわれはこの尊い體驗を收めて故郷に歸り今迄の舊式農業經營を改めて多角形農業へと實行しつゝある、まづ水稻多收穫栽培（昨年は縣農會二等入賞）肥料の自給自足から鶏三〇〇羽、豚五頭、乳牛一頭、役牛一頭を飼養する。

一般附近の農家に多收穫を奨励蔬菜栽培は七ヶ町村聯合にて佐久高原出荷組合を設立し、東京に進出しトマトは品質優良斷然第一位を獲得し

その代表的である板倉農場を見ても進歩的多角形經營法であり一面また自給自足主義である。また現下の資本主義經濟組織によく適合順應せる方法で、その利潤の大なることは驚歎するほどである。有畜農業、自給肥料の増製、地力の増進、經濟的多收穫をモットーとして米麥を主として果樹、蔬菜、養畜等をやり、然かもその一つ一つが完全に管理せられてゐることである。如何に計畫は建て、よく働かざれば良き結果を得られない、家族の一人一人が全能力を發揮して働くことが出来る經營法が年労働日數が働盛りのもの三百五六十日とは實によく働くものである。私はこの勤務に對しては心から感激した、尙また縣立種畜場の三木先生のやり方にも感激せしめられた、總て農業精神の徹底したものである、研究、實行、勤務、これでたしかに農業經濟の一面を打開することが出来ると思ふ。

惰夫をして起たしむる意氣で私も徹底的に働いてみたくなつた、その後寸暇をも利用して眞剣に労働に従事してゐる、これが一家の氣風を一新し耕地を多くした割合に人夫を多く要せぬこととなる。よつて耕地を増し、堆肥の製造を多くし、また自給自足の見地から一町歩餘の蔬菜園からは近來蔬菜の有利なる點から作らなかつた大、小麥だけ多收穫するやうに作付してゐるやり方によつて收益が多くなることを體驗した。

近來農民は經濟的打撃を蒙つたため皆眞剣味がある、一つの良き經營法、耕作法等が出来ればそれにならつて行なふやうになつてくる。私は未熟乍らこれ等についても農村のため盡力する心掛けである。また同志の諸氏と蔬菜苗の共同販賣等もやり數萬本の桑苗も遠隔の地迄輸送販賣して相當な成績をあげた、その他西瓜、牛蒡等共同出荷出来るやうになつて来たが未だその成績が上らない、安城地方の如く共同一致の精神に依つて販賣方法のより改善を行はねばならぬと思つてゐる。

出荷數においてわが農家組合九割（全部共同育苗）加工においてはケチャブ、ソースを製造し販賣してゐる。

自給肥料の奨励から共同育種（鑑別雞千羽）養鶏、養牛の奨励（養豚は野澤町六割をしむ）飼料の共同購入等に、また青年會共同水稻栽培共同採種田の經營をなした。この利益金を以つて年一回農事視察費、講演會費、圖書購入費等に使用する、これらの事業もちくちく効を奏し、近き將來日本デンマーク以上の理想都を建設する覺悟である、この効果も講習會の賜と深く痛感し農事の改良に一意努力する決心である。私の家も愈々自給自足の基礎が出来た、今後は益々農事改良と副業の奨励を指導し富民強身の實をあげ富民協會の使命をはたさんと誓ふ。

販賣の研究が急務

長野縣上高井郡 小 林 武 雄

富民協會主催の第二回農業改善研究會に出席して私が最も感激した一つは、碧海郡の産業組合並に農會の活動状態である。生産機關としての農會と、經濟機關としての産業組合が結合提携して、眞に農民の福利の増進のために實際活動をしてゐる。しかして農民はまたよくそれを利用して、生産、販賣、購買並に農産物加工等あらゆる方面において他にその比を見ざる發展を示してゐる。これ農民の共同一致の精神で、これを統率する人物の偉大さをものがたるためであつて實にその共同施設の完備してゐることに至つてはひききれぬ感激に打たれた。碧海郡の農民は本當に働き甲斐があると思はれる。

次には農業の理想的經營方法と徹底したるその勤務主義の實現である

感慨胸にせまりて

長野縣上水内郡 水内村水内 關 崎 房 太 郎

想巡らせば安城驛での同志諸兄と惜別の袂を分つてより日時を経るに増して友情の念追懐の情いよ／＼深まり行くを覺ゆるのである、惟ふに疲弊困憊の極にある日本農村更生のため、瑞穂國の永遠の榮にのため彼の大講習會を開催せられたるわれ等が本山理事長の眞精神はわれ等が五體に躍動してゐる。若し怠情安逸の情念起らば彼の講習會の感激を想起し本山老翁の赤心誠心に報ずる責務あるを痛感することにより不斷に内心の惡魔を征服し得るのだ。充實せる講習より特に感激せる事項を抽出するは困難であるが、その二、三を挙げれば第一は板倉農場の見學實習であつた、私が板倉農場を知つたのは昭和二年後藤先生が時の希望を通じて紹介した記事に始まる。從來板倉翁の人格とその經營はわが光明であり敬慕の的であつた。われ等一行を迎へ居宅を背に作業服のまゝなる翁の一言一句に、われ等は心耳を傾けた。多年の苦闘に白髪をいたゞく小柄な翁！その玉成された人品、溫容、この老農の語る一語一句は實に四十有餘年狐狸の遊びしという安城ヶ原をして青波そよ／＼美田と化し海内に誇る經營を完成したる不退轉の信念である。勤務精神の結晶そのものではあるまいか、想ひこゝに到つておのづから頭の下るを覺え敬慕の深まるを感じた。

次に農林學校講堂における富田校長の「碧海郡の農業」なる講演中特に教育運動に就ては異常の興味を以て傾聴した、また諸方見學視察中凡て額面をかゝげ得る處、我農生山崎先生の訓言の躍如たるを知つた。更に農業補習學校の充實振興、教育者の覇氣の熾んなる等々、容易に他の

追隨をゆるさぬものあるを感じた。

更に、縣立種畜場見學實習で參木場長の「有畜農業の實際」なる講話は感銘深いものがあつた。蠶養の飼料化問題、これに對する場長の意氣込、堂々たる養蠶室を持つなど全く養蠶を以て誇る長野縣農民として一步を先んじられた感があり、今後の經營に對し多大なる指導を受けた。

つぎは講習員ことごとく現に大地に立ち眞聖なる農村文化建設の念願に燃ゆる先驅しつゝある同志であり戦士だつたことは何物にもたとへがたき心強さであつた。また富民協會が彼の大講習を主宰するに當り徹底的に講習生の自治を尊重し、いさゝかも束縛制肘等の感なかりしその襟度には感銘の他なかつた。願れば農耕に従つて十年そのあまりに空虚にして實踐なきを恥じたが、一切はこれからだ、わが經營の革新、部落農業の改善修養氣運の振興と青年團運動の産業的實際等着手すべく働くべき大地はあまりに廣く深い。私は内心深く期す、私に課せられた使命は五年十年の後必ずや事實を以て立證せずにはおかぬと。

安城農民の自轉車

長野縣諏訪郡 萩原三吉
北山村

税金の割合高率と聞くに安城農民の自轉車利用者の多きこと、すなはち農民が時間の觀念の強きを知り一分もむだにせず、活用しつゝあることの表現ではあるまいか。安城の農民と農會産業組合或は各指導機關等の共同と統制の美事なことに驚く、すなはち團體訓練のよく出来てゐることである。

農民道を見つめて

長野縣更級郡 島田忠司
中津村今井

講習中に天下の名士のお話を聞き、また日本のデンマークである安城附近の農業を見學させて頂きまして、私共のまだ働きたりないこと農民の協力の力の薄きこと、研究のたりないことがはつきりとわかりました、何んとしてもこれからの農業は農民全部が堅く手を握り合つて突進せねば駄目であると思ひました。

とに角今回の講習會により農民の進むべき道が判明致し農業を従來以上に元氣よく愉快にやつて行けるやうになりました。

その後の私の經營には日淺きこと、努力の足らざるにより、未だ改善された事實は御座いさませんが、除々に改善して行くといふ覺悟は御座います。

私は粗略なる記帳を致してきたのみで労働調査なども致してをりませんでした、來年度よりは正確に詳しく調べて改善に資したいと思ひます即ち合理的な多角形であり、有畜農業でありたいと思ひます。過去八年間農業を營んで來ましたが、只慢然とやつて來ましたのみで眞の多角形(自給自足を基礎とした)であり、合理的な有畜農業でありませぬ。これからは十分に研究し、しつかりした合理的な農業の經營を致したいと思つてをります。

農業改善指導は未だ積極的にやつてをりませんが、自分の農業經營がまだ恥しきものであり未完成的なものでありますから、自己を作り上げてしかる後において指導致したいと思つてをります、左様にやらねば指

導の目的は達せられないと思つてをります。只幸ひ今では私が從來やつてきました方法のよい所を近所の人が眞似てくれつゝあります、蔬菜園藝を農業組織の中へ織込むことや、そして促成栽培なども皆次第に眞似をしてくれまして温床などはぼつゝ出来て來ました、病虫害防除なども今迄始とやらなかつたものが近頃その効果の事實を見てからやりだしました。ポンプなど借りて來たり、消毒法なども聞きに來ます、宅地利用に果樹(葡萄が主)なども植付け自家用の食糧に供しつゝあります。残念ながら未完成的の私は積極的に指導を致しました事實が御座いませぬ、ただ右記のやうに近所の人が眞似をしてくれつゝあるのみです、やがては農業改善の指導も積極的に大にやりたいと思つて行つてをります

たゞ理想の實現に

岐阜縣益田郡 奥田一美
小坂町坂下

私は過去に幾度か種々な講習會に出席しましたが、一昨年の第一回の農業改善研究會ほどの緊張と感激とを感じたとはありません。集まる者はすべてがその縣の知事推薦の名によつて一縣の青年當業者代表の責を身に負つて參じた人達だけに、その熱心と眞剣さは何物かを握らずばやまんとその意氣天を衝くの感がありました。富民協會報は最初から讀んで協會の眞精神は知つてはゐましたが、直接理事長以下職員の方々がいかに農村の指導者として奮闘して居るかを見て、實に私は感謝せずには居られません。安城の地は初めてでした、百聞一見に如かずとか書籍ではデンマークの經營も安城の農業も研究しては居ましたが、この機會につぶさに當地の理想的經營法を見せて戴いたとき、また詳細な説

明を受けて理想の現實化を初めて見、實にこれだ、これだ、自分等は理論は知つてゐる、理想も描いてゐるが、別に變つたところはない、只實行にあるのみだ、私等は實行してゐない。彼等は實行してゐる。只これだけだと私は深く感じました。郷へ歸つたなれば力を合せて斷然農業改善の實を揚げやうと決心しました。この地で産業組合を合理的に運用してゐるには感心しました。産業組合の合理的經營こそ農村更生の最大要點である、生産において、販賣において、購買において、また金融において皆組合によつてはじめて農民の福利が増進せしめることが出来るのである。個々の人が別々に進むんではいつまで経つても同じことだすべからず産業組合に集れと私はいひたい。

更に同地に見逃してはならないのはこの農民の勤勞といふことである。代表的な板倉氏を見てもまた自轉車を走らせて農場に働く婦人を見ても實際よく働くと思ひました。

思ひ出多き七日間、最後の夜の懇親會の催し、各地の郷土藝術の發表なども忘れがたき思出です。

それ以來私の農業上の經營は一大變化をしました。従來私の土地はあまりに養蠶にのみ偏した經營であつたため、近年の如き生糸低落時代にはみじめな状態です。何とか改善しなければと考へた結果、多角形式に改善しつゝあります。山間地ですらまづ牛馬の飼養(山野の芝草利用)豚、鶏の飼育、養蠶、溪谷利用の山葵栽培、果樹栽培(苹果、櫻桃)等から初めてゐます、また縣農事試験場の委託試験地を擔當しまして蔬菜の品種試験や、經濟栽培調査など實行して、いさゝか當業者の參考に資してをります。

産業組合の役員として、また農事組合の組合長として活動してをりま

すが、諸先生の御教訓を遵守して郷土發展のために微力を致してゐます。協會としまして毎年の研究會は多大の犠牲と御推察はしますが、是非永久に本研究會を催して頂いてもつとわれ等の同志を養成して下さい。やう御希望申し上げます。

安城は統制の二字に光る

岐阜縣稲葉郡 佐藤 治 徳¹
黒野村折立

碧海郡の發達の基礎をなすものはたゞ統制の一事あるのみと信する、即ち郡農會及び産業組合聯合會を中心として各系統的に各部落に至るまでこれら團體の密接なる連絡統一のとれてゐること、つまり一つの指導精神のもとに各農家は歩調を合して進んでゐる。私は碧海郡全體の農家がその經營が合理化されてゐるのではない、且また全體の農民が優れて賢明であり、他よりまさつた技術の所有者であるとは思はれぬ。碧海郡が日本デンマークとして今日の名實共に備はつた隆盛を來したのは全く統制の一言に盡きると思はれる事實から推して、自村を反省する時、ひ知れぬ心淋しきものがあつた。

農業經營の有畜化と自給肥料の増産、農業經營の有畜化として以前より飼育しつゝあつた鶏を一層増加してこれに依つて自給肥料の増加を計ると同時に、收益の増進を圖り一四一圓の利益をあげた。

このほかに肥料として鶏糞三〇〇〇貫がある。鶏糞は蔬菜、桑、柿に施用して相當の効果（金肥の節約または廢止）を挙げた。また自給肥料の増産につきは現在の經營面積全體に反當四〇〇〇メ乃至六〇〇〇メを目標として役牛一頭からの生産厩肥一ヶ年約三、五〇〇メのほか、屋外推

ははつきり申上げられませんでしたので残念に思つて居ります。

また農業基礎團體長に推されて自家用米麴醸造計畫に骨を折り、共同的に米麴、味噌醗造の責に任じて一心にやつてをります。購買組合經營には外の人をあたらせて蔭ながら一生懸命に盡して居ります。

非常に簡單で御座いますが事實々行してゐることだけ報告申し上げます。

碧海郡の魂は何か

岐阜縣加茂郡 平井 士太 二²
飯地村

餘りにも有名な日本デンマークではないか、感激し易き青年の心理に碧海郡見學の關心に燃えるのはまた當然である。吾等もその一人であつたことは告白を要せない。もう刈谷あたりから列車の轟進中にも所謂鵜の目鷹の目、舌耳も鼻もだ全心全靈を捧げて三州の粹を把握せずば止まぬ意氣であつた。

一日二日と時は流れゆく。しかし一時だつて一分だつて無駄な時刻はない細心の注意と寸分の油断のないやうにわが心の底深くに銘ずることを怠らなかつた實に多忙な日時であつた、それは富民協會の完全と申したい研究日程の編成が否應なしに感激の二字と共に心中に食入らしたこともわれ等が消化を易からしめるべく誘導せしめた原因でもあつたらう。

さうして安城町を中心とし各方面の農業施設を見學實習し且權威者の聽講を終へた時、わが心を打つたものがあつた、偉大なる日本デンマークの存在を見つけたからだ、一週間の困苦の收穫は得られたのだ、萬歳の連發、歡呼の洪水、印象を去らない記憶ではないか、然らばそは何物か？即ち安城町を中心とする碧海郡の農業が併進的施設におかれてゐる

肥五、〇〇〇貫を製造して地力の増進に努力しつゝある。

居村の改善の部としては

イ、養鶏組合の設立、昭和五年十二月設立當時は二千羽内外であつたが現在五千羽に達し、今春より産業組合と連絡して鶏卵の共同販賣及び初生雛の共同購入をなしつゝある。

ロ、富民研究會を同志と圖つて設立し、毎月農談會を（農繁期を除き）農會及び青年團と共同して開きつゝある。

ハ、其他、夜間市場の設置、青果市場の設立等農會産業組合と連絡のみに微力を盡しつゝある。

養鶏に一步を踏み出して

岐阜縣惠那郡 原田 芳 男¹
遠山村久保原

富民協會が私の考へとは丸で異つて眞剣なる御指導をされてゐる態度を見て、これには深く肝銘しました。それから農業上における感激は板倉氏の農身合體なる態度、他に堪能なる經營者は良く見ますが、かくの如き確固たる人生觀に立脚した經營には感心せざるを得なかつたのです。

それ以後私は第一に勤勞第一主義に生きようと深く決心しました。安城における感化の結晶は、何より家内が良く働く様になつたと考へてゐます。又親豚を二頭、仔豚を三頭の三頭飼育してをります、自給肥料を作るに非常に良いと欣んでをります。鶏は六羽を研究的に飼つてをりますが今少し増飼する積りでありませう。また兎を六匹飼育して居ります。水田は深耕して多肥料で本年はやつて見ました、何事も日尚淺く結果

ことがわが農界に卓越する所以であると知つたのだ、農業の組織が、技術が、勞力の分配が労働能率が農産物販賣が、共同施設が、教育が何れも落伍のないやうに行はれてゐる點は實に驚嘆して惜まざる所ではないか、しかも異とすべきことは、宗教に重心を置いて情操教育といはうか感恩報謝、公共生活に自覺せしめてゐることだ、この點誠に指導者に敬意を表さざるを得ないのだ、一面金のもうかるやうに工夫し一方心を磨かしたその機轉、策戰の妙用意の到れる巧績は尋常一様でない。さうだ心が出来とつたのだ、心さへ信念さへ完成すれば後は誰れでも出来ることだ、この指導の精神と技術を或は一部に過ぎないかも知れぬが、それを知つた時、或は見方を誤つてゐるかも知れぬが、それを知つたことが各感激した中で一番、殊にうれしくてゝたまらなかつた。何故ならば僕は瞬間の感動位に満足するものではないからだ、理事長殿を初め各職員、御親切も有難かつたが就中碧海郡の魂を發見したことは獨り僕の至幸至福に止まらず主權の本意に添ふならんと信じて疑はぬものである。さて僕の責任感はその場だけの「やしの」のものなるか、その發見を如何にし得たか、協會の多額の物質消費に對する自信を持し得るかはこの光榮ある修了を動機として何を考へ何を成し何を行ひつゝあるかそれらは項を改めて記述しなければならぬが、記述するとせんは小さな問題に過ぎず、問題は實行のことだ、良き實行の報告を協會も期待されるものだらう、そのほんもの報告を次まで待つてほしい、僕の良心を信頼して。

總て多收穫式に進む

岐阜縣揖斐郡 野原 秀 雄²
宮地村舟子

光陰は矢の如く日本デンマーク安城においてわが農業界の先驅者として、活躍しつゝある富民協会の意義ある講習を受け神都伊勢にて、協会の方々及び講習生百三十餘名の覇氣溢る、全国選抜青年と袂を別つてより最早一ヶ年餘の歳月は流れ農界多難の秋、靜かに感激深き昨夏の大講習會を追想し記憶に残る儘を左に記しませう。

まづ講習會初日西村富民協會主事の理想郷建設に就き力説せられ、われ等青年の力にまつこと多しといふ講話に講習最初の異常なる感銘をうけた次第です。農業界の權威者にして農村青年の慈父と仰ぐ山崎延吉氏の農村自治の他に追従を許さぬ研究講述には安城の名聲噴々たるものは先生のお陰であると感じました。次に香月秀雄氏の農家組合の經營と題しての熱ある講義、婦人部の制度懇口罰金十五とは氏の努力研究の程も伺はれたわけです。

次に縣農會寺田技手の青果の共同出荷の講義はわれ等の生産物販賣上直面する問題で學ぶべき點多々ありました。岩瀬産業組合聯合會長の碧海郡産業組合の活動状況の御話で安城地方の日本デンマークとして全国より視察者相次ぐ所以もわかり、大毎下田講師の農村金融の講義には無關心になり勝なわれ等によき刺戟であり尊き收穫でありました。なほ印象深かつたのは町農會樓上における精農家、優良農事組合の表彰式、富民強身の優勝旗、さてはあのみ合村の開墾地なる縣立種畜場の廣大な農場その整然たる區劃、場長さんの蠶、鶏兩養の利用の研究講義等、實習では白菜播種準備の原肥施與時實に良き獲物でした。なほ赤色を帯びた土地に數反歩、累々と西瓜の結果してゐるのを見ては、人間の努力の尊きと、場長始め一同の活動の並ならぬ奮闘をつくづく感ぜしめられた次第です。また裸一貫よりたゞき上げ努力奮闘遂に全國農家の注意をひき、畏くも高松宮殿下の御台覽の光榮に浴した篤農家板倉源太郎翁

養鶏飼育を第一歩として

岐阜縣安八郡 森 島 多 藏
仁木村私大嶺新田

農業改善研究會の講習生に愚生が選拔せられて行きましたことは幾重にも感謝致してゐます。講習後私は直ちに農業改善研究同志會を組織致しまして重大なる目的を抱いて研究に努力致して居ります。私は講習中碧海郡安城附近の農業經營を見學致しまして非常に感激致しましたことはこの地の農家は皆多角形農業經營に奮闘してゐることでした。安城農林學校長富田文雄氏より碧海郡の人間は研究心、共同一致の精神に富んでゐることを話されましたが、今日日本の抹丁と稱せられるやうになつた源泉が實にその共同一致の精神に基きその研究心及び奮闘的精神にあると思ひました。日本の農業文化は安城より東西に流れると言はれますが、もつとも私も三事項を研究的に働いてゐます。第一は養鶏飼育を初めました。養鶏は今迄三十羽副業として飼つてゐましたが今度更に百羽多く飼つて多産鶏飼育の研究に努力してゐます。安城附近の養鶏飼育羽數、多産鶏の研究鶏卵販賣方法等の完全に行はれてゐる事實及び三十分間に百羽を雌雄鑑別する人が日本全國に五十七人居てその中九人碧海郡に居ると聞きましたことは、如何に養鶏が盛んに行はれてゐることが感じさせられました。第二は自給自足を重視してゐることです。現今の農村を振興せしめるには自給自足を行はねばならぬと思ひます。私は堆肥舎を建て、雜草葉を主に利用して自給肥料を造ることを初めてゐます。第三は圃を水田に作つて疊表を織ることです。私等二十一人で組合を組織してゐます。昨年三反歩本年六反歩作りました。今年は天候に恵まれて附着土の加減が良好であつたため、優良製品が出来上りました。總收穫

の農場見學に及んでは、その勤勞主義の徹底に驚嘆し、養豚を主とした大々的有畜農業の尊きこと、安城町の廢物、雜魚、骨屑及び道路の捨て駄木片を集め利用等する細心の注意の程、偲ばれてわれ等に與ふ點まことに大でありました。また碧海郡卵卵組合、赤松産業組合等を見學しては同地方組合組織の發達に驚きわれ等のとつて絶えずべき點多くありました。また農林學校寄宿舎の緊張したる氣分漲る中に有意義且愉快なりし數日の共同生活、他で味はへぬものでした。殊に講習の最後を飾りし伊勢參宮は實にこれ感激の極みで深く心の獎に期する處でありました。

この感激を動機として自家經營に加へた改善事項としては、富民協会の獎勵される米麥作の増收研究、有畜農業の徹底及び果樹園の開墾等で麥作においては昨秋二條廣時として今迄になき良き成績を得、稻作は本年天候順調を幾分缺きしたため豫想の如く十分な成績でなかつたが、わが家稻作の記録を破るものと私に喜んでゐる次第です。なほ葡萄を、講習受講の記念として三畝植栽し、既植の柿とあはせて果樹園經營をしますが、未だ幼木で収入は上げてゐません。また養鶏による鶏糞の水稲施肥は、本年の體験より確かに良好であると信じた。

次に附近農家の指導は現在積極的に行つてゐませんが、青年團産業部の主任をやつてゐる關係で聯合青年團決議事項による一人一研究及び前松岡青年團長時代開始の嘉寶西瓜甘栗南瓜の競作會を本年も團員一同に徹底させ、と角青年時代を無爲に過さんとする若人に農業的知識を刻み込ませたために團員に出荷する者も出来ました。なほ富民協會事業の一つで小麦の増收研究を計畫し、既に贊成を得て遂次播種管理と立毛競作會を催し村農會技手の審査をうけ青年による農村開發發輝せんとする次第です。

金額は賣上濟迄分りませんが、來年は更に三反歩多作して一層優良なる製品を作るため、早苗、附着土に研究の意を注ぎ多收穫を想像してゐます。

農村計畫を樹て

岐阜縣本巢郡 加 藤 泰 造
船木村十七條

本山理事長殿が如何に農村に對して御配意下されてゐるかといふことを豫てより承つて居たが研究會開會の御挨拶の折、特に青年に對して立たされば己まざるの熱烈なる農村振興の御信念を以て諸事業に御盡瘁下されて居ることを知り益々緊陣一番那家ため、農村振興に當らねばならぬといふことを痛感す、これが第一の感激。

板倉農場視察致し經營の點において、その實實剛健の同氏一家の御心鏡に對しては感心の外はない、特に一切の無駄を排しすべてが合理化されて居ることを知り益々追従せんとするの覺悟を持つ。

縣立種畜場における、有畜農業の講義には感激した。農村の有畜化、それが現今農村を救ふ尊き手段なることを痛感す。肥料の自給化、地力の更生こそ希はしきものなり。練習生諸君の眞剣なる活動振りには感激の外はない。

山崎先生の農村自治に關する御講義に依つて如何に農村が自治に對して權利のみを追求して義務の觀念に薄きかを知り、益々一致共力して打開すべきを誓ふ。

經營の合理化の第一手段として有畜農業の必要を感じ、耕牛一頭、豚三頭、飼育することゝなす。

これを動機として農村計畫の確立す。

農村青年の農村更生座談會に出席し大いに自力更生を叫ぶ。われ等青年の研究と奮起に依つてのみこの問題が解決し得らるゝもの、村に辯論部を設立し、産業に關する體験談を發表し益々その研究に心を引かして居ます、郷土の荒川農業基礎團體の團結と統制を圖るため、漸次、一人一役主義を以て改革して居る、共同事業勃興の必要上、諸問題における輿論喚起に勉め、特に青年團におけ講習の如きは極力農業講習とすることを圖る。

靜岡縣

靜岡縣榛原郡 河村七太郎
初倉村大柳

無駄多き自己に醒めて

昭和六年八月十日より一週間開催の第二期の農業改善研究會に出席してより滿一箇年、過去を振り返りて見ると思ひ出は随分多い。あの本山理事長の慈愛溢るゝ温顔、講師諸先生の然ゆるが如き熱と力ある講義、さては板倉農場、縣立種畜場の廣大なる農場等が今尙眼前にチラ／＼する。あの時の印象は自分の一生を通じて永久に消えないものであらう。

あの研究會より歸つて自分の家の經營振りを／＼観察して見る時改善すべき點の随分多いのに驚いた。そして出来ることは片づけばしから改善に着手した。先づ最初に目をつけたのが宅地である。餘りに廣い面積が無駄に遊ばせてある。早速柿苗(次郎柿)十本、栗五本、胡桃十本を植ゑ込んだ。前面の秋期穀干場に用ひてゐる日當りのよい廣場にはフレームを据附けるべく只今準備中である。なほ本年より稻作一町二反歩の中二反歩を蔬菜園に當て只今迄に四毛作(麥)・菠薐草・胡瓜・豇豆)を行

持つて清拭することは全く販路擴張上、また信用に細心の注意をはらつてゐると思ふ。三河食品株式會社の設置、トマト價格の暴落を防ぐために一旦加工して、高價な時を見て販賣する極めて時代化した、經營であると思ふ。大豆粕等も一旦家畜または家禽の腹を通して、然る後肥料として使用してゐる。

全國的の篤農家として認めらるゝに至つた板倉源太郎氏の主張してゐらるゝ、多角形農業による肥料の自給と地力増進、家庭經濟廢物利用、技術はわれ等の心をうつた。

縣立種畜場において軍隊規律を基礎とし五十何名かの生徒は、勤勞主義の心をいだいて三百餘日の勤勞を續けてゐること。かせぐに迫つて貧乏なしといふが實に感激已む得ざる所である。

この安城町の農業經營法は極めて模範的であるが、この方法をその儘持つて來て一躍、經營法を改良することは全く出来ぬ。併し肥料の自給地力増進、各組合を造つて、共同的生産、販賣を行ひ、一方なるべく自給自足に基づき支出を出来るだけ節約し、消費の輕減を圖るべきとはとり入れるべきだと思ふ。私はこの主旨により若年ながら今後進んで見たいと思ふ、遺憾ながら未だ農業に従事して日淺きが故に一般農業改善を指導したことがないが、只机の上の農業改善でなく實地農業改善をやつて大いに農業界のために氣焔をはいて見たい。

合理的多角形へ

靜岡縣田方郡 加藤喜作
錦田村原ヶ谷

見渡す限りの松緑なるその中に白色鐵筋コンクリートの三層建、間口一町もあらうかと思われる大建物、これぞわが國唯一の農業博物館であ

ひ二百八十餘圓を擧げてゐる。また茶園(五反四畝歩)の自給肥料を得るため、昨秋白色レグホーン雌雞二百五十羽を購入、飼育し五月頃より産卵を初め只今百五十羽全部産卵してゐる。本年は茶園の肥料としては過燐酸石灰を三俵半買入れたのみで、他は全部鶏糞で間に合せ、しかも發芽歩合は例年以上の好成績であつた。なほ消費方面においては昨年九月自家用醬油の釀造を行ひ、本年九月搾取りを行つたが非常な好成績であつた。大豆、小麥、食鹽各一斗宛の原料で五斗の上醬油が取れ、一升の實費が十二錢五厘で出来上つてゐる。正に市價の半分である。なほ養蜂二群の蜂蜜で砂糖も殆んど購入せずして済ましてゐる。

次に外部的には、昨年九月より村立農業補習學校の授業を囑託せられたので、農業全般の講義をなすと同時に、經營改善問題を特に強調した。は研究科生徒は人員も少數なので、個々人に就いて改善事項の指示等も行つてゐる。

近代的農業に邁進せん

靜岡縣志太郡 渡邊正男
西益津村郡

安城町農業施設を稱して日本デンマークと稱せらるる現在と、嘗つて荒廢瘠地であつた過去を對比する時私は唯感激せざるを得ないのである。赤松の鶏卵共同出荷においてその荷造法、卵の集結法、販路の擴張實に一農家をして何等不服なからしめるやうに設置し公平の金錢(收金)分配は實に感激に堪へぬ。特に信用を第一とし卵一個を良く藥品を

つた。全國より百三十の同志は三階の大講堂に集まり、午前九時本山理事長閣下が八十歳の御高齡に見られぬ姿でわれ等の行く可き途につき、懇切に御訓示されたとは實に感銘致しました。式を終つて博物館を參觀しその完備には實に驚き入りました。農業に關する全般があの大建物の内で見られ知識付けられることは更にわが國農業界の至寶であると思ひます。財團法人富民協會のわが國に對する御盡力の功績はあの博物館と共に永久につきぬものと深く確信致しました。

講習中の感激としては講義の先生方が皆斯道の體験者で實驗談を申しませうか、空理空論で無くわれ／＼が常に實行出来、また必ず實行す可きことの講演であつたこと、まづ交換經濟の縮少、自給自足を進め、實行組合の成績を上げた實驗談、洵に心をうたれました。

碧海郡の農民精神と共同的施設經營稻作上地力の増進と苗代の改良と管理の勤勞主義でかつ自給自足主義の徹底、參木所長の熱心なる指導、また板倉氏の報恩感謝の念が全く勤勞と化し不斷の收入となつたこと等はとつて以て模範とする點と思ひます。山間部の私の家は海拔七十米に在り耕地も桑園三反と蜜柑畑一反と山林一町二反で水田は一町八反が六ヶ所に別れ違きは一里半のところ一町二反、他の一町二反が六丁程あつて點々散在の不便が甚だしいので今後は出来る限り集團農場にしたいと思ひます。

板倉農場の實習で畜力利用の實際を見聞して感心しました。尤もこの點には早く着眼して動力農具一式を求めて今日まで年雇せず過し昨年度の米麥放若調製自家精米、油代兩部で十五圓五十錢要して居りますがこの費用とても板倉氏の經營ぶりを見てはおろそかには出来ないと思ひました。

現在の経営は少し複雑過ぎますから畑作物の品種を當地の特産物の主なるものに統制し、近時新炭用のまきが賣行不良のためこれで推茸栽培をやらうと思ひます。

指導せんとする事項としては既肥堆肥を澤山作ることに勉め、地方の増進を圖ると共に、肥料の貸入を減じたいと思ひます。また牛の飼料も高くなりつゝあります、よつて飼料作物を多くし、購入飼料を減じ、家畜の衛生と自給の途に盡し、出荷品の選別、包装荷造を完全にすることにしたと思ひます。

自給肥料の製造に着目

静岡總濱名郡 芳川村都盛 小島啓次

私は講習生の一人として加へられたことは、身にあまる光榮と思ひます。この自責の念にかられて私は農村に歸り着々と歩を進めて、先づ第一に小範圍より次第に廣汎に亘り一歩々々と農業の改善に努め益々發展せしめなければならぬとたくわが身に誓ひました。

講習中或は實習見學において新たな多くの知識を得ました。即ち各地の農業經營法とわが村の農業經營法とを比較して天地の差があり如何に本村の農業の遅れたるかを痛切に感じました。

彼の板倉源太郎氏の農業經營の如き、大面積の土地を少數の人数を以て十分に仕事をやつて居ること、或は無駄の労力を省き完全に努力を分配整理して農業を多角形に經營されて居ることなど見學した時一日も早くわが村だけでもよいから板倉氏の如き農法に改善すべきだと痛切に思はしめられました。

表彰を受けられた安城の板倉源太郎氏の農場を見學し、實に細部に亘る迄良く考へてをらるゝことには實に感心するところ大であつた。但し氏の農業經營は地理的的關係上非常に有利であり、われ等の直に行ひ得ざることとは遺憾であつた。また氏の經營は餘りにも舊式的であるかの感があり、まだ改良の餘地があるやうに思はれたのである。愛知縣種畜場に行き講義及び實習をなし、感ずるところ多かつた。聞けばこの土地は以前は不毛の地であつたのを種畜場が出来、畜力農場とせられて以來、場長の熱心な努力により多量なる堆肥の施用で土地の改良が出来、今日に至つたのであるとこのことを聞いては如何に脊地といへども堆肥、厩肥の施用により土地の改良の出来得べきことに感じた。故に後は養畜を盛んにし自分の地方においてもかく改良を加へねばならぬと思つた。

心の置き所を定めて

愛知縣海部郡 永和村大字大井 加賀 惇

自分は講習中に何等感激することも今後の方針について新しい考察を得ることもなかつた。併し自分が昔から考へてゐたことで、層一層意を強ふたことがある。それはわれわれ百姓に限らず、人間たるものはこの世を涉るに最も心の置き處を正確に定めてをらねばならぬといふことである。

講習中に、各地方の農業不振の状態を聞いた。それによると最も多くの借金を有してその日々の生活に追はれ苦しんでゐる地方は且つて好況時代に最も多くの収入を得、収入以上の生活をした地方である。即ち彼等は今日の不況の到ることを豫想して好況時代にその準備をし

自分の農村に歸り先づ第一に改善を必要と思つたことは夜の懇談會において聽講した手島技師の稲作の多收であります。本村は土地平坦で約七割は水田にて稲作が最も多く、稲作の栽培技術においては相當に進歩してゐると信じてゐたが、同技師の話しを拜聴してはこれまた如何に劣つてゐるかを悟りました。本村では年平均の收穫高三石に足りないのに人々はこれに満足してゐる状態です。自分は今後稲作の多收法について大いに研究し努力し、かつ指導する覚悟です。

次に自給肥料については、農家の最も必要とする肥料の金肥を節約し自給肥料の増殖をしたならば農家經濟に齎らず影響は少なからざるものと思ひ、農村指導の第一歩として堆肥の増殖を奨励し、これが堆肥醱酵菌を村農會に依頼して配布を受けこれを各農家に説明して指導しました

愛知縣

感じたままに

愛知縣額田郡 幸田村芦谷 山田俊彦

定日に目的地たる農業博物館を訪へば白砂青松の間に勇姿を見せてゐる。館内には全國の産業狀況の参考品を初め種々なる珍品参考資料があり一日ではあつたが非常に得る所多大であつた。

講習場なる愛知縣碧海郡安城に着し日のまさに西に沈まんとする夏の涼夕を農林學校に向へば路の兩側には青々とした田圃あり、その稲草はわれ等一行を迎へてくれるかの感があつた。

講習中種々の方面にせよ名士の講演を聞き實に感ずる所大なるものがあったが、またこれによりまだ自己の不熱心であることを痛感し今後一層努力して農業界のため研究をなさねばならぬと思つた。篤農家として

てゐなかつたがためである。即ち農民としての心の置き處が間違つて居たのである。従つて好況時代に今日の不況に對する準備が不十分であつた人と言はねばならない。以上の如き心の置き處の全々間違つた人、不十分の人に如何に自力更生を説き協同一致を説いて救済しても、あらゆる善處を講じたところで心の置き處の定まらない以上同じことを繰返へすか、層一層深みへ落ちるばかりであらう。自分の地方は水田専門の直線農業で裏作はあまり出来ず、随つて収入も他地方と競べて非常に少ない。しかも「十年に一度」は大洪水のために一粒も米の取れないことが例になつてゐる。収入の少ないところへかくの如き大災難を引受けねばならぬわれわれ地方の農民は非常に不利な立場に置かれた農民といはなければならぬ。しかるにわが村では打續く今日の不況において一時に申合した如くに新しい家が建てられて行くのである。

食ふに困る、やり切れぬと悲鳴をあげる者が一人もないといふことは論をまたないのである。米が安くて肥料が高價で汁稜の合はぬのは、何處も同じ秋の夕ぐれである。わが地方ばかりが裕福であることは出来な證して間違ひない、自分の地方としては別段協同といふことに目覺めて總て有利に生産販賣してゐるものではない。

而も相當の貯蓄があるため生活が裕福で團結の必要も認めないのである。以上書き留めたことによると案外不況打開といふことは心の置き處一つで安々と出来るのではなからうか、否自分は唯それだけで簡単に解決が出来ると確信するものである。救済要望、自力更生、協同一致なんかとわい／＼騒ぐ前にこのことを篤くと考へる必要があると信じて疑はないものである。

五本の矢は折れぬ

愛知縣幡豆郡 牧野健吉

現在の農業改善は如何にしても團體的の活動に依らなければその効は薄いやうに思はれる。安城における諸團體の活動、日本デンマークたるゆゑんはこの諸團體の活動の賜であると感じた。

わが部落の最も手近な農業改善は、農事實行組合の經營改善である。折目六右衛門氏の講義中組合員は總て老幼男女の別なく、組合の事業その成績小さく一家の經營状態にいたるまでよく理解せしめることが最も効多いやうに聞いた。これが最も明るい經營法最も圓滿な經營法であると感じた。同時にわが實行組合もこの方針を進むことに定めた、また個人經營法として板倉農場における勤勞第一主義、一日を一日振りに活動する、廢物を利用し時代の經濟の動きを識つて、自分の經營上に改善を加へることが農業成功の秘訣であるかのやうに感ぜられた。

この研究會出席を動機として經營上改善を加へる點は、極めて多い現在である。このつぎの報告書にはその成績の擧りつゝある状態を報告出来るやうに努力するものである。

三重縣

眞の有畜農業

三重縣多氣郡 瀧本恒二

講習修了後歸郷して我が村の不況の状態を見るに、すなはち眞の有畜農業法を解せざりしによるものにして、失敗は理の當然なるを悟つたの

こゝに一黨富民研究會を設立したものであります。創立二ヶ月の後には五十有餘名の會員を得まして、いよ／＼不況打開は經營の改善にありといふ見地から、改善事業計畫に着手したのであります。その折も折本部において改善研究會が催せられ、余は代表出席の光榮に浴し會期一週間全く有意義に、そして郷土へは大なる土産を持ち歸つたものであります。會期中權威ある講師の講演や見學、實地指導やら何一つとして感激せざるものはなかつたがとりわけ、これだ／＼これが郷土への土産だと私をして心の奥底から叫ばさせたのは、參木式の理想信念の有畜農業法であります。

郷土は餘りにも金肥濫用のため生産費の向上と地力の減退甚だしく、ために有畜農業經營も實行いたしました。第一利益を目的にしての經營でありましたから、一度墜落に逢ふと止めて全く跡方もない有様です。經營上において早速農家經濟計畫、年次計畫五ヶ年計畫を樹立いたしました、ますます／＼合理化勤勞化され多角形農業經營家族總動員にて實行いたし、ますます／＼有畜化し、役牛一頭は從來飼育するも、今一つ養豚を水稻一反に付一頭飼育いたし養鶏も從來から飼つてゐましたが増殖し、肥料の自給をはかり、裏作並に竹林の増加、山村の開墾等に進んでゐます。また一般農家には自給經營方法を示し、少くとも農家一戸に豚二、三頭、鶏二、三十羽飼育し、有畜農業經營方法及共同訓練を指導しつゝあります。

今更ら哀れな村の姿

三重縣多氣郡 西村清一

本山理事長閣下のわれ等に與へられた御言葉により、われ等農村青年

また私は從來の農業經營法に左の改善を加へて以て、肥料、勞力の自給と地力増進、生産費低減の目的を達せしめて公衆の範となつて農業改善に努めんとするものであります。

左記		右記	
従來農業法	改善農業法	従來農業法	改善農業法
耕地 二町三反	耕地 二町三反	耕地 二町三反	耕地 二町三反
役牛 一頭	役牛 一頭	役牛 一頭	役牛 一頭
肉牛 一頭	肉牛 一頭	肉牛 一頭	肉牛 一頭
鶏 五羽	鶏 五十羽	鶏 五羽	鶏 五十羽
豚 十頭	豚 十頭	豚 十頭	豚 十頭

不況打開は經營改善から

三重縣桑名郡野鳥井辰美

郷土は宇治山田市を離る三里餘の地にて、稻作、養蠶を主に竹林柑橘を副とし、これに一部蔬菜栽培をも組合せた多角形の經營であります。故に好況時代には順調にこながなく、隣村からもねたまれる程の地でありましたが、その反面生活程度の向上、不勤勞の悪習が培はれたのであります。それが今日もなほ取残されてゐるがために痛切に不況を感じてゐるものであります。

一般の農家がかかる状況にありますので村治の總てに支障が生じ、遂には思想まで悪化するの傾向がありました。われ／＼有志青年は拱手傍觀のときにあらずこれが更生策は民を富ますにありと目標を定めまして

は使命の重且大なるを深く感じてやみません。この御言葉を終生體して進まんか、必ずや農民として有終の美をおさめんことを確信します。受講中、最も深くわが胸奥に印せられたのはこの御言葉です。

折目、松本兩講師の熱と力とで理想を實現されたことは私の前途の光明としてゐます。板倉農場、個人經營としてあれ程の大規模のしかも少しの無駄のない經營、種畜場における農業の有畜化、今養鶏組合の合理的經營、その他總てが理想に到達せるものばかり、この經營を見學し實績を知るに當り、經營方針の如何に緊要なるか、勤勞の如何に貴きかを痛感した。今後のわが經營は確固たる計畫のもとに勤勞第一主義を以て邁進しよう。種畜場長、富田農林學校長の講演により同地の青年に對する實際教育の普及徹底を聞き實に羨望するところがあつた。碧海農業の生命たる共同精神は何うしてこれを見逃すことが出来よう。歸つて後眺むるわが家わが地の經營、僅か週日の講習を受けたのみで自分の目にかく變つて映るかと思ひました、この一事のみにて權威ある講習を受けし價十分なりと自ら信じます。

まづ第一に從來單一直接經營に改善を加へ稻作、伊勢薯、竹林、に勞力を分配し裏作の姿に對しては、小麦、菜種を織込み、冬期の勞力活用を圖ると共に養畜に一層の力を注ぎ自給自足の徹底を期してゐます。先づ小より大にとの考によつて、最も小さい大字の改善に着眼し如何なる手段を講じても先ず第一にこれを改むべきでせう。

まづ目標をたて、

三重縣南牟婁郡 前田良夫

イ、岡崎種畜場における有畜農業の合理化は只感服の外はありません

即ち販賣價値なき農産物の廢物を利用し家畜飼料としその糞尿は唯一の自肥料となして農作物の肥培を助け、延いては土質の改良をなす等その他作業上の努力分配等は、不況を叫ぶ農家の生きたる手本たるに感じ目下自家においてはこれ等をモデルとして實行し一般にもまた宣傳しつゝある。

ロ、板倉源太郎氏の多角式經營と粒々辛苦による労働收入の増加は見るだけ羨望の至りであつた。廣大なる耕地の經營と相俟つて養豚、養鶏の飼育まであふなき家族の手により有畜農業の合理化を圖られつゝあるは到底外に見られず殊に一匹の牛に對する利用方法などはおそらく無比といふべき實例であつた。これによつてわれ／＼の從來のやり方には改善の餘地があるも殊に労働の不均等のことを痛感すると同時に努力せねばならぬことを深く刻み込まれた。

ハ、赤松信用組合での鶏卵販賣の講義を開いただけでもこの組合の基礎の堅實さと如何に組合員がよく自覺め組合を計理してゐるかが窺はれ今後はわが郷土にある現在の組合にこの活動狀況を吹聴し、われ／＼の組合をして改善すべく自覺さしたいと思つた。

農産加工場は農産物價格下落に對する安全策であることを思はしめたわれ等の郷土は龍野の一角で加工場を設置することは最も適當と考察し大いに奨めたいと思つてゐる。

講習日なほ淺きため經營上改善の事實なきも目下改善せんとしつゝあるものは

一、經營の合理化——努力の分配、栽培法の改善、農産物販賣改善、家計の改良等で目標ある經營の合理化をはかつてゐる。

附近の農家は指導するまでに至らぬが目下折々農家會合の折を利用し講習中に受けた印象、體験を吹聴し改善の機運を造りつゝある。

服させられました。縣立種畜場とても同じことで、現在の農業者であれほど時間を尊重し一定の規程のもとに働ける農業者は無く、一般の農業もあのように働けば能率も上り、時間の利用も出来ることを深く感じました。同場の荒蕪地利用これも良く徹底し自分達の郷里でならば打ち捨てゝ顧みぬやうな所に作物が美事に出来、堆肥の如き自然肥料を施用の結果一丈にも餘る桑園の出来栄を見たとき、おそらく誰一人感激せぬものはなかつたと思ひます。自給肥料は金肥の節約を圖り生産費を低減するとはかねて聞いたところでありましたが目前親しく實驗して一般の効果を認めました。その他産業組合、町農會等を見學したときその建築物の大きなことはさておき圖書や、講演會場、事務室等の設備もよく出来、さすが日本デンマークであり農民が協力一致の下に組合を親の如く、世に尊き共同精神を發揮してゐることが現れて、實に目覺ましいものでした。

改善の事實並に成績についてはまづ生産費の低減、金肥節約、地力の増進を圖るため、自給肥料の増殖に務め、今までは栽培せなかつたところに紫雲英を作り一年を通じ二千貫に達した。これをその都度々々作物に施す結果稲作にもよく出来るやうになりました。

私は稲作一町三反歩、紫雲英一反、菜種三反五畝歩、小麦一反歩を作つてゐますが、その金肥においては二十五圓、その他は皆自給肥料（堆肥鶏糞野草）で間に合せてゐます。その結果稲作にて平均收量反當七俵、菜種にて一石三斗を擧げてゐます、本年十一月には牛を購入更に自給肥料増製の途を講じ畜力利用による努力の節約を實行しつゝあります。

農業改善事項の指導と實行とその成績としては、從來わが部落には金肥を多量に使用して栽培する悪習があり、私の堆肥の増製に對して附近

滋賀縣 餘剩労働の利用

滋賀縣神崎郡建部村

大字南十番屋敷 富田 常治郎

私の經營上にては今年より經營面積を二反歩増し稲作、裏作物を種々組合せて栽培する關係上稲作の晩化栽培を行ひましたがこれに付ては稲苗代を畑式に變じました。または從來大麥のみであつたのを大麥、小麥、麥酒等を栽培して努力の均等を圖り、在來種のみであつた菜種は黒種を三反裁麥して反當收量三石をあげました。副業として稻田養蠶で稻經營面積の八割迄放養し本年より鯉苗の養成を始め、養蠶も從來は夏秋蠶のみを飼育してをりましたが、修了後春蠶を飼育して努力の均等を圖りました。その他農閑期の粟加工賃銀労働に餘剩努力を消費すると共に生産米も精白にして市場へ販賣してをります。

肥料は自家生産の自給肥料萬能主義を取り厩肥年産六千貫、堆肥一千貫、人糞尿三千貫に達しました。また記帳を勵行し新農家日記を利用しつゝあります。

多角形農業を理解して

滋賀縣高島郡 淵 田 雄 吉

見學實習中の感想として板倉農場を見學實習については世間的に有名なだけ家畜、家禽、果樹、蔬菜、水田裏作等多方面な複雑な組織には皆驚いたのでした。僕等の實習は豚舎の糞入替で古糞は堆肥として金肥の節約に努める等實に無駄無く功妙な經營には見習ふべき點の多いに感

のもの多くは冷笑の眼をもつて迎へたのでありますが一年、二年と作物の出来が良く金肥が節約されるのみならず收穫が多く成つたのを見て一般に堆肥の普及が行はれるやうになりました。また菜種の黒種栽培でも同じく私は三年前より着手してをりますが一般には行はれなかつたそれがやはり私が率先してやりました結果今では栽培者がだん／＼と多くなつて來ました。

自個の完成をめざして

滋賀縣野洲郡 篠原村小南 北 川 仲 治

農界における先覺地として日本全土にその名をとどろかせた安城は、私の最も期待して居つた地でした。幸に先年貴會の主権にかゝる講習に出席の榮を貰ひ一週間にわたり指導を受けたことは私一生の榮譽であると感じました。この地に一步を踏み入れて聞くもの見るものすべてが感激でした。こゝに講習中における感激及び經營上に加へたる改善の事實または一般農業改善の指導等につき斷片的に記したいと思ひます。

安城の地に學んで感じたとは個人としてなし能はざる所は共同の力により實行すれば薄利なるものも共同の偉力により價値を増大することが出来るといふとでありまして、その村その地を榮へしる基となつたのは彼の産業組合、農會の兩共同團體のためであると思ひその活動をうらやむものであります。

縣立種畜場で、作業が定められた時間は如何に暑くともまた寒くとも眞剣に働きたいふとには感激の外はありません、われ／＼なれば暑ければ暑いといつて涼しき蔭に休む、また寒ければ寒いといつて暖をとると

いふのが普通でありますがこの種畜場においてはこれがなかつたのであります。先生も生徒も眞剣に働くといふことは他ではとても見られない勤勉振でありました。

われ／＼の休んでゐる時でもこの生徒はたへず眞剣に働いてをりました、この農場に養成された農民こそは將來有爲の經營者となれることを信じた。

經營上に加へたる改善事項並成績として本縣は元より米作本位の地方で米作を主體として經營をしてゐます。また裏作としての大麥、菜種、紫雲英の成績は米作の肥料及び公課を引去つて百圓程の収入を増し裏作として十圓餘の収入が増加してゐます。

また新しく蔬菜を栽培し、販賣しこれで約五十圓を得、また農産製造として繩百貫位、蓮白五十枚程を販賣してゐます、この収益原料の薬を引き去つて二十圓餘を得てをります。また自給肥料を多く施すことにして役牛を購入し厩肥の製造をなし金肥を節約してゐます。

農繁期は米作、裏作のために専念し、その餘剩努力により蔬菜栽培、自給肥料の製造、農産製造等に専念しなるべく繁閑がないやう、また閑を作らぬやう努めてゐる考へです。

農業改善指導の事實及び成績としては未だ自家の經營が十分とは申されず指導するといふこともあまり致してをりませんが、云はず語らず黙々として自家經營の改造に専念し、この經營を模範にして指導することを考へてをります。所謂口の人で無く實行の人として他に及ぼしたいと思ひます。

鯉を養ふ計畫を立てました。なほまた昨年夏から本年の春にかけて山林開墾新田一反歩を開墾し鶏舎を造りなるべく農閑期を少く月々収入のある如き經營に改善を致しました。

今や難關來るの重大な時局に際會し新しき運命を開拓せんとするにはわれ／＼は徒に疲弊を嘆じてゐる時ではない、茲において村當局もこれが最善の方法として本年四月一日より四日間に亘り全村學校を計畫され大に私も賛成し顧問となり、なほ會員として務めました。こゝに於てわれ等はわが國農政界の權威者山崎延吉先生を主宰とする全村學校を開設し以て根本的に精神方面より自己の職業を理解し自治の本義に目覺め共同依存の精神に燃いた剛健な村を舞設したいといふ念願です。

この全村學校閉校と共にまた記念のため興村會を設置したのであります。

滋賀のデンマークを夢みて

滋賀縣野洲郡中
洲村大字小濱 西村早信

私はこの意義ある農業改善研究會の講習に出席し得るの光榮に浴し誠に感激に堪へない次第であつた。この間に自分は直面せる農村不況打開の道は、耕作技術方面の改善と農業經營方法の合理的な革新とに努めなければ到底望み得ないことを痛切に感じたと同時に、農家生産物の販賣及び農家必需品の購入上、より大なる共同統制ある活動等の必要なことを痛感した。小にしてはわが農業經營の上に、また一步を進め、わが指導する農事實行組合の經營の上に革新を要する幾多の點を發見し、腕と心の高鳴りを禁する能はざるものがあつた。歸郷に際し碧海郡地方と郷里

全村學校を計畫して

滋賀縣甲賀郡
大原村磯野 奥村丑太郎

私は昨年夏富民協會主催第二回農業改善研究會に出席しわが國農業の先進地日本デンマーク碧海郡の農業を見學し、またこの研究會において今後われ等農民農村青年の進路について各方面より詳細な點まで了解出来るやうに指導されたことは今更のやうに胸に思ひ浮べて専ら感激の外はありません。

私の村は元來稻作を主として副業として養蠶が少しあつたばかりで農業經營を刷新するに足るやうな副業はありませんでした。しかし社會の進運に伴ひ農家の支出の増加を來し是非共有力な副業を選擇しこれにより農業収入の増加を圖る必要にせまられて來たのであります。そこで私は直ちに搾乳を實行しました。これは自給肥料を得る以外に農家搾乳により市乳の生産販賣によつて多少共利益も得ることも出來ます。更に稲作副業として養蠶、製繩、養畜、養鶏等を配しました。

昨年研究會に参加しこれが動機として私の農業經營成績についてその概要を申せば、

從來の肥料代を約半減、收量におきましては一割以上の増收をして居ります。これは肥料の自給を主眼とした結果であると思ひます。なほ講習後直ちに堆肥舎三間に五間のものを一棟新設しました、なほ從來米買が乾燥不十分なため茲に縣の獎勵するシャヘキ式穀乾燥場を設置して今迄の糠干場を一部果樹園とし、なほ養魚場(コンクリート)二畝を造り

の農業經營の状態とを對照し、自己の責任の大なるを痛感し歸途本縣農事試験場長を訪ひ講習會の状況を報告し今後の自己の方針を話し懇談的に指導を受けた。

八月二十五日より一週間本縣農會主催の耕地愛護運動に参加し農事實行組合員を督勵し一週間に亘つて畦畔道路堤塘の草刈螟虫被害莖の切取りを行ひそれ等を利用して堆肥を製造する等相當大なる効果を收め最終日には農事試験場長を始め多數農事關係者を招き農業講習會を開館し席上自分も農業改善研究會において得たる幾多の體驗を基礎とし農業經營改善の方法を語り、特に記帳の必要なることを附け加へたのであつた。

また本年四月十日農會記念日の當日耕地愛護運動の成績優良なりとして縣農會長より最高賞授與の光榮を荷つた。爾後わが家の農業經營改善を行ふため、新たに肉牛二頭の飼育を始め努力と肥料の自給自足の策としたために、從來稻作に肥料代として年々壹百五拾圓と人夫賃五拾五圓とを支拂ひつゝあつたのを、牛の飼料として大豆粕五圓餘圓その他肥料として參拾餘圓購入するのみで、他は厩肥を以て大部分の肥料を自給したばかりでなく、牛の努力により努力の自給を得、差引壹百貳拾圓を益することが出來た。従つて多くの餘剩努力が生れ、これを利用するために大麥、小麥、紫雲英の一大増殖をなし尙、蔬菜園の多毛作、多收穫を圖り温床栽培挿秧前の稻田利用として鯉の人工孵化青兒の養成一二才鯉の稻田飼育を大規模とする等、家畜により得たる餘剩努力を遺憾なく吸収利用し、農業經營上たしかに一步を進め得た。

これがために附近の農家に一大ショックを與へ、着々實行するもの數名ある状態である。

講習會及び富民協會發行の圖書より得たる新知識と體驗とを本として自己の農業經營を合理的に革新し、ひいては郷黨の農業改善開發のため

急先鋒となり、碧海郡にも勝る理想的農村建設のため終身邁進せむとするものである。

有意義なる講習會

滋賀縣坂田郡南郷里村南田附 泉 惣之吉

講習中快よく感じたことは、
イ、時間が良く動行されたこと。

大阪濱寺における開會式、博物館參觀、大阪出發、安城着、班の編成夕食、入浴、其後の講演開始時刻、見學、實習、出發、歸校時間殆んど一分一秒の間違ひもなく嚴守されました。この種の講習會殊に今度の講習會のやうな全國代表一堂に集まり人情風俗異なる人々を集めて一率に行動さすこと甚だ困難であつたらうと居ります、これについては講習員一同の自覺もあつたでせうが係員諸先生の奮闘、熱誠にあづかつて力ありといはなくてはなりません。

ロ、豫定表の通り實行が出来たこと。

これは先項に述べたやうに時間動行が出来たから従つて豫定が實行に表はれたといへませうが全くその通りです、豫定表の一項も落伍することなく美事に實現されて参りました。講師の都合等で行事が前後するやうなことがあるとその都度係員の方から丁寧な達しがあり愉快に感じました。

ハ、學校當局始め地方人諸賢が便宜と好感を與へられたこと。

安城農林學校がわれ等のために全く學校を開放して本當に痒いところへ手の届くやうな便宜を與へ下さつたについては全く感謝の他はありません。

理事長本山彦一翁の式辭には自分等の如き貧弱なるものをして將來の農村開發に資せんとの言葉にてわれ等の責任の重大なるを感ずると共に理事長が御老體にもかかわらず常に農村のため心痛下さることを早く解決することがわれ等の富民協會理事長に對する責任と共に報恩なりと思ひ今後農村開發のため全力を盡し努力する考へであります。

京都府

力と熱を與へられ

京都府熊野郡川上村 橋本 松治

働くことだ！ねばり強く(強い信念の表れだ)

經營の組織を工夫する。こゝまで指導した指導者もいろいろ、受け入れる農人もいろいろ。

農民道、若々しい氣分がこの地方全體に躍動してゐる。單に人の上に表はれてゐるのみではない。事務所にも家庭にも田圃にもこの心的要素こそ農村興家の原動力である。

これが安城の與へた印象である。

つかんでゐるものを實現させる力と熱とを與へられた講習、私の經營にも少しづつ現れ出しました。

一、開墾(豫定一町歩五ヶ年計畫)粟・柿・胡桃(講習によつて加へる事にする)を中心に桃・葡萄・無花果…二段五畝

二、蔬菜促成晩化栽培
1 トマト…段當二千貫自給肥料を主にして成功、2 西瓜…失敗(雪のため)實現の可能性あり。除雪設備を完全にして更に行ふ、3 里芋

せん。また見學實習に赴いたところの組合、會社、農場等の場長或は管理者の諸賢が全く懇切丁寧に御説明御案内下さつて講習員の説明に對しても面倒なる顔も見せず説明下さいました。

ニ、講習員が研究心に富んでゐたこと。

講師の講演に對する謹聴振り見學實習等に際しての熱心さ少しでも腑に落ちぬ點があれば直ちに質問の矢を發する等、流石縣下の代表なりと痛快に感じました、係員の命令をよく守りました。

夢覺めひたすら精進

滋賀縣蒲生郡金田村上田 小西 善雄

富民協會の農業改善研究會に臨んだ私の感想も「感激」の二字で盡きる。先づ最初に素直に申すならば、私は今迄富民協會なるものゝ本質を殆んど知つてゐなかつた、たゞ單に稻作増收を事業とする大阪毎日新聞社の謂はゞ宣傳的奉仕の一主體との如く考へてゐた、稻作増收のための多大の貢獻は知りつゝも、大毎なる觀念からはなるゝを得ずして要するに一段、一方法たるかの如き感を持つてゐたのであつた。だが私は第三回農業改善研究會員百廿九名の一員に加はり親しく富民協會の本態に接するの機を得て自己の認識の如何に不足せしかを後悔したのであつた。

協會がその名の示す富民強身の信念、農業振興のために如何に誠心誠意活躍して多大の貢獻をあげられつゝあるかは、研究會の劈頭に於て、彼の農業博物館のクリーム色の近代建築物を見ても、また内部の見學をして一目にて知り得る觀がある。そして私はわれ等農民の進むべき道の指針とすべき博物館を創立せられたる富民協會に農民としての最大の敬意をばらふべきであると感激のほかはなかつた。また開會式において

藁：有望、尙研究の餘地あり、4 セルリ：失敗したれど望あり。

目下生育中のものは成績良好、5 各種蔬菜洋菜試作田：不成功に終れど人氣を呼ぶ更に研究する、6 餘力に村農會委託各種蔬菜育苗をしてゐる

三、裏作

1 小麦増收田設置：目標四石、2 蔬菜種子採取田設置、郡農會委託三段歩(大根)、3 玉葱：販賣用として作るため育苗中、4 綠肥：増殖

四、桑園

1 金肥節約。綠肥用蠶豆試作成績良好全部實行

五、水稻

1 深耕試験田のみにて從來のまゝ進めつゝあり。

六、養蠶・養鶏・養鰻・養牛

北丹デンマークを目標に伸展して行く郡

多角に立たせ、共同にて加工までして販賣する統制ある郡。

一、郡農會村農會の指導をそのまゝ土の上に描き實物で教育するのが若人役特に新獎勵課目が私の受持です。

二、研究會毎月開催

お互ひの心持から指導者のない否皆が指導者の會富民協會報、農村婦人、叢書を輪讀しつゝ新しいことを實現すべく奮つてゐます。私は小使であり責任者です。

三、西瓜トマト各種蔬菜の販賣検査員として採種育苗主任としてお役に立つてゐます。

お互が不況に試練され、今現に學びつゝある勤勞と共同と研究に農業の本格と現代的經營の方策正に漸くその端緒を見出しました。自力更生

の運動をよそに黙々として進んで行く私等同志に確固たる決心と熱があります。

一に自給、二に多角

京都府與謝郡 朝妻村 峠 谷川 俊 一

赤松信用購買販賣利用組合で鶏卵、共同出荷荷造り作業を實習した。しかもきれいに大、中、小、細の四種に堅く荷造りなすところはとてもよく出来て居た。なほ組合にて出来た糞を以つて出荷するあたり實際に感じ入つた。板倉農場において「自給肥料で不況の打解」の大看板、多角形経営を手廻しよくやられることは父子諸共壯健にて働かるゝ有様と共に實に吾等が手本として見落すことの出来ない美點であり一大訓示であつた。

次に種畜場である。碧海郡の有畜農業化はこの大々的の經營種畜場より來ると直感した。參木氏の力説はわれ々も考へたところではあるが此處迄考へ及ばなかつたので實に深く感激した。

見學で組合組織が良く成立つて居ること、また各所に講堂を設けられ各その事業に對して信念を力説せられることより良く改善改良を行はれ研究されつゝある事實は悉くわれ々をして感動させられた。これが大日本のだげである、實にそうだ、此處だと感極まる思ひがした。歸宅後の土産としてこれをお話さう、これより大なるは無しと一入感激の念を起させられた。

以上の事項を動機として、實行したいこと、研究したいことも種々あるが歸宅後わが農村の實況に比較して、第一、自給肥料、第二、多角形經營、第三、時間を有効に使用、第四良品を作る、これ等が經營上に加

農家の狀況、社會の變化、世界の動行を毎晩話すことにしました、そして一同共力改善に努めてみます。

第一に歸途附農會に立寄り農家經濟簿を買ひ求め同志五人にこれを配付し記帳を進め、第二に改善講習中の諸先生の講義及び碧海郡歴史現狀を話して自覺と自奮を促してみます。第二に部落是、農會是、村是の確立を期すため、生産及び消費の現狀調査をなしてみます。第四に産業組合に（當村は信用部だけなる爲に）購買販賣組合設立をなさしめるやう村の幹部及一般村民の自覺促進のためにパンフレットをつくり、これが目的と必要を話し、文書をもつて啓蒙運動を起し、明年一月には一部落または村にこれが樹立を致すべく準備を進めてみます。

次に自給自足に生きるために有畜化すべしと考へこれが使命と必要を述べて一昨年役牛一頭を買入れ、同志の一般にもこれを進め鶏五十羽有畜農業と金肥節減の運動を起し養鶏は明春實施すべく計畫中であり有畜化に必要な線草と小麦の増收をすべく線草一反歩、小麦一反歩以上を作ることを申合せました。

自給自足經營を目標に

京都府天田郡 上夜久野村直見 安達 千尋

われ等の望んでやまなかつた講習が日本丁抹の碧海郡の地において開催のため一層感激が深かつた次第です。

講演は斯界の權威者が現今農村の改善すべき重要な事項につき熱心に講演して下さいまして誠に有意義で御座いました。

一、橋本博士の經濟方面の講演中交換經濟の合理化及び自給自足の經濟は現今不況の農村に最も重要であります。

へた改良であります。まだその成績を見ることは出来ませんが、急に改善改良といふも駄目と思ひ先づ手近よりと此頃ポツポツ實現の道に進みつゝあります。三、農業改善を殊更に指導したと思ふ。また蔬菜類へは自給のみで販賣をしなかつたのを今年よりは是非共販賣するやうに、少々でも収入の増大を圖りつゝある。更に進んで村農會と共に共同出荷すべく力を入れ、只今蔬菜類の害虫驅除法を教へ薬剤撒布及び噴霧をなしつゝあります。また稲作の金肥を節約し、自給肥料の改良を叫び一般農民をして自ら不況打解すべしと村農會と共に努力勵行中でありませう。

隣保團結に進む

京都府竹野郡 木津村 依野 畠 中 仁

講習中感激せしことは、社會の改清が單純な制度や時代の進化で出来るものでないといふことでありました。わが日本デンマークの今に到る道程は實に涙なくして語り、また聞き得られない生ける歴史であります。不屈の大精神と心魂の限りを盡しても人の一代に完成の稀なものが眞實に胸中深く響きます。今われ等が講習會での使命が何處にあるかは、人々に依りて違ふであらうが私は富民強身を靜思三考する度こん／＼と湧き上る感激と感謝の極致であり、將來へのわれ等が鞭撻であります。歸村して第一に着手せねばならぬと感じて行ひつゝあるものは勤務及經濟簿の記帳と隣保團結のことでありませう。

勤務表の結果労働時間餘利のために山野（三反歩現在）と開墾しつゝ、また家族一同農道に立脚して精進せむとし之が自覺を促すため、範く

二、折目氏の農事實行組合の經營の實驗談は實に感激致し少しなりとも實行致したい感が起りました。

三、松本氏の農業實驗談も苦勞多く講演中丹精の意義（農作物の熱愛研究、不斷の努力）の三つは農業者の常に實行せねばならない所でありませう。

四、山崎先生は農村自治につき長時間講演下され有意義であつたが中でも自治心（共同心、公共心、義務心、自助心、向上心）を養ふことは、農村民にも肝要であると思ひました。

五、阿部博士の農業と經營に付今日の日本の農村は三つの重要點の基に立つてゐて、その第一農村自治の精神第二今日の經濟を統制すること第三労働の價値の神髓には一層感激しましてその三つの要點を實行すれば農村の不況は打開することが出来ると思つた次第です。

六、安城農林學校長富田先生が碧海郡農業經營の問題で御話し下さいました碧海郡の農業教育の徹底してゐること

見學につき板倉農場を見學致しその農業經營に感激するところは勞力の分配、自給自足、勤務（多角形農業）の實行者であることであつたが農民の手本として崇敬すべき人格者だと思ひました。

種畜場見學致した時、參木場長より有畜農業經營の價値につき次の四つの事項をあげられた。

地力増進、餘剩勞力の消化、生産費節減、金融の圓滑等をする事を申されて一々丁寧に説明して下さいまして感激し、また勞力の自給肥料の自給、食料の自給により自給自足の農業經營をすることが今日の農村不況においても赤字なしの根本對策といはれたが眞に有意義の講演でありました。

その他試験場養鶏組合等の見學においても得るところの多かつたのに

感謝する次第です。

大阪府

大阪府北河内郡 樟葉村字樟葉 林 愛 三 郎¹

第二の板倉を夢みて

一、講習中精農家板倉源太郎氏の合理的經營に深く感じ、歸郷後は大阪府における第二の板倉氏として決心を定めました、即ち十ヶ年計畫を樹て農業改善を圖らむとします。

二、改善第一年は從來の經營を合理化に努めると共に金肥節約第一主義に依り、新に養豚飼育を初め、自給肥料の生産を主眼とする。今成績の若干を見ると

イ、土地	田一町九反(内)自作二町三反小作六反	畑	六反五畝		
ロ、勞力	年 齡	勞働時間	年 齡	勞働時間	
經營主	三、〇〇三	妻	元 一、七五	叔父	四、一、〇〇〇
父	六、二、〇〇五	母	兒 三、〇〇	妹	三、八〇〇
雇人	一、〇〇	合計	七、五三時間		

この自家勞力のみを以て二五畝の田畑と養蠶家畜を經營するのである。つて種目別の勞働時間は次の如くです。

稻	作 二、九〇二	麥	作 一、〇〇	時間
孟 宗	、一八八	其他耕種	、八八二	
桑 作	、三二四	西 瓜	、五〇〇	
養 蠶	二、七〇〇	其 他	、一六六	

安城を見てわが村を顧る

大阪府泉北郡 大津町千原 奥 野 廣 治¹

安城の地は水利の便利上多角形に出來得る田地にしてかつ平均一軒當一町有餘の農作故農夫は作物と出荷に追はれて自然と御互に熱心になりかつ、消費都市は遠いゆゑに自然とまた何か統一は取りよしがそれに反してわが村の内容を申しますれば私の村は全戸數十餘戸ありその内九割迄は農業で暮してをりますが、一町以上作つてゐる農家は僅かに二軒にして平均四、五反より作つてをらない。この僅か四五反の田地でどうして農業生活が出來得ませぬか。部落が餘り多く散在してゐる關係上作らうとして作る田地がないから仕方がない。それでも多角形に出來得る適當な田地なれば消費都市を近在に控へてゐるめぐまれた大阪農民に取つては自己勞力を最後迄十分活用すれば益裁的農業と謂ふも農業で生活は出來得る者と考へます、浸水し易かつ濕田の多い當地方の如きは何作物をやつても發育は遅れ勞力を多く要しながら出來ればは悪く富民協會の奨励する米の多收穫を唯一の樂しみとし目標として進んで行かなければならない。併し米作だけではは到低生活出來得る者ではなくかつ暇があり過ぎるため何かその餘暇に適當なる副業をせなければならぬ。その副業としては泉南の織物或は一部落の特産物たる桑原の水仙花干原の特産物たる棕櫚竹栽培、棕櫚竹は現在では非常に有利ですが餘り値段が高價なる故一般に一寸と手出しはしにくく、一段作らうとするものなら五、六千圓近くの資本がかかります故、値段が現状で永續するものなら兎も角それは疑問であります故に、金のない現在の農家としては二三年向ふでない利益を見られない。そのやうな副業を副業となる程植

合 計 七、七六二時間
昭和五年度の耕作土地並に勞働時間
耕作地反別前年度と同面積 勞働時間も大差なし
昭和六年度の耕作土地並に勞働時間
耕作反別は前年度と同面積です。

經營主	三、五〇二	妻	一、七二七
父	二、〇三三	母	、一二〇
叔父	一、〇〇〇	妹	、八〇〇
雇人	、一〇〇	合計	八、二七四時間

この自家勞力のみを以て二町五反五歩の田畑と養蠶家畜を經營する。收支の概要

昭和四年度	二、四二二圓〇〇	九六七圓六三	一、四五三圓三七
同 五年度	一、四〇一、五〇	八〇二、五〇	五九九、〇〇
同 六年度	七八八、七九	六六一、〇〇	三二七、七九

収入 支出 差引農業所得

昭和四年度 二、四二二圓〇〇 九六七圓六三 一、四五三圓三七
同 五年度 一、四〇一、五〇 八〇二、五〇 五九九、〇〇
同 六年度 七八八、七九 六六一、〇〇 三二七、七九

勤勞時間を延長し經營の合理化に努めたが何分米價を始め農産物の大暴落は極度に農家の收入を減じたので以上の如き數字を示すに至りました。また數年前より稻作栽培に除草の節約を事實の成績により指導したる結果、從來五回以上の除草を行へるに今日では村内農家の大半は除草一、三回にて從來の成績收量を擧げてあります。同じく紫雲英、西瓜、牛蒡、その他蔬菜栽培を數人の友人間に指導したるに、現在では部落の約半數は栽培し相當の收益を擧げてゐる、また講習會終了歸郷後十月農事實行組合を組織し協力農事の改善に努力してあります。

付て勝負をする氣も少ないで、餘り資本もいらすして毎月收益のある泉北主として信太村方面の特産物である硝子玉製造を副業として多くの人がやつてゐます、一時は老若男女等でも、一ヶ月の純益金百圓乃至百七十八十圓はありましたが、現在ではその十分の一しかありません。不景氣の今日十四五圓あれば副業としては結構と申さなければなりません、身體に非常有害である副業であるが故に、十四五圓では考へるものであると思ひますが、さりとて他に適當なる副業とてない、現在有害を御互に餘儀なくしつゝ、他に適當なる副業はないかと血眼になつて探しつゝあります。一方また年々土地は減るとも増さぬ上に農業寄依者は不景氣の折柄殖へる一方故僅かの田地を中心にしてお互に一層喘ぎつゝあります。例へば定員五名しか乗れない小舟に十名の農夫が船中に五名、後の五名が海中から舟はた掴んで航海してゐると同じやうな状態ではないでせうか、この無理な航海これがどうして浮世の荒波を理想の航海が出來得ませう。

以上はわが村情から見た私の體驗についてその後の感想を述べた次第であります。

黎明に輝く前途

大阪府三島郡三箇牧村大字西面 松 本 治 作²

われ等は農業先進地日本デンマークの稱ある彼地において實地に、學科に、種々御懇切な指導を賜り、何を學び何を掴み得たか。第一の感想は、聞きしに勝る行届いた經營と精神教育の普及である。

勞力分配の合理化經營、有畜農業に、諸組合の發達利用に、農民の奮闘振り等々、學ぶべき事實の數々に深い感銘に打たれたのです。

幸ひにもわれ等の土地は肥え交通至便な恵まれた地に生れながら、天與の恵澤を十分に活かし得ず、無意味にすごせる過去を思ふと、われ等の不甲斐なさを痛感すると共に「われ大阪府代表者なり」との信念を銘記する時、あまりにも責任の重かつ大なるを考へさせられると同時に、地の利を得たる幸ひに胸は躍るのだった。

講習終了歸郷後は、郷土のあまりにも米麥本位な直線農業のさびしさに、極度の恥かしさを今更の如く痛感した、只一つ製繩副業は郡内只一として盛なるも、彼地の有畜農業と比較する時、日々製繩出荷の自動車も小生の目からはこの上なき喜の中に有機物減少、地力維持困難の點を思ふと何となくさびしさを感せずにはをられなかつた。

あ、有畜農業多角形農業郷土の經營改善こそ急務である、自己の一大責任也とし、まづ第一に自己の經營改善に着手、歸郷後直に郡農會の指導を得て乳牛の仔を購入した、これを動機として明年早々郡單位の搾乳組合を組織し牛乳販賣をする運びと成つたのは特筆すべきことである。

また家畜とは何物もなかつた村に昨秋一千羽の鶏を見、今春の如き二千幾百と雛を購入したのは驚異的進歩に外ならなかつたのであつて農村自覺のあらはれと云ふべきであらう。

また裏作には一部に是非蔬菜を加へるべきであると早速獎勵に着手した。最初は安全な作物を選ぶべきであると信じ、玉葱、馬鈴薯等貯蔵し得る作物を選定し昨秋の如き八百貫の馬鈴薯種薯を購入配布して近郷を驚かした。幸ひにも本年の如き蔬菜安價時にも貯蔵のため意外に都合よく販賣し、米麥以外には薬細工品のみより出荷出来なかつたわが村から

がら事業方面を擔當して働いてみます。

イ、組合の事業施設
總務部(一)、生産事業部
部(二)、經濟部
部(三)、教育部、家庭部、宗教部、青年部、(目下設立準備中)

ロ、事業經過

一、出荷部設置 昭和三年七月

生産品の共同出荷方針確立 規格を統一し絶對的統制を目標として過去五ヶ年間悪戦苦闘を續けたる結果漸次順調に進んでみます。

二、共同作業場建設 昭和四年四月

共同作業場を建設して優良農具の利用に依る米麥調製の共同作業を行ひ蔬菜類の出荷時季には集荷場として有益に利用してみます

三、特定寄附の實施

共同作業場の建設を機とし産業組合より資金二千五百圓を借入れました、償還方法は十年の均等償還で組合員の負擔寄附とし村戸數の負擔額を基準に割當て納付してみます。

四、家庭部及宗教部設置 昭和六年一月

組合と家庭の聯絡を圓滑ならしめ且つ組合の精神を一般家庭に普及し又家内經濟の改善をはかり組合即ち家庭の趣旨を徹底せしむるため家庭部を設けて婦人の活動を促し、宗教を中心とした信仰的團結の必要を感じたので宗教部を設けました。

五、自作農創設第一期事業完成 昭和六年十一月

購入地目及び金額
田 四六段一〇八畝 價格一六、四〇八圓九八
畑 一〇段八一二歩 同 四、八八九圓四五
合計 五六段九二〇歩 同 三一、二九六圓四三

、菜蔬滿載の自動車が出るのを見るやうになつた。その他菜、菜種等の品種改良に力を入れ、相當の成績の上つたのも發達の一つに數へるべきであらう。

なほ農村の中堅となる青年團員に經營改善を叫ぶと共に特に熱心なる青年のみを十數名集め「農好會」と稱して根本的改善に努力する事とした。成績の見るべきもの漸く現れ益々意を強ふし理想郷建設に奮闘する同志の活躍は何よりも喜ばしくかつ何よりの力強さである。

數日の講習によつて奮起を促し、自己の經營改善は云ふまでもなく農村全體が目覚めて楽しく活き／＼と理想に向つて奮闘出来るやうになつたのも一に富民協會ならでは出来得ざる貴い講習會參加の賜であつて、深甚の謝辭を申述べると共に、一層の御指導御鞭撻を御願ひして止まぬ次第である。

共存共榮の下に

大阪府泉北郡 東百舌島村土師 佐治常治

歸郷後まず自家經營の改善のために次のことを行つてみます。

イ、記帳の實行 勤勞簿及び收支日記の記帳により家内經濟の改善を圖りつゝあります。

ロ、蔬菜畑に於ける土地の高速度利用法研究 府立農事試驗場の委託を受け蔬菜集約栽培模範指導地一段歩を經營し土地の高速度利用法を研究中

ハ、畜産兼營 昭和五年より養豚を兼營してみます最近の價格低落により損失を招きましたが、肥料自給の目的を達し得られた譯であります

ニ、農事實行組合 昭和三年五月の創立で私は副組合長をつとめ微力な

右購入金員の調達

一金參萬一千圓也

自作農創設資金借入

一金二百九十八圓四拾參錢也

現金支出

小作農より自作農へこれは私共が組合を組織して第一に定めた目標であります、本當に土に親む心それは自作農となつてこそ深刻に味ひ得るものではあるまいかと思ひます。

今回はからずもその機に接したので萬難を排して決行しました。農業經營を改善し眞の生活の安定を得んには實行組合の健全なる發達による共存共榮の實現に俟たねばならぬ、デンマークの今日ある、その根幹は宗教にあるを思ふ時わが國多數の農事團體の實情と餘りにかけ離れてゐるを痛感します。私共は組合に家庭部及び宗教部を設置した理由もここに存するのであります。かくして精神的訓練を主とし事業を之に追隨せしめ健全なる歩調のもとに志す理想郷の實現に向つて邁進してみます。

農本國家の建設

大阪府豊能郡 箕面村新宿 平井利作

過日農村自治の局に當つて農村自力更生案を作せんと志ある人々にはゆる自力更生案に對しての私見を求められました。自分はいはゆる自力更生は今日の場合に對してのみ必要ではなくて何日のとき、何れのところ、如何なる人にも常に必要であるを思ふれば共いはゆる特に農村自力更生といふのは

イ、現今の爲政者が自己の無力無能を辨護せんとの責任迴避の自力更生案であつてはならぬ。

ロ、現代の制度組織を肯定し、及び遺憾ながら現當局に呼應しての自

力更生案であつてはならぬと断言せざるを得ぬことを残念に憶ふ。
ハ、しかして對内的には相協力し自治の最小單位である部落の眞正自治を完成し、對外的には大同團結して眞正自治の障害物を除かざるべからず、これ眞の農村自力更生案の根本義でなければならぬ、われ等は徒らに時代思想を策し、名利に走らず、眞正自治の完成を果すに足る人物となり、正道國家、農本自治日本の完成を期せねばならぬ。

団体の力によつて

大阪府泉北郡 深井村深井 田端國太郎

さて私は大阪府の代表として選拔され安城において色々新しい知識を入れて頂きました、しかしこれをばわが頭にとめ、他に影響を及ぼすところがなければ貴協會が多大な経費を投じた効なく、またわれ々も貴會の使命に背くものであります、故に私は歸郷後微力ながら着々その方面に力を入れ農事改善に盡してゐるものであります。

一、講習中において各方面の講義を聞きまして農業はかく迄頭を使はねばならないかと、自分の過去を省み、自分等の經營の貧弱なことを知り強く拍車を加へられました。

また見學において教へられたとは、全村一般に團結力が強く何事なすにしても、組合の力を以て仕事をしてゐることは非常によいこと、感心いたしました。

上に立つ者は世間の状態を眺め人より一步先じて時代の遅れを取らぬやう、上下圓滿に治まつてゐることがわれ々の土地では見られぬ美點であります。

かつまた農産物の方にしても、團體の力を利用し、生産から加工而し

先づ村農會その他と協力して自給肥料の必要を力説し、かつこれが製造に努力するやう、活動寫眞映寫(堆肥に關する)並に講話會を催し、また堆肥品評會を開催した。完全な堆肥を多量に生産するには、養畜の必要を痛感し近來、豚、養鶏飼育等が増加するにいたつた。

本年度耕作物獎勵は、米麥作改善、煙草耕作、菜種、蔬菜の栽培等であつたが、時節柄内外市場向西洋蔬菜には全力を盡した。早春以來、村内有志を集めて講話並に研究會を開催すること數回、郡農會主催講習會における講演並に郡内希望の方面にいたりて講話指導をなすこと十數回、かくて郡内各地に熱誠なる同志を得て耕作面積も相當のものとなり稀有の悪天候であつた本年度においても、通常段當り百圓乃至數百圓の収入を擧げ、セルリーの如きはわが國最初の輸出を試み、シンガポールマニラ、サイゴン等において大いに好評を博した。明年度に對する大量の注文に接せしめ農事試験場等においても講習會等機會ある毎に推奨せられるやうになつた。

昭和七年度は世界の風雲急のため在郷軍人分會長として多忙を極め、思ふ存分農業改善に努力出来ないのが甚だ遺憾であるが、作物耕作は前年度に引續き努力すると共に、麥、菜種の共同販賣等で相當有利に取引出來、殊に八月中旬における肥料の共同購入(入札)は昨今市況に比し極めて有利であつた。

目下松茸共同販賣並に加工實施中、また産米共同販賣も研究中である

愈々曙光を見出して

兵庫縣出石郡 高橋村栗尾 田中幸一

て販賣するといふのでありますから誠に農業經營の合理化の尖端的であつて、われ々の農村におきましてもかくの如く行はねば眞の農業の面白味がなからうと感じました。

外山府農務課技師の御獎勵により、わが小學校において農村研究會の開催を期として私が彼の地で授けられた講習の要點を話して、これを各農民が實行すべく勉めてをります。そこで先づ自分が模範的に、わが經營に改善を加へる覺悟であります、未だ日が浅いので未だそれ迄にいたりません。

兵庫縣

セルリー栽培に精進

兵庫縣加東郡 山本哲夫

昭和五年度八月研究會終るや、わが郷里農業經營に幾多改善を要すべきことを確認し、いろ／＼改善計畫を立案したが、先づ精神的に或は實際的に青年、近隣農家、郷村篤農等に對し、機會ある毎に經營改善に就き意見を述べ指導した。

わが郷村は土地利用の點に關しても極めて幼稚で、まづこの點を改善すべく痛感し、裏作の獎勵、有利作物の栽培等の研究をなすと共に一般に推奨した。特に大市場を近く抱擁した當地は西洋蔬菜の栽培が最も有望なことに着眼しこれが研究に努力した。

昭和六年度改善の主眼は自給肥料の獎勵であつた。如何なる作物の栽培にも自給肥料の効果は極めて明瞭にして自ら努力研究すると共に安城における實地見聞が今更の如く痛感されるのであつた。

實習見學中板倉農場が何から何まで、極めて小さなことにまでよく氣をつけて、經營上に利益をあげつゝあることは感激のいたりでありました。自分の家のことを思ふときいかに山村でもこゝまで心を入れて農業に専心せば、こゝ一段改善出來得るものであると感激に打たれたのであります。また種畜場においては場長自から率先して農場に出で、汗を流しての活動ぶり全く驚きの外はなかつたのです。又碧海郡の指導者の方が第一線に立たれ全郡協力して自分を忘れて地方のために努力せられるなどにはひどく感激の涙に打たれました。すなはち一般村民と指導者と一致協力して日本デンマークを作つた基であると思ひます。

何分わが村は不便なる山間部なので、まだ目覺ましい成績はあげてみませんが、更に改善すべく着手しました。そして菜種(四日市黒種)一反歩を試作いたしました。反當一石六斗位のものでした。なほまた本村としては山林經營も大切と思ひ木炭改良に専心いたしました。ところが昨年十月神戸におきまして一府七縣林産共進會に木炭を出品いたしましたところからはからずも一等に入賞いたしました、銀杯を授與されました。講習會のお蔭で幾分か改善にと努力してをります。本年は非常に菜種を多く作る、模様です、また私は郡村農會より菜種指導地擔當者を囑託せられ目下試作中であります。

地の利をつかんで

兵庫縣美藝郡 奥吉川村水上 衣笠慶治

私は第一回農業改善研究會に出席させて戴き日本全土より集まつた篤農青年諸氏の雄叫びを聞き、如何に農業者自身の心強さを感じたのでせ

うか。まづこれが感激の第一です。自己も一農民なればこそこの壯士の叫びを聞き憧れの安城も視察出来た知名の諸先生の御教示も仰げるのだと、身の幸福をつくづく感じました。講習生諸氏と相談すること僅か一週間であつたが日本全土の農業状況、氣候、風土等を概ね察知するを得、全國に同志の出来たこの喜ばしきは終生忘れ得ないものであります。

講習を受けつゝ、しみじみ安城を眺めた時、その農業先導者がすべて人物揃ひで多年の経験者が眞つ先に立たれ指導方針を定めその目的に向つて統制がとれてゐることを拜聴し成程こゝだと痛感致しました。總ての農業機關が一般農民に利用され易きやうに設けられ、生産より加工、販賣と農村の商工業化せられてゐるのを見、種畜場では場長自らの御指揮振りの鮮かさ、有畜農業の實際化とその指導精神を目撃し、如何に心を打たれたことでありませう。窮乏の農村にあつて經濟に立却せねばならぬ、われ等現農民に、完備せる研究機關、経験深き指導者の發せらるゝ教導こそわれら農家の福音であり生命でありました。

研究会で十分の刺激を受けて歸郷せし私は、一路從來の農業經營を改善いたすべく、勤勞日誌を記帳し時間制とし、努力關係上多角になり過ぎた感のあつた養鶏養豚をやめ、稲作を主に年來より研究中の洋菜栽培に主力を注ぎ、裏作研究に精進しました。一時は醸造酒の元米として聲價高かつたわが産米も、時勢の進廻に連れ、その額差皆無となり、更に打續く米價下落にて不況も深酷となつたので有望と認められた洋菜栽培普及に大試練を試みました。幸ひ神戸は近く大阪、西宮、姫路、明石等の大都市も十幾里以内の距離にありますから、この恵まれた郷土に特産物を作るべく、先づセルリー、花ヤサイを大量に栽培しました。幸に好結果を上げ、栽培教示を乞ふ者多敷にできてきました。

る食品會社も昭和四年より事業を開始し、トマト、グリーンピース、桃、大根の加工を行つてゐる。以上の諸機關の役員事務員は皆熱ある指導人物たること見逃すことができない。

歐洲戦亂直後食糧の自給自足の機運を促し、奨励機關の施設は農産物數量の絶對多收穫に偏することとなり、勢の乗ずるところ農産物の生産過剰を來し、加ふるに世界的不況に直面したるも、この懊惱の中にも進路を見出すべく稲麥作栽培技術の向上、養蠶は桑園の合理的栽培により反當收益の増大に向つて畜牛養鶏は飼料の自給化、科學的飼育による収入の増加に努め自給肥料の増施と金肥の亂用をさけ相俟つて今日自家經營に赤字を出さないまでになつてゐる。

木村は山林一戸平均五町歩を有する山村であるから耕地の擴張は山地に求めねばならぬ状態であるので、所有山林平坦地を三年前より開墾に着手し現在一町四反歩の開墾をなしてゐる、本年更に五反歩の開墾を同志の手にてなすべく、目下縣へ助成方申請中である。

自己のみが如何に研究し努力し改善しても時代は農産物の大量生産を要求し、諸機關の完備も大衆の力に俟たなければならぬ。貧弱ながらこゝに着眼し自發的研究家を集めて農産研究會なる農業研究機關を作り二十五名の會員を以て組織し全國的に同志諸君と共に、新聞雜誌により研究事項の交換發表をなしつゝ、實際的に合理的に研究なしこれを實際に應用し會員自ら率先して實驗し一般農家に公表一般農家また自ら自發的に實行して効果を上げつゝある。

従つて多年待望懸案の美婁郡洋菜組合が設立し、本年一月は吉川村洋菜組合支部の設立を見ました。百餘名の組合員が、セルリー、トマト、レタス、花ヤサイの集團、周年栽培を計畫し、目下十數町歩の蔬菜田を經營してをります。

第一回作のセルリーの如き、その成績優秀で、近くは神戸、遠くは南洋、上海、天津迄輸出をいたしました。優良品なので高價に取引せられ大成功を収めてゐます。第一回作にて反當り二、三百圓を獲得したので組合員は狂喜し、意氣天を突くの感があります。來年度栽培面積の激増が想像に難くなく、大量輸出として、飛躍すべく準備中です。

理想農村の建設に

兵庫縣穴栗郡 中村善太郎

各種の方面を十分見學さして頂き、特に感じた點は荒廢せし松原が僅か五十年にして一變して豊沃の耕土と化し、人間地獄を脱して農村極樂の巷へ歩みを進めつゝある點である。

今や一萬町歩を灌水する明治用水開鑿後、克く一致協力、荒野開拓に従事、相寄り相扶けて人爲的設備機關の完成に努め、交通に教育に自治に産業諸機關悉く農民本位に設けられ、縣の教育機關も農業教育を主體とし、農會、農事組合、他においては農業者とは隔世の感ある宗教家までが相寄つて農業教育講座を開いて眞剣に農業教育に従事してゐる。

一町農會にして二萬五千圓の經常費、郡の産業組合聯合會は鶏卵生鶏大根切干の取扱一ヶ年二百二萬餘圓、購買事業に食鹽まで取扱つてゐる養蠶業の味方として乾飼倉庫あり農村工業化の先驅農産物の加工場た

闇黒に光を見出して

兵庫縣加西郡 中川勝美

従前通りの經營では赤字が出て新しい事業を行へば價格の下落で採算不能となり勢ひ借金が出るのみ、これが現世だ。

私達は一體どうしたならばやつて行けるのだらう、ほんとに農民の前途には暗雲が低迷して行方がわからなかつたのです、ところが私は幸運兒でした、兵庫縣から選ばれて日本デンマークといはれた安城の土地でしかもその講師は日本農業界の一人者を以てし完全無缺の研究會に加はるとが出来ました。

あの一週間の一言一句は皆私の頭に強い印象を與へたのです、その總てのものは私達に「君達農村青年よ、君達の行方はこれだ」と暗い道をたどつてゐた私達への光明でした。方角を失つた船頭が燈臺を見た時の悦びよりも私達の嬉しさは百倍にも優つてゐます。なんとならば私達には一生の方角がこゝにはじめてわかつたからです。

今後あの安城の生活で習つたことが全部私の生活に加味され希望に満ちた生活が出来るでせう。私は今喜の中にしたつてゐます、そして今後の努力を誓つて働いてゐます、一生懸命に。

農村は國家の農村に

兵庫縣川邊郡 松本俊一

僅かな期間ではあつたがかくの如く斯道の大家の講演講話を拜聴し模範經營地の視察、篤農家の熱誠なる指導に接したとは生涯忘れ難き印象で尊筆以て所感載記し得ない程であります。

私は自力更生主義で先づ自己經營の基本調査をなし、この調査によつて組織の改善を行ひ、肥培力の増進、肥料、飼料、勞力、日用品の自給農具の自給及び耕種方法の改善等で更生の實を擧げようと思つてゐます。また共同の力による新法としては産業組合、出荷組合、農業倉庫共同作業場等を設置し尙共同耕作、飼育採種等をなし團體の設備及び力を以てわれ等の目標、即ち支出又は政策的改善の方法は中央及び地方の議會へ農村代表をより多く送り以つて農勢の擴張を圖り税に苦しむ農村の負擔を軽減し農産物の價格の維持を講じ低資を融通して一日も早く眞價の苦惱から農家を救出すべき適切な方策を講じて農村を次第に國家の農村として進むべきものと考へます。

更に視察中特に感じたものは家屋、服裝の質素なること、勤勞第一主義なること、殊に婦人の働くこと、各種團體の設備の整備し、農家のよくこれを利用すること、農村青年教育機關の設置普及せること等でありました。

この機會において私の經營上に加へたいと思ふ點は肥培力の増進で即ち優良肥培を多く造り施し或は深耕により土地の立體的利用を圖りたいと考へてゐます。また肥料は勿論飼料農具等の自給範圍を擴張すべく思考してゐます。

餘剩勞力を作り副業、山林手入をなす。

一般農業改善を指導したる事實及びその成績

個人の努力は申すまでもなく、共同の力によりて改善發達を促す必要上、各種共同作業並に設備を圖り、作業能率の増進と支出の軽減を試みた。また共同出荷制による農事部落組合を發展せしめ、農業改善研究會受講によりて啓發せられたる知識及び體驗、所感を講演すること十數回に及んだ。

以上二項による成績は日なほ淺く具體的數字を示すに至らないが、將來その成績の見るべきは確信してゐる。

先づ自給肥料から

奈良縣磯城郡 多村大字 新木 松井 利右衛門

私は農業改善研究會において左の諸點について非常に感動した。

- 一、農業は經營の如何によりて受ける影響大なるものあること。
- 二、共同團結の力は偉大にしてわれわれの農業經營における最大の原動力であること。

本研究會出席を動機としてその經營の上に加へた改善の事實並にその成績としては、
一、米麥作を主とし、蔬菜園藝および果樹、花卉園藝を加味して實行しつゝある。

二、金肥の節約及び共同購入

當地方は從來金肥萬能主義だつた故肥料代として多額の經費を要し、農家支出の大なるものであつた。ために、金肥を節約すべく堆肥の製造及び綠肥の栽培を行つひゝある。また一反歩の半分は全部堆肥とし

奈良縣

幾多のヒントを得て

奈良縣宇陀郡 三本松村大字西谷 小谷 周太郎

講習中或は實習、見學中に受けたる感激としては

イ、全國選奨の篤農青年の集合で日本農民の縮圖の如く地方色が現れ實に愉快且つ規律整然たりしこと。

ロ、安城町は日本丁抹といはれるだけで萬事統制が取れて官衛諸團體の充實完備せること。

ハ、種畜場の大農經營と有畜農業が滿洲における農業經營を想はしめ既肥の必要と効果と共に痛感した。

ニ、板倉農場を見學して同氏の努力と勤勞生活、經營の合理的複式化に感激す。

ホ、本山理事長殿が公務多忙、かつ御高齢にも拘らずわれわれ農民のため私財を投ぜられ全國農民のために日夜東奔西走せらるゝこと。

本研究會出席を動機としてその經營の上に加へられたる成績と事實イ、經營組織の複式化。勞力の分配、收入の安定のため多角式に經營す。

ロ、耕地の改善に努む、區劃整正暗渠排水を行ひ、地方の増進、作業能率の増進を圖る。

ハ、自給自足をモットーとして綠肥面積の増大、既肥、刈草を倍加し金肥の節約をなし、植林用苗木の自己生産、味噌醬油自家製造、屑糶整理により衣服の自給を計る。

ニ、記帳生活。今後の經營の参考に資するため記帳をなす。

ホ、努力主義で終始一貫。一家擧つて愉快に奮闘努力の鼓舞を協約す

て使用し、併せて綠肥を加味した結果、反當約二圓程の金肥を節約としてしかも米麥の成育は至極良好で年々深耕と相待つて地力を増進しつゝあるから將來一段の増收の見込がある。また必要によりやむを得ず買入れる金肥も共同購入により時價より約五割乃至一割安で購入してゐる。

四、記帳の勵行

小生は日記は既に十ヶ年程繼續してゐる。これに更に農業經營日誌を自分で考案して記入しつゝある、これに依り作業の種類及び勞力を記入してゐるから後日の參考となることが多い。即ちこれにより施肥量或はまた田一反歩の勞力及び生産費等が算出せられるからである。これは本年度より實施しつゝある。

居宅附近の一般農業改善を指導した事實並に成績は、講習の結果われわれの農業は若き青年を以つて御互に研究し努力せねばならぬと信じて着々研究會を計畫しつゝあり、昨年泰君と意氣相通じ村農會技術員等と共に十月多村富民研究會を設立した。本會は富民協會の主義に共鳴せる目的を以て着々事業を進捗してゐる。なほ研究會もわれわれの努力報ひられて村當局においても非常に理解し色々援助を得、一般村民から、續々會員に加入して目下七十名となつてゐる。また研究會の例會（座談會月に一回）は大字において常にわが家の經費方針を述べ特に金肥の節約及び自給肥料獎勵をさげびつゝあつたため最近これが實行を見つゝある

研究會の刺戟

奈良縣添上郡 平和村若槻 喜多芳 之一

安城地方は四十年前にはその大部分は荒蕪地に均しい廢地であつたにも拘らず、農業地として全國の模範とも仰がるゝ今日の隆昌を見たのは

只々該地方農民の努力の結果と考へられる。安城地方は中部日本に位して氣候の點は恵まれてゐるとはいへ、赤土の廢土を僅か四十年間耕耘することによつて、日本のデンマークを建設した地方の農民の努力は驚歎に堪へない。と同時に千年來の耕作の歴史と肥土とを有しながら何等時代の進展に即し得ないわが地方の農業狀態を顧みて恥入る次第である。努力は天恵に勝つ」といふことを安城地方の見學によつて痛切に感じた。われ等幾百名の修了生の決死的の努力によつてやがて幾年かの後に全國の農民が擧つて更に朗らかな萬歳を唱へる日をおもふて愉快に堪へない。

歸郷後講習記念として米作改善を目標とする「みづほ會」を組織し、年額百圓の自費を以て會の維持費に充て、本年にて三ヶ年繼續しつゝあるが現在の會員二十九名、主な事業は左の如し。

イ、粃種原種圃の設置。現在經營原種圃三反歩、年々の粃種更新により栽培品種は全く統一され、現在では改良旭、晚優型、早生旭、愛知旭の四種に統一せられた。

ロ、産米改良の奨励。乾燥と選別の勵行により從來やゝもすると悪質米の定評ありし地方米を優良米生産地としての發聲を得るにいたらしめた。本年は更に立線米攪機を使用して攪別に一段の改善を加ふる豫定である。

ハ、多收穫の奨励並に表彰。多收穫を目標として耕作方法に改善を加へた結果、村農會主催の多收穫競技會の入賞者は當部落において大部分を占むるにいたつた。

ニ、綠肥栽培の奨励。裏作不栽培地利用と自給肥料の目的で紫雲英の栽培を奨励し、本年度は縣農會の紫雲英原種圃指定栽培の指令を受けた。

不況は何を求むるか

奈良縣添上郡 喜多正治
治道村白土

各府縣選抜の精農と共に一週間の共同生活を送り得たをこの上なく愉快に思つてゐます。ことに實習を了へ風呂を浴び夕食を済まして講堂に會し、忌憚なき意見の交換をなしたおもひ出はいまに忘れんと出来るぬものであります。かゝる有益な企ては富民協會にして初めてよく出来ること、深く感謝いたさずにはゐられませんでした。たゞ實習見學等をしていただきました各地方の事情につきましては、多くは皮相なる感察をなし得るにすぎず、その真相をつかみ得なかつたことのみを今日も遺憾に思つてをるところであります。こんなことは誠に差出がまじきことに存じますが當該地方の農民とも膝を交へて一夕の歡談に耽り良きも悪きも共に意見を交換し得られますならばこの上なく結構なこと、存じます。

小生宅における農業經營は果樹栽培（主として柿）を中心とし、米、麥、蔬菜は僅少であります。本研究會に出席するまでは、肥料經濟方面に對してさまざま注意を拂はず、相當の出費に悩まされてゐましたが、いまや全く方向轉換し、果樹園肥料として附近の牧場より厩肥を仕入れ、殆んどこれのみにて充足するにいたしました。御蔭で現今の不況に際しても案外樂觀いたしてゐます。

當地方は米麥中心にて戦後の不況以來今日まで一方ならぬ辛酸を嘗めましたが、本研究會修了後私の勸告と小學校長の依頼により、果樹栽培方面の知識普及の目的を以て父は半ヶ年餘小學校、補習學校にて實地教育を一般青年にいたしました。その成績は今後に俟つべきものと期待いたしてゐますが、農業恐慌の深刻せる現在、果して如何程の効果を擧げ

ホ、その他毎月農談會の開催「農報」を隔月に發行し當部落に適合せる農業記事を収録し會員に無償配布する。
縣立種畜場並に板倉農場の有畜農業を見學して得た知識により、これに範を取つて自家農業に有畜産を採用することにした。

飼畜は牛一頭、鶏五十羽、十坪の堆肥舎を築造し、牛糞、鶏糞の外に近所の種鶏場（約一千羽飼育）と採糞の契約をなす等、合理的堆肥製造方法によつて年産一萬貫の堆肥を製造し、引續き三ヶ年間耕作田畑三町歩に施用する計畫である。以上の堆肥の製造と綠肥の栽培によつて從來使用の金肥の約六割を節約し得た。しかも地方は著しく増進し、自家の栽培作物は他の農家の栽培作物に比べて劇然と判別し得るにいたつた。しかして堆肥の切換へ、運搬等は降雨雨日または降雨後他の作業の不可能なる場合に行ふのであるから勞力の平均を得る。肉牛は肥育飼養法を採用し、毎年五月に良質の若牛を購入し、十月以後は特に意を用ひて肥育し、翌年三月にいたつて賣却する。昨年は新舊牛の差益金八十圓を收益し、本年は五十圓を收益した。その他自家耕作使用以外に貸牛をなし年十五圓を收益す。

つぎに宅地利用によつて家屋税、宅地租の全額收益の計畫をたて、宅地の周圍の日陰に「千兩」苗（二年生）を二千株栽植し昨年度は二十圓收益し、本年度は百圓收益の見込である。また從來使用の三畝歩餘りの宅地内の粃乾燥場を利用し、油障子五十枚フレーム十框を使用し、カーネーション、アマリ、ス、菊苗を育成し昨年度は白八十五圓收益した。本年度は栽植苗數増加したが價格下落のため收益は二百圓に過ぎない。しかし本年度分の計算によると、育苗諸経費（概算）を差引けば税金の約八割を收益し、明年度は更に好成績を得る見込である。

得るや頗る疑問と思つてゐます。恐慌の見透しさへつかぬ現在多角形式經營と雖も遂に時代遅れとならんとしつゝあります。いまや寧ろ當地方にあつては米、麥、特に米作に再び還りつゝある有様であります。實際農業に従事してゐる私どもはこの點大いに考へるべきことを痛感致します。

台所の榮養化

奈良縣宇陀郡 津田重三
内牧村大字高井

イ、實習について從來は勤勞精神が不足であつたこと。
ロ、講習において大家の御講演により感じたのは今後の男女青年をして十分教育を徹底せしめねばならぬことであつた。

ハ、見學について、各所産業組合をはじめすべての團體の協同一致の精神に感激した。なほ岡崎種畜場の自力更生、自給自足、有畜農業の現状に感激、板倉農場の多角形農業經營努力の分配についてもまた同様であつた。

岡崎種畜場長の講演に臺所の有機化については大いに感激し、われわれは先ず歸宅後直ちに臺所の營養化に着目しすでに實施しつゝある、體力の更生を行ひその成績は、良好で小供の顔色にまで現はしつゝある。

わが村内男女青年に農業講座を開催し、青年教育に努力しつゝある。一般郡内青年の指導は郡農會と協議中。近日中には、農業經營について懇談會なるものを開く。

わが郡内で改善する事項
一、協一同致の精神を養ふこと

- 二、有畜農業を實施すること
- 三、臺所を營養化すること
- 四、多角形農業經營を行ふこと
- 五、勤勞主義で感謝の生活をする

かくして生きよ

奈良縣添上郡 森 田 茂²
治道村大字新庄

第二回農業改善研究會出席の榮に浴してより早一ヶ年経過いたしました、講習にて得たる貴き教訓、活きた経験を實際に活用いたす可く心血を注いで奮闘した。されど一ヶ年といへば時日短か、らざる今日富民協會を初めわが奈良縣諸氏の御期待に十分沿ふことの出來得なかつたことは甚だ遺憾とするところである。

一、自家農業經營の改善。わが地方は、米麥作の外に主として蔬菜園藝によつて収入を得てゐるために、先づ手近な蔬菜より収入の増大且つまた収入の年中不斷なること、努力の分配を圖ること、肥料の自給をはかり得ること等を根本原則として邁進し、漸次各方面に向つて改善をはからんとす、すなはち果樹、養蠶、養豚を入れて多角農業として經營しつてある。

一、栽培技術の研究指導。わが村は産業組合非常に發達し本邦有數になつてゐるが、これと反對に農會は貧弱にして甚だ振はない。ために西瓜、甜瓜の促成、菜豆、茄子、胡瓜、南瓜の促成、西瓜の接木、高等蔬菜の栽培、裏作の研究等をわれ等は進んで實行してゐる。

一、共同購入の斡旋。硫酸紙、蔬菜、大根、にんにくの種子等。

なほ多村富民研究會においての本年の事業計畫をのべれば會員百名突破を劃し、われ／＼の同志にて村の一大勢力たらしめ、以て産業の改革をなすこと。つぎに技術方面においては從來より大和の名産たる大和西瓜は連作する結果漸次的に嫌地性を現して、數年ならずして栽培不能に陥るうらみあるを以てわれ／＼はこゝに着目し干瓢の砧木に以つて西瓜を接木し蔓病涙青枯病よりまぬがれ西瓜の連作を企劃し大和名産を將來とも益々發展するやう努力してゐる次第であります。

その他一般農業經營の指導、合理的技術の指導農村娛樂の確立等々計畫中であります。

生産費の低減を圖つて

奈良縣磯城郡 宮 西 好 章³
多村 宮 森

生産費特に肥料代の節約及び統制ある販賣方法 受講前より自給肥料の必要は感じてゐた。ために年々僅少の堆肥を施用してゐたが、試験場種畜場、板倉農場等、特に自給肥料の施用を本義とせる作物の豫想外の出來榮を見るに至り、生産費の輕減と收穫上に及ぼす偉大なる力を痛切に感じた。なほまた碧海郡民の團結力の大きな特に養鶏組合の經營の如き、統制ある販賣方法を見た時、不況の折柄よく經營し、外に經營難をうつたへざるは、その裏面に組合員各位の努力と經營合理化と、團結にあるを思ふ時、あやまれるわれ等の販賣方法の改善の急なるを痛感した。

吾地方の主農産物は米、麥なれば、常に米作の多收穫に志し、年々に僅少年ら增收を見てゐるが、その經營振り時に自給肥料の施用の要旨に

一、園同友志會の設立。奈良縣北部に在する、農村青年によつて創立、年二回農談會開催その他視察旅行を行ふ。

一、富民研究會の設立準備。治道村を一體とする研究會を設立せんとし同志開會中なるも不徳のためおもふやうにならず鋭意努力しつゝある

一、時間勵行、冠婚葬祭費の節減提唱。

一、有畜農業に邁進せんとす、すなはち自給肥料の増大。

一、その他農業統計の作成等。

右の如き甚だ貧弱とはいへ鋭意努力中である、本年は西瓜において生育を稍促進せしめたため頗る上成績であつて、反當大字平均百四、五十圓を得た。

農村の中堅になつて

奈良縣磯城郡 秦 英 雄²
多村 秦 庄

私はこの講習により農業の組織經營の更新を劃し從來の單一農業經營に加ふるに種々農業要素を加味しました、今その一例は自己經營の

稻作八反歩、西瓜二反歩、甘藍二反歩、大麥四反歩、小麥三反歩、紫雲英採用二反歩、蠶豆二反歩、若雜百羽、葡萄六畝、柿五畝

以上の如く多角味を加へ、漸進的に農業經營の改革に務め、外部にいてもわれ／＼の同志を集めるため多村富民研究會を作り、すでに會員六〇名を數へてゐます。毎月一日農業經營革新、農業技術の改良方面の座談會を催し、多村産業をリードしてゐる有様であります。

そはなかつたが不斷の努力により自給肥料の製造、金肥を自給肥料に代へたる作物の成育振りその他支出の減少に心を致し、明年度は肥料節約の目標に寸暇の利用を目指して作業上、栽培上の計畫主案に便なるやう生活上より改善をなしつゝある。

未だ終了後日淺ければ指導するに至らざるも團結心の養成の一步として、特産大和西瓜の品種の統一と、明年度の出荷期には共同出荷をなさんとし、終了歸宅早々本月(八月二十八日)多村富民研究會品中の明年度西瓜栽培者に試験場の獎勵、新大和種の共同購入をなし、西瓜と干瓢との接木栽培の實地視察を希望者と共にしつゝある。

日本丁抹をわが村に

奈良縣磯城郡 北 野 隆 治³
川 東 村

われ等の博物館見學によつて、われ等の努力によつて我等の農業が無限に進展し得るヒントを得たとは誠に欣幸に堪へない。更に講習中において個人を延長し團體的行動に移りつゝある農業界の現勢が歴然と示された。彼の新興碧海郡安城地方を日本デンマークとしての今日あらしめたるは種々原因はあるだらうけれど農民自身の團體的精神の發露なりと考へられるのである、つぎに經營方面においては彼の明治用水によつて開發せられた安城同地方は明治三十年頃山崎先生中心主義の農業教育が實施せられ農民は等しく新知識を得て時代に適合せる經營方法を營み前進的に發展を示してゐる、中にも同地農業界の王座を占してゐる板倉農場の如きはその顯著なるものである。彼の板倉農場の經營方法において誰しも驚嘆せざることを得なかつたであらう。

その上岡崎にある愛知縣立種畜場及び生産者を株主とする三河食料品株式會社の建設を見學するだけでも同地方の如何に時代に目醒め不斷に發展しつゝあるか解せられるのである、同じ農業界においても農民の腦力と創造力によつてかく迄拓かれるものなるかと痛切に感じたのであるこの意氣込を引比べてわが郷里を顧る時甚だ慨歎に堪へないのであるわが郷裡には憤然として改革の二字が浮ぶのである、わが郷里の農民は尙時世の進運を省みず祖先傳來の農法に満足せるが如き傾向が認められるのであるが些か天祐に恵まれた關係上栽培技術においては近時非常なる進展を呈してゐる。彼の大和西瓜の如きものは斷然農業界において第一位を占めてゐるが他方面においては實に遺憾の點多くわが地方は三大都市を間近に控へる關係種々農産物の主産地であるが、現今の不況のため生産費と生産物の調和がとれず苦難と戦つてをる、その生産費の大部分を占むるものは金肥である。故にわれ等は今や喧しく叫ばれる自給肥料によつて生産費の低減を圖り、併せて努力の分配を圓滑ならしめて戦ふより他に道なきことを理解した。

その上共同的精神と農産加工、有畜農業等を有効化するならばわが奈良平野は必ず日本デンマークを凌駕するであらうと確信する次第である従つてわれ等の使命は重かつ大にして一路農業界のため全生命を投じて猛進しなければならぬ任務がある。これを果すことによつて受けし報恩の一端ともなりはしないかと考へる。

山間地農業の開發

奈良縣山邊郡 高 森 益 男
豊原村三ヶ谷

この度富民協會の大事業によつて農業改善の講習を受け碧海郡獨特の

農事實行組合内に農業經營研究部を設け經營改善に關する相互研究並に指導をなす畜産特に豚、鶏、兎、山羊の飼育獎勵、堆肥の製造、特殊蔬菜の栽培、育雛、自家用醬油、餡汁製造等の實地指導を行つた。講習終了直後講演會、座談會を開催し農業改善自力更生に關して意見の交換を行つた。

和歌山

種苗圃を設置して

和歌山縣那賀郡 大 井 徳 成
田中村大字西大井

碧海郡農民の農業經營状態を研究するに當つて私は現在不況に喘いでゐる農村もその經營を合理化することによつて不況を打開し以つて自力更生に進むことが出来るものであるといふことを痛切に感じたのであります。私の郷里は紀北の平坦部で農業は餘り自然に恵まれ過ぎていたといふことがわが農村の發達を阻害したものであらうと思はれるのであります。今日不況が益々深刻化するに至つて漸く從來の盲目的農業より覺醒して來たのであります。

私は講習會から郷里に歸るや否や直に農業研究會の幹部會を開きこれが善後策について協議を重ねた結果研究會並にわが農村の更生を圖るにはまづ以つて農民の知識を博めることが何より必要であるといふことに歸着しました。これには農民の會合をより多くすることが必要であること、つぎに講習講話會を多く開き、また先進地並に試験場等の見學視察を多くすることを説いたのであります。これに基いて本月十五日に座談會を開催したのであります。また近々に農業博物館並に泉北試験場も見

農業を實習體得することが出來た。だが碧海郡は坦々たる平地である。重い厩肥も何の苦もなく運搬し施用することが出来る、耕地を集團させることも易いし畜力の利用も普く行ふことが出来る。従つて仕事の能率が進んで大面積の經營が可能になつて來る。出来るだけ經營面積を廣めて所得を増すことが出来るのである。ひるがへつて、わが地方の状態を顧みる時山岳重疊してその合間々々は耕地整理は加へられたといへば一枚一反足らずの棚田續き、山の頂から東南に面した急傾斜を開いて畦畔が多い段々の地、これが畑ではないか、これらのものから遠く離れて集團してゐるのがわれ等の住宅、農舎、堆肥舎ではないか、細いそして曲りくねつた胸つきの急坂道路が登り下りしてこれらを連絡してゐるが、それらがために畜力の利用は狭い範圍に限られ自給肥料が尊いものとなつても遠くまでその重い荷をかついで急坂を登り下りせねばならないのが山間地の農業者であるのだ、だがこれは農業者の精神によつて何事もなく行はれるとしても散在した耕地の往復に時間とられて仕事の能率があがらず、隨つて大面積の經營が行はれないのである。故に經營面積の増大を行つて所得の増加を圖ることは先づ出來ないとせねばならない。然らば山間地農業の活路は何處に求むべきか、平坦、山間兩地方における農業状態の差異、それは非常に大きなものである、しかも山間地農業において頗る劣位に立つてゐる。私は強くこれを認識し如何にすればより有利に經營の改善を遂行し得るかについて感奮その極に達したのである。

私は自産自給を徹底せしめんために豚頭數、鶏羽數の増加を斷行し、蕃殖豚舎の増築、農舎の内部整頓によつて鶏舎の代用とした、かくして金肥は全く驅逐し肥料の自給策は安定す。經營面積の擴張を計畫した結果山林五反歩の開墾に着手果樹畑となす。

學として頂き度い考へであります。今一つ研究會不振の原因である處の即ち効果を擧げるためにその手始めとして各種々苗圃を設置し品種の統一を計りこれを實費若くは無料配布をなすこと、つぎに各種出荷團體を組織し會員の生産物の共同販賣をなすこと等を決議したのであります。さうして追々その實行に着手すべく計畫を立てつゝあるのであります。

この外わが農村として適當なる合理的農業經營の普及徹底を期すべく私共その研究改善に盡力しつゝあるのであります。

惟ふにわが地方としては地理的關係上から言つても、有畜多角形農業でなければならぬと考へ、昨年以來従來の役牛の外に乳牛一頭を加へ二頭の牛を飼育し、また米麥作の他に蔬菜類即ち西瓜及び南瓜等を加味した有畜多角形農業の範を示すべく計畫を立てたのであります。しかるにそれが今までは費用倒れになつてしまつて合理的に行かないといふ結果を來したのであります。ところが今回貴會講習生としてその恩恵に浴することによつて私の經營上に大なる欠陥を見出したのであります。即ち自給自足主義といふことを欠いてゐるからだといふこと、即ち未だ合理化されてゐないといふことであります。故に今後の經營上、この點に改善を加へ自給自足を基調とした有畜多角形農業となすべく計畫を立て、これが實行に着手しつゝあります。また一般農民にもこれが指導をなしつゝあります。

これ等の結果、内には自給自足、外部に對しては團體的行動が必要であることを自覺し幾分でもかうした氣運に向つひゝあることがわが村として非常に慶ぶべき現象であります。

農村窮乏何物ぞ

和歌山縣有田郡 川 島 功
保田村下中島

去る八月十七日富民協會農業博物館に集つた農村青百二十九名が發會式を舉行したる時は實に若き血潮の迸り意氣に燃て國難なものぞ現在農村の窮乏なものぞといふ實に力強き感に打たれたのであつた。

同日午後一時希望に燃へつゝ大阪驛を出發したのであつたが多年あこがれの日本デンマークの稱ある愛知縣碧海郡安城町に着したのは六時頃であつた、それより約一週間視察に或は見學に、或は實習の體験に、實に偉大なる收穫を得ることが出來た。最初は安城町をみた時にこれが日本デンマークか、餘りにも平凡なるものではないか、と内心ひそかに思はざるを得なかつたのであつた。しかるに私の認識の不足の結果で、講習の日數と見學の重なるにつれて碧海郡の農業狀態の進歩が如何に顯著であるかを明に理解することが出來た。農會の活動、産業組合の發達、さては農業教育の徹底、或は農民自身の共同の精神等、心眼を開けば驚異をすることはかりだ。私共はこの講習のおかげで將來の農業經營上大なる参考となり明かに進み行くべき道を教示されたのは勿論であるが、彼の實習上の體験は時間においては實に僅かであつたが得るところ多大であつた。思ふに板倉農場と種畜試驗場の半日は實に尊いものであつた。かくて終始感激のうちに了つたのであつた。

向一面全国各地より集合したる青年農家であるから親しく各地の農業經營狀態を語り合つて得るところが實に多かつた。それと同時に刻下の難局打開の方法を講究することにもいろいろ便宜が多かつた。講習會期に得たる精神的收穫においては更に多大で將來日本の農業經營の上に何等かの結果が生れることゝ力強く感じる次第であります。

稻作の改良に向つて

和歌山縣海草郡 高岡藤之³
東山東村永山

安城地方が農家の副業として養鶏、養豚を行ひ産卵數を多くする工夫をしてゐる上に全部の鶏卵を市場に出し、鶏糞、豚糞は田畑の肥料として金肥の購入を少くし同時に地力増進をはかつてゐることは致へられた。

板倉農場に於ては、農業を多角形にして家族的勞力の分配をやり、少のすき間を見出しては安城町の塵埃を引き來り下駄の履層、穢れた木片、毀れた箱など澤山混つてゐるのを拾ひ分けて乾かして置いて豚の飼料を煮る薪にして殘滓物の利用をはかり、あとの不潔物はそのまゝ堆肥として置いて田畑にほどこすこと鶏豚糞もまた同様の方法を執つてゐること等、實に感激の至りである。

故に私もこれにならつて養鶏、養牛馬を行ひ自給肥料をつくり地力増進をはかりたい考へである。また一方殘滓物の利用といふことに十分意を用ひ、家族の勞力分配も實行致し度い考へである。なほ水田の稻作は品種の改良をなし多收穫につとめ現在の不況を打開して行きたいと願つてゐる。居宅附近の一般農家にこれ等をすゝめてゐるが受講後未だ日淺い故にこれ等に對する成績は今の處實現しない。

鳥取縣

農改聯盟を結成して

鳥取縣東伯郡 長田義人¹
社村大字國府

同時に郡(東伯)青年農業研究會を結成した、次にその他社村製繩組合の結成を圖り目下盛んに製造中であります。

安城は不況に勝つ

鳥取縣西伯郡 木下周治¹
渡村森岡

昭和五年といへばわが國の經濟界は非常なる疲弊を來し今や危急存亡の秋に到達してゐたのである。日本のデンマークの稱ある碧海郡にもこの偉大なる農村窮乏は地をも席捲致してゐる物とわれらは農業改善研究會に列席致したのである。

しかるにこの碧海の地は、明るき輝かしき希望に燃えその理想實現に勇敢にも進展しつゝあるのを眼前に見せつけられたるを見ては寔にいひ知れない感激に打たれたのであつた。實に碧海郡の農民はこれ實に彼等勤勉の力の偉大の賜で何事も忘れ果て、朝夕汗を流して熱心に働いてゐるその姿こそ吾人は全く感激に打たれ、われ等の山陰の地にも勤勞の二字を以て働けば、必ず第二の日本デンマークの建設も至難にあらずと感したのである。

次には彼地の農業が今日の文化に遅れず立體的經營を主眼としたる多角形農業の經營は、われ等農民として是非學ばなければならぬ現代式の經營法であると感じたところである。

農業者が今日の如く困窮致したゆゑは、自給自足の精神に乏しかつたからである、ゆゑに今後の農民は是非共自給自足を根本方針として農業を經營して行かねばならない。しかるにわれ／＼農民が多額の金錢を支出してゐるものは肥料であつて、金肥消費の衰減に期せしめるは彼の碧海郡がよくこれを示してゐる。よつて郷里に歸つてから畜産を加味し

安城における協會の講習は學理、實地の兩方面、講習生の素質、協會の物質上精神上の努力その他何の點よりするもこれに勝るはなく、本講習こそ日本の持つ世界に誇る講習と今でも思つてゐます。

かの板倉農場研究は年來の希望のところ視察、實習いづれも行つて愉快でした。終了後二日間任込労働を許され、天下の精農の家庭生活を各方面から研究することが出來た。種畜場、食品會社、今養鶏組合、町農會、丸碧産組聯合會等々の各種の機關が完備し農民のために必死的活動をなしつゝあるを親しく見學した時、わが村における農村經營につき無言の教訓と暗示を受けました。縣を異にせる者一室に寢食を共にしたる後心に期しつゝ、別れをつけたる後も農村及び農業改善につきはげまし合ふことの出来るのは講習員の素質と多額の費用と努力と心痛とを投じて最善を盡されたるあの講習ならばこそと感慨深いです。

昭和五年の研究會終了後餘り急激な變化はして居ませんが、一、二の努力點を報告申し上げます。

一、水田製作、飼料栽培として甘藍、馬鈴薯、麥、紫雲英を増殖し、飼料自給の目標をたてました。

二、有畜農業によつて從來の金肥代を飼料代にし、加へるに自家作飼料を添用して首産收入と厩肥の増産を圖るため厩舎新設し、昭和六年八月牝牛一頭購入しました。また製材賃だけ支出し、三尺に六反の油障子温床三十枚新設し、只今の秋作には玉葱、べと病豫防の麥霖雨防止屋根用としてトマト、ナス、コシヨ(蕃椒)苗を育成する計畫です。育苗用としてトマト、ナス、コシヨ(蕃椒)苗を育成する計畫です。何分にも未だ若年且つ貧農の弟のため社會的指導地位にたち努力する機會はないが二、三、御報告申し上げ度いと存じます、即ち大日本農業改善聯盟鳥取縣支部を昨年十月縣産組聯會上に結成、座談會を開催した、

てその糞を利用し、今日肥料の自給を断行して桑園、水田にはこれを施して經營し著しく金肥の使用を減じてゐる所で今後なほ一層經營の合理化計畫してゐる。更にまた經營の多角化のため蔬菜園藝を加へ特に今年のはきは西瓜と、トマトを栽培して、多額の収入を得た。

居宅附近の農民へ碧海郡の農業状態を親しく物語つてどうしても今後は多角形的農業經營でなければならぬことを力説して、單式の養蠶に蔬菜、園藝を加へ、それに水稲は早植を断行して行かねばならないことを自覺せしめた。なほ自給自足の農業が今後は非必要であることを自覺させたため、養牛、養鶏が盛んになりつゝある。更に勤勞の精神を植ゑつけるべく青年團に産業部を設置し、各支部に實習地を設置せしめた。そして今後多角形的に遂まねばならないが、それに對する各作物を試作研究せしめつゝある。

農民は政治に目醒めよ

鳥取縣日野郡 石江一廣

不肖私も本年第三回の研究会に出席するの榮を得まして、去る八月十七日より同二十三日まで御指導を受けました。歸郷後鋭意農村更生のため改善を續けてゐます、然し歸郷後日尚淺くその實績をこゝに發表致させて頂くことの出来ないのを遺憾に思ひますが、研究会出席を動機として經營上に改善を加へつゝある事項並に郷土農村に向つて叫んでゐる事柄を披瀝させて頂きましたその後の御報告にしたいと考へます。

受講中各講師よりまた各地の見學に依り農業經營はまづ自給自足の經濟機構のもとに立たねばならないと深く感じました、即ち貨幣支出を少

しでも少なくせねばならない、この大方針のもとに有畜多角形農業をやつて初めて十分なる効果の上るものであり農業が理想的に發達して行くものであると考へ、經營中最大の支出である肥料と勞力の合理化に着眼し、まづ自給肥料増産即ち厩肥堆肥、蠶糞、鶏糞等の増産、品質改良によりこれが目的を達し、一方勞力においては畜力、機械力、水力によりこれが合理化を圖り、また共同作業による等改善を加へつゝある、かくして農業の個人經營、部落農業等の合理化を圖る一方農政的にあまりにも無自覺であり過ぎた從來の農民をして政治的にもつと自覺せしめ全國的に農民は團結して農業日本の政治は我々農民の手に即ち名實共に農業の日本の建設を急ぐべく機會ある毎に大きな聲で呼び續けてゐます。

貴會の精神的並に物質的の深基なる御援助によりまして受講することを得まして感激措く能はず深く固く覺悟致してゐます、疲弊の農村更生のため奮闘を續ける覺悟です。

萬感胸に迫る

鳥取縣八頭郡 東田一雄

イ、講習中、新時代の農業經營には勞方、土地、資本の本質をしつかりと握り、その合理的な活用を行ひ從來の利己的觀念より共同精神に目覺め統制經濟とする必要あり。ロ農事實行組合の經營には先づお互の心から改造し組合員お互の長所を一人一分擔主義により一層發揮し組合員の福利増進を計る必要あり、部落が一單位となつて實行することが最も容易で効果も大なりとし。ハ、農村自治には徹底せる自治精神の意義を聞

き碧海郡の農業經營として何物かをと覺悟して來た自分には目で見た碧海郡の農業は餘りにも期待に反したが碧海郡農業の基礎を聞き今日に築上げた幾多の農民、精神山崎先生の農民教育、現在の青年教育の眞剣さこそ碧海郡農民に農民道を信念づけそれが研究心、勤勞精神共同精神となつて表はれ日本デนมार्クたらしめた信じわれくもこの氣持をもつて地方農村の開發に努力したい。ホ、有畜農業の經營には投機的な經營は失望に終り、それがために現在の農村は喘いで居り今後農村の進路は自給經濟で耕種農業に畜産を有機的に織込み地方増進、生産費の低減餘利勞力の消化、金融の圓滑を圖るべく農業の有畜化の急務なることを授けらる。ヘ、農業と經濟には經濟問題を世界的に達観しわれく青年は強く正しく清く生きるか新日本建設の大使命と信す。

實習中、イ、赤松共同出荷組合、板倉農場經營の精神を第一義として勞力分配を合理化し自給自足と廢物利用の厚生を徹底を根本とし役牛の利用の巧なるに感ず。ハ、今養鶏組合に多大の指針と教訓を與へられ三河食品株式會社、愛知縣立農事試驗場を見學した栽培上多大の知識を得る。

また歸郷後は青年團へ講習會状況を報告し農業改善につき研究(二ヶ町村)。國英村賀茂村青年團と産業對抗競争の開始、未だ實行の途につかず、甚だ申譯なけれども受講中の感激を基礎に鋭意に努力する覺悟である。

合理的な勞力利用

鳥根縣郡(田多) 小林虎之助

鳥根縣下を代表して權威ある農業改善研究会に出席するを得たことは私の最も光榮とする所であり、講習中、新時代の農業經營には勞方、土地、資本の本質をしつかりと握り、その合理的な活用を行ひ從來の利己的觀念より共同精神に目覺め統制經濟とする必要あり。ロ農事實行組合の經營には先づお互の心から改造し組合員お互の長所を一人一分擔主義により一層發揮し組合員の福利増進を計る必要あり、部落が一單位となつて實行することが最も容易で効果も大なりとし。ハ、農村自治には徹底せる自治精神の意義を聞

次に研究会出席を動機として、その經營の改善事實及び成績は未だ日淺くして見る可きものなきもその改善せんとする事項は多角農業を合理化すること、水稲、養畜、養鶏、養蜂、加工、果樹(ブドウ)養蠶、を以て勞力を合理的に分配することにして、水稲、養畜、養鶏、養蜂、加工は在來の經營を改善し、果樹、養蠶はこれを新設經營すること等であり

大體の經營改善の方針として

- 一、耕地の擴張。現在水田壹町歩を壹町五反に擴張
- 二、裏作の擴張。現在大麥、紫雲英を二反歩なるを五反歩迄擴張

三、果樹園の新設、勞力の分配上の栽培面積約四畝歩
四、山林利用、栗樹の栽培

居宅附近の一般農業改善を指導したる事實その成績及び改善事項は研究會修了後日淺きため見る可きものはないが指導事項として各々機會を利用して自治精神、共同精神、及び勤勞精神を高唱し、自らその行ひを示しつゝあり、また部落農會の經營については役員等の關係上その内容改善を圖る可く自下草案計畫立案中であります。

萬事「共同」によれ

岡山縣

岡山縣吉備郡 生石村三平 笹井 一 一二

イ、本山理事長殿があつた御高齡御多忙、殊に炎熱にもかゝらず、自ら親しく、會場、食堂等にも臨ませられて、われわれを御指導下さつたことは、愛知縣種畜場參木場長と共に少くとも指導者と名づく者はまづ「自を焦しつゝ邊りを照す蠟燭たれ」と無言の教訓を興へられたものと思はれました。

ロ、安城において實習見學中最も強く感じたことは「共同一致」の力がそれをなしたものだといふことであつた。農村の開發殊に今後われわれがこの難局を打開する唯一の力は「共同」の二字あるのみとの感を深くした。

ハ、板倉農場については全部にはあへて共鳴しないが農村の窮乏打開は、かく働き、かく萬物を活かすならば、さほど難事にはあらざるかと痛感した。

營の御話により有畜農業の眞髓を知るとを得、實に暗夜に光明を見出した思ひを致しました。向一般としまして各種組合の徹底的活動振り、農家とそれら産業機關の聯絡等、われわれの想像以上のものにして眞に理想郷として天下に推奨されるのも當然でありわが郷土との差余りにも大きい隔りのあるのに驚の外有りませんでした。

私は先づ從來の無計畫的なる經營を合理的に排泄物の利用等を考慮し有畜農業としての計畫を樹て、仔豚等三十頭、役牛一頭、鶏三十羽をなべく自給飼料により飼育繁殖して堆肥の増産を計畫し、土地の肥培、金肥の節約を實行し、本年稲作は反當金肥三圓位に減じ、成績は極めて良好であります。

尙地方的改善指導としては村内有志を集め農家組合等の設置につき協議を致して見ましたが一般にその邊迄進んで居ないので第二の國民である村內青年の精神的結合による根強きものを造るにありと考へ、村内有志青年三十三名を糾合なし、去る昭和七年六月六日灘崎村農業改善同盟と稱する會を組織し、發會式を舉行し幸ひ現今村當局としてもまかせものは本同盟の外無しとまで大いなる期待と御支持につとめて居る次第で、本同盟の主旨としては精神的には農民精神を普及徹底させ愛土觀念を養ひ以て農業技術の向上を圖り併て農業組織の改善と進んでは生活改善にと各種團體と提携して進み同盟員の機關雜誌として富民協會報の購讀を進め本年度より全員こぞつて貴會發行の新農家日記の記帳を進める豫定で本村は見事理想農村となるかの感を起させます、以上の如く貴會の最も有意義な講習會の末席を穰せし一人として微力ながらも自己の經營の上に將また社會的にも致し居りますとを不徹底乍らも御報告申し上げます。

ニ、未知の人間が講習を機會に兄弟のやうな親しみを結んだことは生涯に忘れ得ぬほどの大きい收穫でありました。總ては和合すると働くことによつて解決するものであるとの確信を得たことでした。

故郷に歸つてその經營の上に加へた改善の事實及び成績としてはイ、增收一千圓を十年計畫で樹立したこと、

内譯 蘭草作付反別一反増(本年は五畝増)花卉、蔬菜栽培(本年作付一反増)小麥増殖、各種作物生糞費低減

ロ、その第一年の成績蘭草作付五畝増につき、花筵疊表の製造高による純收入において約百圓の利益、小麥の增收二十圓、金肥節約(反當金貳圓二町歩金四十圓計金壹百六十圓也)の增收
但し金肥節約は水稻の分のみ

居宅附近の一般農業改善を指導せる事項は次のやうです。

イ、産業組合の重要性に鑑み、これを外部から援助する目的を以て、青年聯盟の組織のために少しは働いた。現在これによつて活動しつゝある。

ロ、産業組合に地方の特産品たる蘭製品の共同販賣をさせしむべく運動中であります。

農業改善同盟を樹て

岡山縣兒島郡 灘崎村彦崎 河田 末光

安城では幾多感激措く能はざるものがありました。が中にも個人經營としての板倉農場、官立としての岡崎の種畜場等の經營振りは私等全く驚くの外はありませんでした。實に徹底した自給自足經營下に有畜農業による多角形農業組織振り、更にまた種畜場長參木普七郎氏の有畜農業經

多收穫に邁進して

岡山縣兒島郡 藤田 村 可兒 助 一

第一項の講習中受けたる感激については講習中新聞紙上に報告致しましたから今回は第二、第三について報告致します。

私の經營は耕地面積二町四反歩、これを次のやうにしてあります。

表作、稲作、全面積、裏作、小麥、一、二町、裸麥、二反歩、蠶豆、六反歩、蘭草、二反歩、苗代地、一反歩、

この組合せで昨年やりましたが經營改善をするには水田のみではなかつたか、難かしいのです、そこで米麥の多收を計畫しました、そして金肥による多收穫と、自給肥料を主體とした多收穫をやつてみます、米作の方から説明致します。

稲作多收穫は三年目で記録は四石六斗を持つて居ます、本年は特に苗に力を注ぎ講習中習つた安城式乾田苗代として焼土使用により今迄の苗代とは根本的に改めました、そして眞空式播種機により一寸一寸五分に播き(坪當七分弱)植付期には一粒六七本に分蘗した健苗を得ることが出来、多收穫田、經濟的多收穫田、普通田の三通に植付けました。

その成績によりますと自給肥料の方が有利のやうです。
次に小麥作においては本年度自給肥料による多收穫を目的としてやりました、その結果から見ると、小麥を作るのには自給肥料が絶対必要なことを示しました、また土地利用歩合に尙改善して見なければならぬことを知りました。

次に蘭草の改善について、昨年迄は一反歩を限度として栽培して居ましたが、經營改善上副業に意を置いたため本年は二反歩に増植して現在よ

り明春にかけて全部加工するやうにして居ます。而し動力延織が増加して来たので明年は加工をやめて栽培面積を五反歩に増加する豫定です。ほかに養鶏百羽と定めて居ます、以上の如く経営改善を計り増収を完成し、また一家五人が年中暇のないやうに努力を分配すべく改善して来ました、現在の経営で自家努力で張切つて居ます、

農家を指導する前に自己の修養と思ひ、有志十五名村内よりつり農事研究会を組織し、指導方法について研究を重ねて居ます、これは経営改善運動の原動力となつて大きな力を與へたいとの考へです。

また農家に共同思想の普及と、共同價値を認識するため青年團の奮起を促し共同購入、販賣を實行するやうにしました。

第一に農家が各々使用する石油を共同購入するに青年團の農事部が無俸給で活動をし共同の力の如何大なるかを農家に知らしめて現在に至つて居ます。

かうして一般農家に共同思想の普及を圖り明春を期して部落内に五つの農家組合を組織する計畫です。

私は必ずと成すに急いでではないと考へて居ます、他動的の更生でなく自力によらしむるに務め、自己の結合によつて組合を構成すべく指導したいと考へて居ます。

輝く多角形農業

岡山縣赤磐郡 瀬村江尻 塩見 貞 男 3

日本デンマークの實際を見てあの徹底した勤勞ぶりと共同精神の發達はかくまでも美しくなごやかに行くものかと一驚し、この日本デンマークを今日あらしめるために涙ぐましい奮闘を續けられた偉人山崎先生を

始めその他の中心人物とその影にさく若人の燃ゆるが如き熱と力の結晶を想像するとき私は神秘的な氣にうたれるのであります。また努力の看板倉翁の青年時代の不遇に打勝つて現在の成功、あの堅き信念老翁今なほ働くことの尊を語られつゝ農業経営の合理化を實際に拜見し百姓はかくあるべきであると思ひ、この不況は、農村の疲弊は有効に働いて収入を増すか生産費の低下を圖るとによつてなされる經濟状態の立直しによつて打開されると思ふ。これが實際において行はれてゐるのだ。一例を挙げればあの廢物利用の徹底を見よ、塵も積もれば山となる、小を完成しないものは大を完成出来ないものである。

今養鶏組合のあの統制に感じ有畜農業の目給自足を聞きまた各講師から時代に適した不況対策の有益なるお話を承り松本先生の努力の跡を聞き先生も人、自分も人だ、同じ人間なれば今後の努力によつては日本一は望めない迄も百姓として充實して行くことが出来るであらう、努力だ折目先生あの熱心さは敬服し徹底せる實行組合の發達を聞き平凡の中に眞理あり、われ等は自己の充實を圖ると共にわれ等の農家組合をわれ等の村を、郡を少しも現在より歩調を揃へて全體のものが一階段づゝ経営の改善に生活の合理化を圖り以てこの不況經濟的危機を脱せん事がわれ等の念願である。

経営改善は總て勤勞主義に經營の合理化を行ひ多角形有畜農業自給自足主義の下に行ひつゝある。

先づその基礎として五ヶ年以前より自分は連續に農家經濟と努力調査日誌の記入を行ひこれにより自家の正しい經濟状態を知りこれを基礎として更に有利なる改善計畫を毎年樹立してこれと同時に労働日誌及び作物主要努力の調査研究により一ヶ年を通じて努力の分配に餘剩努力を有効に合理的多角形經營を研究し感謝と希望に喜んで働き大地に打込む一

畝をも少しでも有利に使用すべく現在昨年度に於ても自分の労働日数は二百九十三日半を算してゐるが今度の研究会を動機として層一層勤勞に經營の改善に生活改、善は記帳により自家の正しい經濟状態を認識して分限の生活を行ひこの行き詰れる農家經濟を改善し地方の人々に先づ實行を以て範を示す考である。

わが農家組合は一昨年以前の農區を改め日一日と實績を擧げつゝあるまづわれ等は勤勞主義に共鳴し合理的の多角形有畜農業を全般的に普及を圖りこれにより自給自足に經營して以て生産費の遞減を目標に農家組合並に村郡の特殊産物の試作中然して共同にて共同販賣に全力をつくしつゝある前欄に書いた如くわれは共同の力により全般的に少しでもレベルを引上げべく目下の不況時にも農家組合員は組合長を中心に協力して奮闘してゐる。

有畜農業經營に精勵

岡山縣上房郡 巨瀬 村 難波 泰 一 3

今回の講習中に受けた感激數多しと雖もわれの脳裡に最初深き感銘を受けたのは彼の濱寺公園に竣工した農業博物館の内容を見學し同館を通じて富民協會そのものを深く認識せる時でした。

われは同館を通じ協會の今日迄わが日本農界に貢献された事蹟を連想する時全く敬服の念禁ず能はず涙ぐましく感激を覺へたものです。

自分は天下の精農家板倉氏の宅を視察し親しく氏の體験談なり現在の經營の内容を承り而してその經營振りの如何に天下に範を示せるものなりやを知り誠に感歎に堪へない、収入の額において氏の右に出るもの數多しと雖もその經營の隅より隅迄、農民道の完き現れであるかの如き氏

の經營振りの如き全く他にその比を見ない。われはこの精神を以て日常の心得となし、この經營の精神を以てわが郡の經營上の精神と爲さねばならぬ。

愛知縣立種畜場を視察し親しく場長のお話を承り感激した事實もわれは永く忘るゝことは出来ぬでせう。農産物價の下落し不況その度を増すに伴ふ必然的に起るものは生産費の低減で、今日有畜農業の唱導獎勵をなす所以はこゝにあると信ずるのです。

われは講習期間中天下の名士諸先生の講義を親しく拜聴し異常な感激を覺ました。農村自治の完徹に、共同組織の上に建つ農業經營、或は農業政策の完徹を期す可き農民の自覺、等單なる感激ならず心より共鳴し必ずやその實行を期する堅き決心をしたのであります。地方における先覺者中堅となりわが農民の福利増進に寄與し進んで貴協會の趣旨に副ひたいと思つてゐます。

自分は受講後日淺く講習中の感激を直に自己經營の上に應用し加味實行したるものは尠いけれ共大體次のやうなことをやつてゐます。

わが家の經營及び地方の状態を考究する時從來地方の畜牛は只使役の範圍を出なかつたので交通に恵まれぬために私としては桑園間作、水田裏作、畦畔雜草刈取による飼料の自給により家畜數の増大のみでありました。故に歸宅と同時に第一にサイロの設置に取掛り小なりと雖も、これが實現を見、埋藏飼料としては晩秋糞抄及び現在青刈トモロコシ少量を埋藏し、更に甘藷蔓及び桑園サードウキツケン、灌漑の都合による水田休閑地に於る青刈り燕麥の栽培利用により幾何の家畜を飼育し得るやを知り地方經營の改善の實を圖り度き決心です。

地方の改善を指導せる事實或ひは計畫しつゝあるもの次の如くです。地方における農家組合は全般的に設置を見たるがこれが活動見る可き

もの尠し、これが完善なる技能の發揮による改善増収の計畫は
一、組合の基礎的調査、二、それによる組合員各員の完全なる
將來計畫及實行に着手等を第一の着手問題としてゐます、その他普通耕
種農業については試験地の設置及び各作業、施肥等に關する注意書等は
既に實行し改善の實あげてゐます。

農業の振興は教育にあり

岡山縣勝田郡 豊田村廣岡 鈴木重之

碧海郡が今日「日本デンマーク」たる所以は何であるか、蓋し産業組
合と農業教育であらう全国的に産業組合並に農業教育の普及せる今日と
はいへ、この機關が活躍し農村の興隆を圖りつゝある地方はどれ程ある
だらう？形式的に提はれ組合員統制訓練不足に終り事業は不振であるも
のが多いと思ふ。

農村の興隆は先づ農業教育の力により眞に農村に覺醒せる人物の養成
が第一である。

地方に農業教育を振興するとは地方民の農業知識を向上せしめ、よく
農村振興の動機を作る。碧海郡が全國農業先進地であるのも一つは農業
教育普及であらう、山崎先生の不斷の犠牲的努力と郡民の和衷協同は今
日の碧海郡の面目を維持してゐる。農村の興隆を圖らんとする志士は碧
海郡の農業教育がよき實例である。速に地方民の協力に依り一日も早く
農業教育改善に力を注ぐべきであると思つた。

碧海郡民の農業經營は何により維持されて居るか、思ふに産業組合で
ある。碧海郡のみ特に天惠的の有利事業があるのではなくて産業組合統

ゐます。

イ、陸稻栽培 本村は田の反別少なきため米は他町村より買入れる状
態なれば陸稻栽培をなし自給自足を行ふ。

ロ、肥料田及び桑園には綠肥栽培を行ひ、一面新炭山の落葉を採取し
野糞堆肥を行ひ自給肥料の増加を行ふ。

ハ、茶園の新設醸價暴落せしため一昨年の秋桑園一反歩をたはし茶樹
の新植をなす

ニ、果樹栽培柿園を作る目的にて一反歩柿種子播をなす。栗の高接を
行ひこれが増殖に努む

ホ、畑ワサビ、カンピヤウ、抑制蔬菜の試作を行ひ研究中なり

ヘ、蒟蒻玉 わが村の特作物たる蒟蒻玉の作付反別を増加し只今に
ては約三反歩の植付をなす。

ト、竹細工 冬期間を利用し竹細工(テズキ、ホ、ロ類)を作る

チ、木炭製造 冬期間を利用し新炭山を切り木炭製造をなす

リ、養蠶春夏秋の三回養蠶を行ふ

ヌ、製茶 空地に栽培しある茶全部を採取し宇治製となし販賣す

イ、家庭方面一家の和樂を主眼とし金錢出納簿、勤勞調査簿、各種作
物と時間と収入の比較調査を行ふ。

ロ、農業方面肥料の自給を行ひ陸稻、茶、果樹、畑ワサビ、蒟蒻玉、
桑、抑制蔬菜を以て多角形的農業の經營をなす。

ハ、副業方面竹細工、木炭製造、養蠶、製茶を行ひ一ヶ年間の自家勞
力の分配を圖り、収入の増加を圖りつゝあり。

ニ、販賣並に勞力方面品種統一を圖り、各種農産物全部を共同販賣を
なす且つ販賣品に對しては加工を行ひつゝあり

制により生産物の商品化と大量取引とに依り市場を獨占せる點である。
碧海郡の農産物の品質はとも角市場をよく獨占し他府縣の優良品を凌
駕し市場に於て第一位を占むるのは何んであるかそは産業組合の力であ
る。

講習會より歸省して有畜農業の理解により從來役牛一頭、養鶏三十羽に
對し更に養豚を配した。

然し未だ改善の點少く將來順次に改善せよと思つてゐる。

居宅附近の農業改善を指導した事實としては農家組合を部落單位の組
織にして農事部、養蠶部、副業部、經濟部各部の事業を更に分ち一人一
役主義にて責任者を定め組合長指揮して事業を行つてゐる。

各種の作物を取入れて

廣島縣

廣島縣蘆品郡 尾村延岡博男

折目六右衛門氏の講演を聞き感ずるところがあつて現在では折目式勤
勞調査簿、各種作物収入と時間との比較調査、折目式家庭金錢出納簿等
の作製をなし一面には勤勞本位の農業を經營し、一面には冗費の節約、
勤儉貯蓄の基礎としつゝあります。

見學にもまた教へられる所があつて現在では左の諸項を實行中であり
ます。

A、藪、松茸、茶、竹細工製品(テズキ、ホ、ロ類)、麥、の品種の統
一をなし共同販賣を行ふ。

B、板倉氏の經營の畜力利用精米機の据付をなす。

又畜力を利用し自家勞力の節減を圖つてゐるのです。

一般農業改善を指導したる事實としては

イ、昭和五年九月四日郡内各町村長の選抜による農業に熱心なる中堅
青年と郡農會長並に農會關係役員、並に廣島縣知事代理として野田縣
學務課長並に郡内教育家等三十有餘名郡農會にて座談會が開かれた。

ロ、同年九月廿四日藤尾村男女青年團聯合にて一日一夜講習會が開催
されその際農村の振興の基礎は教育にあり、農村の改善を圖るには自家
經營改善をし組合組織により共同化しなければならぬことをすゝめまし
た。

三角形態の經營

廣島縣深安郡 大津野村大門 神原操

研究會を了へて後私としました富民研究會として實施致して居ます事實
と感想を左記します。

多角形農法も考慮し實行致し度いと思ひますが私としてはイ、生
産(農業)ロ、加工(工業)ハ、販賣(商業)の三角形で作りだした立
體こそ理想經營だと信じ努力してゐます

右の理想を實現するために、農民は先ず何は置いても生産と信じ稻の
早植、麥の廣蒔を實行し近隣も稻の早植を實施し好成績であります。麥
作は一寸失敗の形ではあるが本年は一層努力する覺悟である。

以前大阪市場等で好まれた大津野大根の産地であるからこの大根を漬
物として市場へ出すべく村農會、富研等提携して研究致しまして既に三
十名の共鳴を得て居ります外、ラッキョの味淋漬をなし現在貯蔵してゐ
る。

販賣方面においては、備後大門岳を組合（これは大門果菜出荷組合と稱する）で出荷致した。作付反別五六町歩に及び主として福山、尾道等へ出荷した。

右の外女子青年、婦人會等へ家用醬油の醸造、ヘチマ化粧水の製法を教示し各家庭で實施してゐる、また男子青年へは兎皮加工、鶏肉販賣ソース、ケチャップの製法を傳へ自給自足、自力更生へと勇ましく信念と努力の行進を續けてゐる。

協同の力で進む

廣島縣山縣郡 加計町 佐々木 壽 人

農村不況打開、農村繁榮は農民の團結にあり、わが家の經濟的餘裕は多角形農業經營に在りと信じ自己流にて努力してゐるうち研究會講習生として推薦され、各講師諸先生の御指導によりわが農村計畫が間違つて居らないのを證明された心地がして、過去の自分の信念を心強く愉快に思ひ益々自分の計畫に邁進せんと奮ひ立つたのである。

自分の部落は山間僻地にして僅か四十戸の小數で「酒屋へ三里」の地であるがこれがためか民風は純朴勤勉である。しかしその反面においては個人主義いはゆる我の強き弊にあるを免れない。

農民團結の養成は統制ある團體により養成するを最上と考へ協同一致の精神を注入しつゝあるが非常に成績良好である。それは製炭の共同化、土木事業の請負共同、副業の共同に顯はれてゐる。また自給自足の一端として家用醬油醸造講習會を開いたがその後各戸共自給し得るに至つた。

昭和六年度より金肥貳拾圓を節減した。

四、生活改善に精進せしこと、家用醬油製造、蔬菜の早作、養蠶等に依り自給生活を併せて地方先驅をなしてやつてゐる。

五、畜牛を十分に利用したことと努力利用（耕種運搬）堆肥の速成改良を加へたこと

かく心裡に刻まれた安城は私の獨り占するものでないことを知り碧海郡産業状態及研究會況の報告をした。

即ち、油木農學校及び村内各部落、青年團等の會合に於て報告し郷村の改善協心共力を力説した。更に青年の農業趣味向上を期し

イ、農業改善座談會及研究會を催す

ロ、分益試作地を設置し自ら經營研究をなさしめ

ハ、販賣法の分益化蔬菜及鶏卵の共同販賣をなす

又産業組合青年聯盟を組織せしめ、部落農事組合の事業手傳及督勵米麥種子鹽水選の施行種子共同採種及購入斡旋し、昭和七年三月三十日四〇坪の敷地に三間半六間の會館を建設、九月下旬完成の豫定である。

六、部落青年の指導

進農會を組織し農業知識の培養と精神的和合團結を圖り青年修養に努め、進農會誌發行主任として農業研究の發表及計畫実績等を標示し部落各戸に配布參考資料となした。毎月一回研究會修養會を催す

農産加工の實習（トマト加工カンベツ製造菓細工等）分益試作地の品評會を開催し、又部落の基本調査をもした。

このほか竹細工、葵栽培、蒟蒻栽培、柿栽培は以前よりの副業であつてわが部落として最適の副業であるから無言の獎勵即ち自家において栽培し収益を見せ農民に奨勵してゐる。

大なる安城の教

廣島縣神石郡 仙養村近田 川 上 正 明

回顧一ヶ年日本デンマーク愛知縣碧海郡安城町に開かれた農業改善研究會は全國精農青年に更生一新を劃したもので會期中特に感激した事項は荒原たる三河平原一帯農作物の繁茂し尺寸の地を剩さず利用されたることであつた。

明治用水を根幹とせる用水配給の完備してゐること。交通に恵まれて居ること。住民の人の和を得て共同一致の精神により農民精神の徹底理解されて居ること並に勤勞實業の氣風に満ちてゐること、更に産業統制の充實、産業教育の一般化せると、各種團體の聯携理想化されたこと等である。即ち多角形農業を組織的に經營されたことに依つて今日の日本デンマークは更生したのだと感した。特に産業組合と農會の活動の現在篤農家板倉源太郎氏の獨特の農業經營法は大いに奮起心をそゝつた。

講習終了後農業經營上加へたる改善事項としては

一、農業經營上の基礎を確立したこと、

耕地面積の實測（水田及畑）生産及消費の調査、農具その他必要備品の調査、努力配分調査、耕種計畫に依り各月行事豫定を定めたこと

二、農業經營收支簿を設置したこと

三、生産費の低減を圖つたこと（自給堆肥の改良草木灰施用等に依り

われに自信あり

廣島縣比婆郡 比和村三河内 鞍 掛 昇

この寒村僻地より安城に開催せられた農業改善研究會に講習員として出席させて戴きましてより歸郷後滿壹ヶ年になりましたが心は常に現代の社會に適合すべく農村經營農家經營農區の改善事業に従事して、青年指導婦人及處女をして農業を理解せしむること等多數の腹案を將來に向つて伸長充實せしめんと大なる理想信念を持つて居りますけれども何んといつても農村には農村的教育を施さぬ以上容易に向上するものではないと深く信じて昨年来第一に比和村公民學校生徒にして先づ私の農區内の青年拾參名を集めて研究の指導的地位に立ち今日に及んで居ります。

元來本村は稻作、畜産、養蠶、林業にて植林及木炭製造を主要産業とし都會附近とは餘程趣きを異にしてゐるため改善するならば決して他の優良なる村に劣らぬ信念を持つて居ります。これ等の新しき經營は、近來幾分かのみ試みはあるけれども公民學校生徒で先づ第一に模範を示させようと研究を續けて居ります。今秋は特に農家基本調査として努力資本で各自の耕作する土地より入る産物の量を調べ、一ヶ年の努力を現在より一層増さしめて居ります。

次に私の自家に於て農業經營を組立て將來充實せんとしつゝあるものを略記致します但し收支計算は農産物下落の爲め目下は極く僅少になりつゝありますのでこゝに記載する程御座いません

田 三町壹反 内 壹町四反 自作 壹町七反貸付をなす今年は約反當平均三石と見る

裏作として紫雲英、大麥は出来るが夏期水の減少で初夏稻植付けが困

難のため出来ず目下耕土五寸あるが六、七年後には八寸以上になるやうに客土及深耕をなす計畫

畑 三反弱 桑園 春圃貳拾貫一參拾貫、秋拾貫位は收購す大麥及大豆は家畜の飼料として他より買入せぬ程度に作る

竹林 特に五節竹あり毎年賣却す

蔬菜園 自家用のみである

小麥 醬油は自家に於て醸造する原料

山林 八町歩 柴草山は堆肥の原料他は薪炭、用材に漸次整理す

畜産 目下牛二頭なるも將來四頭以上飼育する要あり玉蜀黍を栽培し飼料の合理化を圖る

養鶏 目下五羽居れども今後拾羽以上白色種または三河種を桑園内に放飼する準備をなす

養蠶 年によりて早害に遭遇することありために重んじてなさず

果樹 柿富有、西條柿、栗、櫻桃、梅は一昨年来種枝を栽きて今後年々増加しつゝあり

原野 壹反弱あり昨冬より開きつゝありこゝに柿植付ける豫定

副業 製繩、その他薬細工品

安城の農業を模範として

廣島縣高田郡 木村 逸 吾

講習中實習見學等に受けたる感激は次の如くであります

一、共同一致の精神に非常に富んでみてすべてが組合組織に成つてゐるからすべての物質の購買にも生産品の販賣にも大變利益であること

二、多角形農業であつて一家の耕地面積が廣いため一ヶ年を通じての収入が大で女、子供に致るまで年中眞剣によく働く

三、女子供迄農業知識がよく發達し板倉農場一家の如きは大地位名譽財産を持ち乍ら風俗並に家事一ぱんにわたり質素であること

四、有畜農業により自給肥料を使用し金肥を節減する事等また肥料(大豆粕、蠶糞)の飼料化等については農村救済の一策であると感じた。

又本研究會を動機として經營の上に加へた改善としては次の如くです

一、有畜農業經營として仔牛を二頭購入し自給肥料をはかると共に成牛として販賣し利益を得る目的です

二、大豆粕を飼料として牛、鶏に與へてゐるが大へん喜んで食べしかも肥料價值を増し利益が大である

三、蠶糞も今後肥料として使用する目的で現在養蠶の五齡中であるが糞を乾かし五枚の蠶糞を全部保存するやうに準備してゐる。

四、生産方面に力を入れてばかりだがこれでは骨折損だと氣付き平素以上に消費節約につとめ質素なる生活を續けてゐるが大そう家族が面白く働かれる

△ 尙居宅附近の農業改善を指導したることとしては

一、講習終了後、補習學校生徒並に一般農家を各地に集め講習状況を講話したところ、碧海郡地方の農業の進歩してゐるのに皆驚き多角形農業有畜農業自給肥料の使用等皆やらねば駄目だと大決心をしてゐる

二、農事實行組合を完成すべく現在申合せ中である

三、農村救済資金により農道並に耕地整理をなすべく村當局へ申出中

した。

農村に於ける現代の青年指導の根本的に間違ひであるといふことを痛感し青年教育の生産化の理想を實現せんことを誓ひました。

力強き同志を求めて

廣島縣深安郡 湯田村 加藤 馨

回顧する講習會

廣島縣甲奴郡 川上 利久 太

イ、安城農林學校長富田文雄氏の碧海郡の農業についての講話は私に最も強い印象を與へました。あの率直な態度、質素な服装に頭が下りません。富田校長の碧海郡農民を愛する熱意、その理想信念、講師の舌端から火花が散りました。農村の教育者たるべき者は小學校の教員に至るまでかくあるべし、こゝに農村救済の根本を見出さねばならぬと確信致しました。

ロ、また板倉源太郎氏にお目にかゝりその平凡さに徹底して居られる點だけでも人格的に見て日本の精農家代表として實に立派なものと感激致しました。

ハ、愛知縣立種畜場長參木晋七郎氏の徹底的勤勞主義には全く敬服に堪へません。青年研究生三十幾名と共に本業以外に十八町歩の畑耕作をやり、養蠶までも經營して徹底的に有畜農業、自給經濟の範を示して居られることは全國に稀な模範的種畜場であると信じます。

「農民の眞似得ない事は絶対やらない」との一言は感激の涙なくては聞き得ない尊いものでした、かゝる種畜場を持つ愛知縣農民は幸福なるかなと羨望に堪へません。

最後に愛知縣農業の進展の上に見逃すべからざる原動力は青年に對する産業教育の徹底であると思ひます。試験場、農學校、補習學校は勿論農會、産業組合に至るまで悉く青年中心であつて特に意を強うすることは郡農會に於て青年教育に費す日數は年六十日間と聞き全く敬服致しま

した。

農村に於ける現代の青年指導の根本的に間違ひであるといふことを痛感し青年教育の生産化の理想を實現せんことを誓ひました。

力強き同志を求めて

廣島縣深安郡 湯田村 加藤 馨

凡そ農村教育といふものは安城農林學校に見る如く、農民全體を教導する即ち廣い意味での社會教育でなくてはなりません。かうした教育こそ農業を開發する力であり鍵であることを痛切に感じました。また農村發展に重要な役割を演ずる青年に農業教育を徹底させたことは、碧海郡民の最も賢明なるやりかたであつたと思ひます。然してかゝる農業教育は勤勞の精神を取り入れて始めて効果あるものです。余は安城農林學校長富田文雄氏の講演中より強く信じました。眞の農村開發は農民の粒々辛苦の勤勞に俟つ外はないと思ひます。私は板倉農場に於いて實習を受けて如何に板倉氏が理想信念による勞働尊重を認識されて居られるかがわかり、精勤に農業の組織化と合理化をもつて始めて一家の完全なる農業經營が出来るものであることを察知するに十分でありました。これは各講師共非常に力説されたことと思ひます。かくした農業經營に特に必要なるものは農業の共同化であります。現に碧海郡は各種の共同團體があり、郡民はこれが利用につとめて互に連絡協調を保つて居る事は見學中に強く頭に響きました。最後に現在農村は窮境に直面し農民の心理状態として農業忌避の現象が著しくなつて居り、私も一家の農業改善より一村の農業開發を想起するに前途不安の感がありました。この碧海

郡が非常の困難と戦つて今日農村振興の實を擧げて居るのを視、また講師諸先生の意見を拜聴致しまして農業經營には巧拙賢愚の別があり經營よろしきを得れば發展の余地ありといふ確固たる信念が余の脳裡に刻まれて農村發展の不安は一掃されました。現状打開の向ふべき所の方針を得非常に感謝致して居ります。

私が今後農業經營上改善せんとする事項を發表します。第一に努力利用上に無駄をなくするため經營の合理化第二は記帳による計畫の樹立で第三に生産物の販賣方法の改善第四は精勤と自給自足を根本主義とし、一方わが村の状態よりして余は米麥作を主體とし養蠶を副となし冬季農閑を利用して養加工に努力し養牛、養鶏の有畜を交へて自給肥料の製造をなしなほ早春を蔬菜の早熟栽培にあて年中労働の平均と収入の圓滑を圖るやうにし、内面的には現に記入しつゝある農家日記を續けて失敗の原因を探究する所の資源とする。また別に勤勞表を作成して労働状態を調査する。

地方農業改善の指導には私もいさゝか確信を以つて居ります。現在講習の内容を發表して居りますが、地方改善の骨子は湯田富民研究會をよりによく發達させることです。即ち同志の一致結束で私も進み人も鼓吹し而して最後は私の全力を傾注して前項に述べたる改善事項を實行し、地方農業經營の模範として活躍する、それが眞に地方改善指導である事を確信してゐる事です。研究會修了後日なほ淺く且つ紙數に限りあり簡單に以上の希望と覺悟を述べて終りとします。

山口縣

生ける範を觀て

山口市大字中尾 光 成 俊 治

山口縣内講習生一堂に會することを昨年八月約したが、佐波郡華城村西川清一氏宅は、最も最寄にてまた先輩にて種々經營上參考資料多きためこの宅へ會合す第二回研究會も終了後なれば多數會合の喜びに接することと期したが、種々差つどひにて河村周一、當西川兩氏並に小生の三名であつたことは甚だ残念であつた。而し大人數小人數を論ぜず大いに意見の交換をなしたる來るべき聯盟總會に西川氏出席の心算にて歸國後諸種の通信を約し今後縣内如何に遠隔地と雖も年一回必ず一堂に會し兄弟の感にて心行くまで意見交換をなすことを約した。

私は數年前より當地でも西瓜栽培の有利なるに着眼し、小面積の試作をした。その結果いよゝ適地なることを認め一昨年恰度安城にて御薫陶を受け歸省後、安城における實例に鑑み西瓜の有利適地であること、またその栽培を力説したために一般にはまだ西瓜栽培など夢にも思はなかつたときに當地で二千五百貫の收穫をあげたので一驚した。消費者たる山口市にも大いに認められ年を逐ふて栽培面積も擴大されつゝある。去る八月二十一日には蔬菜組合にて西瓜の品評會を催し大いにその品質の向上と栽培の熱を高めた。

富民協會報の記事より粉の乾燥方法の改良に志し、舍弟の大坂に居るを幸ひ履屋川へ研究に行かしめ、同地の精農森本武一氏につき親切に教授を受けその乾燥器の詳細につき通知してきた、よつて目下製作中である。

る。これが成功せば比較的山間部の日照少き當地でも大いに利益があると思ふ。またこの方法は蔬菜栽培熱の起りつゝある際温床利用としてもまた良く一舉兩得である。これも偏へに富民協會報によりて得しこととして感謝してゐる。

共同の基礎に立つて

山口縣佐波郡 西川 清 市

既に二年前、昭和五年の眞夏、多くの希望と、確固たる決心を以て日本デンマークとして知られた安城に向つた。

ここは何故最近著しく長足の進歩をなしたのであるか、わが國農業合理化の最高の權威であるかと思ふたが畢竟官民協力一致よく團結し、農業組織の改善を圖り、あらゆる萬難を排して一も實行二も實行、かくて青年男女がその中堅となつて精勵し各種の機關が圓滑に行はれ、水も漏らさぬその統制のためと實に感激の外はなかつた。

わが國農業の經營は、どうしても大農式には行はれない。人口は益々増加する、耕作面積は次第に減少する、こんな風な個々に働いてはとも成功は出来ない。そこで協同の力に俟たねばならない。

精農家板倉氏の經營の實際を視て最も感じたことは、非常に耕作面積が廣くして多くの豚と多くの鶏を飼育されて居たこと、われわれは一頭の牛馬も仲々完全に飼育の出來ぬものであるにもかゝらず、飼料は全部安城の町から取り、これに對する燃料もまた、町の排物を拾ひ、その行動を忌避せず、それに果樹園も相當廣く營まれ、餘剩努力の消化がうまく行はれて居ることは全く感激の外はない。また岡崎の種畜場を見

れば原野を開墾した廣い畑があつて、そこには西瓜の見事なものが素晴らしい澤山ころんでゐた。場長の話を聞けば牛、馬、鶏糞とそれらの厩肥のみによつて栽培されてゐることである。有畜農業は刻下の急務であることを痛切に思つた。

各方面の理論と實際を見聞して期日こそ極めて短日月なれども、その間一段の強い力を得て歸宅し、早速經營に改善を行つた。

その要點は、第一に餘剩努力の消化であり、稲作約一町歩の所を八段歩となし二段歩に蔬菜を栽培し、かくて稲作は多收穫栽培を行ひ、一町歩の收穫を期して居る。

その他水田裏作として五、六月結球の甘藍及び馬鈴薯、ホーレン草、菜類等の栽培を行ひ、極めて僅かの暇も無いやうに力めてゐる。

なほ綠肥の栽培により金費の節約に努めると共に有機物の施用をなるべく多くして居る。

蔬菜栽培は凡そ三ヶ年輪作とし、排水の比較的良好な田を、三ヶ所ほど選んでつぎつぎと稲を栽培してゐる。

今や農村窮乏の聲喧しくなつた秋、富民協會の意義深き農業經營改善研究會を催された過去三ヶ年の以前を追想すると實に感慨無量である。

自給肥料の製造に邁進

山口縣厚狹郡 河 村 周 一

私は歸郷後記帳の改良を行ひ組織においても從來普通農作養鶏養畜（牛）農産加工等に更に蔬菜園藝を取入れ（但し母と二人にて能率合計一人一分）裏作は從來の裸麥作のみならず小麥、菜種、紫雲英、青刈大豆、裏作蔬菜等を選加し耕地の利用を圖り努力分配、自給肥料の増産に

心掛けました。養鶏も鶏種の改良をなし羽数も増し牛も頭数は二頭に
して使役日数の延長をして利用率を高め、尙自給肥料については従来の紫
雲英作のみを更に麥の間作をして青刈大豆の研究をなし年々反當收量は
増加しつゝあります。紫雲英の如きは一昨年の反當八百貫に比し本年は
五百貫余の増収をしました。

かくて内に堆肥綠肥の増殖を圖ると共に研究会歸郷を動機に半里を隔
る處に下肥の汲取に行くことにしました。この量約千二百貫。經營組織
の改善、生産技術の改良、勞力分配、及び労働日数の延長、販路等には
特に留意し、將來も引續き研究改善を行つてゐます。

是は一時には効果はあがらないとですが組合（前記）の指導員の職に
あるため、組合事業及び農業全範圍に亘り相談に應じ農事及び副業に至
つては全く無報酬にてその家に趣き實際に當り相談に應じて居ります。
今年より更に繼續事業の一として組合員全部に記帳の必要を勧め組合員
及び家族の労働日数と會計簿を記入するとの快諾を得ました。進んでは
經營設計書を各戸毎に作りしむべく努力し順次健實化したいと思ひます
生活改善においては己に幾多の決議事項が行はれ着々機運促進に邁進し
て居ります。

▽ 淺地副業組合では副組合長の職にあり、自家用製麵を目的に機械購入
をしました。これは肥料以納入工場が三里余の地にあるため寸暇を利
用し是が生産を極力奨励して代金支拂期日延引のため組合員中に不安
の念が起つたので、麵の製造に着手し今は麵として販賣しつゝあります
又萬倉村農會の總代議員の職にあつて常に地方組合との聯絡をとり尙一
般に對しても或は用談に應じ或は助成をなし任期中は極力その職に奉じ
たいと思ひます。その他近隣農事組合及び一般農家に對しても前記記帳

十本、梅種子五升、柿種子一升の播下も行ひました。

尙本村特産を作出する目的で最も優良な山葵を生産すべく村有林の谿
谷に（宅地より約一里半の地）面積十一坪を施行、二月五日延人夫三十
人、セメントその他費用十五圓を投じ四月五日漸くにして大部の終了を
告げました。本秋日蔭樹の栽培引水をなせば定植することが出來ます。

本年度小麦作收量八俵、品質においては本村の最高位でありました。
ストロベリは平年作、本春は作付反別において里芋八畝歩、薯蕷、硫球
薯、蒟蒻合して一反歩、水稻は昨年度よりも排水工事と栽培の改良を行
ひ六畝歩の増加にて二町六畝歩の作付をなしました。作況は一昨年以上
だと豫想出來ます。

尙農産加工の研究のため罐詰醬油の試製品を作りました（ストロベリ
ジャムグリーンピース、薯蕷、トマトケチャップ等）トマトケチャップは昨年
安城農林學校在學食品化學擔任の堀部先生の教授を受けました、いづ
れも良成績であります。以上の作業は全部自家労働であります。

私はかつて農事試験場講習終了後種々就職を進められましたが、専ら
實地經營で地方民の指導をなさむと志し、蔬菜園藝に力を入れ六年前よ
り峻嶮三里の山路を荷つて一人出荷しました。多くの農民の嘲笑を物と
せず努力致しました。私は常に舊習を打破すべく農民を導いて來ました
結果、昨年よりポツ／＼農民の自覺を見るやうになり市場へ出荷する物
も次第に増加し、本年など婦人、青年迄加へて毎朝普通二十人内外の大
多數に上りました。

餘剩勞力の利用

山口縣阿武郡 水津 幹 雄
奈古村木興

の奨励及び農事の相談に應じて居ります。

組合經營法は折目技師の御講話を主體となし當地方に適當した經營法
に依り進みたいと思ひます。

尙余暇を利用し縣營及び郡營指導機關たる試験田を擔當し一般に揭示
し參考に供して居ります。外肥料の確定配合率と品種統一には特に努力し
着々として効果が認められてゐます。青年團四支部にも是が研究田設置
をさしました。

父の死後いよく奮闘

山口縣都濃郡 杉 村 壽
須々萬村本郷

富民協會！日本丁株！新しい二つの言葉に限りなき期待と希望を持つ
て會に臨みました。講習中特に感じたのは農業改善に統制がなくてはな
らぬこと及び倦まざる努力だと思ひました。碧海郡に於る各種團體が農
家を單位としてどこ迄も親切に指導されてゐる事實、その局に當つてゐ
る人達に十分に農民の心理が理解されてゐてよく職務に勉勵されてゐる
のにはよそながら涙が出る位であります。本縣などは個々別々の進み方
であつたがために進歩した農業が建設されなかつたとは今更ながら残念
に思ひます。

▽ 歸郷後間もなく父の死に直面し妻は一兒を擧げかて、加へて病弱な母
を相手に今迄の労働能力男二人女二人が急變して男一人女二人に減少
し經營困難となりましたが、小麦一反歩、ストロベリ一畝歩、紫雲英
を全耕地に播種しました。椎茸梢木三百貫伐採。果樹無花果五畝歩。桃

昨夏第二回農業改善研究会開催さるゝに當り不肖の身を以つて僅々縣
下二、三名宛の選に入りその一員として斯業の先進地にして日本のデン
マークの稱ある愛和縣安城町の會場に出席するの光榮を得ましたことは
私として無上の歡喜としたところであります。

その會期僅に一週間なりしも貴協會が多分の犠牲を拂つて周到な計畫
行程に依り懇篤なる諸講師の御指導に加ふるに先進地農業状態につき具
に實習見學せしめられ特に宇治山田市における修了式に先だち内宮神樂
殿にて宣誓の式典を舉行されたる如き感激措く能はざるところ、ここに
重且つ大なる使命を感じて歸郷しました。歸郷後農事組合長集會その
他機會ある毎に經營の合理化（勤勞主義の多角經營）共同組合の内容充
實及びその活動、政治的自覺等の緊要なるを力説し近隣農家に對しても
右主旨を懇説し經營を一定計畫の元に行ふべきやう誘導してゐます。時
恰も覺醒時代ともいふべき折、各系統ある農産業組合その他共同組合
等における系統的の指導指令と相俟つて着々その實を示しつゝあります

經營の改善は先づ自己の成績により範を示すべく考慮中、偶々山口縣
農會が本年度より三ヶ年繼續の新事業として始めたる青壯年篤農家農業
經營研究會會員となり、専ら設計計畫並に技術的方面をも研究しつゝあ
りました。明年度より是により進むべきも本年の經營については昨年歸
郷と同時に計畫せる設計書により、鋭意努力してゐました。併し乍ら未
だ數字の實績を示し得ざるを遺憾とします。今設計實行中の改善主要點
を述べれば自給労働に主眼を置き從來月及び十月の繁忙期手傳人（酒食
物品代價）を使用してゐたが作業期を前後に延長してこれを全廢し、八
九月の余剩勞力を利用して刈草を増して糞種類を主とせし飼養役牛の敷
草にこれを加へ、以つて生産肥料の半量を夏橙畑に施用し地方増進並び
に金肥の節約を期し、その他等閑に附しつゝありし小數果實、雜穀、自

家用蔬菜残り等の手入管理に注意して零細の収入を現金化せしめ尙余剰
勞力を消化するため農閑には力めて兼業（漁業）に従事してゐます。（但
し農業所得増加をはかるべく經營種目の添加につき研究中なれば兼業よ
り以上有利確實たるものを認むる時はこれと代へるべき意圖を有す）是
等改善事項は微々たるものに止まると雖も明年明後年と年を重ねるに従
ひ漸次成果を収むべく確固たる決心を持って邁進中でありませぬ。

黙々として活動するのみ

山口縣玖珂郡 村 重 學 而
通 津 村

今後の方針としては多角形農業經營に對する考へを根本的に改め十ヶ
年計畫確立に着手（調査研究中）しました

經營計畫改善の目標
一、生産品數量の増加（作付面積の擴張）。二、生産品目を或る程度に
制限。三、右二項は従来より力を販賣地方に用ひるため肥料の自給自
足を完全に行はんため。

未だ具體的に申上ぐるまでにはなつてゐません。
外に家族勤勞表作製記入實施致して居ります。
講習中に受けた感激を線香花火的に發表指導などと申すことはやらす
むしろ經營の上にその感激が形となりて現れてくるのが眞の指導と考へ
てやつてゐます

これまでに行ひたる事項としては、一、青年團の集會において「碧海
郡の農業經營」と題して碧海郡において學ぶべきものは世間に傳へられ
てゐる多角形農業經營でなくして、碧海農民が今日を築き上げてゐるそ

徳島縣

自家の勞力の分配

徳島縣那賀郡 泉 忠 實
立江町大字立江

歲月は人を待たずとかや願れば早や三年の過去と成つたが、一週間の
研究會は短いはいへその後全國津々浦々の農民達をして日本デンマー
クの眞髓を知らしめたことは脳裡に深いものである。

自分の心中深く印象づけられたことは炎天下焼くが如き夏の日も可愛
い愛兒を田畦に寝かせ懸命に除草されてゐた農民達を見た時のよで、こ
の有様は涙なくして眺めることは出来なかつた。然し現今は働くのみで
はだめでやはり安城町の如く多角形的に進まなければならぬ。時代の尖
端を歩む者のみに勝利は得られる。第二の安城第三の安城を築かんと欲
するならばまづ安城町の心髓をつかまねばならぬ。

研究會出席を動機としてその經營の上に加へられた改善の事實並に成
績としては自家勞力の分配と自給自足の改善策である。

自家勞力の分配としては
イ、夜業の勵行、ロ、子供の勞力利用、ハ、居宅より遠き耕作地に於
ては辨當持參で勞働時間の増加に勉める。
自給自足としては一、自給肥料の製造 牛一頭飼養す、従来は夏秋の
農繁期に飼養せざりしが一ヶ年を通じて飼養せしめた澤山の堆肥を得た
大豆粕を飼料に混合したるがため肥肉の兩用を得るが故に牛において五
十圓、金肥一町五段分の減少により得たる金四十五圓、實に一舉兩得を
得たのである。二、糞細工に寄つて蓬及びふこ俵裝に要する繩及び俵、

の農民精神であるといふ結論の講話を一時間余りしました。二、山崎延
吉氏著農道篇、富民協會報農村婦人の紹介讀者勸誘してゐます。三、小
生等の集ふ機關農道會の集會において都度意見發表をしてゐます。

廢物利用に更生して

山口縣美禰郡 倉 重 榮 一
大 田 町

講習中において農村自力更生に當り自給經濟によるべきとの必要を痛
感し地方改善については特に宗教心の涵養と地方の増進が大切であると
思ひました。

見學中においてはその地方における中心人物を得その活動により地方
産業の發達を圖り産物の研究改良統一、販賣の統制、實習においては農
家廢物利用による家畜の飼養家族勞力の有効使役を教へられました。

農村經營改善上においては廢物利用を加味したる有畜農業の經營並に
これによる地方の増進、地方物産の基本調査、産品の統一、販路の確實
等町當局者と提携し實現に努めてゐます。

農業改善に關しては未だ一般に對しては一回の報告をなしたるのみに
て事實なきも將來改善せんとする事項は左の通りです。
一、農業に従事せる一般婦女子をして家計簿の記帳。二、青年をして
農業收支簿の記帳。三、一般をして現在に適應せる農業經營改善の徹
底。四、地方における農業熱心家の研究會の開催。

これは夜業及び農閑期に得た利益である。古俵一俵八、九十錢位、百五
十俵分十二圓、蓬三十枚一枚二十錢として六圓、番二荷一荷一圓として
四圓、合計二十一圓、蓬は肥料用以外の製造盛んなるため割合に高價であ
る、その他地下足袋を草履に變へたのも利益だつた。

また居宅附近の一般農業改善としては、イ、水稻優良品種の統一 わ
が農事改良實行組合を單位に水稻品種の統一を圖つた。更に私は安城土
産として愛知旭の栽培を奨励しその面積約二町歩。ロ、副業の奨励毎戸
養鶏を奨励し五六羽以上を飼育する農家が九十%以上となつたが近時の
卵價下落に寄りその成績を書せられつゝあるは遺憾である。ハ、自給肥
料の督勵 綠肥の栽培面積が一町歩増加す、堆肥の製造 川泥混入堆肥
製造戸數は六戸、堆肥舎を有する農家三戸、従来堆肥は製造されなかつ
たものである。

更に自給自足の精神普及として（イ）青年支部相互座談會 毎月一回
開催、（ロ）青年支部糞細工の研究會で草履の造り方練習
其他他農村藝術の研究として（イ）副業品創作の研究、（ロ）郷土藝術の
發達、青年支部煙火製造をやつてゐる。

自給生活の根本義

徳島縣板野郡 龜 川 正 晴
大 津 村 大 幸

安城の講習及び見學實習において第一に印象づけられたのは統制のあ
る組合の發展と秩序ある活動であります。

板倉農場は三町二反歩の水田と七反歩の果樹、六十數頭の養豚に鶏の
五十羽を僅かの自家勞力と年雇一人にて一つの動力農具も使はず、而も

組織の複雑化を圖り作業の繁閑を少なくし、年中不漸の収入を得て總收益を増す等、眞に合理的に經營してゐる點は同場の特長として推稱すべきものと信じます。畜牛を百二十日も労働させる等々、それでこそ現代の本當の農家であり、日本デンマーク板倉農場の名にそむかないものであります。板倉農場あつての日本デンマークであることを信じました。私は氏の人格に接して無言のうち大きな感化を受けたことを何よりも嬉しく思ひ、且つ老人の足跡の光る田畑に起ちて働くを得たるを光榮に思ひ感謝してゐます。

今回の研究會に出席を動機として第一に着手したのは勤務の徹底であります。私の昨年の労働日数は三百七十日であります。これを三百五十日にすべく目標をたて、精進してゐます。

地力増進にも尙一層の努力を拂ひ牛二頭及び鶏五十羽を増加致しました。葡萄の七畝歩も本年増植する計畫を樹て、蔬菜類も加味してゐます。一般農家に對しては各種組合の内容充實を圖り組合員本位の活動をなすべく獎勵してゐます。勤務を唱道し經營組織の複雑化を説き當地方に適した果樹類は梨及び柿を増植、水稻の裏作としては西瓜、胡瓜、南瓜、蕃茄、茄子類を栽培し努力の分配と不漸の収入を得るべく計畫し實行に着手してゐます。つきには有畜農業を獎勵し肥料の自給を圖り以て地方の増進と生産費の節約に努めてゐます。

各組合に毎月一回集會を開き農村自治及び農業經營上の疑點を闡議研究し農民自治といふ問題を認識せしめ、更に訓練し、また經營改善上については從來の無計畫的農業を排し日誌と記帳によつて自らの設計書を作製せしめこれを批評し合ひ經營改善上の指導をなす等組合を基礎として自治的に仕事をやつてゐます。自ら計畫し仕事をやるといふことはそこに向上あり、發展あり進歩する

幸に現在の自分の經營は、田七反、畑一反、養鶏二二〇羽、畜牛一頭、宅地の利用二百四十坪、河川の利用(運栽培)約二畝半、山村二町といふ農業經營上有利な立場にあるので収入は相當あるが、なほ一段の研究を加へ肥料の自給等かなり見るべき成績を擧げたいと折角努力してゐる。第三の事項に關しては各人の個性と資産の状況なりに應じて自分の智能の限りを盡して各個人を指導して見てはとの考へはあるが、まづ、幸ひ自分の土地には産業組合があるので、この産業組合を基調として一面には農業の積極的進出を一面には消極的方面を統制して昔日の名ある組合をして有終の美あらしめたいと日夜念じてゐる次第である。

多産鶏作出に専念

香川縣綾歌郡 須藤 秀雄
長岩村

本年八月十七日、開會式直後濱寺農業博物館内を見學した時、その規模の宏大にして各種に亘つて極めて細密、豊富なることに驚いたと同時に現代農民のためには當然こんな施設が必要だ今迄に當然なければならなかつたのだ、このやうな施設を各縣毎に一つ位は欲しいと思つた。

次は安城へ行つての感想である、出發前から安城は日本のデンマークだと世間に喧傳されてゐるのだから稲などは密植で非常に出來榮もよく西瓜は摘心摘芽、人工交配などをして大きな良質のばかりなつてゐるのだと想像し乍ら安城驛を下車した。そして、やがて畦道へ這入ると、美しい豫感は全く裏切られた。稲や西瓜は私の地方のそれよりもずつと思く、私の地方では出發前に莖葉が繁茂して株間は向ふの畦迄見透せなかつたのに、日本のデンマークとうたはれる安城の稲には株間から雜草

るのであると考へてゐます。

先づ肥料の自給

香川縣

香川縣善通寺町 遠山 雍治

一昨年八月日本のデンマーク安城の講習會に臨んで農業者としての自分の立場を顧みて意志の薄弱なるを自覺せざるを得なかつた。農業國日本の現在、將來の先鋒たるべき百三十七名の講習生に伍してあまりにもその眞摯なる態度と、止むを得なき研究的思索の一週間、誰か感激なくして濟まされよう、各講師の熱心なる指導はいやが上にも心身の緊張を加ふべく一つ、必々と身にこたへた。また日々目に映る安城附近一體の經營振りはわれ第の心に刻まざるにをられよう。

當時田七反を經營した自分はまづ考へた、曾て農會に職を持つた経験よりしても、今日陣頭にたつて不況にあへぐ農村をリードすることは不敏にして出來ないがまづ自ら何からでもやつて見よう。經驗の乏しい自身が共存共榮の精神から折角受ける講習を基調にしてあせらず騒かず、一、養鶏、畜牛。二、主穀物の經濟的多收。三、空地利用。四、原地開墾、畑地の耕作等現在迄に大體實現することを得た。

本年中に行ふべき新らしき豫定の事業として桑園の設置と自然水力の利用である。桑園は主として町の塵芥を利用して極めて生産費の低廉な桑園を得んとする新らしき試みである。

元來、香川縣は土地と人口との關係上一年を通じて働かない日はさう多くなかつた。従つて家内工業として薬工品の製造などが旺盛である、よつて今後この方面に一段の進出をして見ようと思ふ。

が眺められ、西瓜は枯れさうなのも見受られ最初幻滅の悲哀を感じた程である。講習第二日目に赤松信用組合を見學した時、鶏卵出荷組合は私の村のと大差はないが、集卵場の横で組合で精米糶をやつて、その糶を使つてゐたのには感心した。少しはなれた養鶏場ではこれも組合で飼料の研究、多産鶏の作出研究をやつてゐるので、組合で他の地方の如く販賣のみでなく多産鶏を作出して利益あるやうに組合員で實行して、その組合の農家を生産販賣共に益してゐるので安城——碧海郡農業經營の全般を向ふ一端になつたと信じた。食品會社、碧海種鶏組合、その他を見學した時にも同様な感を懷いたが、とに角碧海郡は生産販賣共に共同で實行して組合吏員、組合員の上下統一が非常によく整つてゐる。そして販賣に利益あらしむべく生産に利潤あらしむべく、食品會社の如く生産物を加工して販賣する、しかも株主が生産者であるが如きは眞によく生産者の利益がはかられてゐる。すなはち組合も會社も試験場も學校も總て生産者、百姓のための組合であり學校である點が、特に愛知縣と他縣と趣を異にしてゐる。

農學校の如きは農家と何の聯絡も取られてゐないため、生産物販賣の場合お互に競争の状態になり生産品の價が低下して生産者は非常に不利な目を味はせられる。縣または郡村から資金を仰いでゐる學校はそれでもよいがそれのみで生活費を得てゐる百姓に取つては非常な打撃であるわれ、現代青年は大いにこの點に着眼して經營方面に多角形、有畜も必要だが販賣方法を考慮し統制ある販賣方法を取らなければ到底多くの百姓は救はれぬと思ふ。私の村の耕地面積は非常に狭少で一戸當平均五反といふ貧弱さでこの上開拓する餘地もない。私は講習を動機として八反歩の田地を多角形に經營して行かうと計畫をたててはゐるが、それよりも精神修養の必要を考へて集會の都度その必要を話してゐる。

農民全國結束のため富民協會の講習は精神的に非常に有益と信じ、貴協會の發展、諸先生の御健康を祈りつゝ筆を擱く。

愛媛縣

有畜農業經營に進む

愛媛縣新居郡 垣生村 三浦眞一

昭和五年八月十七日、數多い青年農家の羨望の的となつて榮ある富民協會農業改善研究會に出席することを許された。大なる抱負を抱いて日本デンマークの稱ある安城町に十六日足を運ばせた。

權威ある諸先生が心血を注いでわれ等のために、日本農業界のため、有益な講義、實習等、涙のじむ講習會であつた。一週間の講習も了へてわれ等は大きな感激と希望に横溢して、それぞれ郷土に歸つた。

安城で第一に吾人の眼を惹くものは宏大なる構へと、内は確實なる發達をなしたる産業組合だ、農民の金融機關であり、販賣購買そして利用機關である産業組合の發達には全く共鳴することが出來た。眞の農村振興は産業組合の利用から……實にその通りだと思つた。第二に眼に映じたものは教育機關の完備である、農民として一般社會人としての教育は完全になし得らるゝ設備が整つてゐたことだ。

歸郷後直ちに行つた改善事業は、農村の振興と密接な關係ある産業組合、教育機關の完備である、主力をこの方面に注ぎ組織の一大改革をなし、一村一家残らず産業組合の出資者にせんと努めてゐる。つぎに農學

校卒業生の優秀なるものを一團とした青年農事實行組合を起し肥料の共同配合分配、自給肥料の奨励宣傳、米麥多收穫の奨励、高等蔬菜種苗配布、農産物販賣斡旋事業の援助、風紀の改善など……農村振興農村の社會的方面に献身的努力をなしてゐる状態である。これも本村に實行した結果は村民の好感を得るに至り、本年舊小學校跡地三反餘歩模範試作栽培地として各種優良作物栽培なし前途は囑望されてゐる。居村農業改善は大體において前述の如くなほ目下考察中のもの二三件あります。

續いて自家經營の上に加へたる改善要項はまづ有畜農業を主體とせる農作物の多收穫栽培であり、牛の外に豚及び鶏を育成しなほ他家の下肥三十有餘人分及び鶏屠殺場の汚物は一切貰ひ受け有畜農業本来の特色である自給自足を圖りつゝある。就中餘剩努力の利用に心を致し、これが對策と致し本年梨園を主とせる果樹二町有餘歩を經營の中に取り入れ活躍致しゐる。

自から顧みて

愛媛縣北宇和郡 愛治村大字畔屋 谷口義久

青年農家教育界の一大權威である、農業改善研究會の總てが私の感激そのものです。私の過去三十年に近い年月の間にこの研究會ほど感謝と感激の生活を送り得たことは全くありません。

農村の現状を視するに忍びず奮然農村開發指導のために設立せられた意氣と熱に燃ゆる富民協會にして始めてこの有意義なる講習會を開催し得るものと痛感致しました。本山理事長閣下の老齡なほ若者を凌ぐ意氣

と御熱心さは愈々われ等を感じせしめ今なほ眼前に髣髴したるものがあります。なほ種畜場長參木先生の自ら範を示し努力第一主義の青年指導には感嘆致しました。私は農村青年の指導はこれと深く肝に銘じ歸村致した次第であります。

これではいかぬ筈だ、自分の農業經營は引き合はぬ筈だ、まつしぐらに改善せなければならぬと私は歸村致しました。未だ申し上げるほどの成績も遺憾乍ら舉りませぬけれどその大要を御報告致します。

(イ) 養蠶
蠶と稻は私の家の主業であります、繭年産額百三十貫乃至百五十貫外、改善事項としては蠶作安定のため稚蠶桑園を設置して昭和七年度五畝歩、なほ五畝歩新設計畫、飼育技術の練磨や絶對飽食主義の徹底、上族の改善

この努力は報ひられ本春蠶においては組合製糸出荷者四百九十五名中最高糸量を獲得し精算糸量十五匁〇三で第一位を占むるの光榮を得た。

- (ロ) 稲作
品種を京都旭及び尾の道相徳に改め増収に努力中、苗代改良を行ひ施肥管理に努めたるため昨年の不作時においても却つて増収を得。昨年平均收穫二石五斗一升
- (ハ) 養鶏 三十羽 昭和五年度より
 - (ニ) 肥育牛 一頭 同
 - (ホ) 栗山開墾 昭和五年度五反歩
 - (ヘ) 山地開墾による陸稻栽培

(ト) 五宗竹林新設 昭和七年度 五畝歩
(チ) 植林 杉、檜 昭和七年度 約五町歩
更に私はわが村の振興は青年農家の奮起にあることを痛感しましたが故に歸村直に同志青年と中堅會を組織し協力奮闘を致してをりましたが昨年はこれを富民研究會とし範圍の擴張とその徹底に私の渾身の努力を續けつゝあります。

私はこの富民研究會により將來の愛治村が再建し得るものと確く信じてをります。わが村よりこの生氣潑洩たる富民研究會員を除いて他に何物がありませんか。

私達に私達富民研究會の使命の重かつ大なることを痛感してゐます。

畜産を加味して

愛媛縣周桑郡 吉井村石田 眞鍋眞次郎

講習會後に行ひたる農業改善の事實としては
一、自給肥料増産と畜産加味の目的にて仔豚五頭を購入し、目下飼養仔豚十六頭(販賣せる物四頭)親豚五頭、白兔、雄一、雌五、山羊(五月生)雌一頭、鶏二〇羽、
二、荒廢桑園一反五畝を購入し、開墾の上土地改良を行ひ、蔬菜園藝研究中である第一年の成績、反當粗收入一百五十圓。
居村の農業改善を指導したる事實及びその成績としては
一、吉井村四部落青年會堂にて部落民青年團員に對し研究會の報告會開催、吉井農業補習學校にて報告。
二、爾來青年農事研究會を組織し、時宜により集會研究懇談をなすつ

あり。
三、麥代用作として馬鈴薯、蔬菜としてツクネ薯、セルリー、リーキ、百合根等の栽培研究者續出した。

勤勞主義をモットーに

愛媛縣北宇和郡 西川 忠 男³
愛治村生田

講習期は僅か一週間であつたが、そのうちに受けた感化は實に千金に値するものがあつた。

八月十七日初めて見る、農業博物館の威容、建設日尙淺きに拘らずか

くも内容の充實見るもの總てが驚異と感激の連続であつた。

農業の國のわが國家においてすら顧りみざりしをわが富民協會本山理事長殿のこの點に着眼したされたには唯々感慨無量といふより外はない

ほ此處において艱毅の一貫目二錢とのことを聞きこの地方が豫想以上の

養鶏の盛大なるとその飼育法と雞卵荷造の法の巧妙なるに驚く。

板倉農場は全天下の模範農場と聞へた同農場だから宏壯なる邸宅と農場主の堂々たる平民離れのした偉風を豫想したが豫想は全く裏切られた

その外見において何等の飾るところすらなく、また誇りがましい主人の態度も更に見受けられず普通農家と何等の變りを見なかつた。否寧ろ普通以上の質朴さを見て所謂眞の模範農たることが頭に浮んだ。

板倉氏の縷々として語る、一言一句總てが大きな鞭と成つてヒシヒ

シと心に響く。それは多角形農業といふよりも、合理的經營といふよりも氏の一身總てが勤勞の二字に終始してゐると思はれた。今日の模範農

場の經營も模範にしたので無く自から模範と成つたので、所謂盡きざる氏の勤勞奉仕の當然の表徴である。農場の一巡を終へて經營面積を見る此處において農業經營の根本は總ての理屈において先づ勤勞に有りといふことを如實に味はふた。わが村では雨の日は殆ど總ての者が何等の成す事もなくブラ／＼であたら貴重な一日を過し夜に成つて、藁打つ槌の音さへも聞へない。これでみて人一倍働いてゐると考へて居た者はこの農場の勤勞振りを見て餘りに平凡極まる從來の生活が悔いられて、だらしなき身が思はれるであらう。

富田先生より碧海郡の農業經營を聞き今日碧海郡が日本デンマークの稱を得るに至つた理由をしつた。それは一面山崎先生の如き大先覺者の表れも大いに與つて力あることであるが、碧海農民の協同團結と相互扶助の力に依るゆゑである。地味肥沃とは申されないこの地がかくも發展せるを想う時われ／＼も亦大いに驚起せざるを得ない。

縣立種畜場にて參木先生より有畜農の講義は今もつて否生涯忘れ得ぬ印象と成るであらう。先生の言々句々眞心より語らるゝ言語は實に貴いものであつた、百姓の目のつけ所は此處だ、自給自足の農業でなくちやあ頭は上らない、農家支出の大半を占むる肥料の目的は家畜飼育によりはたす可きである。

以上を蒐め總括的に感ぜしことは農民は理屈を抜きにして勤勞をモットーとして押し進み、しかも自給自足の農業經營をなすこと、村は産業組合を中心となし、生産物の統一並びにこれが加工販賣をなすこと、村農會の指導農事組合の活動農村青年の徹底的農業教育である。歸郷後お恥かしい次第であるがこれといふ指導は出来てゐない。

感じたるまゝに

愛媛縣宇和郡 稲田 卓 一³
一本松村増田

先覺者や大權威者の講演並びに指導は眞に農國の根本精神を徹底させ現今の最も急務とする農業の大問題の眞髓に入り熱誠なる御薫陶には深く／＼感激の意を表する次第であります。

獲得する所多大なる實習見學中において特に碧海郡民の闘奮努力の精神と共同的精神の涵養されたこと並に生産販賣の經營法の完全に實行されつゝあるには全く敬服の至りであります。

これを動機として先づ第一に實行の第一歩を踏んだのは左の二項を益々徹底せしめるところである。

一、勤勞第一主義の經營、二、自給肥料による生産費の低減尙、郷里あつて目下實行指導並に計畫中のものとしては

一、一般農民に對して勤勞經營並に自給肥料による生産費遞減に向つて指導並にこれが計畫中、二、村青年農道會を組織す、郡の中堅青年農道會組織の計畫中、中堅たるべき青年の修養に努むると、三、富民協會報購讀の勧誘

農民教育の急務

愛媛縣越智郡 田 薰³
菊間町濱岡

農村の骨子ともなつて働かねばならぬわれ／＼農村青年に對し清新奮激の意氣を注入し洋々たる希望と光明とを投げ與へたるものは本講習で

ありました。逆境に處して撓まず屈せず却つてこれを轉換して國家興隆の基を招くことは、一に青年農民の力に俟たねばなりませぬ。目下の我農村各地共に不況に喘いでゐる時に際し碧海郡が獨り活々として輝き前途を祝福せられつゝあるはこれ碧海郡農民の多年の努力の賜と察せられます。勤勉努力これより外に身を立て村を興すの良薬はありませんが如何なる勤勞努力も正しい知識の應用に俟たねば麗しき花を結ぶことは出来ませぬ。

今や碧海郡が日本デンマークとして幸福な農村を建設せられた陰には日本デンマークの父として仰がれて居る山崎延吉先生の御指導の在りしことは勿論であるが碧海郡農民の異常な努力の潜んでゐることは素よりせう。

しかし乍らこの努力を正しく導いた智慧の働きは何處から來たであらう？とその源泉を探究して捉へ得たものは何人も皆一つでせう。曰く、農民教育、共同經營の圓滑と協調にあると思ひました。私は郷土に在つて微力乍ら本講習に受講して與へられた鍵に依り自ら緊揮一番一大努力をします、主として農民教育の徹底と共同經營の圓滑をモットーとして進む決心です。

受講後日淺き故改善の成績は未だ見へませぬが古言にも一牛歩遅々たるも善く千里を歩む」とや私達は必ず決行致します。今やスタートを切つたのです、前途如何なる障害あるもこれを粉砕して前進する熱意に燃へてゐます。

農政は農民更生の礎

愛媛縣宇摩郡 長野 保 之³
上分町一〇四

今回の講習は期間においては餘りにも短い講習でありましたが講習生に取っては終生忘れることの出来ない講習でありました。講師先生と云い實施經營されてゐた方々といひ誠に將來農業に精進するわれ等に取つては羅針盤とするに充分で有つたと思ひました。就中私は胸を強く亦深く印象付けられたものは西村主事の御話の一節で有りました。語は簡單で有りましたが「農民の更生の基礎は農政に有り」と先生が申された通り如何なる方法にて合理的に經營成すも將來農民大衆われ等の起つ可き道は政治的に醒める可きであらうと思ひます。眞實に更生せんとする農民は政治的に進出す可きであらうと思ひます。然らざれば永久に農民は救済され得ないと思ひます。私はこの點に大なる力を注いでこれから進む考へです。本講習中に色々經營上その他に思付いた中で最も深く感動したのは以上述べた事でありました。

▽

私は本講習を動機として左の事實を改善なし亦將來成す信念です。

(イ)先づ計畫を立て、進むこと

(ロ)財産その他一切の所有物を整理整頓すること

(ハ)家計簿を作つて收支を明細にする

(ニ)經營の合理化を圖る上に米麥作本位より野菜果樹花卉の多角形經營とすると(現在準備計畫中)

(ホ)地力増進を目的に自給肥料を作ると

以上述べたことを歩一歩づゝ進んで行く積りです。

私は歸郷直ちに本町において報告並に感想發表をしました。續いて郡内四ヶ所にて發表し、後病氣にて入院(今日まで)してゐます。

今後私は米麥本位を脱して多角形經營を奨励し、また生産に全力を傾注すると共に販賣に全力を注ぐことが現今の農業經營上最も大切な事柄

稻栽培專業の單式經營を、水田二町八反歩に本年新に果樹園約一町歩、蔬菜畑一反歩を増加し、これに豚一頭、牛一頭、鶏二十羽を購入して多角形有畜農業經營に改め、なほ向ふ十ヶ年を期し第一期を昭和十一年(五ヶ年)計畫をたて合理的經營による模範農場を建設すべく、多大なる理想と限なき希望を以て實行中である。

居宅附近の一般農業改善指導に對しては、

改善指導には細心の注意を拂つて、その衝に當つてゐる農業改良組合の新設、普及、内容充實に努め、新設三組を見、既設四組と共にその指導に當つてゐる。また農業日記の記帳を奨励し、本縣農會の出版する農業經濟日誌を五十部の記帳指導に努めてゐる。

また自給肥料増殖の目的を以て豚の飼育を奨励し、養豚組合の設立をなし指導奨励に當つてゐる。現在飼養頭數六十五頭である。

更に農業改善の第一歩は優良地の視察にあるを認め、主として青年の精農家をして年一回農業視察を行はしめ、なほ土佐農業經營改善研究會の設立に當り、多數の會員を募つて入會せしめ、とき々座談會を開いて改善の事項協議をなすつゝある。現在の研究會員十二名である。

また水稻の病虫害防除研究のため、當縣立農事試験場と提携し、その依託を受け、指導試験地を設置して研究をなすと共に、指導に努めた結果本年は病害の僅少なるを見た。又縣下の農業改善運動を起すべく、日本農業改善聯盟高知縣支部を創設し改善に努力中である。

研究的態度に立つて

高知縣幡多郡 三崎村三崎 矢野川 靜 雄²

身に餘る光榮と感激感謝しつゝ、遠く碧海安城に馳せた私でした。そ

であると思つて町内に農産市場を設立しました。また實行組合を各部藩に設立す可く準備中で全快した上は直ちに設立に急行する積りです。私は一般農民にも、また私自身もこれからの農民は積極的何事もなしして凡てを打開すべく勉むべきであると思ひ、また主張してをります。故に團體的の行動を取るべく努力中です。なほ農民の元氣の失落の根幹をなす負債を速に整理すべく近き將來において整理組合を部落別に作る考へです。しかし多大の反對のあることと思つてをります。しかし良く研究をなし達成する考へです。

農改運動を起して

高知縣

高知縣長岡郡 田中重勝¹

イ、日本全國から集つた多數の講習生の經驗、失敗、經營、談話などを聴取し、自己の現狀(當時)と比較して非常なる刺激を受け、特に改善の氣を強く起した。

ロ、愛知縣種畜場や板倉農場などで實習を受けたとき、大小實際の經營狀態を見て經營と組織の改善を痛切に感じた。

ハ、農業先進地としての碧海郡安城町附近を見學して聞きしに勝る發達に一驚、その基を熟考したとき、日本のデンマークたるの發達は人にあり、人の動きが教育となつて大なる因をなし、またところ々寺院等の多き關係より宗教(修養)なるものが碧海郡の今日あるに預つて力ありはせぬかと痛切に感じた。

研究會出席を動機としてその經營上加へたる改善としては、從來水

こで何を私は得たか?

彼の地に立ち、滔々として流るゝ明治用水を見、稲おだやかに稔る安城ヶ原を眺むるとき、この開墾の歴史を想ひそこに尊い血と汗の流を知り、勤勞につぐ勤勞と農家經營の改善からよりよき生活への向上路を進み行く住民、これらは私達に如何に進むべきかを教へるやうです。生産と消費とを右と左に、そして組合精神の統一は碧海の特長でもあり誇であり、またその底を流るゝ信念と信仰のあるは深く私達の學び考ふべきところす。今迄餘りにも無自覺、信念信仰なき百姓としての私、組合精神少なく、一般に向上の信念に乏しかりし民たる郷土の人々、勉めよ力めよです。

講習中特に感激せしは最後の日のことです。伊勢宇治山田市の外宮參拜、そして櫻と楓の參道を通つて内宮に參拜、こゝで大太神樂の奉納をなしたことです。その壯嚴さ、その靜寂さにうたれた私は、自から氣澄み心鎮まるをおぼえ、敬神愛國こそ農民の道なりと覺り感激したのです。歸郷後半年他村にあつて、組合精神による共同作業その他につき指導せしめ格別のことなく、今年又再び百姓として鋤をにぎつたのです。しかし私は本年中を如何にすれば、よりよき經營法が植ゑらるゝかを深くきわむる年としたのです。従つて何の新味も加へずたゞ經費節減のため自給肥料としての青刈大豆の栽培(約十二圓の節減あり)と、水稻苗代の改良と水稻栽培に關する一研究をなすつゝあるのみです。水稻栽培の試みは七月下旬挿秧の晩稻に對し自給肥料による栽培すなはち、反當青刈大豆二十貫、厩肥百貫、過燐酸石灰七貫、鹽化加里二・五貫、石灰二十八貫を施したもので、ウンカ、螟虫等の大發生もあつたが反當一石三、四斗はあるべく、附近の田よりは成績はよきも私としては十分と考へられないのです。

附近農家に對する指導としては乾田整地苗代にてやゝ成績をあげたこと、青年中心の農事問題懇談會を開催せしめたこと等をして、いまま少し自己の土地を知れと常に語りつゝあるのです。

生ける安城

高知縣幡多郡 三原村抽之木 生城義愛

集會所農業博物館は同協會の多年の懸案であり、幾多の犠牲と努力をもつて六ヶ月の日子を費してなれるわれ等三千萬農民大衆のために造られた農業教育の殿堂である、その内容の豊富の上に徹底した説明と、陳列品の整然さとは見る者をして農業の貴さとその重要性とを悟らしむるに十分であつた。

全國各府縣を代表する精農青年百三十名は博物館樓上の講堂に集合し西村主事の開會の辭につき本山理事長閣下の訓辭あり、眞に農業立國と富民強身の實を諭され、將來における農業日本の建設は農村青年に期待されるとの御言葉を拜聴し、いま更の如くにその責任の重大なることを胸に刻みつけたのであつた。

新聞に雜誌にわが國農業の先進地愛知縣碧野郡の農業經營を見た。しかしそれは理想論的空虚なものであると考へてゐた。

しかるに一度この地に足跡をとめるとき、その理想論ならざるを直感し彼の地の農民の働くことを目標としたる勤勞振り、信念と信仰を中心とする自活自給的自足經濟を基調とする農業經營、相互扶助の精神に燃ゆる共同一致の團結、生産方面の農會の活躍、販賣、購買機關としての産業組合の活動等いづれも窮乏の極にあり、現代不況下の農村にあつて

一道の光明を見出した感があつた。讀つて研究指導機關としての學校試験場を考へるとき、指導者研究者としての職員、組合團體の理事者としての中心人物誠心誠意身を徹しての努力も、このデンマークにおいての見らるゝ事實だらう。

こんな感激のうちに七日間を過ごし、先進地の空氣と接觸し、諸先生の御熱誠なる指導を賜つたとは厚く感謝するところである。

かくして歸郷後農業に従事し、今後幾何かの貢獻をなして富民協會の期待に添ふ覺悟である。

安城は先覺者

高知縣高岡郡 松葉川村七里 黒田豊運

講義に、見學に、實習に多大の感動を與へられ、ことに板倉農場の自給自足主義、勤勞主義、經濟的農場經營、岡崎種着場の模範的有畜農業經營、赤松産業組合、今養鶏組合の共同的作業精神等何れもわれ等の大いに學ぶべきところであつた。ことに安城の農民が日本デンマークを形造り、天下切つての不良土改良に奮闘し、あらゆる機關を整備して不況を切り抜け、なほも研究を續けて多角形農業を經營し、研究心の強く同精神に富んでゐる點など觀察して先覺者の血の滲むやうな奮闘の跡がおもひやられ、たゞ感激せずにはゐられなかつた。われ等は安城の農業經營を手本として、たゞ一意専心嶄新の學理實驗とを併用して、經營に、耕作に合理的研究を重ね、行詰れる郷土を救ひより良き理想郷建設に努力せなければならぬとおもふ。私は農に親む身を以て幸にもこの講習を受講出來たので、今後は大に郷土農業改善のために盡し度いと存じて

を。近時私の村でも農業經營の不合理がさげばれて農事改良研究會も出來て常に研究會を催し、稻麥などの立毛品評會其他も數回行はれ農村改發の研究もいたしてをります。

福岡縣

意を勞働に注ぎ込んで

福岡縣企救郡松ヶ江村 大字吉志(元愛媛縣) 三原禎一郎

私は安城全體が何となく農に生きてゐる、農を樂しんでゐるやうに見えた。半世紀をさかのぼらざる古においてはその貧窮と悲惨な徒勞に苦しんでゐた安城地獄が何故に農業の樂土と化したか、そこに世のため人のため自己をかへりみざる先覺者の尊い犠牲がある。我利を捨て、協調についた民衆の和がある。

現在一般の農家は集團せる村落は居宅を持つて耕地は東西南北に點在する。かくては勞力經濟の上に、管理の點に多大の損失がある。少なくとも耕地だけでも集める必要があらふ。その改善を望んでゐた折柄家事の都合上現住所に移住のため、開墾せる耕地の中に居宅を置いて耕地は二ヶ所にまとめ、勞力配分には特に意を用ひて多角形農業とした。耕地のまとまつてゐること、居宅の中にあることは勞力經濟上管理上至極便利である。

多角形農業の方は、勞力分配の上には都合が良いが、技術の不足と不況のため促成栽培は餘り良い結果には行かなかつた。

家の裏に經營してゐる果樹園は病虫の驅除豫防の不十分なためと悪品種のため、年々收支つくなはぬ状態であつたのを、實地に病虫驅除の指

導をし、悪品種の接ぎ替へ指導をした。

病虫驅除は案外好成绩を収め健全に發育を續けてゐる。

トマト、胡瓜、花卉等の苗を配布し、多角農業の獎勵をしてゐる。やうやくその氣運に向はんとしてゐる趣が見える。

体力の續くまで

福岡縣浮羽郡水 細村大字益生田 森田軍三

(舊姓石田)

私は昭和六年第二回農業改善研究會に福岡縣代表の一員として受講の光榮を得、聞きしに優る實状を視察見學し、つぶさに安城町のデンマークたるの根據は何處にあるかを冷靜に考察して見る機會を得た。私をしていはしむれば、安城の今日あらしめたものは左の如き事項のためである。一、一般農民が往時困苦、欠乏に鍛練せられた結果、當然起るところの反動的精勵心の旺盛による事業の長足の進歩發達二、明治用水路の開墾によるその恩澤三、生産獎勵機關の發達に均衡する經濟販賣機關の發達四、交通機關の恩澤、すなはち理想的交通網の完備五、農民教育機關の發達と、これに關係する指導者に秀れた人材の多きこと六、農村民の共同心の鞏固と相援助主義的生活七、有畜農業を加味した經營の複雑化。

こゝに於て私は歸郷後イ、家族勞力を考へ、これに比較して相當大面積の經營をなすこと、水田一町六反歩、畑六反歩、竹林三反歩、山林一町五反歩、五人の經營人數にてこれに各種なる副業を加味して年中寸暇なきやう經營しつゝあり口、金費節約をはかり肥料の自給に勤め地力増

進に力を入れてゐるハ、經營を多角形化して行くこと、すなはち米、麥、果樹、温床栽培、蔬菜育苗、養鶏、養豚、養蠶をなしてゐるニ、勤勞主義で努力を續けねばならぬ、但し獨り肉體的の勞働のみならず、精神的にも作物の栽培に留意してゐるホ、家庭生活の合理化をはかる、出来るだけ自給自足に立脚し購入品を少くすること、先づ詳細に述べれば數多あれ共大略右様のことにつき改善をはかつてゐる。

居村の農業改善を指導したる事實及びその成績としては郡内は勿論遠く郡外にも各地の會に列席して碧海郡の實狀を仔細に報告し、また居村にては、村農會と連絡をはかり蔬菜栽培指導獎勵、蔬菜種苗生育配付或は副業獎勵、自給肥料増製の目的を以て養蠶、養鶏、養豚の獎勵普及をはかる。また生産物の販賣發起にも努力し、柿(甘柿)共同出荷組合及び西瓜及び瓜類の共同出荷組合を組織し、販賣改善につとめる。農作物の病害虫防除に關しては効果指導獎勵に努め、各種藥劑の配合調製をなし、以て、青年、處女會、農事組合員等につき實地指導をなす。部落農事組合にては特に幹部の一人として蔬菜園藝主任となり組合發展に努めてゐる。

第二の安城を覺悟して

福岡縣田川郡 方城村辨城 本藤岩夫 3

農家は勤勞主義でなければならぬ、すなはち働くことをモットーとしなければと感じた。

安城が何んだ、今に見よ第一の安城はわが村にありと深く思つてゐる私は今迄よく働いてゐると考へてゐたが、講習を受けては人の半分にも

反映せる安城農民の共同團結、曰く生産、販賣の統制は刮目して見るべきものであつた。

今養鶏組合及び赤松養鶏組合、安城農産物加工場においてのその事業成績は大いに吾人を裨益する所大である、また岡崎の種畜場における青年の教育、われ等はかくして勤勞精神の養成が、時代に目覺めたる時代的農業を經營しこの不況時においても楽しく自己の職務に働くに至つたゆゑんと信ずる。

先輩として全國にその名聲高き板倉老を範として研究工夫組織の改善に計畫の實行に努力しつゝあるは大いにわれわれの蒙を啓いたことはとても大きいものであつた。

往年狐や蛇の住む家として小笹茂れる安城の野、今は豊けき稻の稔りを見て如何に安城の農民が苦勞せるや、想像するだに感心無量であつた天恵の地にあるわれ等は、天地の神に感謝して働かねならぬ、僕は斷然自らの理想とする農村を建設のためにわれ等青年同志をつのり農業に決定的努力をなすつもりだ、今回の講習會第一日全國青年の代表としてしたしく理事長閣下に謝辭をのべたるこの光榮吾人は一生忘することの出来ないことである。一週間の懇切なるお世話、これに報ひんがために只一つの道がある、善き農家の建設、農村の建設。富民協會の主義主張せる富民強國一にこゝにありと信ずる。

自力更生の途に登る

福岡縣八女郡 川崎村山内 櫻木次雄 3

日本デンマークの地は時代の先端を行く經營ぶり、多角形、自給自足協同精神、奮闘精神をもつて農事に進みつゝあり、何一つとして今の農

足りない恥つてゐる。幸ひ近くの町の塵捨場があるので歸郷後は毎朝拾ひに行く。今では堆肥が小山程になつてゐる。

尙使役牛一頭の外に肥育育成の目的で仔牛一頭を飼つてゐたが特に有畜農業でなければと思ひ立ち僅少であるが仔豚二頭を買つて飼つてゐる本年盆前から思ひ立つてゐたが特に産業組合の徹底に感づいた。そこで青年聯盟方城支部を組織して組合主義宣傳運動を起すと共に久美愛足袋石鹼を盟友同志が組合員一戸、平均一足づゝ賣つた(組合員三百九十名)石鹼五百個。

わが村は安城に比すると産業組合と共同一致の精神が少し劣るのだ、これさへ出来ればと思ふので本年度は小麥共同販賣肥料の共同購入等に力を入れ郡内では一番の成績を上げてゐる。

農業改善を指導することは自分自身行つて後人に進む考へであるがわが富民研究會の秋期總會の席で講習會報告をなす積りである。

富民強身を目標に

福岡縣筑紫郡 三宅村清水 明永久三郎 3

八月盛夏の候一週間の期日や短し。併れどもその効果やわれ等の一生を左右すべき大なるものであつた。われわれが受けし實地訓練は必ずや日本全國農家より第二の板倉、第二の碧海郡として難局打開更生せる日本農村の出現を待つとを期せられよ、曉の鐘は亂打せられ、希望に輝く百三十餘名の農村青年の血は躍動したのであつた。

山崎延吉先生のデンマーク國民高等學校ともいふべき青壯年の教化の

村不況の對策をなわらざるはなく、これなればわれ等の農村もと、つくづく思ひました、組合の力で生産の合理化共同經營組合、農事實行組合加工工場、特に養鶏組合の進歩した經營に驚きました。殊に板倉農場の多角形經營、自給自足主義、勤勞主義、經營に自分にも大いに感ずるところがありました。また岡崎種畜場の場長の有畜農業の話は私に取りこの上もない有利な話であつた。多收は地力、地方は努力何んといふわれ等の理想であらう、自給自足、多角形的に經營をなし共同精神を養つて組合、農會の力をもつて、この農村の不況を一掃しなければなるまいと感じました、とかく、生産、加工、販賣と共同の力でこれをなし暇を少くして生産の合理化をはかり、講師の指導の通り生産の確實、販賣の確實、市場變動の少い物を産すればこの不況でも何事やらあらんと考へました。

郷里に歸つてからはまづ一番にわが家より模範を示すべきものと思ひ養鶏を増し今迄より以上自給肥料を多く取る豫定です。二階建二十坪の鶏舎を増設し、立體的に利用したいとおもひ、地下に軟化室を作り三階を只今利用しつゝあります、とに角力の續くかぎり自力更生の道に務めてをります。

北九州の百姓として

福岡縣企救郡 東谷村三七三 溝口連 3

十六日煤煙の大阪着、流石大大阪の慌しさ、それを滿喫して濱寺に向ひました。

白砂青松濱寺公園に着いて、これが農業博物館かと仰いだ時またあまりにも工業都市大阪に矛盾した静寂の中の偉大さでした。協会の事務所及び館内を見せて戴いて協会が如何に農界のため盡力貢献あらせられつゝあることを只管感銘しました。

翌日安城着、これが明治用水かとおもつた時、未知の都築翁の面影が彷彿としてうかび出て、その功績がおもひやられて翁の功績は用水の水と共に滔々として未代までも連綿として傳はることを思ひました。そして碧海なるものゝ存在を強く印象付けられました。

七日間の講習、それは東の間に過ぎました。なかなづく協会の農業経営改善の指導及びそれにつけての御配慮、只々胸を衝くばかりでした。何れの講師の講義を聞いても自己の過去の愚かさか恥ぢられてなりませんでした。

最後の阿部先生の講義においては特に世界的に起たねばならぬ使命を痛切に感じました。

見學先の各農業啓發機關ともいふべき試験場の完備と、各組合長さんの偉大さと組合員一同の共同、統一の十分なる有様を伺ふ時、板倉氏の存在も宜なるかなの感を深くしました。

第六日の見學先、愛知縣立種畜場の場長と廿四日視察の協會羽衣試験場の佐々木場長に接した時（協會試験場を訪ねた時は午後四時過ぎでした、中谷先生の案内で場長に紹介下さつた時、老場長は小雨の中田の草を取つておられました。もう遅いから誰もみられないだらうといふ豫期を裏切る事餘りに大、あれが場長ですと、田の中にもみられる場長を中谷さんに教はつた時、そして會つた時、そのお歳と身なり、これが場長かと疑はずにはみられませんでした。だがその場長さんが私一人のために一枚々々の試験田に附いて詳細なる説明を加へ色々質問に應へて下さ

幾多の農業知識を得て

佐賀縣小城郡 陣内 繁

憧憬の地に第一歩印し先づ感激感謝おく能はざる物は何と言ふても明治用水にて、更にその開墾者都築翁以下の人々の犠牲的努力である、不毛の地安城ヶ原を、今日あらしめたものは、その後の人々の献身的努力はしばらくおき、その根源は無限の大平原の中央を流すとして流れる明治用水の水そのものである、更に彼の地の經營法、所謂六角形の多角式農業は流石先進地の名を辱かしめず特に農産物加工に到つては規模大なる食品會社あり、かゝる完備せる施設に至つては遠く他の追隨を許さない。またわれ等の足跡を印したる當時は稻の生育期にて他地方の稻作状況より遙かに優秀なる生育成績にあるは争ふべからざる事實であつて肥料の配合その他技術の卓越したる結果なりと感服した。

更に講習期間中に感激したる二、三の事項を申述べると、

第一に愛知縣立農事試験場を參觀しその設備施設の完備したこと、また日本一の農業者との稱ある板倉農場の參觀、實習等意義深く、特に同氏の謹厳にして朴訥なる姿、未だ髣髴として眼前に浮んでゐる。縣立種畜場では有畜農業の本山といはれるだけあつてその徹底せる施設と經營振り、或は西瓜、蔬菜、果樹等、各々數町歩の栽培面積を有し大量生産の實を擧げ、進んでは自給肥料の徹底を期し、また牛馬を始め豚、鶏等には驚くに足る。最後に副業として果樹園藝、栽培者なる横山梨園等の見學には興味深く、害虫驅除の完備せるに再び驚き、その收入において最高とはいへ反當り七百圓とはこれまた三度び驚いた。

いました。私はこの二人の先生の半分程の御努力を或者に期待する者であります。否、自力更生の現今他人事の期待は愚の骨頂、米反當十石も第二の碧海の出現も難くないと思ひました。

歸郷後縣農務課、縣農會に報告の際だまつて當分働かしてもらふことを願ひました。

安城第一夜の座談會の時、私は他縣に比し北九州といふ恵まれた地形に住んでゐる關係上大いに働く百姓として伸びることの出来る自信を強く致しました。成績は何れその内報告申上ります。

責任感にうたれて

佐賀縣 佐賀郡 眞島善次

富民協會はわが國農業界における指導獎勵事業中、最も着眼すべき經營改善のため、先進地安城において學理と實地兩方面より指導下され、われ等農村の若人は重大責任を感じましたので御恩に報ゆるため、先づ自己の農業改善に努力し、誠心誠意農事を研究して他の模範となり且つ指導する責任を痛感したのであります。

私はその後自給肥料の多産方面より踏出し、養豚、養鶏を加味して物價下落に對し生産費の節減をなし、金肥の三割を減じ且つまたその収入も三割増加の成績を得ました。

村に於ても養豚、養鶏の起業者となり村内に普及して將來は集團的に飼育してその處理をなすは最も有利なりと信じ、養豚組合並に養鶏組合を組織して共同出荷するにいたつたのはこれ全く受講の賜です。

この講習會参加を以つて一大轉機として自己の精神的、技術的に一大改善をなし消極より積極をモットーとして一路邁進すべく努力してゐる即ち經營法の改善を圖り、所謂、多角形農業の實を擧げ、収入を増し經濟の餘裕を生ぜしめ、眞に自力更生によつて一實行組合或は一村に及ぼすべく先づその第一歩として縣農會發行の農業日誌によつて記帳を實行し、餘剩努力を公平に分配し、その結果として今年度より多角形の一角として西瓜栽培を加へ現に十分の成果を得て邁進の礎を作りつゝある。また果樹園藝においては従來の柑橘、梨の外、栗一反歩、枇杷百本を栽植し、特に前記、梨栽培に於ては害虫驅除、施肥等十分に留意したる結果、佐賀市場において優秀なる成績を収めた。

更に經濟試驗田を設置し自給肥料の範を示し、栽培の改良等に努力し現に昭和七年一月の産米品評會には一等賞を頂き、その外麥作囊袋等には共に試作田を設置して品種の統一、並に多收の目的に邁進し、成果を収めた。

農業改善を指導したる事實としては、佐賀縣農會主催の下に郡農會を中心として一意今日迄努力したのである。即ち農産種子の共同購入、農産物共同出荷、品質統一、マーケット開催、研究田設置、米麥、囊袋、競作會等である。

自力更生を知る

佐賀縣佐賀郡 野口藤太郎

い、まづ本山理事長の老軀を掲げてわれ等土を愛する農村民のためいろく御指導、獎勵されることに感激しました。

ロ、安城農民と色々諸機關の連絡がわれ等農村より範をなしてゐること、諸機關と農民の一致協力その實を上げつゝあることも同様である。

▽

私の經營に加へた改善としては次のやうである。

イ、稲作肥料の金肥減少のため、有畜肥料の必要なることに目覺め養豚を行ひ養鶏は着々準備中。

ロ、今までの農業經營を一變して有畜多角形經營法を行つた。

ハ、餘剩勞力に目覺め農閑期は菓細工、花園を培ひ養蠶の飼養に務む。

ニ、能力増進のため講習講演は出席の貫徹を圖り成績良好である。

無限の感化

佐賀縣杵島郡 北有明村遠江 關 忠 次

會期前一日濱寺公園の農業博物館を見學して富民協會が如何にこの農村問題に對して尖端を切つて進まれつゝあるかを痛切に感じた、その内容の充實完備筆を俟つ迄もないことだ。

安城の生活の第一歩を踏み出して――まず眺めた赤松の信用組合――共同の力、これだ。私はさう叫ばざるを得なかつた、日本の精農家板倉氏宅において親しくその經營振りを見學實習して體得する所が多々あつた、曰く多角形の經營法、曰く勞力の合理的分配、曰く自力更生主義、自給肥料の多産多用等々、しかしてこれが碧海人士の等しく實行要目たることは言を俟つ迄もないことだつた。

世の視察者の言は恒に後者に重きを置くかの如くであつた。しかし私は後者のみにて日本デンマークの名を故あらしめたと叫ぶは餘りに輕々しいことではないかと考へるものである。如何にその經營が上手であり

將また合理的であるにしても、彼の碧海から共同の二字を取去つたならば……危い哉、日本デンマークの名を捷ち得ることは出來得ないであらう。

碧海郡に入つて目に映る物、それは祖先の功勞者に對する碧海人士の敬虔の念が如何に厚いかである。碧海の將來を微笑まじげに立つ偉人の像または記念碑に係つて朝に夕に碧海青年子女の受ける薫陶は如何ばかり、外來者しかも短時日の旅の者でさへ一種いひ知れぬ感懐をこの像また記念碑によつて受けしことが大であつたか。

これ等に大なる感化を受け、また大なる希望を抱いて郷里へ歸つた私はわが村の現状をまざ／＼と眺め慷慨の涙にくれざるを得なかつた。

明治用水こそないが天恵の地に……水稻の如き無肥にても二石五斗以上の收穫は優に出來得る地であるわが杵島の地、佐賀縣が如何なればこそ日本デンマークの名を捷ち得ること出來なかつたか、等々考へ及ぼす時に切齒扼腕せざるを得ないのである。

前後三回七名の修了生の躍動が果して如何に展開し他を指導して行くか、縣下農村の等しく待つ物はそれであらう。

農村研究會を組織

佐賀縣三養基郡 南茂安村 副 島 彌 作

イ、私は以前より協會報その他協會發行の書の大部分を購讀し常に協會殊に本山理事長閣下に對し仲心感謝致して居りました所今回の講習會において親しく尊顔を拜し靜かに考へるに新聞社長たりし本山先生が何等關係のないわれ等一水吞百姓に對し莫大なる金を投じて御指導下

され、またわが農業界に眞に同情下されその更生に努力下されしことを思ふ時、如何にわれ等講習生の任務の重大であり、また自覺の如何に切なるかを痛切に感じその恩に對してもわれ等の身心は一時に戰かざるを得なかつたのであります。

ロ、板倉農場實習見學において彼の板倉氏一家の勤勞主義には感動せられ彼と己とを比するに如何にわが働き方の足らぬかを感じた、農民はその辛苦を歎く前に先づ勞働だと貴い獲物を得るに至つた。

ハ、われ等農村青年の自覺及び社會また政治的知識の如何に急務なりしかを感じました。

▽

歸郷後自個の經營に對しては肥料の自給として今まで見捨てられてゐた牛乳會社の牛糞を貰ひ受け、村全般としては

イ、當村青年農事研究會を設け青年の自覺の途を開き會員十五名毎月一回例會、農事、社會、政治的研究互評を成す。

ロ、肥料自給策として屋外堆肥の奨励と實行に努めてゐる。

長 崎 縣

尊きこの薫陶

長崎縣北松浦郡 御厨村御厨 杉 山 清一

憧れの安城に第一歩を踏み驚いたことは、登校せる女學生は勿論女子達が町へ村への小用まで自轉車で走る所謂自轉車の社會化、生活化である。また坦々たる道路はこの大平野を四通波達し東海道線と愛知電鐵とは郡の中央を横斷し、三河電鐵と碧海電鐵とは南北に通じ、明治十三年に開通した水路延長九十里に渉る明治用水の開渠に依つて一萬町歩の

田地は縦横に灌溉され農民の道場としては唯一の地であり、主要農産物は總て組合の共同販賣とし、一に集金、二に賣約の安全を期してゐる。

殊に明治三十五年以來設立された産業組合は今や七十五を算し、一萬五千人の組合員を包容し、八百圓の運轉資金を持つて眞に社會經濟の中樞機關としてその使命を果し、正に産業組合主義の經濟社會を實現せんとしてゐる等感歎に堪へないものがある。實習に際しては板倉源太郎氏一家の實況を視、講義においては山崎延吉氏の政治的に文化的に産業的に渉る農民道の講義をき、われ／＼が天皇陛下の土地を拜借申し上げて新たに生命を作り出し得る尊き職分に眞剣なる活動をなし得るやう強き信念を興へられたものである。ゆゑに魂に銘じて郷に歸つた私は從來不毛の地としてをった濕田に四五名相談つて排水路を新設し完全なる乾田となし、或は養蠶の増殖を奨励して共同販賣を成すに致らしめ、また板倉源太郎氏より愛知旭、旭穂の種子を取寄せ品種の改良に、或は御厨西瓜の品種の統一を力説して共同出荷を奨める等、また自家には從來牛のみ飼育したのであつたが自給肥料の不足を感じ、ために今年更に馬一頭を購入して能率増進と地力増進を圖らんとする等、希望の念は火の如く燃えたが、抱負徒らに大にしてその實績の擧がざるを憾みとする。

しかし講習期間中における實地の見學並に幾多の講義より技術上特にまた精神上に多大の薫陶を受けてわが一身の活路を體驗し貧弱なる私にも將來の進路に一道の希望を増し得たことを本山理事長を始め諸講師方に衷心より感謝の意を表する。

有畜農業を目指して

長崎縣西彼杵郡 瀬川村水浦 田 中 辰 二

さすが日本デンマーク、農業を以て帝國の雄たる愛知縣安城、農業業者の經營を合理化せる點は、十分の敬意を表せざるを得ない。板倉農場縣立種畜場の如く耕地が家の周邊に集團し廣漠たる面積を有してゐる關係上努力の經濟、有畜農業の徹底により金肥の節約、自給肥料の増施等が遺憾なく行はれて農産収入の増加に成功し、一方農産物の加工、特産物トマトの加工等まで行はれてゐる組織的な進歩には全く驚かされた。この農業發展地に足を踏んで實地見學をなし協會の農業改善研究會に參加の榮を得、現在の自分あるを得たのは全く本山先生を始め、諸先生御教導の賜と厚く感謝の意を表します。

不況打開の一端としてまづ家庭の改善より始めることとし、粗衣粗食に甘んじ、勤勞を第一主義とし、一方畑畑遠隔にして堆肥の運搬に非常の勞力を要するから耕地周圍の青草を刈取り一年數回に亘つて堆積し約一千貫づゝの堆肥の増製に努め、また牛豚鶏等に依る厩肥増製をなし、これと併用して自給肥料の増施に依る金肥の節約をなす。本年の如きは水田においては金肥わづか二圓餘に過ぎない。今研究してゐるのは當地特産の西瓜栽培である、講習を了へてから七ヶ年目には反當二百圓實收に成功すべく適進中である。また露地メロンの栽培過去五ヶ年失敗を重ねしも憶せず研究の結果、芳香味外色共にその特移を保ち一個二百五十匁内外の美果一蔓四五果づゝ着果することに見事成功した、將來益々努力研究する覺悟である、市價平均四十錢位に販賣し得る。副業としては掃立數量年三回八十瓦餘で百二十圓を擧げ豚五頭實收六〇圓養鶏、牛その他の副収入約三十圓等、不況の中にも多少の収入を増加すると公にしてゐる現狀であるばかりでなく勞力配分、事業分擔に依り好結果を収めつゝある。

壹岐の百姓として

長崎縣壹岐郡 柳 田 閣²
田河村深江

わが壹岐は、玄海の孤島であるためか農業が他處とお話にならないやうに遅れて居ります、第一に着手致しましたのが藁藁の栽培です、今迄は赤菜種を畑にまいただけでありましたが苗床に蒔き一回移植し、三回目本畑または水田の裏作に植付け皆で八反歩程栽培して一反歩當り二石八斗七升を收穫致しました。第二に竹林經營の有利なるを考へ昨年十一月十二日に母竹を一畝歩植付ました。成績良好であります。第三に蕃茄、胡瓜、茄子、南瓜の半促成栽培をなし茄子、蕃茄と南瓜、胡瓜の畑作は皆大成績を上げましたが水田の裏作としたのは遺憾ながら、失敗に終りました。それは、春あまりに雨が多かつたためであります、來年からは裏作には皆藁藁をやり畑に南瓜、胡瓜を栽培する考へです、蕃茄の栽培は成功致しましたが、販賣には失敗致しました。これもわが壹岐島として販路の關係上無理からぬことと思ひました。しかし來年は必ず成功しなくてはと思ひます。第四にウダの栽培に着手致して居ります、第五にみづげの栽培に取りかゝつて居りますこれもよく出來て居りますが、まだ販賣はして居りません。第六に柑橘栽培です、隣の青年にもすゝめ自分が四十五本、隣の青年が五十本植付ました、これも成績良好であります。第七に柿の栽培であります、二十二本ほど今春植ふました。第八に小麦の廣蒔をやり普通作りの二倍以上の收穫を上げました、第九に米の新品種栽培をやりました、富民協會に愛知旭、千本旭の二種を注文して栽培いたして、いづれも上成績を治めてをります。第十に餘剩勞力の消化をや

附近一般の改善に先立ち自家の改善を必要と認め、成功の實際を見聞させて指導改善化すべく努めてゐる、故に一般民に改善普及の徹底がなほ遠慮なるは、私の不言實行主義のしからしむるところであると共に、本協會に對して實に申譯ない次第である。

多角形農業の一路に

長崎縣北高來郡 古川 勝 秋²
長崎縣北高來郡 田 村

講習にのぞみ希望に燃へつゝ任務を帯びて歸郷し着々とその實行に進みつゝあるが、未だ日なほ淺きため甚だ貧弱である。然し最も顯著なるものを左にあげる。

イ、園藝方面、半促成並に早熟栽培、冬の農閑期を利用して大々的温床經營を水田裏作に供し年中不斷の勞力を兼て土地の利用を行ひ以前より収入倍加を圖ると共に副産物として堆肥製造により土地の腐熟化を圖り一舉兩徳なるを痛感し實行して居る。

ロ、養畜、農業組織を増す農法として多角形的に複式化を圖り牛を飼つて居ります、これ自給肥料を得て生産費を低減し生産物を増加し金融の圓滑を圖りつゝある。

ハ、廢物利用、右に順ずるに人々の等困視する類の下肥を取り總べてを勤勞主義として居ります、これまた蔬菜栽培者には必須の肥料であると信じてゐる。

ニ、普通作物特用作物に到るまで自給自足、勤勞、土地風化の三拍子を加味し他に範たることに努めてをる。

るため、製麵機を買入して養蠶むしろ、かます等を製造し、また製麵機を自製して簇の製造をやつてをります。第十一に青年團の集會等にはかならず農業のお話をして團員に聞かせてをります。第十二に農業に關する講話等のあるときは、多くの青年をさそつて行つてをります。第十三に牛の手入をやつてをります。

學理と實際を知る

長崎縣南高來郡 成 瀬 里 一³
神 代 村

見學中感心致しましたことはさすが日本デンマークだけありまして諸機關と統一と地方民の理解あることです。

信用に購買に販賣、生産、利用に組合組織の完備、經營の多角なること、自給自足等眞に自力更生に精進する一般民は感心の外ありませぬでした。

私の村においては普通單一經營であります水田、裏作として麥作、蠶、紫雲英等副業として少々養鶏、養蠶等極めて簡單なものであります、又以前より苗代が不完全でその結果よろしからず、以てわれわれは斯道の講演會、座談會等を開催しその改良に力め苗代の改良薄播獎勵、手入、害虫驅除、移植法の改良等を行ひたいと思ひます。

品種の選定改良等には居村の採種圃、品種比較試驗等を引受け研究し産米改良には検査法を設けその掛員として品質向上表改良等に努力しました。

麥作も耐病試験、採種圃等を經營して一般の参考に資し實質改善組合

等を組織して品質向上に力めました。農業改善すべき事項としては第一労働時間を大ならしむること、各戸臺所改善、肥料の自給、経営を多角ならしむること、副業奨励、品種統一、米麥多収研究、農具改良と自給自足等に専心努力してをります。

肥料の合理化とは何ぞ

長崎縣南高来郡 山田村 今林 秀 男

私は圖らずも従來の憧憬と希望に充ちた研究会出席の機会を得たのであつたが、講習のために郷里の驛を發する日まで暗黒にとざされてゐた農村が郷里に歸りし今日明るく、灰色に曇りし自己の前途に光明の輝くを見た、これ全く講習會の効果である。講義、實習、見學はいづれも文字通り感激の二字に充たされ限りある筆紙にて現すことは難かしいけれども、その二、三を記さう。

(一)講習中或は實習、見學中に受けたる感激 日本農業の中心地碧海郡一帯の農業についてはかねて書で讀み人に聞き幻の如く空想に描いてゐたが古語にいふ「百聞は一見に如かず」とか一見の後のその合理的且つ進歩的なるに一驚した。農會と産業組合を中心とした指導機關と經濟機關の連絡と活動、農事試験場、農林學校、補習學校を一丸とする農業教育の進歩、食品株式會社鶏肉加工場、養鶏組合の事業と諸施設或は板倉農場を以て代表せらるゝ農業經營の合理化。曰く農業經營組織の基礎を多角形的に置きたること、過去の安城が原を日本デンマークと稱讚を以て呼ばしめたる先人の偉業及び農神山崎先生の精神的教育擧げて數へることは出来ぬ。これ等の地を見て視野をわが長崎縣に向けんに農業經營

の幼稚なる只汗顔に堪へず。徒に農業恐慌の聲のみ大にして叫び他力を願ひ自力的更生の精神に乏しく指導者の聲を馬耳と受け流し一路滅亡の淵に急ぐの姿態を見る。過度期にあると信ずる現在の日本の農業殊に本縣の農業をして將來あらしめん爲に實に今回の講習ほど有効であつたものはなかつたと感激した。

本研究会出席を動機として普通作物並に養蠶本位の農業經營を改善すべく、成鶏六十羽を飼育し、畑地の大部分を占めたる桑園の内老朽なるを整理し、既に一反歩餘の蔬菜園とした。なほ肥料の合理化を圖るべく桑園間作に全面積綠肥蠶豆の條播をなし水田裏作改善のため養蠶を栽培すべく、一町歩の苗床をつくり播種した。又従來幾分の肥料は地方肥料商より購入してゐたが施肥標準調査に基く産業組合配給の肥料を施用すべく既に麥作、養蠶作肥料を申込んだ。

居住部落は農家三十戸にして未だ農事小組の設立なきにより部落集會の際組合の設立を提案し組織すべく準備中である。

教育勸語の精神を奉戴し

長崎市大浦元町 松尾 正 二

感心させられた講演の数々、發達した農産品の加工と貯藏法、また自給自足によつて自力更生の實をあげてをられる板倉源太郎氏の經營にはとりはげ感激の外はありませんでした。農業改善研究會修了後における成績については日も尙淺く遺憾ながら成績と申すべきものがありませんしかしてこれを契機として、今後には經營上の改善、飼料、肥料の自給

家計の節約等につとめ人並外れた勤勞、人並外れた生産、人並外れた節約を目的に教育勸語の精神を奉戴して邁進の覺悟であります。

熊本縣 交換經濟の逆流に立つて

熊本縣肥前郡 清水村 高平 渡 邊 勲

安城、何といふ平和な町の名であらう、一歩足を踏み入れば感慨無量の土地である、見渡す限りただ廣漠たる荒野は今や肥沃の土地と化し青緑の稻は今迄の農民の苦闘の跡を語つてスク／＼と生長してゐる。この秋こそは見事なる黄金の波を漕はして碧海の平野を賑はすことであらうと想はれた。

労働愛好の念と共同相助的精神に燃ゆる農民の目覚ましき奮闘振り、一村一町に至るまで實行組合、産業組合の設立はいふも更なり共同販賣購買等の事業の進展は實に物凄く、日本デンマークの名も亦當然のことだ、要するに一家を富し、一村を繁榮ならしめるのもわれ等の奮闘如何によるのだ、一致團結して不況のどん底より憤然として立上り、老も若きも手に手を取つて農事研究の必要であることがハッキリ判つて來ました。

愛知縣立種畜場は私の一生忘れることの出来ない所であります。有意義なる講話の中に畜産農業のいかに重大であり、現今農村が不況に苦しむ原因の一は単一農業であつたといふことをしみじみ感じました。現在の農家は多額の金肥を購入して肥料代に働かねばならぬやうな困窮な立場にあるのです。これで何として農家が立ち行かう、日に進み月に進み

行く今日、生活は複雑となり支出は高まる一方であります、こんな現今の有様であるからなるだけ金肥を節約し自給の肥料を使はなければならぬのです。自給肥料を作るには有畜農業をやらねばならぬ、畜産を大いに盛んにしそれより得たる肥料を肥培して田畑を肥沃ならしめて、農産物の増收をはかり、これ等より得たる副産物は金にかへて、金融を計る自給自足で交換經濟の縮少をやり大いに一家の繁榮をはかつて現今の不況を打開せねばならぬことが教へられました。私はこの講習中受けし感激は一生忘れることは出来ません。農は神よりさづけられた使命であると感じし以て感謝の生活を實行してゐます。

大分縣 稻作改良に進む

大分縣玖珠郡 森町 岩室 梶 原 景 喜

安城は實に秩序整然として指導機關、經濟機關の完備せる、亦より良き指導者の多き所で實に敬慕するところである。山崎先生を初め自ら犧牲を以て任する農會長岡田氏、個人經營の板倉氏、園藝の權威者吉澤氏今養鶏の高見氏等々眞味の溢れる人格者ばかり上下一致統制そのよろしきを得亦生產品もよく統制されてゐるところ生産より加工へ、加工より販賣へ、順序よく行はれ行く、必ずや價格の向上は以て期すべきである、西瓜、トマトの加工場、安城梨の横山村、板倉氏の多角形にして自給自足何一つ到らざるなき經營振まつたく一道の光明を興へられまだ若き力の集ひなるわが村にも近き將來に於てより良きデンマークの實現を見るべく努力してゐる。

本研究會出席を動機としてその經營の上に加へたる改善の事實とその成績

一、第一着手したのは水稻多收穫である、以前よりも大いに研究してはみたが、わが信條として計畫し又は郷土に最もよく適したる品種を作り出すことを目標とし、これが基礎として品種の統一を圖り、人工交配もしてゐる。

二、養鶏を初めた、私の村には養鶏家が居ないので販路の開拓上割合に好都合に行きさうです。

三、自給肥料の増加 天然の生草を利用し、畜産を倍加して有効なる自給肥料を有り餘る程作り、更に肥料の講習を受け書物も讀みて造成肥料、堆肥、厩肥、木灰等、昨年の倍以上である。

四、自給自足を以て農村不況の打開を成すべく凡てに入るを圖り出るを制する分度生活を成してゐる。

居宅附近の一般農業改善としては

一、農事實行組合の改善を圖り農産具の機械購入と共同作業に手を染め自ら進んで米麥主任となつて品種改良と統一を圖り價格の向上、調製に大いに力を注いでゐる。

二、従來の厚播を薄播に獎勵して、現在においては反當播種量概四升とした、それで本年は丁度よい位であつた。手島先生の健苗を作れといふ御言葉が痛切に感じられる。本年の成績のよいことは他村の大いに羨望となつてゐる。

勤勞主義を掲げて

大分縣速見郡 渡邊 悟

▽
歸宅早々村や各方面よりの御求めで農業改善研究會報告書を作製して一般に配布し、更に村男女青年團主催の研究會報告講話會にて十分に日本デンマークの農業状態を説いて、特に同地の組合状況、個人の勤勞の状況等を詳説して、日本デンマークは勤勞と、共同の二つの同地々方人の持つ大きい心の結晶であることを報告しました。

終始感激して

大分縣北海部郡 高橋 忠信

イ、先づ農業博物館の雄姿を見上げ、また今度の研究會御開催の御趣旨を思ふ時、本山理事長閣下が如何に那家のため、ことに農村のため御盡瘁下さるかをおもひ、滿腔の感謝と一層の重責を感ず。
ロ、都築翁が十八年間の惡戰苦闘に初一念を屈せざりし不動明王の如き忍苦と尊き犠牲を思ひ、この意氣と信念にてことに従はんと深く感ず
ハ、板倉氏の舊主に對する報恩の美譽。
ニ、同氏の謙讓なる態度に、これこそ眞の篤農家なりと痛切に感ず。
ホ、共同組織の完備と統制の取れてをりしこと。
ヘ、瘠地を今日迄なせし祖先の努力と、子孫のそれに背かざる勤勉。
ト、上の指導と各自の共同的義務心の旺盛なること。
チ、板倉農場の留意しつゝある地力増進に對する努力とその實績。
リ、同農場の徹底的自給主義と廢物利用を見、世の中に廢物なしとおもはしめらる。
ヌ、研究心が總べてのことに旺盛なること。

講習中或は實習見學中に受けた感激として

イ、經濟學博士阿部先生の眞に青年の憂國發憤を促す御講義は特に感銘深く、殊に終了解散に際して安城驛出發の際先生は態々ホームまで出られてわれ等如き者の車中からの御別れに一々御答へ御見送り下さつたこと、先生の御人格の顯れと存じます。敬慕の念を深くしました。

ロ、板倉農場にて御主人源太郎氏始め御家内のわれ等に御指導下さるとききの服裝、清々しい源太郎氏の手縫のシャツ、モ、引、手作りの足中ばきのいでたち、われ等は一口も同氏の成功法を聞かない内に成程こゝだとおもひました。老翁よりわれわれはよい規範を示された。なほわが自宅の經營に比して、あれだけの人数でよくあんな大規模な經營が出来たものだと思ひました。

ハ、縣立ではあるが獨立的氣分ある、岡崎種畜場の經營ぶりに驚く、三十人で十八町歩、畑一人當り六段歩の耕作、口でいう大能辯者の言葉より無言の教訓がよく胸中にひびきました。

ニ、講習合宿中協會では青年の意志を尊重せられて自由に解放されたので愉快な生活が出來ました。

▽
研究會より歸りて二旬未だ成績表れず、なほ改善もこれより加へんとする時季でありますから改善をこん後行はんとすることを申上ります。

イ、起床は一時間早起口、十月より翌年三月まで夜業を續けること。
一、夜二時間の考）ハ、自給肥料を特に馬力を掛けて製造すること。
宅地利用をなすことホ、稻田養蠶を續けることへ、家畜飼養を續けること（原野を利用して牛を多く飼養し優良仔牛の生産に努力すること）
ト、現在行ひつゝある養鶏をもつと合理的になすこと

▽
研究會出席を動機としその經營上加へられたる改善の事實並にその成績として

イ、經營を有畜化せしむ。牛一頭、鶏二百羽を目標となす。
ロ、交換經濟の部分を極力節減し、努力肥料食料を全部自給することを目標となす。

また居宅附近の一般農業改善を指導されたる事實並にその成績としては生產品の共同販賣。撰果機を購入し、共同出荷等。

勞力利用の合理化

大分縣大野郡 甲斐 榮馬

講習中、橋本博士の講義中に新時代の農業經營上に經營の合理化、農業經營計畫、經濟計畫、基礎調査の必要と目家用品の自給自足、市場の景況に應ずることを教はつたが、有畜農業はこの意味において適切なるものである、交換經濟の合理化、統制經濟の必要、年次計畫を設けてこれにより實行して行くことが緊要であるとおもふ。つぎに西村主事殿の御話により富民協會の業績の擴大なることには實に感銘のいたりである。米、小麥の多收穫獎勵、試験農場の經營等 直接農家に當ることが、他の縣及び政府の方針と異つてゐることを痛切に感じた。つぎに赤松信用購買販賣組合の内容の充實してゐること鶏卵の共同出荷につき、集卵送荷、荷造等總て組合員の一致協力して組合の事業と發展に努めつゝあること、また今養鶏組合の事業の發達してゐる少しのむだもなく、萬事に周到せる設備と組合員の熱心なる共同精神、創設當時萬難を排して努力した結果が今日の模範優良組合であらしめること、また折目六右衛門氏

の三十三歳より農業技術員として農事實行組合の經營に不屈の精神を以て邁進されたこと、山崎延吉先生の農村自治講義中自治制發布の由來より國家の政體更に家庭經濟に互つての話、つぎに安城農林學校長富田文雄氏の講演中、農業教育發達の必要(山崎中心教育運動)中學校の教育より社會教育の必要、木晋七郎氏の講演中に有畜多角形農業、肥料の配合と自給、食料の自給、土地の二重、三重利用、廢物、殘存物の利用、農産物の加工、種畜場において養蠶養鶏、養豚等多角にして有畜農業の範を示してゐること、つぎに阿部博士の講義に日本は最近極く暗黒の世渡りをして、指導者が道にまよつて暗夜に無提灯の状態であつて彼の滿洲事變はわが國の目標を表した根源であるを知つてわれ等青年の氣は躍動せずにはなかつた。

▽ 本研究會出席を動機として經營を改善したことは一ヶ月平均使備人夫三十五人を二十人にして十五人は努力の分配畜力利用をするやうにしたこと、青草刈を志して自給肥料の製造堆肥、二萬貫の製造を計畫して毎朝青草を刈り込んでゐること、一家族全部皆の人が出來得るだけの仕事(適業)をなすやうにして實行した。父は牛を飼ふ、母は子守と仔牛の管理、妻と常備人夫と私は毎日田畑で働く(豫定通り)飼養牛十四の成績は未だ學らないが一番に人夫賃十五人分金七圓五十錢は全部預金になるやうになつた。また堆肥も金肥一ヶ年六十五圓を二十圓位で止めることが出來るとおもふ、また作物の作付反別等は今年度の麥小麥の播種期に大方針を樹て耕地の變更を行ひ自家用品の自給自足をはかる計畫である。

▽ 研究會より歸宅後僅かに一ヶ月のため附近農家の改善を行ふといふて

芋)を栽培して一意改良に努めてゐます。

▽ 居室に適地あれば副業として養鶏を行ふべく養鶏舎を作り、更に果樹を植ゑ、一歩一歩多角形に進めてをります。大根の如きは昨年優良種子を分配し七反歩の栽培を試みその成績良好な結果、近所の人はわれもくと申込み今年はその反別三町三反歩になりました、従つて一面廣い原野は青々とした大根畑に變り相當な利益が擧りました。

畜産を取入れて

宮崎縣南那珂郡 小坂武次²
南郷村谷之口

講習期間中諸先生のお講話は勿論有益なことばかりで、私等にとりましては一生の刺戟劑でした。中でも板倉農場と、種畜場において受けました感激は今なほ私の頭を往來してをります。勤勞鼓吹と有畜農業經營の有利なるを力説された場長のお話は農業恐慌等の言葉迄で聞かされてゐる現代においてはこの上もない教訓でした。

▽ 歸郷致しまして直に子豚を二頭買ひました。今では成豚となり少からぬ肥料の自給を得てゐます。將來は子豚により頭数を増した最も能率の上る鶏を飼育の計畫で現在注文中です。

碧海郡農業で羨ましく感じましたのは、組合と農會の活動が盛んなことです。これは直ちに私等としては實行出來ませんが將來の希望は十分もつてをります。私の地方は日本内地で最も温暖な地であります。ですから適地適作を主眼として現在の經營に新方面を開拓し、如何なる

もさう速に實行の出來るものではない、しかし附近農家に自家の家計調査の實行獎勵、勤勞日誌記帳、收支計算の實行を奨めて月に一回宛集會座談會を催すことを計畫した、毎月十五日の夜に青年支部長宅(小生方)に集會して特に農業の話をする。

多角に生きる經營

宮崎縣

宮崎縣兒湯郡 横山光春¹
郡於村長園

谷本富氏、橋本傳左衛門氏等諸講師の講義、いづれも感激させられたが山崎延吉氏の講義ほど身にしみんと感じたものはなかつた、わが國は道の國である、神様には神道あり、人間には人道あり、武士は武士道あり、農民には農民道あり、昔の武士道は今の農民道である。一旦ことあれば國家の干城となり、國民の生命財産を保護するものである、自重して農民道に立ち職業を尊重し、富民強身は富國強兵なり「富國に只農業あるのみ」との言葉はいまに忘れることの出來ぬことでもあります。つぎには板倉農場の經營とその板倉氏と住宅の質素、勞働能力と勞働日數、有畜農業、多角形の農業等心臓の高なるほど感激と敬服の感で充たされました。

▽ わが村の農事は昔ながらの農業であつて、一村畑多くして水田八分通り濕田であります。従つて裏作としては作つけ出來ず、畑を主として一戸平均一町二三反耕作して主用作物としては、四十戸よりなる六町歩の茶園と大根であります。それで研究會修了後は茶二反歩、桑二反五畝、残りの八反五畝は普通作物(陸稻小麥、裸麥、大根、西瓜南瓜甘藷、里

不況といへども轉ばない、力強い經營法を旗印にまつしぐらに進みたいと思つてをります。

用畜と農産加工

宮崎縣北諸縣郡 永山利夫²
中郷村安久

實習、見學中の感服致しましたことは次のやうです。

イ、貴會のわが農業界に力を注ぎ下さること

ロ、安城地方の農業經營が合理化してをり且つまた農業組織の統制されてゐること

ハ、農業指導機關としての愛知縣種畜場長の勤勞等

▽ イ、歸郷後早速畜産を加味致しました。仔豚四頭を買入れ、約八ヶ月肥育致し賣却致しまして從來まで全くなかつた新収入として、仔豚を肥太させる趣味の内に四、五十圓の御金を得ました。その上以前は二里位の町まで人糞尿吸みに行つてゐたのを豚尿で充し得るやうになり、非常な努力を得ました。割合濃厚飼料を用ひる關係上その効果は全然劣りません。

ロ、以前まで田畑二町九反を耕作し大抵な雇人をなしてゐたのを止めて、耕地を半減し、自家努力にて済まし、從來の直線的農業經營を米作を中心に畜産、園藝、加工等を加へ年中の勞力分配をはかつてゐます。しかしながら面積を縮小しても雇人を全く入れないので以前より間斷なく多大忙を感じてゐます。

去年の講習は僅な時日の間であつたが、農業の進歩せる現地たる安城

で農業上の信念を興へて貰ひましてなすことが總て面白く且つ良成績であります。

ハ、加工と致しまして大根の澤庵漬を致しました。今まで生大根にて一本四厘位に賣つて大根が十倍の四錢、五錢となりました。

▽ 居宅附近の一般農業改善をはかりましたこととしては農村の共存共榮をした、か講習中に拜聴致しましたので従来までは小組合すら出来てゐなかつた小生の村に早速一、三人とはかり産業實行小組合を組織致しましてまづ肥料の共同購入及び共同配合をなし良成績を挙げました。

又以前まで當地の産物中の里芋、唐芋等を各個人が仲買商人に販賣してゐましたのを、農會等の手で共同出荷を昨年より施行致し三倍位の收入になり益をあげました。

青年支團農業部の設立

宮崎縣西諸郡 丸山了三
高原村浦幸田

私は講習中より、折目氏の組合完成の苦心努力忍耐の心を心とし部落の組合を必ず完成して見せるぞといふ堅き決心をもつた。山崎先生の御中偉大なる仕事の裏には必ず大きな犠牲があるとの一言が強く胸を打ち自己の一生を捧げて農村振興のために進んで尊い犠牲者にならうと決心した。なほ松本喜作翁より日常生活百般にわたつて細小と思はれることを忽にせずといふあの精神をつかんで一家興隆をはからうと堅く決するところがあつた。橋本博士の話を承り、餘剰努力のいかに農業士大切な價值を持つてゐるものあるを知り働き方について今までとは全々考へ方

ることが多い。

(三) 記帳の實行 農業日誌、月豫定表、肥料部、公租公課部、農具購入及修理部、日常生活費部の四部にわけた金銭出納簿の記帳實施により豫定生活の面白味が出て將來の目標の立ち得る自信生じた。

▽ 居宅附近一般農業改善指導の事實は

(一) 自給肥料増産の奨励、農事實行組合長にはかり組合別(當部落は三組合を以て聯合會を組織す)に麥作前各戸二坪を目標とし堆肥製造の競争をさせ審査により賞與を附することとした、め各自山野田畑の畦畔等より盛んに原料を集積して勉勵これにつとめ見るべきものがあつた。その他青年支團農業部の創設を開設し、薬細工、自給自足講習會を開催して自給自足に進んでゐる。私自身としては各部落の青年支團定期總會に夜間を利用して出かけてゆき既に三ヶ所講演會を開いてもらひ共に青年と膝を交へて大いに農道に精進することを誓ひかつ富民協會の眞精神を知らしむることにつとめつゝある。

隣保團結の精神で

宮崎縣東諸郡 鈴木一俊
倉岡村大字系原

折目六右衛門氏の農業實行組合。氏は如何にして今日の如き完全なる農業實行組合を完成したか、私はこゝに學ばねばならない大な根本問題を痛感しました。

氏は村民に對しわが子に對する愛その物を以て總てをなされた。こゝに農業實行組合の根本精神が秘められてゐるのではなからうか、村民あつての組合で中心はやはり村民その物にあることだ。したがつてその村

がちがつて来た、そして自給自足を足下から實行すべく心に誓ひ、更に「農業を計画的にやらうとおもつた。そして阿部博士のお話にいたつてわれわれの目ざす眞の理想農村の姿がつかめた感じがし勞働すなはち藝術の三昧境に入るべしと聽いて同じく感涙流るを禁じ得ず、自己の使命感を強く感じて獨り心に誓ふところがあつた。なほ富田先生より碧海の農業のお話をき、教育の力のいかに偉大なるかを痛感した。

また實習見學を通しては飯倉翁の農場において眞の自給自足、多角形農業、勤勞愛好の農業の眞髓を觀せつけられ、また「考へ方がたらぬことを痛感、仕事そのことに没頭しそのものを凝視してもつと「考へをめぐらしてかゝらねばならぬとおもつた。更に岡崎種畜場における有畜農業の實際を視て眞の有畜農業たらしむべく改善努力せんことを決心した。

▽

研究會後の經營改善事實とその成績としては

(一) 計畫實施月行事を月の改まる前後家族備人全員合議審議して作表揭示し、更に夕食時全員合して晴雨兩様の明日の仕事を決し農業日誌に記入して豫定と實際との近接をはかることとした、その結果各自自己の仕事を目録し目標明かなるため終日愉快に且つ能率あがりて従前の約三分の二の仕事の増加を見た。

(二) 堆肥麥作前五坪増製計畫毎朝かゝさず馬による草刈をやり、なほ籠草刈も毎朝一人若くは二人づゝ勵行し塵だめの整理をなして厩舎後方へ積込むことを實行したため秋蔬菜栽培後もなほ三坪の堆肥残り前年に比し秋蔬菜のみにつき金肥は三分の一ですんだ。

(三) 圖式輪作付書製作 水田裏作として裸麥、甘藷、綠肥、玉葱等の畑作、小麥及び各種蔬菜作付を圖示することにより作業上便宜を得

民の氣質に應じ最も適合したる計畫のもとに村民もれなく皆組合を利用出來得るやうに平凡的なる組織たることの必要を痛感しました。山崎延吉氏の農村自治の御話の中に隣保團結の言葉がありました。凡ての人は一人のために、一人の人は凡ての人のために盡す隣保團結の精神が自治の根本で而して自治を圓滿ならしむるためには村會の機關となる議員の選舉に十分注意し人物の人を興げることの必要を感じました。

あの有畜多角經營の模範者飯倉農場を視た時これが眞の百姓私共の進むべき經營法だと心強く感じた。この經營法と自給自足を徹底したならば必ずや、わが行詰つたと稱せられる農業の進展復活も極めて容易であると信じました。私共の生活及び經營上に如何に無駄多きかがこの農場で愈々判然とし一時も早くわが農村に立歸り、先づ第一にわれ自身の經營より改善の歩を進めたい氣持で一杯であつた。

▽ 歸村後未だ日淺くして一般農家を改善した事實はあがりませんが、各々集會の都度一般に私共の今後改善すべき事を眞剣に語り改善の第一歩をふんでをります。

以上余りに簡單であります但感激の一端を申のべまして今後自ら改善の先導者となり貴協會の尊き主旨に沿うことを堅く誓ひますと共に將來共層々御指導下されますやう御願申上します。

鹿兒島縣

合理的肥料配合の急務

鹿兒島縣薩摩郡 濱脇盛藏
大崎村横瀬

講習中實習或は見學中に受けたる感想としては

- 一、各團體の系統的なることその他諸般の設備、完成せること
- 二、居村に比して遙に地味(耕土)の劣りたること
- 三、愛知縣立種畜場の粘土質のやせた耕地であるのに作物生育良好なりしこと、その他經營地の廣漠なりしこと
- 四、居村が將來發展策に可能性を持ちしこと

▽

本講習會を動機としてその經營の上に加へたる事實並にその成績

- 一、居村としては鹿兒島縣の北海道と唱へられる程廣漠たる耕作地ではあるがその收穫は僅少である。この點に留意して村農會と相謀り冬季休耕地利用を行ひ、一面水稻増産をはかり、小麦作としては從來反當八斗位の實收なりしが今は現に二石五斗に達し水稻作としては一石八、九斗の實收なりしが肥料合理的配合並に深耕耕作會によつて土壤の深耕をはかりて今日に及んでゐる。
- 二、努力を利用せんがために副業組合を設置して製氷、筵、繩の生産に務め年二百圓位の収入を生産し、組合製産高としては實に年六萬俵を算するに至つてゐる。

▽

居村一般特に本縣内農村としては水稻作の肥料としては獸骨粉反當十二貫施用の習慣があつたのでこの弊を改め「合理的肥料配合」の急務なるを説きて今は所々にその配合を見るに至つた。

農村の機械化

鹿兒島縣始良郡 上野 光²
横川村

農業改善の第一歩としては、詳細記帳してこれによりて改善計畫を立てるとの緊要なるを確信し縣農會より「わが家の日記」帳を購入なし輪作の状況、生産表、作業日記、現金出納、現物受拂ひ等詳細記入してをります。

▽

これによつて労働調査をなし農事繁閑の差をなるべく均等ならしめ、且つ餘剩努力の利用に勤め次年度の改善計畫を立て、一步々々農業改善に努力致してをります。從來普通作偏重經營であつたが單純なる經營組織の農業は危険なるを痛感して研究會終了後直に左の二、三の事項を組織内に織込みました。即ち養鶏、蔬菜は自給を原則としてやりその他講習中に畜力利用のいかに作業能率の増進上に必要であるかを痛感したので、従家耕起の整地等を鋤のみで行ひ來つたのを昨秋畑改良犁を購入なし、本夏除草機二臺を購入使用せし結果、從來の雁爪、手取除草に比し著しく作業能率の増進を來しました。

▽

製繩機は昨秋購入し、從來葉を販賣してゐたが製繩加工しその製繩に際し生ずる塵埃を堆肥として積込み繩の利用厚生に努力研究してゐます

農業改善研究會終了後日尙淺いため特筆すべき改善事項もありませんたゞ益々研究努力し一般農村の先驅者となるべく不言實行、奮勵努力、以つて研究會の主旨に副ふべく猛進致すべく誓ふ次第であります。

一般農家の農業改善を指導したる事項と成績としては水田麥作並に菜種作の間作及び冬季休耕地等に極力綠草栽培の奨励普及に努め、郡農會に御願ひして綠肥種子の無償配布をなし從來綠草栽培者だつた本村をし方法に夫々氣候風土その他凡ゆる事情により自ら異同あるは勿論である私は安城到着當時は肉眼により形式的方面にのみその觀察の重點を置いてゐた。

▽

しかしこれは全く効果なく未だ幼稚な方法で、これは安城なる所以の正體、眞價をよく識ることの不可能なるを知つた。見るべきはその精神的訓練である。

安城こそは農業教育なる効果が年々芽生へ成長し、しかも一致團結の力により數百年來苦しめられた擧句の堅忍不拔の精神と相俟つて今日の繁榮を來したのであるまいか。講習終了後更に一日を安城の地に過し、赤松部落なる林政一君を訪れた。

氏は第二の板倉氏と稱せられる程の青年精農家、夕刻大分遅かつたが部落の俱樂部で西瓜の共同出荷のため荷造中だつた。にも拘らず遠來とすることで農業經營その他に巨り色々懇切なる經驗等を承つた。氏の經營は有畜農業の多角式で多くこの附近の農家と變つた點はない。しかし談中に氏の奮闘の模様が窺知するは難くない。氏は經營方法よりは寧ろ共同の御蔭で働けばそれだけ効果があり、働き甲斐があるといふ意味を力説されたが、當部落は赤松なる大字を區劃とする産業組合により販賣、購買等實際よく行はれてゐる。

古語にローマは一日にしてならずといふ、こゝ碧海の地もそうだ。こゝ數十年間における長足の進歩發展ではあるが吾人は只そののみを默認するは餘りに平々凡々である。より以前に遡つて考へることも必要、また團結心に富める農民への教育の力にも意を注がねばならぬが、歸するところは「人の問題」といつて差支なからう。人なる哉、有爲の人なる哉。

農業は人の問題

鹿兒島縣薩摩郡 野間 義治³
高江村 高江

昭和七年八月十七日夕一行百三十餘名は憧懐の安城に夫々好奇心を抱き第一歩を印した。今こゝにその時を回顧して見るに第一印象として記述する何物もないやうだ、たゞ蒼々たる田圃のこゝかしこに散在する農家にも何等他と變りはなし。

強ひていへば稍々廣面積の梨畑、西瓜畑が目にとまる位のものだつたわれ等の宿所安城農林校の寄宿舎に至る道中の水田も何等變らず一行には「これしきなら」と失望しみた言を吐く者もあつた。しかし婦女子が往來に雄々しく自轉車を乗用してゐるには流石は安城娘だなど讚嘆の聲を漏らす者が多かつた。

しかし一週間の日程が進んで行くと共にその間吾々の獲た印象及び諸講演は必らず農村不況打解の鍵とし、またわれ々青年の信念をして更に一層強固なものにし農村振興の第一線に奮闘せしめ得ること、信するまたこれが唯一の本山理事長閣下始め協會への報恩の術と信す。これが

堆肥の増製

鹿兒高縣川邊部 萬世町小湊 江 籠 篤

歸省後ひたすらわが家の經營組織の上に改善のメスを加へつゝ努力致してゐます。

まづ私の最も感激したのは諸先生の講演中いづれもこの疲弊せる農村の救済策としては農民の自力更生に待つより外に道はないといふことを力説いたされ、實に私共若き者へ異常な感動を與へました。

またかの安城の人々の一致團結して何事にも當るといふ點即ち出荷組合に或は産業組合にしかもその統制たるや一糸亂れず生産物の販賣より加工に至るまでその設備の完備せることは等またかの全國的有名篤農家坂倉氏の經營振りたるや私共の最も感激せる所であります。しかしてこの有益なる講習を受け自家經營組織を改善致したのはまづ肥料の自給自足即ち堆肥増製の點に努力致してゐます。

煙草・春秋蠶の外に養鶏、養豚の副業を織り込み以て肥料の自給をはかりつゝあります。

また部落の青年同志とはかり雜草の刈取りを行ひ、これを堆肥の材料として堆肥の増製を奨励し、また有畜農業の有利なることを説いたところ今では漸次その氣運に向ひつゝあります。

また水田の裏作即ち麥作の外に早生大豆の栽培法を計畫致してゐます。私共の地方は氣候温暖なる故水田は七月上旬に移植致します關係上、五月下旬に麥を刈り取り三月の下旬に麥の間に早生大豆を蒔きますと立

派な多收穫を得ることが出来ます。それ故八年度は一般にこれを普及させたいと思つてゐます。先づ以上の如き方法で農村開發に努力致してゐます。

X X

府縣調査報告

青 森 縣

中津輕郡大浦村 笹 傳 次郎

右者講習修了後歸郷直に自家農業經營上の缺陷を補ひ専ら經濟的經營の研究に冒頭し取り敢へず自給肥料の製造を奨励し農事改良組合、産業組合を通じて堆肥場を設置し、これが増殖を圖り更に合理的施用方法を指導して實績を擧げつゝあり、その他米の生産費を調査し米作經營の方途につき研究し村内當業者をして益々經濟的生產につき具體的方案を樹立しこれが實行に邁進し相當見るべきものあり、尙農村の經濟的施設につき自ら産業組合長となり産業組合利用の急務を説き組合更生に献身努力せる結果漸次向上改善せられ成績顯著なるものあり。

北津輕郡三好村 開 米 芳 雄

右者は講習修了歸郷後軍隊へ入營本春退營したるのみにて一切農業に干與せざりしが退營後農事改良組合長の職に擧げられ専ら農事改良特に經濟的施設につき研究し隣保改善の精神を以て疲弊せる農村の振興につき献身的努力を拂ひ、近隣に模範青年として目せられつゝあり、産業組合の活動につき青年聯盟を組織し自ら理事に推薦せられ目下これが實施具體案樹立中なりと。

上北郡奥澤村 古 館 松 五 郎

歸郷後採種田畑の設置試作地の増設自給肥料の製造實行、農事養蠶の實行組合の設置、農産物の共同販賣等多角形農業法の實行宣傳に努め地方青年に模範を示しこれを指導したる結果相當見るべきものありて將來を期待せらる。尙同氏は消防組在郷軍人分會等に公職を兼ね盡瘁しつゝあり。

南津輕郡町居村 今 井 權 四 郎

歸郷後水田一町一反歩、苹果七反歩、耕馬一頭、養鶏五十羽、養豚三頭、養兔十匹を飼養専ら自家經營につき研究を重ね第一土地利用、有畜組織に改善を加へ目下實行中なり、なほ居村の農會指導員を囑託せられ家畜組合を組織してその組合長に推され有畜農業の有利なるを實現しつゝあり、其他他家唯一の經濟機關たる産業組合の未設を慨し有志を説き目下組織計畫中なり。

三戸郡向村 工 藤 助 六

主として果樹蔬菜を生産し、これが經營につき附近農家をして經濟的合理的に指導し引いて農家生活の改善、貯蓄の奨励、貯蓄組合を設け一日五厘づゝの貯蓄を斷行して肥料購入基金の造成並に備荒貯蓄の風を養成せしめ農事研究會の設立生活の改善、農業經營の複雑化、特に養鶏、養豚の奨励をなし専ら居村の指導誘掖に奔走す。尙目下設計計畫中に屬するも歸郷後日淺きを以て實績の擧ぐるもの少きを遺憾とす

東津輕郡蓬田村 張 間 龜 男

西津輕郡森田村 七 戸 純 造

右者歸郷後日尙淺きを以て特筆すべきもの未だなし。

宮城縣

栗原郡尾松村 白鳥 重孝

- 一、歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績
- 一、農業簿記の勵行によりてその收支を明にせり。
- 二、多收研究田を設置し、その成績により全耕作田に應用し平均五斗の増收成績を擧げるにいたれり。
- 三、經營上漸次努力配給を合理的ならしむるや作物の種類品種を改廢し收入の増加をはかれり。
- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
- 一、青年同志を糾合し農業改善研究會を組織して多收稻作の研究の外農事一般に關する研究をなしたり。
- 二、部落的に夜學會を開催し、農事知識の普及發達に努む。
- 三、部落共同採種田の經營により品種の更新を斷行せしむ。
- 四、共同研究田を設置し主として多收種研究を行ひたり。
- 五、從來の舊反別を實地測量せしめ、施肥上の便利をはかりたり。
- 六、富民協會發行の新農家日記を購入し、十餘名に記帳せしめ收支を明にせしめたり。
- 七、尾松村農家組合青年部と連絡をとり一般農事の改善に提携せり。
- 八、最近まで村産業組合事務囑託として専ら農業倉庫部の刷新に努めたり。
- 三、修了後の行動成績等につき参考となるべきこと
- 尾松産業組合事務囑託、産業組合宮城支會栗原郡駐在員となりたり

- 明年は細羊三頭成豚二頭を飼養する計畫なり。
- 三、飼料並に肥料自給のため桑園の間作としてヘヤリーベッチー一反歩ザートウキツケン五畝歩、青刈大豆、一反歩を栽培しその半を乾草として馬、細羊の飼料に残は桑園の肥料として施用す。
- なほ混田に對し排水路設備をなし、紫雲英三反歩の試作をなしつゝあり。
- 四、桑園は從來の高木を中刈、根刈、秋蠶の専用改めつゝあり。
- 五、各種組合を利用し購入、販賣をなしつゝあり。すなはち肥料、飼料、種苗等は山の上農家組合の手によつて主として北方村産業組合より共同購入し、また蠶は乾蠶組合に細羊生産物は登米郡細羊畜産組合に、豚、兎、製糞等は村の副業組合によつて賣却しつゝあり。
- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
- 一、農家組合を中心として犁耕の指導並に犁の共同購入をなし、深耕の普及をはかり且つ稻作用元肥の施用期を早め稻作々業の進捗をはかれり。
- 二、卒先有畜農業の範を示したる結果養豚、養兎、養鶏、細羊等を飼育するもの漸次多きにいたれり。
- 三、堆肥の製造は農家組合において框積法により共同施行の實績を擧げつゝあり。
- 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべきこと
- 實父讓次郎氏は農家組合長並に登米郡農友會長の職に在り、また縣農事試験場の委託試験擔當者として二十有餘年勤続し、その他農事改良の功績顯著にして昭和六年縣より表彰せられ同地方における信望大なるを以て修了生の前記事實は地方民に多大の貢献をなしつゝあり。

宮城郡岩切村 庄 司 善治

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
- 歸郷後は卒先農事の改善に努力し、稻作改良の第一歩たる早播早植及び堆肥の製造等とその範を示し成績頗る顯著なり。
- 二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
- 未だ直接指導の職務に携はざるを以て、その成績の實際を具體的に表示することを得ず。
- 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
- 勤勉にしてその農事における活動の状態は近隣の模範とするに足る。
- 登米郡北方村 遊 佐 初 郎
- 一、歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績
- 一、從來は水稻を主として養蠶を従とする經營にして、しかも努力分配を考慮せられざりしを以て、稻挿秧と養蠶努力の衝突を來しために臨時傭入を要すること多く、且つ桑葉の一部はこれを購求するの結果養蠶の採算上全く引合はざる状況なりしを以て、春蠶の飼育はこれを半減して秋蠶、晩秋蠶の飼育をなし且つ稻の刈取期において麥類播種との努力の衝突を調節するため水稻早中晩の作付割合を改むる等専ら努力の分配を企圖せり。
- 二、從來家畜としては役馬二頭なりしを以て繁殖用豚一頭、兎二頭を縣種畜場より柙下飼養するの外養鶏は三十羽となし、本年は更に細羊一頭を増加したり。
- しかしして繁殖したる仔兎二十頭は村農會を通じて配付せり。
- 前項の如く有畜農業となしたる結果從來馬二頭の厩肥生産六千貫のもの、本年は一萬餘貫の堆積肥料を生産し購入肥料を減ずるにいたれり。
- 名取郡館腰村 大友 安治
- 一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
- 郷里は殆んど農を以て業とし、戸數約五、六十戸ありその農業經營組織は極めて單純なる穀菽農なり。
- 1、本村の農業組織の欠陥を考察して現今唱導せらるゝ多角式經營に改善すべく左記の通り實行しつゝあり。
- (イ)畑作經營改善
- 本村においては主として穀菽を栽培し蔬菜類の如きは漸く自家用に限らるゝ、かくては徒らに舊習を主とし農業經濟上得るところの利益尠く、漸次經營難を訴ふるの現状にあるを以て最も有利にして確實なる本縣輸出主要畑作物たる白菜、馬鈴薯、豌豆、枝豆等を卒先栽培したるのみならず同志を以て組織せる農家組合員等を誘導してこれが大量生産に努めつゝあり。
- (ロ)畜産飼育
- 本村においては牛馬その他の飼育極めて僅少なるに鑑みかくては肥料並に努力の經濟上の實を擧ぐる能はずとなし、昨年歸郷以來新に改良和牛、優良なる鶏、兎、蜜蜂等を購入して現にこれが飼養をなしつゝあり。
- (ハ)自給自足の確保
- 現時農村不況對策として自給自足をはかるは農業經營改善上極めて緊切なるを感じ先づ肥料及び飼料の自給策を講じつゝあり、すなはち作物栽培の改良發達につれ現今農村の施用する肥料は徒らに金肥の増加を來たし、従つてその利益減殺さるゝの實狀にあるを患ひて大量堆肥の製造草木灰の生産をはかりたるため、地方に

おいては水田一反歩當り五圓乃至七圓の金肥を施用するに反し僅かに一圓二十錢を以てこれを充たして資金節減の實を見たるが如き或は飼料の如きも従来大豆粕、穀等を購入したるも畑地の周囲または宅地利用等により蜀黍、玉蜀黍等を栽培してこれが充用をはからんとしつゝあり。

また家庭經濟にいたるまでこれを顧慮し従来購入の上使用せる澱粉餡等はこれを自家生産の馬鈴薯、菜豆を以て製造使用し更に前項畜産生産物を以て自給策を講ずる等農家經濟上極めて細心の注意を以て經營しつゝあり。

2、栽培技術の研究

栽培技術の改善をはかりて以て經濟的多收穫を企圖し先づ以て昨秋水田に八寸の深耕を斷行し、これに自給肥料を基本として合理的配合法を實施し成績見るべきものあり、更に麥作においても同様實施する見込なりといふ。

3、副業の實施改善

本村の副業としては従来繩類、筵、疊表、菰等を生産せしも、更にこれが生産増加をはかるの必要を感じ率先して藪の栽培反別を倍加せり。

4、簿記法の實施

本年度事業經營は總て計画的にして、各種作物の設計は勿論これが經費豫算等を樹て努めてこれに準據し、更に財産臺帳その他の帳簿を作製實施し日誌の如きも富民協會發行新農家日記を使用し、なほ本年末においては收支決算を明かにする計畫なりと。

5、勞力の節減

さきに家畜飼育において記述せるが如く畜力を利用して、勞力の節

減をはかるのみならず、更に進んで労働能率増進に副業の獎勵發達をはからんため本年七月クボタ石油發動機、瑞光式脱稈機肥料粉碎機、揚水機等の動力機及びその附屬機一式を購入しこれを利用しつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

1、農家組合の設立

各農會指導に基く農家組合は従来該部落に組織せられざりしも受講者は同志を勧誘して遂に堅實なる組合を設立し前記第一の各項は獨り自己のこれを實施しつゝあるのみならず、部落民にその範を示し進んで組合員を指導誘掖して一致協力これを勵行せしめその成績見るべきものあり。更に現時農村不況對策として副業の普及發達については最も意を用ひ、前記動力機及びその附屬機は獨り自家用として使用するのみならず部落民に使用せしめて勞力の餘剰を得せしめ以て地方副業の發達を期せしむべく計畫せるものなり。

2、出荷組合の設立に貢献

前述の如く畑地利用と多角形農業經營改善を企圖し白菜その他の輸出作物栽培の獎勵をなし、これがため本年はその作付反別を著しく増加したる結果本秋出荷し得るやう出荷組合の設立を見るにいたれり。

3、協同經營の獎勵

隣保相助の實を擧げ、經濟的經營の實現をはからんため協同苗代その他各種作業の協同を唱導しつゝあり、目下まづ産業組合法による購買販賣組合を設立すべく計畫中なり、部落民もまた相當自覺しつゝあるを以て將來相當發展すべしと信す。

三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項

修了生は本校在學中より濃厚勤勉にして堅實且つ優良の成績を占め特に研究心に富み、一般の模範生たりしが富民協會主催講習會に出席後は一層農事改良並に農村の啓發に邁進して自力更生の域に達せしめんことを期するにいたれり。

彼の家庭は地方においては自作農ながら上位の生計を營み、經營者は祖父にして齡すでに古稀に近きも鏗鏘にして自ら肥培墾耕を指揮監督し本人は父及び傭人四人と共に精勵地方稀に見る善良なる家庭なり、殊に修了生の圓滿なる性格と熱心とは經營者の信用するところとなり今日にいたりては殆んどその經營の大部を委任するにいたれり。

▽ 遠田郡富永村 本田 忠 志

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

講習地において有畜農業の有利なるを得得し養鶏、養豚に着手しまた金肥節約の一助として紫雲英、ザイトウキツケン、青刈大豆等の栽培をなし且つ宅地利用として柿、葡萄等の栽植を始めその他自給的經濟確立のため努力しをれり。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

前項は居村の農業改善上必要と認め自ら實行し以て一般にこれを勧め且つ指導しをれり。

▽ 桃生郡鷹來村 菅原 勇 喜

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

農業經營の完全を期せんとして堆肥舎の改良並に鶏豚舎の建築等を行ひをり、また目下不況時にして土地の賣價自然低落せるを利用し新に水田一町四反歩を購入し昨年迄七町八反歩を自作せるも本年よりは八

町八反歩を經營するに至る、更に四反歩の「通し苗代」に全部跡作を仕付けたり。

二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

第二回講習會において受講せる講義の要點並に親しく見聞せる日本デモンマークの稱ある安城町附近の農村状態を或は筆に或は口にして自村當業者並に母校卒業生にこれを鼓吹し以て不況の打開に農村振興に努力しつゝあり。

自村の農會は相當活動し他より模範視せられ居るも尙未だ農民一般は農會なるものゝ眞價を辨へざるものあるを慨しこれが徹底に努めつゝあり。

また産業組合は創立日尙淺きため組合員に産業組合の効果徹底せざるを遺憾とせる折世話係を託せられたるを以て熱誠を傾けその發展に力を盡し居る結果近來著しく進歩し昨秋の決算期の成績はこの不況時にも拘らず資金回収等頗る成績の見るべきものあり、これ素より同氏一人の力にあらざるも預つてその力の大きなることは一般の賞賛によつてこれを知り得るなり。

三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項

農業の經濟的經營法に留意し勤儉力行他の範たるを以て本年四月村農會長より表彰せらる。

福 島 縣

西白河郡關平村 穂 積 博

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

(イ) 居村内の農事實行組合の改善を圖るため第一農事實行組合長とな

り組合の改善を圖り組合員の風儀、時間の勵行等の改善を見たり。

(ロ)水稲、大小麥並に二毛作の栽培勵行に努め紫雲英の採種組合を設け紫雲英の普及と共に種子購入費の減額を圖る等努めつゝあり。

二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

(イ)自家用醬油味噌の醸造法を村内に指導し居村内一般當業者もこれが製造を施行し經濟の一助となしたり。

(ロ)二毛作(田麥)の栽培改善をなし村内當業者は必ず田麥を栽培してこれを販賣しその金額を納税となし以て納税の義務並に觀念の向上を圖らんと本年よりこれを行ふことゝしたり。

三、修了生の行動、成績等につき参考となるべき事項
模範者として村内一般より尊敬せらるる。

大沼郡赤澤村 五十嵐勇雄

一、歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績

従來は米作を主としたる單純なる農業經營なりしも修了後はその經營方法を多角形組織となし蔬菜促成栽培、養蠶、土地の合理的利用、水田二毛作等率先して實行し來りたるも現在における成績は二毛作を除き經營有利の域に達せしむ。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

二毛作の普及、蔬菜栽培の改善、その他特記すべき事項なし。

石城郡高久村 藁谷久太郎

一、修了者歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

イ、石城郡農會自家用醬油醸造の指導をなしその間講習における感想並に彼の地において理想的に經營する農業についての講話。

ロ、石城郡農會主催中堅農民講習會の正恣會員の指導。

ハ、郡農會と共同石城郡農事指針の作成し、その成績優良なり。

二、修了後居村農業改善の指導をなしたる事實及びその成績

イ、昭和五年十月自己部落に眞行農事實行組合(十二戸)を設け事業としては共同耕作と採種圃(計二反二畝)を經營しまた自家用醬油の共同醸造を營み尙各實行組合員毎年四十俵米一俵の貯蓄を實行等見るべきものあり。

ロ、村農會講話會における講話小農事實行組合設立の宣傳と既設組合の活動を促し自家用醬油醸造指導、二毛作指導獎勵をなし村農會の中堅となり、またその實行者として各實共に備はれり。

三、その他修了後の行動成績等につき参考となるべき事項

イ、本人は前記の如き行動に出て萬事率先躬行動儉克く現代の青少年に對し身を以て範を示しその成績實に郷間に冠絶す眞に富民協會の修了生として推稱す。

北會津郡神指村 渡邊 武雄

一、修了後僅か一ケ年にして顯著なる成績を挙げ得ざれば本人高等教育を受けた者に似ずよく生業に精勵しその勤勉なること地方青年の模範とするに足る經營上においては祖先の代より多角形農業を營みつゝあれ共計數的なる資料なきを以て正確に記し得ず。

二、農事實行組合の幹部とし青年團長として郷土青年を指導しつゝあり本人地方の模範青年なるを以て將來必ず地方の農業經營改善指導者として相當なる成績を挙げ得らるゝものと確信さる。

三、以上の如くにして特記すべき事項なし。

安達郡澁川村 渡邊 金吉

一、歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績

(イ)農事研究組合の内容刷新並に實行事項の實際受講を動機として組合の充實を圖り、農村青年に團體的觀念の涵養と農業趣味を増進せしむるやう指導しつゝあり、即ち米麥作の増収栽培地の共同施設、水田二毛作の指導地を設くる外組合員年生産物を基準とした生産貯金を實行しつゝあり、貯金の割合は玄米一俵に對し年五錢、小大麥一俵に付き三錢、大小豆一俵につき二錢、生蠶一〇貫につき一〇錢の割合にて實施し組合員は非常に熱誠なる態度を以て勵行しつゝあり

(ロ)右組合に縣指定紫雲英採種組合の併置、實行組合の副業として専ら採種に努め成績初年度として豫期以上の結果を示したり本年五月に設置せるが採種總量一石四斗にしてまた種子の優秀なる點は他に少なく一般當業者より申込殺到せり、本年度は更に三名に達せしむる如く指導鞭撻せんとす。

(ハ)農談會、座談會の開催
本春二月近隣五町村の精農者を集め小學校において農談會開催、出席者二〇名に達し尙傍聽講者六百名に及び盛況を呈したり。

座談會は年四回村内を三方部に分ち實施し御互ひ農業の智識の發揮に努め一回出席者三百餘名に上れり。

(ニ)紫雲英並に二毛作の獎勵指導
紫雲英は昭和五年度同人始めて栽培しました二毛作をなしたるもの同じく昭和五年度に同人と他一人あり、後逐年増加を示し次の如き成績を收めつゝあり。

紫雲英 麥作二毛作 栽培者二毛作

昭和五年度 五畝步(修了生) 五畝步(二人) 一

昭和六年度 二三五圓五〇錢

本年度 一八二圓八〇錢

六年度上半期 農業収入(農業生活費を) 收益

七年度同 九四二圓 四三五圓 五〇七圓

九九五圓 三八七圓 六〇八圓

(イ)有畜農業の前提として家畜の飼養により自給肥料の増殖改善を圖り歸郷後更に役馬一頭、家兎數頭を増したるために昭和六年度より堆肥製造高において本年度は八〇〇貫を増産せり。

(ロ)土地の集約化について

紫雲英 水田 桑園の間作 收入概算
裏作 二毛作 綠肥

出席前 五畝步 二畝步 一反步 二反五畝步 三〇圓
出席後 三段步 一反五畝步 一反步 三反五畝步 八五圓

この外紫雲英採種について見るに出席前においては採種量二斗一升なりしが、本年度は三斗四升の生産量を見一般當業者に分譲したり

(ハ)作付情況について見るに出席後に於てはこれまた數段の改善をなし殊に水稻小麥の經濟的増收に意を注ぎ成績顯著なり。

水稻(全耕地平均反當) 小 麥 大 麥
昭和六年度 三石七斗八升 一石二斗 四石一斗
本年度 四石二斗(見込) 二石七斗 四石四斗五升

(ニ)金肥の購入期を研究せし結果本年度は一般當業者より二割八分低價を以て入手し生産費の低下に努めたり。

買入總額
昭和六年度 二三五圓五〇錢
本年度 一八二圓八〇錢

(ホ)兩年度における農業収入を見るに左の通りにして受講前に比し遙かに農業改善の實績の擧りたるを推測するに難からず。

農業収入(農業生活費を) 收益
支出(含まず) 四三五圓 五〇七圓
六年度上半期 九四二圓 四三五圓 五〇七圓
七年度同 九九五圓 三八七圓 六〇八圓

同 六年度 七町歩 三反歩
同 七年度 一八町歩 一町歩(見込)

かくの如く急進なる普及をなしたるは實に驚く外なく將來これが改善發達を指導するものなり。

(ホ)副業の奨励

當村唯一の副業なる柿の植樹は現下の情況より見て極めて適當なりとの見地より、これが普及徹底に努力し農會と相連繫し品種の改良と荒廢桑園の利用、宅地利用のため目下精進しつゝあり、尙生柿の共同出荷に相付つて品種の改良につき善後策を目下本村農會要路者と協議をなしをる所なり。

(ニ)青訓生に農業知識の注入

第二の國民の青訓生に對し農業の改善一般について時に時間を見教育しまたは實際に見學をなさしめ教練の實際化——生活化の點に一層の効果を修めしむるため腐心努力中なり。

三、修了生の行動、成績等参考となるべき事項

産業の改良上について總て青年の模範となり良く指導し成績優秀なり

相馬郡八幡村 藤 卷 幸 一

一、歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績

イ、農業組織の改善

從來米作を主とし、養蠶を副とせる組織なりしも、歸郷後は更に牛一頭購入し養蠶を營み蔬菜園藝を加味して多角形の農業組織となしその成績頗る優良なり。

ロ、品種の改良

從來地方的慣習によりて總て在來種の栽培多かりしも悉く奨励品種

に改良し、しかして附近農家を指導しその普及及び狀況非常に佳し

ハ、小麦栽培法の改善

經濟的増収栽培法を研究し反當四石の收穫を見たり。

二、終了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

イ、青年團及び農事實行組合の集會において講習中において得たる農業改善事項につき講話せり。

ロ、農事實行組合の役員となり組合指導の任に當れり。

三、その他

イ、青年團幹事となり、しかして農業部を擔當し農業經營改善につき青年團員の指導をなしつゝあり。

双葉郡大野村 杉 内 進

受講後日なほ淺く未だ成績を挙げ得ざれ共、着々經營改善の計畫に努めつゝあり。

河沼郡金上村 齋 藤 實

歸郷後時日淺けれども本人は着々經營改善の樹立を計畫中なり。

安積郡富田村 横 山 清

一、歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績

本人は本年八月の受講者にして歸郷後一ヶ月に滿たず従つてその成績未だ見るべきものなしと雖も歸郷と同時に各種改善事項の調査研究設計中なり。

二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績日尙淺きたり成績の見るべきものなし。

三、その他

イ、歸郷後村青年團の農藝部役員に推されたるを以て先ず農村青年團

らしき施設を實施するの決心をなしたり。

ロ、青年團員及び村民に對し講習及び視察せし事項の傳達その他指導啓發に日夜奔走中なり。

茨 城 縣

一、各修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

久慈郡小里村 佐 藤 信 紀

(一)農業經營の多角化をなしその成績頗る良好

從來絶無の蔬菜栽培、生産販賣、水田裏作として菜種栽培、石油發動機購入、能率増進の企圖、餘剩努力の轉化策として前記作業配置

(二)自給肥料の増製多施

新治郡眞鍋村 鳥羽英三郎

(一)農業經營の多角化

土地の事狀、勞力關係、市場關係、運輸關係等を考慮し經營改善に從事しつゝあり。

(二)農業の機械化

四分の一電動機一臺並に附屬農具一切を買入れ作業能率を増進し農閑期中は繩網ひつゝあり。

(三)農業の尖端化

水田裏作として新蔬菜の栽培(甘藍、玉葱等)西洋蔬菜(セルリー、パーセリー、チシャ等)の栽培何れも成績佳良にて土浦町に特約販賣しつゝあり。

猿島郡森戸村 田 村 市 郎

(一)農業經營の多角化

從來の米麥専門なりしを煙草、蔬菜、蕎麥、粟等を配し極力多角化に努めつゝあり。

(二)自給肥料の増製多施

堆肥共同積込の勵行、材料の共同蒐集、堆肥の共同搬出

(三)販賣の改善

從來の個人販賣を共同販賣に改善せり。

東茨城郡下中妻村 谷 津 一 男

(一)労働時間の増加

勞力の分配を均等ならしむるため作物の配置を合理的にし労働時間の増加を圖りつゝあり。

(二)共同精神の涵養

安城町附近農家の共同一致に倣ひ農業の共同作業を鼓吹しつゝあり第一着手として青年の共同心涵養に努めつゝあり。

(三)畜産農業の實行

耕牛、馬、養鶏、養豚、養兔等家畜飼養の必要を感じ部落を擧げて共同購入生産物の共販等極力その實行に努めつゝあり。

稻敷郡長戸村 本 橋 達 夫

(一)農家収入増加

水田裏作——菜種、麥、紫雲英。桑園間作——蒔蘿草、馬鈴薯。副業經營——薬工品。

群馬縣

北甘樂郡馬山村 今井 邦重

(2) 金肥節約
自給肥料の増産多施、金肥共同購入。
(3) 労働時間の増加(経営の改善により作業を按配す。
筑波郡杉橋村 片岡 忠三

昭和六年度受講後歸郷直ちに青年同志と相謀り板橋村農業改善研究会を組織し爾來左記研究事項實行中なり。
一、農業経営目標の確立 二、同改善計畫の樹立 三、農業の各種研究 イ、研究共同試作地の設置 四、販賣購買の研究 五、水陸稻増収研究 六、麥作増収研究 七、蔬菜園藝の研究 八、自給肥料の増製多施、金肥節約の研究 九、有畜農業の研究(牛、馬、豚、兎、鶏) 十、農産加工の研究(自家用醬油、味噌)

二、各修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
郷黨の環境により農業改善を指導したる方法は多少異なれども大體において左記の指導をなすつゝあり。
(1) 農業経営改善の講演 (2) 同上實地指導 (3) 共同作業の推奨並に組合の設立 (4) 共同購販の指導販路擴張 (5) 肥料の合理的配合指導 (6) 先進地の共同視察 (7) 記帳の實施指導
三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべきこと
昭和七年度の第三回修了生は目下計畫實行中なり。その他は一般に青年の模範となり眞面目なる行動を採りつゝあるを以て地方における評判極めて良し。

群馬郡古卷村 儘田 榮屋

一、歸郷後は農業経営改善の第一歩として自給肥料の増産に努むると共に金肥の節約に努めたり。

二、歸郷後自ら講演會を開催し講習會の報告及び講習中に修得せる知識の發表をなしこれの指導に努むると共に相互の研究をなせり。
居村大正農事組合の桑園部主任となり荒廢桑園の整理に努めたる外水稻單位面積増収に對し經濟限度を基準として自ら範となり一般栽培者を指導せり。
三、修了生は極めて眞面目にして事業に熱心なり。

吾妻郡長柄村 猪越 榮一

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
水田五反、畑七反、桑園三反、計一町五反の粗放的經營を左の如き集約的有畜農業經營に改善す。

水田一町歩、桑園三反歩、畑一町、計二町三反歩
畑作は大小麥陸稻の外蔬菜栽培西瓜、甘藷、馬鈴薯、トマト、茄子、胡瓜、菜豆等を加へ宅地利用として胡瓜の半促成栽培をなす。
地方の増進維持のため豚二十三頭、鶏百五十羽を飼養す。
改善の結果はその成績良好なり。

二、修了生の居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
青年團軍人分會員中の熱心者に對し自己經營の體験を開放し集約的經營の指導に努めたるの結果教を請はんとする者漸次増加しその成績極めて良好なり。
三、其他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
種苗の育成指導、優良仔豚の實費分讓販賣斡旋等已を忘れ同志のために努力しつゝあり。

勢多郡木瀬村 深谷 進次

一、歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及び成績

(1) 歸郷後直に農家經營改善の第一歩として家計調査に着手しこれが改善研究に努めつゝあり。
(2) 昭和六年十二月三坪の温室を建設し都市に供給すべき花卉の栽培並に蔬菜の苗養成等の研究に努めつゝあり。
二、木瀬村青年團幹部として常に經營の改善指導に努めつゝあり。なほ同村農業研究会(同村中堅青年を以て組織せる農業の技術知識の研究機關、會員一二名) 幹事として經營改善の指導に努力しつゝあり。
三、昭和七年二月二十八日宇都宮第十四師團衛生隊に充員召集せられ四月二十三日召集解除。

吾妻郡名久田村 劍持 克己

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
イ、この地方は養蠶を主とし普通農事は從來の状態にありしが糸價の下落を機とし同村と共に主穀生産に主力を致しなほ蔬菜に果樹に養畜に所謂多角的農業によらんとしてこれに全力を盡したり。水稻栽培においては品種の統一を圖らんとし愛國六號の普及をなし大小麥にあつては縣の獎勵品種の栽培により増産の目的を達し蔬菜の白菜、甘藍、薑、薯蕷に或は大根牛蒡に玉葱に各種を栽培し販路を中二條町に求め市街地を中心とする蔬菜の需要の圓滑を圖れり、家畜の飼養には牛馬、豚兎鶏等農家の勞力關係に意を用ひ役牛として改良和牛を養ひ肥育して肉に賣り豚は居村農會の依託により肥育試験をなし兎は數十頭を小兒に飼育せしめ鶏にありては縣種畜場より種禽の拂下げをうけ鶏の改良に努めつゝあり、なほ水田養蠶をなし、または水田裏作として菜種の栽培をなす等講習前に比し一層の進歩を見たり。

ロ、同氏は目下居村の青年團の中心として活躍し且つ重人分會の班長として青年の指導と産業の振興に努力しつゝあり、且つまた農家組合の一員として他の組合員を指導し共同して稻田養蠶をなし或は組合全戸の臺所改善を行ひ、なほ蒞弱栽培については郡内第一位にある所より荒粉の製造をなし原野を開墾し桑園、陸稻の栽培を奨励する等常に居村同志の先頭に立ちて活動しつゝあり。

ハ、唯一の趣味として讀書をなし堅實なる思想の持主にしてまた武道に勵み身心の鍛練をなしつゝあり、なほ圓滿なる家庭として一家團樂の内に農事に勵み近隣の交際またよく所謂地方青年篤農家の位置にあり。

▽ 利根郡薄根村 松井彦一

一、歸郷後は肥料自給運動に着手し堆肥の増産及び改良に努めつゝあり而して堆肥増産の手段としては勤勞に依り野草の採收に力め改良手段としては豚肥の處理及び養鶏糞の處理に改善を加ふることとし目下その後の設備に着手中。

二、歸郷後青年團例會（毎月十四日）において座談的に勤勞主義、自給肥料主義を高唱指導す。

三、行動成績の内特に顯著なる事實は勤勞主義の實行に在り。その事實の一には勤勞日誌の送付を受け（埼玉縣鈴木一雄氏より）十月一日より記載に着手せり。

▽ 碓氷郡原市町 小森谷武雄

一、講習會終了後直に歸郷し自家の農業經營に欠陥多きを認め家族會議を開き講習會において修得したる事項を説明し、從來養蠶主體の經營

を耕種農業に變更し家畜を飼養して自給肥料の増加を圖り地力維持培養に努め生産の増加を圖ることに協定し、秋蠶後において五ヶ年計畫を樹立し實施することになり。

二、居村築瀨農事組合長と打合せの上八月二十八日及び九月六日の兩日組合員を事務所を集め組合經營につき優良組合の事例を發表したる後協議會を開き協議の結果秋蠶後において組合これを作製し實行に着手することに協定す。

三、原市町在郷軍人分會員及び男女青年團員その他近隣の婦女子に農業經營改善の必要を宣傳したる結果、婦女子の農業勞働に従事する者増加したるのみならず能率も亦向上しつゝある状態なり。

▽ 佐波郡上陽村 宇津木利平

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

1、自家の農業改善計畫樹立のため現状調査をなしつゝあり。

2、自給肥料の改良増産の第一着手として堆肥の製法に改善を加へつゝあり。

二、修了生の居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

1、修了報告を兼ねて青年團に對し農業改善講話を行ひたり。

2、なほ今後引續き農業改善の更新計畫を樹立する旨。

三、その他修了生の行動成績等に付参考となるべき事項

1、目下上陽村の青年團長として活動しつゝあり。

2、なほ上陽村青年訓練所指導員として青年訓練に努力しつゝあり。

3、青年篤農家として聞へり。

東京府

北多摩郡狛江村 谷川部良三

一、歸郷後における改善

一、増收の研究 本村においては蔬菜の栽培に重きを置き米作に意を用ふること少くその收量は反當五俵を標準となせるにより、これを改良し多收を得んとし苗代の薄播をなし良苗を育成し、肥料の配合に留意し、植方を改め、病虫害の防除等に努めたる結果反當十三俵餘の收穫を見るに至れり。

二、陸稻旱害の豫防 陸稻の旱害豫防につき研究し牛糞を乾燥して後これを水に投じドロ／＼となし畦間に注ぐときは殆んどその災を免るゝを得るに至り甲芋の如き乾燥を忌むものもこれを應用し効果を收めつゝあり。

三、銅石鹼液の新製法 連年ポルドウ液使用の結果なるかその効果少きにより、銅石鹼液を使用したるに遙かに勝れるを見たるも完全に製造すること難きより大に製法を研究改良し極めて簡単に且つ完全に製するを得て好成績を見た。

四、交配により良品種育成 草苺及び胡瓜の新品種を育成栽培し好成績を得つゝあり。

二、改善指導

一、前記各項は何れも村内は勿論他町村にも奨励指導をなしつゝあり

二、種苗商を営むにより種々研究、實驗し好果を得る點を作物につき説明指導しつゝあり。

三、その他

着實にして研究心に富み指導の成績佳良なり、青年訓練所に關係する關係上常に精神的教育に意を用ひ指導しつゝあり。

▽ 東京市板橋區石神井町 櫻井源一

一、歸郷後における改善

一、養畜を行ふ 從來家畜の飼養をなさざりしが有畜農業の有利なるを知り最も手近にして比較的容易なる養鶏、養兎、養豚を始め好果を收めつゝあり。

二、土地利用の改善 從來の經營方法はなほ改良すべき點あるを知り栽培作物の選擇、作付順序、宅地利用等に意を用ひ着々成績を挙げつゝあり。

三、竹林の新設 採筍の有利なると同時に防霜用竹枝を得るを目的とし六畝歩の竹林を新設したり。

四、農産加工 大根の産地にして加工を行ふも生大根にて販賣する方多かりしが漬込法、容器等の改良を圖り漬物となし他地方に移出するの有利を覺り昨年よりこれを實行しつゝあり。

五、種苗の自給 種苗は殆んど購入し來りたるもその不利なるを知り出來得るだけ自給を圖りをれり。

二、改善指導

一、農事知識の普及を圖る 富民協會報の購讀方を青年團支部全部に薦めたり。

二、改善策の普及を圖る 有力者團體なる愛友會と稱するあり。その會合毎に出席經營改善を説き普及を圖りつゝあり。

三、その他

青年の發展に盡瘁し着々好成績を挙げつゝあり。

南多摩郡鶴川村 小宮 重一

- 一、歸郷後における改善
 - 一、緑肥の間作 桑園の間作は従来行はざりしが本年より間作を行ひ好成績を得たり。
 - 二、蔬菜栽培 蔬菜の栽培はなざりしも本年より四反歩の栽培をなし甘藷、里芋、薑、葱等を主として土物を栽培し他地方に出荷せんとす。
 - 三、家畜の飼養 現在牛二頭、肥育豚五頭を飼養するもその有利なるを認め將來その頭数を増加し、なほ鶏も二三百羽飼養せん計畫なり
 - 四、自給肥料の調製 従来金肥を用ひたるも家畜飼養以來自給肥料を調製し金肥を省きたる結果價額において金肥に支拂ふ價額三分の一に減じたり。

二、改善指導

- 一、實行組合指導 農事實行組合長に擧げられ現在二十六名の會員に對し指導しつゝあり。
- 二、共同購入 共同購入の利を説き農具、農業藥品の共同購入をなし好果を収めつゝあり。
- 三、地方見學 農閑を利用し組合員その他有志と見學をなす。
- 四、座談會の開催 時々開催し經營改善、自給自足、勤勉力行につき發表し、以て指導に當つ。
- 三、その他

平素研究を怠らず、村内指導に勉め成績を擧げつゝあり。

東京市板橋區大泉町 田 中 集 作

一歸郷後における改善

- 一、醗を購入配合し好成績を得たり。
- 五、肥料試驗地擔當 府立農事試驗場の肥料試驗地を擔當しその指揮に従ひ栽培研究をなしつゝあり。

二、改善指導

- 一、苗代の改良 蔬菜を主として米作に意を用ひざるによりこれが改善を指導せんとし本年坪一合の薄播苗代を行はしめたるにその結果意外に佳良にて目下成熟期に一層目立ち明年よりは大に行はるゝ傾向にあり。
- 二、反當一俵の増收 本町三百八十町歩より反當一俵の増收を得ば年額二萬六千圓の増收となるにこれを実行すべく青年團員より行はしめんとし本年は團員三百人の加入者あり、これに稲作注意事項を説明實行せしめたるに例年より遙に作況佳良なり。
- 三、神田の經營 敬神思想の涵養、協力一致の美風、研究心の惹起等を増さしめんとし一反歩の神田を經營し青年團にて栽培、その他萬般を奉仕し糯米を作り出來秋には獻穀の後一部敬老會の資に當て餘剩米は年末に餅に搗き貧困者に分たし計畫なり、栽培法は改良事項に則り頗る青年團の研究心を増加せり目下の成育状況他に勝る。
- 四、副業の奨励 その一着手として本年より草莓のフレイム栽培を實行せんとし目下準備中なり。
- 五、種子の配布 水稻早生の佳良なる品種なきため、茨城縣稻敷郡地方に廣く栽培される早生關取種の種子を購入しこれを青年團員に分ち試作せしめ佳良なりせば一般に配布せんとし本年は約四斗種子を注文したり。
- 六、糞灰の使用奨励 従来糞灰は殆んど全部賣却するの習慣なるによりこれを使用せしむるの有利なるを自ら範を示しをれり、明年より

- 一、經營方法の改善 従来相當多角形經營法を用ひ來りたるもなほ改善の餘地あるを認め著々實行し好果を収めつゝあり。
- 二、努力の分配 栽培作物の種類とかく二、三に偏し努力の分配上平均を失する傾きあるにこれに改善を圖り得るところあり。
- 三、病虫害の防除 餘り省みざりし病虫害の漸次増加するにより極力防除に努め利するところ多し。
- 四、農産加工の改良 舊東京市本位の漬物も他地方へ進出の利あるを悟り容器、内容、等凡て改善の要を認め昨年來實行著々好果を擧げつゝあり。

二、改善指導

- 一、自己栽培面積の多きため手不足にて栽培奨励に出づるの閑なきに より來訪者等には大に修得したること多く特に記すべきなし。
- 三、その他

質朴にして寡言勤勉にして著々成績を擧げつゝあり。

東京市江戸川區二ノ江町 宇田川 嘉一郎

一、歸郷後における改善

- 一、温室の經營 本年より三十七坪五合の温室を新設しメロンの栽培を始めたり、最初の割合に好結果を得たり。
- 二、野菜の自己販賣 市場出荷よりも自己販賣有利と認め各種野菜を市内に販賣し市場出荷の約三倍の利を得たり。
- 三、堆肥の調製 下肥單用の習慣なるも地力増進上その必要を認め各種廢棄物を以て調製使用し大に好果を収めたり。
- 四、肥料の配合 この不況時に金肥購入をなすはその當を失するも品質優良のものを多收せんに多少金肥使用の要を認め、魚肥、過燐

は使用者増加の見込なり。

三、その他

- 七、講演會の開催 農閑を利用し時々開催し各種農業改善を鼓吹し効果を擧げつゝあり。

神奈川縣

高座郡澁谷村 富 田 勳

- 一、修了生歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績 従來の同地方に於ける農業は養蠶を主體としつゝありしも歸郷後大いにこれが改善に努力し養豚及び果樹類の飼養栽植に努め多角式農業を實施し熱心家業に精勵すると共に著々これが成績を擧げつゝあり。
- 二、居村の農業經營改善を指導したる事實及びその成績 終了後は専ら自家農業經營改善に銳意しつゝあるも又居村青年團幹部として青年の農業的指導に努め率先事に當ると共に農産物出荷組合長に推され自ら生産物の市場に對する輸送斡旋に従事する外自村農會その他の團體と連絡を密にし農村開發に盡精しつゝあり。
- 三、その他の行動成績等に參考となるべきこと 勤儉以て自ら郷黨に範を示し地方風教上範たるものあり。

高座郡有馬村 木島久登

一、修了生歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績
過般(今夏)講習を修了せるものにして未だ特記すべきものなきも同
人の居住地たる有馬村杉久保部落は縣農事特別獎勵地に指定され模範
部落建設に各戸精進しつゝある等の事情に依り率先農事の改良に従事
し特に同部落の組合長たる嚴父を扶け理想郷完成に努めつゝあると共に
青年團の幹部として將來中堅農家の育成に奮闘しつゝあり。

足柄下郡櫻井村 米山善一郎

一、修了後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績
自給肥料の最も注目すべきを覺り鋭意これが増産を圖ることに努めつ
ゝあるも殊に自ら豚數頭を購入飼育し一般農家に勸奨する等熱心農事
に従事しつゝあり。

橘樹郡生田村 臼井卯三郎

一、修了後今日迄行つた農業改善の事實及びその成績
農業經營は養蠶を主とする地方なるを以て一般農事を輕視するの傾向
ありしに鑑み歸郷後水稻作の改良に着眼努力せる結果從來に比し三割
の増收を實現せり

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

居村生田村細山部落は昭和四年以來縣農事特別獎勵地に指定せられ細
山振興會の設立を見着々模範部落の建設に努力し來り昭和六年度を以
て既に所期の計畫を遂行し相當程度の完成を見たがこれが實現には餘
程支部長として率先居村の農業改善に盡瘁し殊に稲作の改良、小麦作
の改良、堆肥の増産その他の實行に最優秀の成績を示し支部員の督勵
發奮を促しつゝあり。

鎌倉郡村岡村 加藤庄太郎

一、修了生歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績
自家の農業經營を多角形農業に改め從來の一般農作に果樹(葡萄)蔬
菜を加味し努力の分配、能率増進に鋭意する外肥料の合理經濟的施用
に着眼し自ら牛一頭、豚七頭を飼育しつゝあるもその飼料は早朝鎌倉
江ノ島方面一里餘の村外に出動蒐集する等健闘しつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

終了後は専ら自家農業經營の改善を圖りつゝあるも本年四月より自村
の農業技術員として墾望され就任し爾來自村の改革を企圖し本年八月
同村園藝組合の設立に奔走成就し更に農作物品種の改良、統一その他
栽培技術の改善に販賣の統制等熱心指導に従事し尙目下甘藷の検査を
開始し内容の統一共同販賣の實施に専念しつゝあるも村民の信望感謝
を受けつゝあり。

愛甲郡愛川村 佐々木正次

一、修了歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績

麥作、陸稻の改良、堆肥の増産、家畜の飼養、蔬菜栽培の實行、記帳
の勵行等々農業經營上の改善を實施し、麥作の如きは從來點播なり
しもこれを廢止し條播となし、陸稻は在來栽培法に比し五割の増收法
を行ひ、堆肥は反當三百貫を目標として之が生産に努め、豚三頭鶏百
五十羽兎十五頭の飼育をなし良成績を収めつゝあり。その他同村は從
來蔬菜を他より購入しつゝあるの風あるを遺憾とし率先これが栽培を
行ひ範を示しつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事項及びその成績

村農會の施設に共鳴協力し蔬菜の栽培並に販賣の獎勵、堆肥家畜の獎

勵等居村農家の誘導に努めつゝあり。

三、修了生のその他の成績

修了生は品行方正常に居村青年の模範として農事に精勵し一般の信用
頗る篤し。

足柄下郡足柄村 奥津治良右衛門

一、修了歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績
未だ講習修了直後なるを以て特記すべきものなきも熱心講習會に於て
修了の事項に關し應用に努むべく研究を行ひつゝあり。

新潟縣

北蒲原郡松浦村 渡邊勇雄

一、歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績

イ、增收研究―連年各種團體主催米多收穫品評會に出品大いに增收に
研究中なり、土壤氣候風土の關係上豫期の成績は未だ擧げ得ずと雖
も熱心に研究努力中なり(最高記録四石二斗)

ロ、經營改善―自家農業經營改善の努力は受講以來順に更新し現在の

經營種目は稲作一町二反を主體とし畑作三反歩、養蠶春、夏、秋)
五枚、豚一頭、兎一頭、鶏二十羽、役牛一頭を飼育飼養し裏作麥一
反、紫雲英十反、畑作中桑園は其大部分を占め改良桑園の成績顯著
にして養蠶技術相俟つて大倉製糸工場に出荷せらる、産額中優秀な
りと聞く、而して此地方は殆んど養畜、養蠶等の影を見ざるに努力
の分配運用自給肥料の増産改良に留意その成績素年好結果に進みつ
ゝあり一家協力非常なる趣味を以て改善努力中なるは地方の模範に

足るものあり。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

イ、松浦村堆肥獎勵委員として自ら模範を示し堆肥の増産品質の改善
指導に盡力せり。

ロ、八幡農區生産部長として生産物各種の指導獎勵並に經營改善指導
に熱心督勵その成績順次發揚せられ各農家平均して生産金融とも順
調なるは氏の活動に貢ふところなり。

ス、八幡農區は地主小作協調の事業をも實施せるが氏はこれが主體と
なり金融の斡旋小作料減免の解決にあたり圓滿處理せり。

ニ、松浦村養蠶實行組合八幡支部長として養蠶技術桑園の改良、生繭
の處理等につき指導斡旋せり。

三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項

イ、部落の中堅模範青年としてまた精農家として信望殊に厚し。

ロ、新設田農學校卒業生松浦支部長として同窓の連絡斯道の研鑽に努
め卒業生の先輩として尊敬せらる。

ハ、當地方の乾田は氏を以て嚆矢とす鮮牛の如きも氏により役牛とし
ての試みを見兩者共普及せらるゝに至れり。

ニ、農區婦人部の指導をも擔任せられ婦徳の涵養は勿論農業知識増進
のため屢々講習講話視察等により農村婦人としての資格改善に努力
せられその結果は農事改良上特に効力顯著なるものあり。

北魚沼郡川井村 川上安次郎

一、歸郷後今日迄行ひたる農業改善の事實及びその成績

イ、經營の改善 郡農會の指導を受け農業經營を改善し收支状況及び
労働の狀態を一々郡農會に報告して根本よりその指導を受けつゝあ
り。

- ロ、自給肥料増産 堆肥品評會を自ら主催して開催し従来反當百貫を三百貫に増産す、また紫雲英は従来栽培なきを本年全耕地に栽培し縣の指導圃地を設置せり。
- ハ、米の増收 部落採種組合を擔當し優良品種の普及統一を圖り増收栽培に成功して平均反當三石八斗（従来より平均一石餘）の收量を示しつゝあり。
- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - イ、苗代の改善 従来より約一週間早播また播種量約半量（四合は二合弱）となり良苗育成に依る稲作改善。
 - ロ、生産物共同販賣、米、百合、柿を共同販賣し利益を收めた。
- 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
 - 農村中心人物として各種の事業に率先従事し村民に信頼せられつゝあり。

中頸城郡金谷村 齋 藤 保

- 一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - 米多收穫、畑作改良、農産物の販賣に改善を致し郷村における模範的活動をなしつゝあり。
- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 目下蔬菜栽培改善組合長に就任し組合員を指導しつゝあり。
- 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
 - 品行良く郷村に非常なる好果を興へつゝあり。

中蒲原郡小合村 石 月 謙 造

- 一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - イ、水田一町二反歩を經營し全部に對し自給肥料本位とし反當二百五

十貫の堆肥を施し従前に比し反當金肥三圓を減少せり。しかも收穫においては反當平均二石七斗の見込にして地方平均に比し反當五斗以上増收の見込なり。

- ロ、養 豚
 - 甲、肉豚、常時二十頭を飼養しつゝあり。
 - 乙、種豚を飼育し優良仔豚を生産分譲しつゝあり、その飼料は自給主義により自家において醬油醸造をなすによりその醬油粕をこれに充てつゝあり。
- ハ、果樹栽培
 - 葡萄早中晩合計百六十本を棚作栽培とし地方的に實利栽培の範を示しつゝあり。

- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 稲作栽培、苗代改良、肥料改良、副業養豚その他經營に關し常時指導を行ひつゝあり、今後數年後には相當成績を擧ぐるに至るべし。
 - 特に青年の農事指導に關しては注意をなし現在小合村青年會小鹿分團副分團長（團員百〇三人）並に自字大鹿青年支部長たるを以て明八年には青年試作田四反を經營せんと計畫中なり。
- 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
 - 資性温厚にして専ら勤儉努力をモットーとして活動しつゝあり、農村振興には精神の緊張を必要とし記帳により收支と労働時間を調査し一般に知らしめんと計畫中なり。

南魚沼郡浦佐村 小 島 熊 雄

- 一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - イ、増收は地力により地力は努力による事實を眞に體得し自給肥料特

刈羽郡兩鬮石村 砂 塚 實

- 一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - イ、米作の改良
 - ロ、現今不況時の農業には自力更生策の一助としても出來得るだけの多角形經營によつて家族が暇なく働き一面支出の方面は出來得る限り自給自足經濟によつて入るを圖り出るを制せねばならぬと自覺し従來の稲作及び養蠶の單一農業に半促成の蔬菜栽培（二反歩）及び養鶏（百羽）稲田養蠶（二千五百尾）等を入れたため、この方面から一百五十圓也の純益を得たので今後益々研究に努力をなさむとす

- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - イ、堆肥獎勵委員となつて一昨年村農會と提携して堆肥品評會を開き極力堆肥の増産を圖るため従来反當一百八貫の施用のものを本年は一躍三百五十貫迄施用せり、尙將來は三百貫迄に達せしめむとす。

ロ、丈餘の積雪地においては紫雲英は不可能とされたるも系統農會の獎勵と共に適切なる管理手入の結果當村においても郡農會の紫雲英圃地競作會に出品し反當一千二百貫の收穫を得、この指導の任に當れり。

- ハ、なほ將來の時期を見て白米販賣をなしその糠によつて有畜農業を獎勵し地力を増進せしめ生産品の統一をなし産業組合の發展を促し金融の圓滑を計り販賣の統制をなし或は共同購入をなし極力農村民の利益を圖り第二の日本デンマークを建設せんとす。
- 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
 - 居村における各種農事團體に關係し眞面目に農業に従事し品行方正にして模範青年として將來を囑望せらる。

- 一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - イ、米作の改良
 - ロ、有畜農業の經營
 - 經營改善の第一歩として家畜飼養増加に努め收益の増加と相俟つて厩肥の利用により金肥の防遏を圖り金肥は約半減せり、即ち厩肥を主材料として田畑を通じ反當三百貫の堆肥を生産施用しつゝあり。

なほ現在飼育家畜家畜は左の如し
 繁殖豚一頭、肉豚二頭、鶏二十五羽、本年生産せる仔豚九頭

- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 青年會を指導し研究部を設置し村農會と提携率先履行して一般會員に範を示し居村の農業經營改善上に資する所多し
 - 本年研究部の事業左の通り
 - 縣農事試驗場視察研究、一般農産物品評會開催、稲作改良家畜座談會開催、小家畜の飼養並に共同處理

石 川 縣

能美郡白江村 宮 本 克 巳

- 一、修了生の歸郷後今日まで行ひたる農業改善の事實及びその成績

- イ、自給肥料の増産を目的とし豚十頭を飼育した。
- ロ、水田の内毎年一反歩宛を選んで蔬菜の半促成栽培をなし茄子、西瓜、胡瓜等優良なるものを生産しつゝあり。
- ハ、蘭草栽培は従来一年一作を主としたるものを二年三作に改良し、土地の集約的利用を圖りつゝあり。
- ニ、副業として新に自家生産桑の範圍にて養蠶を始めた。
- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - イ、該地方は稲作の外蘭草栽培をなしたるが同人講習終了歸郷後農事實行組合の必要を唱導し部内に三組合の設立を見るに及びこれが活動を促し従來の單式農業經營を改善し蔬菜栽培、有畜農業經營等に意を用ひ、就中農産物の共同出荷を圖りその成績見るべきものあり
 - 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべき事項
 - 不言實行を旨とし當業者を指導獎勵するに當りては先づその範を實行において示しつゝあり。

河北郡笠谷村 小田喜久治

- 一、修了生の歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - 該地方特有の單純なる農業經營方法を以てしては到底收益の増進を圖るは困難なりとし多角形經營方法を採らんとし、稲作を主作としその餘剩努力を以て蔬菜を栽培し、また副業として菓子品の製作、養蠶養鶏等をなしたり、即ちこれを經營改善前に比較するに
- | | | |
|----|-------|---------|
| 田 | 經營改善前 | 經營改善後 |
| 畑 | 一町一二歩 | 一町五反二〇歩 |
| 山林 | 二反歩 | 五反歩 |
| | 一町五反歩 | 一町五反歩 |

農閑利用 藥品 (主として男の餘剩努力利用)、能登上

布織 (主として女の餘剩努力利用)、堆肥製造、農産物加工 (枯露柿等)、自家用品の製造

以上の如くその經營方法を多角化し一家の努力に過不足なきやうに配しこれを有効に利用せんとしつゝあり。

ロ、共同の必要なるを力説し現に農事實行組合を組織し農具の共同購入及び利用、生産物の共同販賣、共同採種を行ひ夫々効果を收めつゝあり。しかして同人の經營方法たるや努力を有効に利用すると共に農家の現金支出の低減を圖らんとするものにして最近に至り一般村民も漸くこれに習はんとする傾向あり。

- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 青年の指導に大に努め農業補習學校の夜學始まるや村内青年に出席を奨め、また自らも出席して青年の質疑に應じ研究を怠らず。
 - 三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべきこと
 - 同人は以前より資性温厚着實にして家に在りては父母に仕へ弟妹を愛し家庭圓滿なりしが研究會終了歸郷後一層農事に精勵するに及び父母は安んじて一家の計畫及び實行を委任し同人また一層研究的態度を失はず農事の改良に努めつゝあり。
- 石川郡富興村 西野興作
- 一、今日まで行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - 終了後は蔬菜の促成栽培に意を注ぎ且つこれを共同出荷をなすことを村内に提示し着々効果を收めつゝあり。
 - 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 自己の修得したる技術を居村民に教示し、研究を怠らず、部落内の蔬菜栽培をして一新せしめ村民に敬慕されつゝあり。

農馬飼育 一頭

收 十貫 四十貫

養 鶏 三羽 十羽

にして經營改善後日尙淺きため收益の如き大なりと言ひ難きも逐年増加の趨勢にあり。

- 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 懇談會、講習會等の席上において本講習會において見聞したる先進地農業經營方法を説き、また養蠶時季においては進んで巡回指導に當る等居村の農業改善に力を致しつゝあり。

羽咋郡下甘田村 石田正良

- 一、歸郷後今日まで行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - イ、同人は大正十四年縣立農學校卒業後家に在りて父母を援け銳意農業の改善に努め他の模範たりしが本研究會終了後父母に圖り經營に一大改革を加へんとし、先づ自己所有の水田一町七反、畑一反六畝を小作し左の如き計畫を樹てこれを本年より實行せり。
- | | | | | |
|-----|-------|------|------|-------|
| 田 | 稻作 | 一町五反 | 芋麻苗圃 | 一反 |
| 畑 | 裏作蔬菜 | 一反 | 綠肥作 | 三反五畝 |
| | 柿栽培 | 一反五畝 | 桑園 | 三反一畝 |
| | 芋麻育成 | 一反五畝 | 樹苗圃 | 六畝 |
| | 麥作及蔬菜 | 三反三畝 | | |
| 養 蠶 | 春 蠶 | 二四瓦 | 秋 蠶 | 六〇瓦 |
| | 晚秋蠶 | 一二瓦 | | |
| 養 鶏 | 成 鶏 | 一〇〇羽 | 育 雛 | 一〇〇羽 |
| 家 畜 | 馬 | 一頭 | 山林 | 一町五反歩 |

鹿島郡笠師保村 筆安次六

- 一、今日まで行ひたる農業改善の事實及びその成績
 - 従來は稲作のみの單一農業たりしをこれに果樹栽培、養蠶、蔬菜等を加へて多角化し努めて自給肥料を用ひて生産費の遞減を圖りつゝあり
 - 二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
 - 部落農業經營をして共同の結合により改善せんがため農家組合を組織し左記事項につき申合せ實行しつゝあり。
 - イ、水稲共同採種圃設置
 - ロ、蔬菜、果樹栽培獎勵 従來自家用として僅かに大根、柿等を栽培したるに最近これを獎勵したる結果村内に果樹、蔬菜の栽培熱昂まり、梨、葡萄を植付けてその下作に西瓜、甜瓜、茄子、葱頭等を栽培するもの現れたり。
 - ハ、自給肥料増産 従來殆んど金肥のみ使用し水田一段歩當十五、六圓より二十圓程度迄使用する習慣なりしを堆肥製造、綠肥栽培、養豚等を盛んに獎勵の結果金肥の使用著しく低下せり。
 - ニ、農具の共同使用 簡單なる共同作業場を部落の中央に建設し、穀物簡易火力乾燥装置及び糞摺機等の設備をなし部落民共同使用をなし、その成績良好なり。
 - ホ、共同購入並に販賣 従來中間商人に暴利を貪られたる肥料、農具の共同購入、西瓜、柿等の共同販賣をなし、成績次第に上りつゝあり。

その他冬期、初春の候に温床の設置を奨め、幾分の餘剩努力の利用を奨励しつゝあり。

長野縣

小縣郡浦里村 宮 下 強

- 一、イ、畜産 加味
 - 豚二頭、鶏二十羽を新に飼育す
 - ロ、自給肥料の増製
 - ハ、現金支出の減少に努む（食糧並飼料の自給により）
 - ニ、イ、越戸農業經營組合幹部として組合各種事業の改善を行ふ
 - ロ、水稻肥料試験の結果本村に適當なる肥料成分量を決定し産業組合に於て合理的成分を配合して農家に配給せり。
 - 配給肥料の利用逐年増加の傾向にあり
 - ハ、浦里村農會實行委員として農會各種事業の指導に當る。
 - 三、イ、長野縣小麥増殖實行委員たり
 - ロ、浦里村越戸穀物改良組合幹事
 - ハ、村農會稻作指導地擔當者たり

東筑摩郡新村 百瀬 貫 一

- 一、農業組織改善の事實

従來の組織	改善後の組織	備考
水田 一二反	水田 一一反	
桑園 八反	桑園 八反	
蔬菜園 一	蔬菜園 一反	トマト、西瓜
鶏 三〇羽		
- 二、イ、農家信念の養成に努む

昭和七年三月新村光明會を組織し青年男女を中心に、篤精農家を

を含めて會員百二十名を擁し衆望を集めつゝ農家信念の涵養に努めつゝあり。

- ロ、經營組織の改善と技術的研究に對する指導

昭和六年二月村内に於ける同志を糾合して新村富民實行會を組織しその會長となりて農業改善を指導す

實行項目、早起、時間勵行、豫算生活の實行（農業日誌の記帳）、新村に適應する農業經濟日誌の作製、水稻品種、肥料、播種量各試験地設立
- ハ、販賣機關組織

昭和六年 新村上新區蔬菜組合を組織しその組合長となり、昭和七年 新村農産物出荷組合を組織し副組合長となりて好成績を擧ぐ。新村に適應する蔬菜はトマト、西瓜にして、「アルプス西瓜」として松本市場を獨占しつゝあるも氏の努力に貢ふところ多し。
- 三、イ、新村讀書會を組織し村民の知識啓發に努む
- ロ、其他青年會長、統計調査員

西筑摩郡木祖村 川 上 清

- 一、イ、單式經營を改善して複式經營となし米、麥、蔬菜、果樹を經營し更に養蠶、養畜、養漁等の經營計畫を樹立しその設備は既に完成を見たり。
 - ロ、山野の整理を行ひ、牧草の播種、山林の整備をなし尙苹果、胡桃の試験地を設置せり。
- 二、イ、村農會の發展に力を注ぎ本年十月本縣農會の表彰を受けたり。
- ロ、小木曾副業共同組合設立
- ハ、開墾事業の輿論を喚起し翁像開墾組合を設立し本年本縣より一

萬圓の助成金の決定を見たり。

- ニ、産業組合經由の農産物出荷数の激増せるは指導宜しきによる。
- ホ、産馬事業の進展を圖り部落に幼駒運動場を申請目下認可工事中なり。
- 三、イ、西筑摩郡農會書記
- ロ、同郡方面委員會幹事。

上高井郡小布施村 小林 武雄

- 一、主トシテ蔬菜栽培につきその複式化及び加工を研究しつゝあり。
- 二、村内蔬菜の出荷を統制せんがため蔬菜出荷組合を組織し、出荷物に對し強制検査の勵行に努め頗る好成績を擧げつゝあり。
- （牛蒡出荷組合取扱二十七萬貫、西瓜出荷組合二十萬貫）
- 三、青年七十餘名を糾合して青年産業研究會を組織し、農村改善に對する青年の覺醒を促しつゝあり（現在會長）

南佐久郡野澤町 平 林 近 登

- 一、組織の改善、自給肥料の増製

經營規模	昭和六年度	昭和七年度
水田	一町五反	一町五反
桑園	五反	五反
蔬菜園	一反	三反
養蠶	收購量二七貫	一三貫
役馬	一頭	朝鮮牛 一頭
乳牛	一頭	養豚 三頭
		六頭

養 鶏	一五〇羽	二五〇羽	養 蜂	一	三群
養 鯉	二〇〇貫	二〇〇貫	鯉仔養成	一	二〇〇〇尾
尙稻作收量は反當三石七斗			金肥總使用量		

	昭和六年度	昭和七年度
水田	一五〇〇圓	一七五〇圓
桑園	七五〇〇	一〇〇〇
蔬菜園	一〇〇〇	一〇〇〇
計	二九〇〇	五七五〇

桑園に於ける綠肥栽培、昭和六年度二十三貫、昭和七年度二十七貫

- 二、イ、高柳蔬菜病虫防除組合藥劑調製係として藥劑の調製、指導をなす。
- ロ、白田八ヶ町村農會聯合、佐久高原出荷組合高柳支部主任として蔬菜育苗の指導に當れり。
- ハ、本春二月野澤町農會の囑託により愛知縣の養蠶場に於て一ヶ月育雛の講習を受け野澤町共同育雛主任となり第一回の試みをするも極めて良好の成績を擧げ二五〇〇羽を配給せり。
- 三、イ、昭和七年二月野澤町農會囑託技手となる。
- ロ、昭和七年本縣穀物検査員となる。

更科郡中津村 島 田 忠 司

- 一、イ、養蠶果樹園藝加味
- ロ、作業豫定作製
- ハ、自給有機質肥料を増殖して地力の向上を圖る
- ニ、小麥の改良増殖

- 一、イ、中津村農家組合の幹部として組合員の誘接指導に努め居れり
- ロ、小麦増殖実行委員として小麦の改良増殖計画に基き指導に従事せり
- 三、イ、中津村農會稻作多收品評會審査員に擧げらる。

上水内郡水内村 關崎房太郎

- 一、イ、自給自足を基本とする經營改善五ヶ年計畫樹立
- ロ、養蠶改善
- ハ、養畜改善

- ニ、蔬菜栽培加味(セルリー、花椰菜)
- ホ、果樹園藝加味(桑園を整理して二反歩に慈梨、山林三反歩を栗を)

農業日誌經濟簿の記帳合理化

- 一、ニ、農家組合、養蠶實行組合の活動を促進するため農事中心の修養會を月一回開催す
- ロ、蠶蠶處理土壺の一齊設置獎勵實行
- ハ、堆肥増製の必要を各農家に認識せしめ平均八百貫の造成實行を期しつゝあり
- ニ、農家組合に婦人部を設置せしめ婦人に農事研究の機運を促進し雑誌「農村婦人」の購讀を奨む
- ホ、養兎の普及に盡力し各戸平均十頭以上の飼育を期す
- 三、イ、本年より水内村堆肥指導員として農會事務を援け、堆肥の増成

を配し、蜜蠶、紫雲英等の栽培増殖により努力及び土地の利用を完了、自給肥料の範を示しつゝあり。

- 一、森政領家農事改良實行組合長として組合員の指導誘接に意を注ぎ稚蠶共同飼育、共同田植、その他實行組合としての共同經營宜しくその成績優良なる他の組合の追隨する所に非ず。
- 三、相當資産家の子弟でありながら一意専心農事の改善に意を注ぎ強固なる信念に立脚し身を以て當業者を率ゆる點敬仰に値す。

遠敷郡松永村 岡本典四雄

- 一、農業經營の改善に意を用ひ、従業の稻作單一農業を改めて、柿園の設置、改良鶏舎の新築及び養蠶を配して多角經營に努めつゝあり。
- 二、村内における稻品種は雜駁にして不統一なるに因り優良品種を自ら栽培してこれが普及に努め、また村内耕地の不均一なるため整理を發意し遂に村民を説き昭和六年五月よりこれに着手したり。

丹生郡豊村 淺野孝信

- 一、自給肥料の増産に努め縣立種畜場より種豚六頭を配付せられて村内青年と共同にて増殖を圖りつゝあり、また、生活改善上自家用醬油を醸造し、その他、稻作、蔬菜栽培の改善に意を注ぎつゝあり。
- 二、農閑期、その他適當なる機會において、愛知縣碧海郡の實狀及び農事先進地の狀況並に自個の體得したる農事知識を懇談會を催して當事者に普及し、ために青年農事更正會を組織して青年を糾合し農業改善に努力中なり。
- 三、本村農會より水稻農林一號、採種田二百三十歩の經營を委託せられ優良種の配付に努む。

- ロ、農家組合、青年團、同窓會等の役員を勤め會議等には必ず出席し各種團體事業に盡力す。

諏訪郡北山村 荻原三吉

- 一、歸郷後の農業改善事實未だ研究中にてなし
 - 二、居村の農業改善を指導したる事實未だなし
 - 三、本人は極めて眞面目にして熱心に農事研究中なり
- 指導的には動かざるも専ら實業に自家農業に努力し居るものゝ如し。

福井縣

足羽郡酒生村 吉岡佐太里

- 一、稻作、殊に施肥法の研究に専念したる結果成績頗る揚り、段當三四斗の増収を見るに至れり。
- また蜜蠶は従來は直播栽培なりしを早播、移植法に改善し、自給肥料の増産を行ひ金肥の節減に努力し水稻裏作に大麥及び蜜蠶等を栽培して自家努力の利用を巧にする等その成績見るべきもの多々あり
- 二、前項の改善を自ら實行すると共に範を示して村内當業者の指導に努めたる結果漸次村内に普及しこれ等改善實行に努むるもの増加せり。
- 三、酒生村農會の依頼により早稻農林一號の採種田を經營し優良種子の普及に努む。

大野郡上庄村 乾 慎 二

- 一、従來稻作を主とする單一農業經營なりしを爾來三百羽程度の養鶏

三方郡八村 藤本宇一

- 一、農業經營の改善に意を用ひ、稻作に配するに蔬菜、養畜、養蠶、薬工品を以てし努力の按配を可良ならしめ、また、自給肥料の増産に力を致し温田紫雲英栽培を行ひつゝあり。
- 二、居村農事改良實行組合幹部とし郡村農會技術員と協力し農事改善事項、養蠶經濟育の普及に努め、また水稻優良種子の栽培、里手改良種石川早生の栽培を奨励し漸次普及しつゝあり。
- 三、深刻なる農村不況にもめげず常に奮闘努力し、家庭至極圓滿にして村内の模範たり。父は村役場収入役として村治に携るため、自個夫妻のみにて田畑一町四反五畝、山林二町餘歩を經營し、なほ村民相互扶助の精神を涵養する等、精神的方面にも誘導すること多し。

静岡縣

富士郡白糸村 渡邊定男

- 一、従來穀作農業を主體とし僅に養蠶を營む程度の極めて簡單なる農業經營なりしも、斷然これを改め自家努力分配を念慮し多角形的經營となせり、その實例次の如し。
- (イ)従來家畜を含まざる經營なりしも豚五頭を飼養し家族の努力を利用し自給肥料の製造に努めたり。
- (ロ)従來青果類を自家用さへ購入するの狀態なりしも、蔬菜を加へて現在市場に出荷する現況に改めたり。
- (ハ)荒廢して永年省ざりし茶園を復興し自園自製をなし、しかも農閑期を利用し需要者に直接販賣するやう改めたり。

(ニ)冬閑を利用し雜木を以て製炭をなし需要家に直接販賣するやう努めたり。

(ホ)從來桑園を經營するのみならず、春、夏、秋共に自家努力及び桑葉の自家生産により養蠶を營むやう努めたり。

二、常に農會と連絡を保ち農業者の指導誘掖に努めたために居村農民の自覺を促し、左記の如く成績を擧ぐるに至りたり。

(イ)前述の如く蔬菜は購買の状況に置かれたるも農會と連携して結球白菜の栽培を試みたるにその成績極めて良好なりしを以て村内一般にこれを奨め、現在市場に多額の販出を見るに至りたり。

(ロ)蔬菜の原種圃を經營し、居村の種子の自給自足を確立するに至りたり。

(ハ)居村青年を指導し農業知識の啓發に努め現在農業に興味を持つ青年の多くなるに至りたるは氏の指導によるものなり。

(ニ)採肥養豚主義を唱導し一頭の飼養家も有せざりしを現在居村の三割の飼養を見るに至りたるは氏の力闘によるものといふべし。

三、爾來居村青年團の指導に任じ現在副團長の重任にあり閑暇はこれが指導誘掖のため没頭するの現況にしてこれがため居村の青年を奮起せしむるに至りたり。

▽ 小笠原南山村 松下 圓次

一、専ら農業經營法に重きを置き乾田の増加、自給肥料の製造に努め畜牛一頭、養鶏三百羽ありて既肥及び鶏糞を利用して金肥の購入を減じ稲の裏作に菜種、小麥等を栽培して、牛、鶏の飼料の自給を計り不況時に善處せり。

二、農會總代として各種施設に献策し、また中堅青年を以て組織せる

(イ)從來自家稲作は二町五反歩を栽培せるも内約二反歩を蔬菜の栽培に變換せり。

(ロ)柿園設置のため本年三月中旬、柿苗百五十本を栽植し熱心に管理しつゝあり。

二、(イ)昭和七年末その區における農産物出荷組合の設立に際し村農會と協力し目的の達成を圖れり。

(ロ)昨年末乳價の下落に際し駿豆酪農組合幹事としてこれが値上げ運動に東奔西走し當業者の福利増進に努めたり。

(ハ)畜牛飼料として穀の購入は農家の支出を大にし不利なるため自給的殘滓類によるの有利なるを實驗し唱導中なり。

三、良く農事に精勵、以下の諸雜誌を購讀中
静岡縣農會報、富民協會報、農村婦人

▽ 安倍郡長田村 鈴木 作

一、本縣の指導に基く本年度水田肥料圃地指導地一町歩の經營擔當に當り關係者と克く氣脈を通じ相當の成績を擧げつゝあり。

二、居村青年團の幹部なれば克く居村青年に對し、嘗て會得したる講習事項を披歴し農業改善の喚起に努めつゝあり、なほ時々居村農會の事務及び事業の助成をなし郷土の信望厚し。

三、經營地は田、畑、山林の配合宜しく従て農業經營の理想に叶ひあるため長田村中の模範部落なり、しかして業態は稲作を主體とし茶、柑橘、蔬菜を加味したる經營にして殊に消費地たる静岡市は一里以内なるを以て農産物の販賣改善等にも好都合なり。

農業刷新會の役員として毎月一回例會を開き農業改善の研究發表をなし増收、經營の指導に當れり。

三、自ら發起人となり部落養鶏組合を組織しその役員となり共同育雛飼料の共同販賣をなしその成績に見るべきもの多し。

▽ 庵原郡庵原村 國持 史郎

一、(イ)現今經濟界の不況のため農業經營もまた非常に困難に陥り、これが經營改善に腐心しつゝあるも何分好景氣時代の餘波を受け金肥萬能主義及びその他舊習を脱し得ず、益々窮地に陥りつゝあり、かくては自滅するものと覺り經營法を改善し餘剩努力を生み出し自ら豚數頭及び鶏四百羽を飼育し副収入を増し、かつ肥料の自給自足を圖り以て範を示せり、ために養豚の飼育頭數及び養鶏羽數を増加し組合の成立を見成績頗る顯著なり。

(ロ)茶樹、柑橘の栽培に關しては最も合理的なる肥培法を研究し範を示しつゝあり。

二、(イ)村農會幹事に任せられ農會長を輔佐し講習、講話により副業の奨励、綠肥栽培の奨励を計り、また、品評會、共進會により品質改善に努力しつゝあり。

(ロ)庵原村養鶏組合を組織し、その副組合長に當選し組合長を輔佐し鶏卵共同販賣、飼料の共同購入、鶏種の改良に努力しつゝあり。

三、帝國在郷軍人會庵原村分會長に當選し郷黨の在郷軍人を統制し諸般の事績見るべきものあり。

▽ 駿東郡清水村 山本 勝男

一、不況時に際會し多角形農業の有利なるを認め左記の通り經營改善を行ひたり。

愛知縣

▽ 西春日井郡北里村 熊澤 披

一、各修了生の歸郷後今日までに行ひたる農業改善の事實及びその成績を擧ぐるため、模範的に改良すべく、宅地の約二反歩を歸郷後雜木類その他の整理をなし、日常よき地には柿、葡萄を栽培し日蔭地には無花果、梅、ハラン、干柿を栽植し好成績を収めつゝあり。

(ロ)桑園整理 荒廢桑園を整理し約三割を改植し蔬菜類を栽培し好成績を収めつゝあり。

二、各修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

(イ)出荷組合を設立し幹部として全生産高の三割内外を出荷標準として、各大都市に共同出荷をなさしめたと共に産地相場の價格の暴落を防止し、一面輸送費の節約をはかるべく計畫し好成績を擧げつゝあり。

(ロ)宮重大根種子は西春日井郡重要物産なるを以てこの聲價を昂むるには品種確實にして信用を博し得る優良種子を生産する必要あるを痛感し、八月二十日宮重大根採種組合を創立し生産に効力しつゝあり。

(ハ)養蠶實行組合の組織 養蠶不況となるや縣の奨励と相俟つて養蠶實行組合を組織し、成繭または乾繭の有利處分法を常に研究し一面品種改良、飼育法の改善をはかり優良繭の産出に盡力せり。

(ニ)農事改良實行組合事業の執行上組合長となり、なほ採種圃經營主任、農産物の栽培並に販賣係を兼ね大々的に實行組合の使命を發揮

せむべく盡力しつゝあり。

(ホ) 村内は相當養鶏業盛んなるため養鶏經濟上重大問題たる飼料の共同購入を實施したる鶏卵の共同販賣をなし、なほ優良鶏種卵の購入をなし鶏種の改良をはかり好成績を収めつゝあり。

三、その他修了生の行動成績等につき参考となるべきこと 重要農産物たる米の生産につき歸郷後も引續き研究を怠らず、地力増進特に綠肥利用稲作法の研究をなし、少費多獲の途をはかるべく努力しつゝあり。なほ本年より帝國農會の生産費資料調査員を囑託せられ實施しつゝあり。村内、郡内においても農村開發に努むるところ多く大に好評を博しつゝあり。

▽ 中島郡大和村 野田 勇

一、歸郷後今日まで行ひたる農業改善の事項

(イ) 稲作増収研究 居村は耕地面積の約八割は水田にして一般營業者も常に増収研究をなしつゝあるは勿論なるも、これは特に地力増進による稲作増収法を研究し、良苗の育成自給肥料の増施等により着々實績を挙げつゝあり。

(ロ) 菜種の改良増殖 當地は從來は相當菜種を栽培せしも、漸次栽培縮少し二毛作の不振を來しつゝある折柄、氏はその欠陥が品種の選定並にその栽培法等にあるを覺り、これが研究改善に極力努め碧海郡六ツ美農業補習學校へ實地視察をなし、優良種子の分譲を乞ひ自ら良苗の育成をなすと共に栽培法の改良をなし好成績を挙げ、爾來地方一般にこれが普及を見るにいたります。改良増殖に努めつゝあり。

(ハ) 養鶏事業の研究 養鶏副業の不振を嘆じ、有畜農業の緒を採養

に從事しつゝあり。

三、その他修了生の行動成績

専心農業に精勵しました副業、養蠶の飼育改善、蔬菜栽培の改良等をなしかた。農林省産業統計調査員、實修會幹事等をなし一面本縣種畜場における有畜農業講習會終了生を以て組織する西加茂郡追進會副會長として活動しつゝあり。

▽ 海部郡立田村 伊藤 信一

一、歸郷後今日まで行ひたる農業改善の事項

(イ) 水田裏作は從來殆どなかりしも一昨年より菜種改良栽培を實施し昨年度の作付面積四反歩(總面積に對する三割)を作付し反當收量一石三斗餘の成績を得たり(當地方は濕田多く高畦作りにて利用面積小なり)

(ロ) アスバラガス(グリーン)の試作を約一畝歩なし、明年より出荷する見込にて成績極めて良く反當五百圓位を收入し得る見込にて今後も増殖する豫定をなしつゝあり(當地方は畑少く畑作の主なるものは落にして努力の關係上「アスバラガス」を栽培するは理想的なるも目下立田村にて栽培するもの他になし)

(ハ) 鹽害地の利用を研究する目的にて、被害地一反歩に慈姑の栽培をなしたるに成績良好にして將來ますます増加する見込なり。

(ニ) 粗火力乾燥室を建設し努力を節約して裏作栽培に努力せりまた乾燥の結果は極めて良好なり。

(ホ) 乾田苗代を毎年實施し、田植期を引下げ裏作栽培を容易ならしむると共に螟虫被害の遞減に努めつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事項

鶏並に人工孵化育雛にいたし、百羽内外の副業養鶏による農業經營を自ら研究しこれが進展に努力しつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事項

(イ) 農事改良實行組合の指導昭和五年三月以來戸塚農事改良實行組合長たり、以來組合組織の改善並に事業計畫及びこれが遂行に専心すると共に組合員の指導に極力努力中なり。

(ロ) 青年の指導 毎月一回宛居村の青年を會合せしめ、農業その他修養方面の指導をなし且つ安城農報(縣立農事試驗場内安城農藝研究會發行)を購読せしめ専ら農村青年の指導に努めつゝあり。

三、その他修了生の行動成績

地方における熱心なる農業實踐家にして濃厚篤實郷黨の指導には最適の人物としてよく地方に囑望せられつゝあり。

▽ 西加茂郡譽母町 鈴木 大輔

一、歸郷後今日まで行ひたる農業改善の事項

性來着實温健の氣風なりしも研究會終了歸郷後はますますその意氣に富み修養せり、偶々農村不況の深刻化するやわれ等農村青年の起つべき秋は來れりと自奮自勵農事改良に専心し、從來の金肥主義を廢し出來得る限りこれを節約し、皆ふるに自給肥料を以てし牛豚の購入飼養養鶏等をなし堆厩肥の増殖、地力増進に努力し實績を示して地方青年の指導教化に任しつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事項

居村の二百有餘戸を糾合して實修會を組織し、自ら率先して農業改善に努め農閑期を利用し、農産品及び評會並に女子修養會及び居村の祭禮に際し兒童書方競技會、菜種栽培講習會等を開催し農事の改善指導

(イ) 田植期の引下を自ら實行し範を他に示し大字富安の田植をして本年は從來より四日間引下ぐ、成績良好にして明年度はなほ引下しむる豫定なり。

(ロ) 路の共同築造、共同出荷を有志にはかり實行したるに成績極めて良好なりしたため、本年度は大字富安全部を糾合してこれを實行せしめたり。

三、その他修了生の行動成績

(イ) 農事講話會を自ら主催し農業改善の資とし多大の効果を収めたり

(ロ) 富民研究會を組織すべく目下有志を募集しつゝあり。

(ハ) 郡農會主催の懇談會講習會等に出席し、その模様並に感想等を發表し好結果を得たり。

(ニ) 立田村在郷重人會理事とし中心勢力をなしつゝあり。

▽ 碧海郡安城町 林 政一

一、歸郷後今日まで行ひたる農業改善の事項

勤勞主義を以て有畜農業を主體とする農業經營は、裏作利用による耕地の集約的利用に努力しつゝあり。更に養豚養鶏、畜牛により自給肥料の増殖をはかり、西瓜、トマトの栽培並に小麦、馬鈴薯、南瓜、胡瓜、紫雲英等裏作物の栽培に極力努力しつゝあり。

二、居村の農業改善を指導したる事項

居村赤松園藝組合書記、赤松養豚組合幹事赤松畜牛組合幹事及び愛知縣追進會碧海郡支部長、農村革新會安城支部幹事長等として活動、その職責の萬全を期し傍ら居村青年有志者と共に農事研究會を組織し、宅地利用花卉栽培自家用醬油共同醸造、稻作品種改良、共同耕作等農業の改善及び指導に盡力せり。

三、その他修了生の行動成績

常に農村青年の先頭に立ちて自ら農村改革の第一線に活動する覺悟を
持し、居村民の信望日に増し厚きを加へつゝあり。

▽ 南設楽郡東郷村矢部 鹽 瀬 稻 造

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事項

(イ) 苗代改良 乾田苗代をなし得る丈けこれを行ひ、その出來得ざる
はこれを水田苗代となし健苗育成の研究に努めつゝあり。

(ロ) 養豚特に採肥養豚に努め、自給肥料の増殖をはかり村内にその範
を示しつゝあり、現在種牡豚を飼養しつゝあり。

(ハ) その他園藝養蠶等の經營改善を計畫し農業經營法改善を期し實踐
窮行しつゝあり。

二、居村の農業改善に指導したる事項

自ら進で農道の改修をなし青年會の活動を促す等村内の農業經營を指
導誘掖すること多し。

三、その他参考事項

品行方正にして眞面目に家業に従事す。

三 重 縣

阿山郡友生村 池 澤 嘉 彦

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業經營の事實及びその成績

家庭においては勞働に従事する者男一人、女二人の少數なるを常に希
望するところ多角形農業經營相當困難なるが故に現在においては從來
經營し來りし米麥養蠶に全力を傾注しこれが改善に努めつゝあり。

(イ) 米作においては本縣獎勵品種に基き、自給肥料を主としこれに金
肥の合理的施用をなして、毎年その收量を増し現在において反收三
石二斗前後の成績を收めつゝあり。

なほ品種の改良に努力しつゝありて昨年早生旭、中生旭につき試作
したるに、右二品種は本年本縣の指定品種となり、各約十石の収を
郡農會或は各町村農會に提供し原種配布上大に便益を興ふるところ
あり。

なほ販賣は本村産業組合に託して平均販賣を實行鋭意研究をなす等
絶えず研究を續けつゝありてその成績何れも見るべきものあり。

(ロ) 養蠶に就ては新法を採用するにいたらざるも、上簇の改良を行ひ
繭質の向上をはかりつゝあり、すなはち簇器は改良簇簾により風通
をはかるため一段抜となし、最初より蠶座上に直接簾を置き營蠶せ
しむるなり。

二、農業改善を指導したる事實及びその成績

(イ) 富民協會の主旨に基き友生村富民研究會を組織し農業の改善に努
めつゝあり。

(ロ) その他においては農會或は産業組合と連鎖を取り農業改善に努
めつゝあり。

三、その他参考事項

品行方正にして眞面目に家業に従事す。

▽ 飯南郡松尾村 三 綠 繁 雄

一、修了生の郷土における農業改善の事實及び成績

(イ) 多角形式農業の經營

當地方は從來單式農業に陥り易き農業經營なるを當三綠氏は痛感し
根本より自家の農業經營を改善し米麥養蠶に園藝畜産を加味し勞力
の分配既肥鶏糞の利用等その成績實に見るべきものあり。

(ロ) 農家經營日誌並に家計簿の記帳その他

自家の農業經營をまづ改善せんため農業經營日誌を記入し、そ
れに基き改善をなしつゝあり、なほ家計簿は經營日誌と相俟ちて記
入し、冗費の節約自給自足方面迄考慮せられつゝあり。

二、居村農業改善を指導したる事實その他

村内青年篤農家を募り富民研究會を組織し毎月または隔月に會合、研
究發表並に意見交換をなし村報には自己の經驗視察改善等を執筆され
當業者の益すること多し、なほ三綠繁雄氏は同村字大足川向農家組合
役員の位置にあり、農家組合事業に就ては極力自己の經驗を基礎に全
力を掲げて盡力せられ村民の信用また篤し、なほ同氏歸郷後は農家組
合を作る。

三、その他参考事項

特記事項なし。

▽ 鈴鹿郡石薬師村 石 黒 重 吉

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及び成績

自家の農業經營狀況並に經營日誌を日々記帳し以て年度末に集計しそ
の收支を明にし自家の農業改善に努め昭和六年三月より本村農會の囑
託を受け農家經濟調査を擔當し現在もなほ引續き調査中にして既に昭
和六年三月より昭和七年四月迄の結果を發表し一般に裨益するところ
多し。

二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

從來本村農家に在りても經營日誌の如きを記帳する者些少なりしも、
同氏の熱心なる指導により漸次記帳する者増加せり。

三、同氏は意志強く勤勞家にして農事に熱心なり。

三 重 縣 羽 木 秀 生

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

今日迄別に改善を認めざるも家業には頗る熱心にして他を指導誘掖す
るに足る。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

農會總會、青年團總會その他會合の折には自分の修了せし事實を講演
し、農業改善副業獎勵に極力努めつゝあり。

三、その他参考事項

本人は農業經營上の模範者として推すに足る、現に本縣の宅地利用は
擔當人本縣副業獎勵委員、農業經營調査擔當人たり何れもその成績は
大に見るべきもの多し。

▽ 名賀郡阿保町 柴 田 正 次

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

(一) 勤勞の合理化と夜業實施
昨年十一月より四分ノ一モートル(夜間用)を設置し毎夜晝間農業
勞働の補充(稻脱穀、糶摺、麥脱穀、米麥乾燥及び農産物加工、米
麥精白、製粉、製繩)等をなしつゝあり。これにより點燈時より春
夏は十時迄、秋は十一時迄、冬は十二時迄各々家内中無駄の排除を
なしつゝあり。

(二) 耕地擴張と多角形經營方針實行

從來米作のみによる自作農にして而もなほ小作地を所有せり、しか
れ其農用期において餘暇の多きに鑑み小作地を返却せしめてこれも
併せ自作することとせり。
多角形經營の第一歩として昨年度より裏作(裸麥六反、小麥四反、

油菜二反、蠶豆一反、馬鈴薯二反を耕種したるに油菜は失敗せるも他は良好なる成績を得たり。

左にその收量を示せば、

裸麥九石五斗、小麥六石九斗、油菜三斗、蠶豆青莢七十五貫(粒七斗五升)、馬鈴薯七百二十貫

(3)多收穫と單位面積の増收

公私を通じて増收競争等あれば力めて出品し自己の能力を磨きつゝあり、米作には五年度以前迄は反收量二石四斗なりしが六年度においては反二石九斗を收穫せり。

(4)農業經營の經濟的立場の打開

イ、米の精白自家販賣成績(昨年十一月より九月十三日迄)

粳九十五俵分、糯六俵分、九百五十四圓(特價により無加工販賣なるとき)九百一圓

ロ、家畜飼料自給成績(昨年十一月より九月十三日迄)

牛一頭、鶏三十羽につきその飼料代三圓二十錢支拂するのみにて米麥加工より得たる糠、麥糠、穀により飼料とせり(昨年度は牛一頭、鶏五羽にしてその飼料代三十一圓四十錢なりき)

ハ、裏作耕種による成績

小麥販賣金五十圓三十錢(昨年度は小麥なし)馬鈴薯販賣金十一圓五十五錢(昨年度は馬鈴薯なし)米販賣現物小麥五斗、裸麥八石七斗二升、蠶豆三斗、馬鈴薯百貫餘あり。蔬菜販賣金(本年度

三月より九月十三日迄)二十三圓二錢

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

(1)米共同販賣機關の設置運動

本町として最も主要なる農産物の一なる米の販賣は從來各農家個人

販賣なりしが、氏の努力により昨年六月第一回の共同販賣開始せるにその成績良好なりしを以て爾來毎月これを行ひ現今においては本町農産物出荷組合の重要出荷物の一となれり。

(2)産業組合設立運動

昨夏講習會開催地安城においては農業の發達を見、大いに感ずるところあり、即ち當町内の農業發展を圖らんことを企て農業經營に關する金融、購買、販賣並に利用を目的とする産業組合定款を作成して類りにこれが必要を説き勧めつゝあり。

(3)その他

イ、米作 好望品種、採種分與(伊勢錦、愛國)

ロ、麥作 好望品種、採種分與(裸麥、白銅、小麥、寶滿)

ハ、畑式苗代の指導

三、その他參考事項

氏は本町農會總代にしてまた篤農家として實地に農民を指導しつゝあり、また各種の採種圃を設け優良種子の配布をなしつゝあり。また農業發達地、試験場、市場等を視察し農民の開發に努めつゝあり。

一志郡豊地村 多賀 義作

一、修了生の郷土における農業改善の事實及び成績

(1)農業經營上の諸調査

歸郷後直に着手せる事業としては村農會より稻作經營における記帳經營、收支計算の明細記録、水稻生産費調査を引受け肥料代、勞力分課その他總ての調査を行ひ更に生産費のみならず收支計算をなし良好の成果を修む。

養蠶經營上收支調査及び稚蠶共同飼育の研究等に力を盡し着々その

実績を示しつゝあり。

(2)多角形式農業經營の唱導

多角形農業の必要を唱へ自ら畜牛、養豚、養鶏を實行し飼育方法その他常に研究を怠らず。

自給肥料の増産により金肥節約が農業經營上における刻下の緊要事なることを強張し實踐これを示しつゝあり。

(3)富民研究會設立

富民協會發賣の農業圖書その他農業關係圖書の購入を斡旋し、農業知識の増進に努め近く富民研究會の設立をなすに至れり。

二、農業改善を指導したる事實及び成績

農村に在任の青年篤農の同志を集めたる豊地振耕會の會員(役員)として各種栽培法、經營法等の改善案を作製し専らその研究の任に當り殊に稻作栽培には一段の努力をなしつゝあり。

尙富民協會發賣の雜誌「富民」の購讀を勧誘しこれが取次をなし農業智識の注入に努めつゝあり。

奈良縣

添上郡平和村 喜田 芳之

一、農事經營改善の事實及其の成績

(1)自給肥料の造成

堆肥舎の新築 紫雲英栽培 畜牛の飼育

(2)花卉栽培を行ひ空地利用を爲す

二、農業改善を指導したる事實及其の成績

(1)村内各農事實行組合に巡回講演を爲す

(1)農事實行組合に稻作競争會を開催する様指導せり

(2)農産物の共同出荷の指導獎勵

宇陀郡三本松村 小谷 周太郎

一、農業經營改善の事實及其の成績

(1)耕地の改善

區劃整理、暗渠排水を行ひ能率増進に資す

(2)自給肥料の増産

堆肥の増産(從來の倍) 綠肥作物栽培面積の増加

(3)農業經營に關する記帳

(4)自家用醬油の製造屑齒整理に依る衣服の自給

二、農業改善を指導したる事實及其の成績

(1)農事實行組合の事業指導

(2)耕地改善の指導

(3)自給肥料の改良増産指導

等をなし着々其の効果を修めつゝあり

磯成郡多村 松井 利右衛門

一、農業經營改善の事實及其の成績

(1)温室の經營

建坪二十坪の温室を建設し茄子、メロン、蕃茄の栽培を行ふ

二、農業改善を指導したる事實及其の成績

村内青年精農家六十一名を集め多村富民研究會を組織し毎月座談會を開催し米作多收穫の競争先進地の視察講演會の開催をなせり。

- 一、農業経営改善の事實及其の成績
- (一) 西瓜栽培並に其の跡作栽培の改善

西瓜栽培に依る農業経営改善は勿論其の跡作に蔬菜を栽培し西瓜作以上の収益を挙げ居れり。

- (二) 新規蔬菜の栽培
- 従来當地に於てはセルリー、海老芋、花椰菜の栽培なかりしを本年之が栽培を試み相當の成績を収めたり。

- 二、農業改善を指導したる事實及其の成績
- (一) 共同出荷の奨励
- (二) 西瓜品種の統一
- (三) 水田裏作栽培の改善

ニンニク、蒔蘿草、馬鈴薯の栽培を指導

- 磯城郡多村 秦 英雄
- 一、農業経営改善の事實及其の成績
- (一) 記帳
- (二) 副業 養鶏
- (三) 成鶏百羽を飼育
- (三) 柿一反歩を栽植

松井利右衛門と共に多村富民研究會に努力せり。

- 三、其の他修了生の行動成績等に付参考となるべき事
- 修了生は皆當初より優良なる青年を推薦せし上練習を受け、一層精練せられ各員は自重奮勵努力しありて將來を期待し居れる次第なり。
- 第三回修了生には未だ報告すべきものなし

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

従來の米麥を主とする單位經營を改め果樹並に蔬菜園藝を加味して次第に複式化せしめ自給自足を基調として經營の合理化に努め一面家庭消費經濟の改善を圖り着々その成績を挙げつゝあり。

- 二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

君は居村青年團を以て農事研究會を組織し一般青年の農業經營改善に關する自覺を促し、これが指導をして實行を圖りかつ智識の向上に努めつゝあり。

- 三、その他

君は府立木津農學校卒業後専心家業に精勵しつゝありたるも農業改善研究會修了後は一層農業の改善に興味を以て努力しつゝあり。

何鹿郡中上林村 四方 健一

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

修了後、自家經營の改善に勵み、相當の成績を挙げつゝあり。概況次の如し。

- イ、稻作 作付反別三反五畝を四反五畝歩に増加し反當收量平均二石七斗なりしを六年度には三石餘に増加す。これがために特に苗代の根本的改善、本田地方の増進、手入の合理化を圖り金肥は増加せしめず、反當一圓十錢の施用に止む。
- ロ、養蠶 桑園反別二反五畝歩より反當收葉の増加に努め、收量從

到にして頗る熱心、必ず成し遂ぐる等その行動は他の模範とするに足る。

加佐郡河守上村 荒賀 福太郎

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

講習修了後専ら多角形經營に意を注ぎ現在母、弟夫婦、長男(三歳)の家族にて水稻八五歩、養蠶(春、初秋、晩秋)收量百十貫、乳牛一頭、養鶏五十羽を飼養しその他殖林、山林手入に努力し優良の成績を挙げつゝあり。

- 二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

イ、部落を主體とせる小作奨勵會の會長としてその村内における稻苗代及び本田、桑園の肥料共同購入及び肥料配分をなし實費を以て會員に配付しその他代苗品評會稻立毛品評會、增收競技會等を開催し農事の改良に努め相當の効果を挙げ當業者の自覺を促しつゝあり。ロ、なほ小作者をして優良米を生産せしめその成績優良なるものに對し賞金授與し當業者をして常に熱と意氣を以てことに當らしむるやう努めつゝあり。

- 三、その他

その他部落及び村の事業に對しては熱心に奉任し農事の開發に努力常に村の先驅者として活動しつゝあり。

久世郡御牧村 中井 四郎平

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

歸郷後多角形經營の必要を認め經營の改善に努め第一着手として果樹(梨)の栽培を始め常に研究して遂次その成績を挙げつゝあり。

- 一、農業経営改善の事實及其の成績
- (一) 西瓜栽培並に其の跡作栽培の改善

西瓜栽培に依る農業経営改善は勿論其の跡作に蔬菜を栽培し西瓜作以上の収益を挙げ居れり。

- (二) 新規蔬菜の栽培
- 従来當地に於てはセルリー、海老芋、花椰菜の栽培なかりしを本年之が栽培を試み相當の成績を収めたり。

- 二、農業改善を指導したる事實及其の成績
- (一) 共同出荷の奨励
- (二) 西瓜品種の統一
- (三) 水田裏作栽培の改善

ニンニク、蒔蘿草、馬鈴薯の栽培を指導

- 磯城郡多村 秦 英雄
- 一、農業経営改善の事實及其の成績
- (一) 記帳
- (二) 副業 養鶏
- (三) 成鶏百羽を飼育
- (三) 柿一反歩を栽植

松井利右衛門と共に多村富民研究會に努力せり。

- 三、其の他修了生の行動成績等に付参考となるべき事
- 修了生は皆當初より優良なる青年を推薦せし上練習を受け、一層精練せられ各員は自重奮勵努力しありて將來を期待し居れる次第なり。
- 第三回修了生には未だ報告すべきものなし

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

従來の米麥を主とする單位經營を改め果樹並に蔬菜園藝を加味して次第に複式化せしめ自給自足を基調として經營の合理化に努め一面家庭消費經濟の改善を圖り着々その成績を挙げつゝあり。

- 二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

君は居村青年團を以て農事研究會を組織し一般青年の農業經營改善に關する自覺を促し、これが指導をして實行を圖りかつ智識の向上に努めつゝあり。

- 三、その他

君は府立木津農學校卒業後専心家業に精勵しつゝありたるも農業改善研究會修了後は一層農業の改善に興味を以て努力しつゝあり。

何鹿郡中上林村 四方 健一

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

修了後、自家經營の改善に勵み、相當の成績を挙げつゝあり。概況次の如し。

- イ、稻作 作付反別三反五畝を四反五畝歩に増加し反當收量平均二石七斗なりしを六年度には三石餘に増加す。これがために特に苗代の根本的改善、本田地方の増進、手入の合理化を圖り金肥は増加せしめず、反當一圓十錢の施用に止む。
- ロ、養蠶 桑園反別二反五畝歩より反當收葉の増加に努め、收量從

到にして頗る熱心、必ず成し遂ぐる等その行動は他の模範とするに足る。

加佐郡河守上村 荒賀 福太郎

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

講習修了後専ら多角形經營に意を注ぎ現在母、弟夫婦、長男(三歳)の家族にて水稻八五歩、養蠶(春、初秋、晩秋)收量百十貫、乳牛一頭、養鶏五十羽を飼養しその他殖林、山林手入に努力し優良の成績を挙げつゝあり。

- 二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

イ、部落を主體とせる小作奨勵會の會長としてその村内における稻苗代及び本田、桑園の肥料共同購入及び肥料配分をなし實費を以て會員に配付しその他代苗品評會稻立毛品評會、增收競技會等を開催し農事の改良に努め相當の効果を挙げ當業者の自覺を促しつゝあり。ロ、なほ小作者をして優良米を生産せしめその成績優良なるものに對し賞金授與し當業者をして常に熱と意氣を以てことに當らしむるやう努めつゝあり。

- 三、その他

その他部落及び村の事業に對しては熱心に奉任し農事の開發に努力常に村の先驅者として活動しつゝあり。

久世郡御牧村 中井 四郎平

- 一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

歸郷後多角形經營の必要を認め經營の改善に努め第一着手として果樹(梨)の栽培を始め常に研究して遂次その成績を挙げつゝあり。

一、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
農業改良を指導しその実績を擧ぐるため農事研究会を組織しその内容の充實を圖り例月會を開催し同志と共にこれが改善に精勵しつゝあり
三、その他
近日施行する、巨椋池の干拓に關し完成後の農業經營に付種々研究調査を遂めつゝあり。

▽ 竹野郡深田村 梅原 一夫

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
歸郷後直ちに受講の精神を體し自家經營の上に應用し裏作計畫の樹立實行、餘剩勞力の利用、自給自足を本體としその他經營の合理化を圖り自家農業經營改善上大いに見るべきものあり他の模範とするに足る
二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
村農會の懇望する所となりて同村専任農業指導員に就任し居村の農業改善に關し専心奮闘し名聲殊の外高し。
三、その他
特記すべき事項なし。

和歌山縣

▽ 西牟婁郡稻成村 杉野 久八

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
従前より多角的農業を經營し熱心に従事し居たるも講習歸郷後は農業經營は汗と熱との信念を固め地方増進のためには畜牛に養豚、養鶏を加へて厩肥、堆肥の造成に從來その儘使用せし大豆粕、魚肥の如きも

イ、農業努力の平均と經營の有畜化
ロ、自家肥料の施用と肥料代の軽減

一、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
イ、農事研究会の組織

三、その他の行動成績等につき参考となるべき事項
一の經營に對する實際の成績及びその諸設備並に研究等について、また二の指導に對する方法及びその精神の轉換等について見るべきもの少からず。

▽ 和歌山市納定 野村 俊一

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
修了當時都市附近の農業に着眼し、耕地一町二反歩中、頭葱三反歩、甘藍二反歩、馬鈴薯二反歩、蠶豆二反歩、レンゲ二反歩、蒔草五畝歩、菜類五畝歩を耕作し初年の好成绩を掲げ地方農民に相當刺激を與へたるも六年五月中旬實弟腦病となりその看護のため農業は意の如くならず一方耕地は工場住宅、道路となり比較的有利な住宅に耕地を變更して昭和七年三月全く農業を中止せり。
二、修了生の農村農業改善を指導したる事項
一記載の事項により特記すべき事項なし。

▽ 伊都郡笠田町 大崎 清一

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
柑橘園の改善、養蠶の飼育或は西瓜採種の栽培をなし相當の効果を擧げつゝあり。
二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
萩原農事實行組合米麥改良係として米麥の増收に努め組合員を指導し

悉くこれ等に與へ糞尿を利用し自家産の米は精白してこれを販賣しその糠碎米はこれを養畜の飼料とし、從來の米麥蠶普通蔬菜に梨、柿、蜜柑を新植し天恵利用の蔬菜促成栽培など一層その經營を大にし四季間断なく收穫あるやう工夫をこらし本年等六月より八月に至る間毎日四、五圓の蔬菜を賣り上げ人をして驚嘆せしめ不景氣何物ぞ働くものに不景氣なしと氣を吐きたり、經營面積約一町一反歩家族本人夫婦老母子供二人。

二、修了生が居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

一の如く百の言より實行第一と卒先着々實行しその成績を擧げるに依り村内大いに刺激を受く青年は勿論、心ある人々の發奮見習ふ者多しまた農業經營は心より努力奮闘せざれば眞意なしと富民研究会を開き毎月會員を集めて農事研究をし氏の栽培する總てを試験園とし熱心指導する傍ら或は農民魂の喚起に努め或は技術指導に任じ又は共同出荷の必要を説き昨年蔬菜園藝組合を起して西瓜二町歩を各人に試作せしめこれを大阪市場に販賣し將來瓜、茄子、南瓜等の栽培増加に從ひ益々出荷の本義を發揮せむとするものゝ如し。
三、その他修了生の行動成績につき参考となるべき事項

同氏の農業經營、農村振興策はその眞髓に傾聴するもの多く殆ど各村普く農會、青年團、婦女會、婦人會等の講師として招聘され、その言動に感じて將來の指導を乞ふ者多し。

かゝる有益無比なる講習會を開催し農村人物養生に任せらるゝ富民協會に感謝するもの獨り本村のみならずを思ふ。

▽ 海草郡西山東村 菊川 通彦

一、修了生の歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

て農事改善に力を致し居れり。

三、その他修了生の行動成績につき参考となるべき事項
笠田町青年團長として團の向上發展に努められしが最近團長を辭し團員として團の進展に努力せり。

▽ 日高郡印南町 鹽田 光實

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績
農事改良に實際と學理とを研究改良に熱中しその結果良と認むべき農産物を極力農民同志に奨勵し増産技術また見るべきものあり。
二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
本年春産地の出荷運賃に着眼し省線、阪和、南海等の鐵道會社と數次交渉し、出荷の契約をなすことに申し合せたるため俄然運送店の反對に逢ひ進行運動により攻撃的となり遂に職を退くの止むなきに至れり。

三、その他修了生の行動成績につき参考となるべき事項
二の事情により専念生産販賣方法の改善に盡力し居れり。

▽ 那賀郡西貴志村 西川 一男

一、歸郷後今日迄に行ひたる農事改善の事實及びその成績
自己農業に對しては多角形經營をなし相當収益を擧げその成績良好なり。
二、居村の農業改良を指導したる事實及びその成績
居村青年團その他に對して極力農事改良、多角形經營方法を宣傳しその効果の見るべきもの多大なり。
三、その他行動成績等につき参考となるべき事項
勤勉實直本村模範とすべき人物なり。

島根縣

旗川郡莊原村 和田守眞一

一、自家の農業經營を改善し從來稻作專業なりしがこれに副業として養鶏及び養蠶を加へ所謂多角形經營に改むると共に極力栽培及び飼育上の改良をなしたるため收益を増加せしこと頗る多額に及びり。その概況左の如し。

(1) 稻作 栽培反別八段五畝歩にして品種は曲玉、銀坊主、北部等の優良品種に改むると共に施肥その他栽培上の改良により反當約四斗の増收を得るに至れり。

(2) 養蠶 從來桑園一反五畝歩を經營し二百五十貫の收葉量ありしも養蠶を營ます桑葉の儘販賣せしがこれを改善して栽培法の改良により反當三百五十貫の收葉量を得ると共に春蠶三枚、秋蠶四枚の掃立を飼育し正蠶春三十三貫、秋三十五貫を得るに至れり。

(3) 養鶏 産卵能率の優れたる「ハリウツド鶏」百羽を飼育し飼料その他に注意して一ヶ年三百二十貫の鶏卵を生産するに至れり。

二、本人の父は部落農會々長なるも昭和五年以來村助役を奉職せるため殆んどその職務を執ること能はざるのみならず自家の農業經營もすべて本人に一任せるの状態にあり、即ち前項の如く先以て自家の農業經營を改善して一般に模範を示すと共に一面縣立農事試験場の濕田試験地を擔任せるため、これ等の成績を以て部落農會員は素より村内一般當業者を指導しつゝありてその成績頗る良好なり。

三、資性温厚着實にして頗る勤勉一意専心農業に従事して研究をなすと共にこれが改良に腐心して更に餘念なく一般の模範とするに足る精農家なり。

周吉郡中條村 佐々木正雄

一、本人は戸主なるを以て一家の經營の合理的多角形化し普通農事、畜産、林業を主體とし家族の勤勞主義により不況を打開しつゝあり。
二、本人は部落農會長として同部落の中心となり自己一家經營を以て範を示し同部落より全村に普及せしめ時々講演或は實地指導等により他を誘掖督勵しつゝあり。
三、資性剛毅果斷、能く一般の中心となり現下窮乏せる農村の打開に奮闘しつゝあり。

那賀郡石見村 笠柄徳市

一、歸郷後普通農事並養蠶等に精勵しその經營改善に努力しつゝあり。
二、居村の青年團長、青年訓練所指導員として第一事項の普及宣傳に努めつゝあり。
三、該當の事實なし。

能義郡赤江村 野田耕作

一、稻作を主體とし各種の副業を營むを以て農業經營の主體とし左の通り多角形農業に改善せり。
田 反別一町七反歩、稻作、裏作として綠肥、麥、蔬菜
畑 同 五反歩、桑、蔬菜
養蠶 春蠶、收蠶七十貫、秋蠶、收蠶七十貫
養鶏 十五坪の鶏舎を新築し成鶏九十羽を飼養す
養蜂 洋種六群飼養
以上の如く農業經營に改善し何も自家勞力を以てこれに當り肥料の如きは鶏尿を以て堆肥を製造し、自給自足主義をとれり。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

農村の振興は活力ある青年の一致協力に俟つべきを痛感し青年を叫出して興村聯盟を組織し、これが指導者たり。

現下農村の不況なるに鑑み主唱者となりて部内に不況対策座談會を開催し郡農會技手を聘して意見を聴し、裏作の擴張、冠婚、葬祭費の節約を申合せたり。

養鶏組合設立の要を認め部内において組合を組織し飼料の共同購入、鶏卵の共同販賣等組合事業の主任となり活動しつゝあり。

三、該當無之。

美濃郡豊田村 椋 芳夫

出席歸省後約二ヶ月にして朝鮮地方へ無斷轉任今なほ居所不明のため實情調査不能なり。

香川縣

香川郡香西町 久保 茂

一、五反耕作に依り一家五人が生活安定を得る經營法を樹て養鶏、養兔宅地利用、牛の肥育等を実行す。

養鶏を一反歩分の小作權金により經營し飼數一千羽を有するに至れり産卵を百十日に見當し經營の改善をなす。養兔は家庭の小供に作業のしつづけを指導し一ヶ年十回産ましめ子兔を病院の病理試験用として販賣しつゝ有り。宅地利用に依る草花栽培を實行し從來佛前に買花して居たのを止め得るに至る。牛の肥育に依つて利益金の半分を飼料代としても半分が自己の手間代として生ずる自信に依つて實行中。

▽

二、居村に青年農事研究會の設立をなし毎月一回小學校に郡農會、縣等より専門技術者を講師として時期々々の農業講話、實地指導を行ひ經營改善を實行す。

米麥多收作の範作を全會員行ひ全員の相互批評をなし成績を決定しつゝありて一般農家に對しても裨益する所大なり。

次に青物市場を設置して從來二里の遠隔高松市に個人販賣をなせしものが共同販賣を居村にして實行し成績良好なり。
市場經營にはその有志に依頼しその助力を得つゝ有り。

綾歌郡長炭村 眞鍋俊一

一、果樹栽培に主として當り果樹園藝經營上養鶏に依る自給肥料を以て經營上の改善を獨特な方法に依り實行中。

果樹栽培に今日迄五年間當り樹の成長に伴ひ今からといふ所で未だ成績の見るもの少なけれど農業指導上、自給肥料に依る肥料施用經濟に力を注ぎつゝ有り。

二、果樹栽培上において色々指導をしたる事實あれど特に改善を指導したる成績なし。本村において青年中心の農業研究會を設立し居るも未だ日淺く特書する程の成績がない。

三豊郡比地二村 藤田 茂

一、和牛一頭、養鶏七十羽に依つて自給肥料を増産し苗代肥料は全部厩肥により育苗し本田においても一段歩を厩肥のみにて栽培する方法を実行す。

苗代の指導、麥廣時栽培の經濟的多收を實行し殊に三畝歩を厩肥のみにて栽培する方法をなす。
蠶糞を牛の飼料とす。

以上の如く改善を行ひその成績次第に良好となる。

一、卵の共同販賣を昨年八月より始め會員十一名を以て五日毎に集卵販賣の方法をとり一販賣毎に一名五錢の貯金を行ふことを自ら指導しつゝ有り、また居村に天道會なるものを組織し毎月一回集合し(夜間)農業改善上の研究や視察談、實驗談をなしつゝ有り、その成績は郷黨の農業改善上裨益するところ多し。

三、同君は農業經營に關し熱心なること、居村に定評ある所にて特に難の雌雄鑑別に長じ附近の要請に應じまた本年小麦裸麥等は同部落最高收穫を得たり。

木田郡十河村 久 保 實 次

一、米麥作の増收を計り反當四石内外を實收し得べく常に多收穫に意を用ひ地力増進、深耕、優良種子の撰擇等に研究努力しつゝ有り。特に家畜を飼ひ優良堆肥の製造を計り、また昨年より鶏の飼數を増加し自給肥料の増産に努め金肥の節約に自信を重ねつゝ有り。

次に一面において家畜を飼ふことに依り早起となり「働く」時間を多く得て居る事實有り。また農家收支の記帳を實行することに依り農業經營改善の總ての點に裨益を及ぼしつゝ有り。

二、居村民に農家の收支簿記を實行するやう指導し農家の有畜農業の緊要從て金肥の節約に對し指導しつゝ有り。

その他居村の農業改善の指導は自己經營改善を圖ると共に時々指導し居村農家の農業經營改善の先鋒として研究努力しつゝ有るを見る。

綾歌郡坂本村 小林 正 一

畑の内譯 梨園五反、葡萄園一反、蔬菜園一反五畝
作業従業者 二人

經營的に考察すれば園藝偏重の嫌あるも努力の分配は可成順序的に組立てられたるものと思ふ、しかし冬果果樹の剪定期より春暖四月の頃に至る間稍過剰努力を見出せし結果昭和六年より福羽菫の陽熱栽培並に蕃茄の半促成栽培その他の早熟栽培に着手し餘剰努力を有効に消化しつゝ有り。

2、技術的改善

イ、梨藥劑撒布の改善に關し種々考究しつゝありしが無被袋栽培として外觀を損せしめぬ程度に安價なる藥劑撒布法としては硫酸鉛と硫酸ニコチンの臨機撒布を最も適切なる方法にして最も効果ある結果を促したり。

ロ、肥料の改善 従來は梨反當(成木)施用窒素全量約十貫なりしを昭和六年度において裸麥の栽培を紫雲英に變更し出來上つたものを梨肥料の反當一〇〇貫一八〇貫位施用し金肥の窒素全量二貫に減ず。而して糠粕、米糠、蒸製骨粉等を施用せしに果實の外皮は滑澤にして果形整正甘味強く上々の結果を得たり。

ハ、宅地の利用 宅地の一隅を利用し胡藥用サフラン、ジキタリス等の栽培をなし相當有利なる結果を得。

ニ、記帳 新農家日記を使用し農産物の出荷等明細に記帳することを実行しつゝ有り。

ホ、その他米作多收穫の研究、都市、近郊における蔬菜類の蔬菜品種の統制出荷の方法につき研究しつゝ有り。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績
自給肥料の施用獎勵、宅地利用の獎勵、梨園互評會開催、各種園藝目

の研究に努力しつゝ有り、また共同販賣、出荷組合等の經營に對しても研究しつゝ有りて居村の農業改善上過去においても相當力を致せるも受講後一段の經驗と自覺を得たる事實が經營上現れんとしつゝ有り。

徳 島 縣

名東郡加茂名町 石山多喜治

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

1、多角形農業經營

イ、果樹の新植、柿、栗、枇杷、各五畝歩宛

ロ、蔬菜園藝二反歩

ハ、畜産肥牛一、豚三、鶏二〇

ニ、養蠶春夏秋六〇瓦

ホ、米麥作一町三反

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績

1、米作改良増殖の指導(實地)

2、町青年團員に對する指導(講話會開催)

三、その他修了生の行動成績等につき參考となるべき事項

1、労働狀況 早朝より晩夕に至る迄その勤務はその附近の賞讀的となり一年間の労働日數の如き實に三〇〇日を降りたることなし。

板野郡松茂村 古川 義 雄

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

1、經營組織の改善

經營面積 田四反、畑七反五畝

家探種法の指導、裏作の改良、糶種の温湯浸法指導等に力を致し何れも相當の効果を收めつゝあり、その他一定地積の收益を増加せんがため田においても従來の二作を三作に改變せんとしこれに對する適切な方法等に關し専ら研究中なり。

那賀郡立江町 井上 康 雄

一、歸郷後今日迄に行ひたる農業改善の事實及びその成績

イ、受講前農業經營狀況

水稻一町六三畝、裏作麥五反七畝、蔬菜自家用、孟宗畑五反、竹林一反二畝、楊梅三反、柑橘二反、養畜牛一頭、鶏三〇羽、藥加工蕈

以五〇枚生産。

ロ、受講後の現況

水稻一町六三畝、裏作胡瓜一反二畝、葱頭一反歩、蠶豆一反一畝、麥二反四畝、蔬菜自家用以外にトマト、セルリ、甘藍、長薯、里

芋菜豆等の露地集約栽培を行ふ外胡瓜、菜豆、山椒等の促成栽培を

加味す。

孟宗畑六反(一反増殖)竹林二反歩、楊梅三反五畝(育苗販賣)

柑橘二反五畝(特に早生温州栽培)枇杷四反五畝(新植)

養畜牛一頭、鶏五〇羽、養鯉二、〇〇〇尾

花卉栽培(切花としてイルピナス、フリーシャ、カレンジュラ等の

促成鉢物等栽培)

藥加工蕈以八〇枚

右經營概要の如く自家努力の全能率を巧に案配して多角形農業經營の

實行に努めつゝあり、その成績良好なり。

二、居村の農業改善を指導したる事實及びその成績